911

WKD 992 01 70 21

PORSCHE

911

Good to know – 取扱説明書

Porsche、Porsche crest、911、PCCB、PCM、PDK、PSM、PTM、Tequipment および他のマークは Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG の登録商標です。
Printed in Germany.
本書の一部または全部の複製は、Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG からの文書による許可がない限り禁止いたします。
© Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG
Porscheplatz 1
70435 Stuttgart
Germany

車載マニュアル

車載マニュアルは常に車両に保管し、車両を売却する場合は新しいオーナーにお渡しください。
車両本体または車載マニュアルについてのご質問、ご提案がございましたら、下記までご連絡ください。
お問い合わせ先：

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG
Vertrieb Customer Relations
Porscheplatz 1
70435 Stuttgart
Germany

装備品

ポルシェ社では絶えず製品の開発と改良を行っており、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明書の Porsche による内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。装備品はオプションである場合や、車両が販売される国によってこの取扱説明書の内容と異なる場合があります。追加装備品の詳細については、Porsche 正規販売店にお問い合わせください。
各国の法律等の違いにより、この取扱説明書の内容が車両の仕様と異なる場合があります。この取扱説明書に記載されていない装備品が Porsche に装備されている場合、Porsche 正規販売店がその装備品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明いたします。

警告およびシンボル マーク

この説明書には様々な警告およびシンボル マークが使用されています。

⚠ 危険 重傷または死亡に至る危険

「危険」欄の警告を守らないと、重傷または死亡に至る危険があります。

⚠ 警告 重傷または死亡に至る可能性

「警告」欄の警告を守らないと、重傷または死亡に至る可能性があります。

⚠ 注意 中程度のケガまたは軽傷を負う可能性

「注意」欄の警告を守らないと、中程度のケガまたは軽傷を負う可能性があります。

知識 車両が損傷する可能性

「知識」欄の警告を守らないと、車両が損傷する可能性があります。

インフォメーション

追加情報は「インフォメーション」という語を用いて記載されます。

✓ 機能を使用するために満たす必要のある前提条件。
▸ お守りいただく必要のある指示。
1. 指示が複数のステップに分かれる場合は、番号が付けられています。
1. タッチ ディスプレイに関して従う必要のある指示。
▷ トピックに関する詳しい重要情報が記載されている参照先を示します。

エアバッグ警告ラベル

⚠ 危険 助手席のチャイルド シート

チャイルド シートが助手席に取り付けられている場合、エアバッグが作動した際に重傷または致命傷を負う危険があります。

▸ お子様に**ケガや死亡の危険**があるため、**フロントエアバッグが有効になっている状態で**、後ろ向きチャイルド シートを助手席で**絶対に使用しない**でください。

▷ 「チャイルド シート」の章（172ページ）を参照してください。

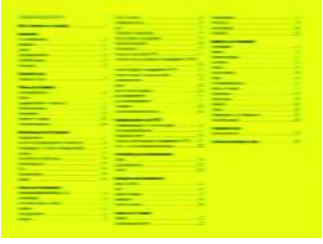
マニュアルのレイアウト

取扱説明書 – デジタル

取扱説明書は、車内の車載デジタル形式が入手可能です。

▷ 3ページ

目次



概要を把握し、確認したいトピックを探すことができます。

安全性とドライビング プレジャー

ドライビング プレジャーを安全に楽しむ方法をご覧ください。

▷ 5ページ以降

概要

部品やコントロールについて十分に理解してください。

▷ 21ページ以降

実用的なヒント

新機能についての補足情報をご覧ください。

▷ 28ページ以降

50 音順トピック

部品やコントロールの仕組み、およびそれらを操作する方法をご覧ください。

テクニカル データ

特定の図を検索してください。

▷ 305ページ以降

索引

確認したい情報をすぐに見つけることができます。

取扱説明書 – デジタル

お客様の車両についての詳細は**オンボード**車両取扱説明書で確認できます。

オンボード

取扱説明書はポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の下記で確認できます:

▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **取扱説明書**

Apple, the Apple logo, Apple CarPlay, iPhone, iPod, Siri and other designations of Apple are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
App Store is a service mark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
IOS® is a trademark or registered trademark of Cisco Technology, Inc. in the U.S. and other countries and is used under license by Apple. Google Play® and the Google Play logo are trademarks of Google LLC.

目次

安全性とドライビング・プレジャー 5

外観図
オーバーヘッド コンソール 25
コントロール パネル 23
スイッチ パネル 24
センサーおよびカメラ 20
給油口 26
運転席 21
運転席 22

使用上のヒント
実用的なヒント 28

開閉操作とロック
Targa ルーフ システム 284
ウィンドウ 58
エンジン コンパートメント リッド 66
キー 73
コンバーチブル トップ 83
スライディング / チルティング ルーフ 133
セントラル ロック 136
ラゲッジ コンパートメント リッド 258
警報システム 112

エアコンおよび人間工学
インテリア ライト 57
エアバック 61
サンバイザー 113
シート 114
シート ベルト 118
ステアリング ホイール 125
チャイルド シート 172
パーソナル設定 213
ミラー 243
自動制御 2 ゾーン エアコン 291
転倒保護 (カブリオレ) 300

運転およびドライバー アシスタントシステム
HOLD 機能 276
Porsche Active Suspension Management (PASM) 277
Porsche Stability Management (PSM) 281
アクティブ パーキング サポート 31
アクティブ レーン キープ 37
アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) 41
エンジンの始動と停止 67
オート スタート / ストップ機能 68
クルーズ コントロール 77
スポイラー 127
スポーツ クロノ ストップウォッチ 129
トランスミッション 185
ナイト ビュー アシスト 195
パークアシスト 209
フロント アクスル リフト システム 222
フロント ワイパー 224
ブレーキ 218
ポルシェ アクティ ブセーフ (警告およびブレーキ アシスト) 233
ライト 249
リヤ クロス トラフィック アラート 261
レーン キープ アシスト 266
レーン チェンジ アシスト (LCA) 269
走行プログラム 297

インストルメント クラスターおよびPCM
インストルメント クラスター 49
ドライビング データの表示（トリップ情報） 184
ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) 236
警告およびインフォメーション メッセージ 92
車両設定 150

エンターテイメントおよびコミュニケーション
ボイス コントロール 228
メディア 247
電話 190

ナビゲーションおよび接続
Apple CarPlay 274
Porsche Connect 278
アプリ 48
デバイス マネージャー 183
ナビゲーション 197

ラゲッジおよびトランスポート
カップホルダー 71
スモーカーズ　パッケージ 132
ソケット 143
ラゲッジ コンパートメント 255
ルーフ トランスポート システム 262
収納スペース 152

モビリティおよび故障修理
けん引 80
ウィンドウ ウォッシャー液 60
エンジン オイル 63
クーラント (冷却水) 75
ジャッキおよびリフティング プラットフォーム ... 121
ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動 122
タイヤおよびホイール 154
テスト スタンドでの点検 182
バッテリー 202
パンク 207
ヒューズ 215
ブレーキ フルード 221
緊急電話システム 290
補給 301
車両のお手入れ 144

テクニカル データ
ソフトウェア ライセンス 323
テクニカル データ 305
無線装置 (EU の地域外) 317

索引 329

ドライビング プレジャーはそのままに、安全性を向上

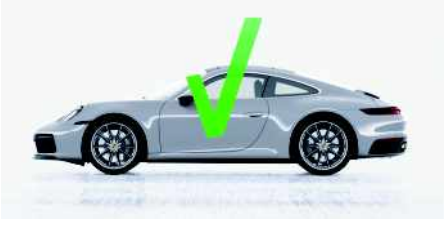
お客様の車両：最高のパフォーマンス、最高のスポーツ性能。 魅力的な体験を満喫できることは間違いありません。 しかし、それはどんな状況でもお客様がリラックスできる場合に限られます。 ですから、ポルシェにとって最高品質の安全をご提供することも、とても重要です。

ポルシェ車の運転中に安全を確保する上で、お客様にどのような役割を果たしていただけるかをこちらで説明します。

完璧なテクノロジー、安全性の前提条件

高品質な素材とスタッフの優れた技術でお客様の車両を末永く見守ります。 車両の能力を十分に発揮させるためには、注意とケアが必要です。 ポルシェにお任せいただければ、重大な局面でもお客様の信頼に応えることをお約束いたします。

車両の損傷および正常な動作の点検



技術的な不具合が生じている車両は、不良な作動挙動などにより事故を招く恐れがあります。

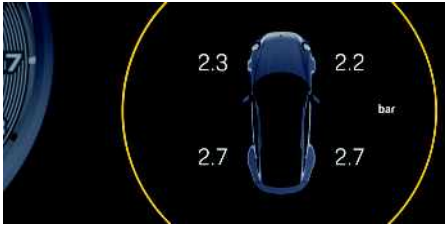
- 車両を定期的に点検し (少なくとも 1 カ月に 1 度および長時間のドライブの前)、良好な状態であることを確認してください。 特に、以下の点に注意してください:
  - タイヤに損傷がない、空気圧が適正でトレッドの深さが十分ある
  - ヘッドライト、ブレーキ ライト、および方向指示器がすべて作動する
  - エアロ パーツに損傷がない
  - ワイパー ブレードに損傷がない
  - ガラスのひび割れまたは損傷がなく、フロントガラス / ウィンドウが妨げられていない
  - ドア ミラーおよびルーム ミラーに損傷がなく、正しい位置になっている
  - センサーおよびカメラにひび割れまたは損傷がない
  - クーリング エア ダクト、センサーおよびカメラが妨げられていない (フィルム、ストーン ガード、ライセンス プレート ホルダーなどで)
- 電話や無線装置は外部アンテナに接続して車内でのみ使用し、車内の電磁波のレベルが限界値を超えないようにしてください。

タイヤの損傷点検

損傷したタイヤは走行中にバースト (破裂) する恐れがあります。 車両のコントロールを失う恐れがあります。

- 走行頻度や状態に応じて少なくとも 1 カ月に 1 度は定期的にタイヤを点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、膨れなどがないか確認してください。 タイヤの側面も必ず点検してください。
- 損傷の疑いがある場合は、ポルシェ正規販売店でタイヤおよびホイール全体の点検を受けてください。
- 損傷したタイヤを装着したままで運転を続け**ない**でください。 損傷したタイヤはただちに交換してください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ空気圧の調整



極端に低いまたは高いタイヤ空気圧は、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。 タイヤ空気圧が低すぎる場合は、燃費が著しく低下する恐れがあります。

- タイヤの種類および積載重量に適したタイヤ空気圧に調整してください。
  - ▷ 「テクニカル データ」の章（305ページ）を参照してください。
  - ▷ 「タイヤおよびホイール」の章（154ページ）を参照してください。
- マルチファンクション ディスプレイのタイヤ空気圧モニタリング メニューの設定が、車両に装着されているタイヤおよび車両の積載荷重と一致していることを確認してください。
  - ▷ 「PCM でのタイヤ空気圧モニタリング (TPM)

の設定」の章（156ページ）を参照してください。

- 赤色のタイヤ空気圧警告がインストルメント パネルに表示されるとき: 直ちに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。 損傷したタイヤを装着したままで運転を続け**ない**でください。 必要に応じてパンク修理剤で応急処置を行ってください。
  - ▷ 「パンク」の章（207ページ）を参照してください。

ライトの点検

ライトが故障すると、周囲が暗いときに視界を確保できなくなります。 他のドライバーがあなたの車両に気づくのが遅れ、事故を引き起こす恐れがあります。 以下のライト類を点検してください:

- パーキング ライト、ロー ビーム、ドライビング ライト、ハイ ビーム
- 方向指示灯、ブレーキ ライト、リバース ライト
- フォグ ライト

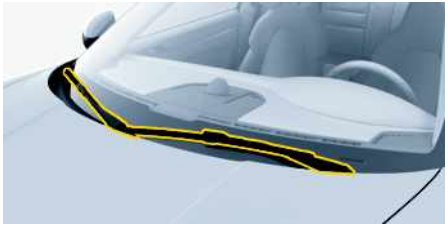
- すべてのライト類が正常に機能していることを確認し、故障したライトは速やかに修理してください。

エアロ パーツの点検

エアロ パーツ (スポイラーまたはアンダーボディ パネル) が損傷または紛失しているとハンドル操作が正常に行えなくなります。

- 車両に損傷の兆候がないか点検します。
- 損傷または紛失した部品は速やかに交換してください。

ウインドウおよびワイパー ブレードを清潔に保ち正常に機能するようにしてください



フロントガラス、ウィンドウが汚れていたり、ワイパー ブレードが故障していたりすると、視界が悪くなり事故の危険が著しく増大します。

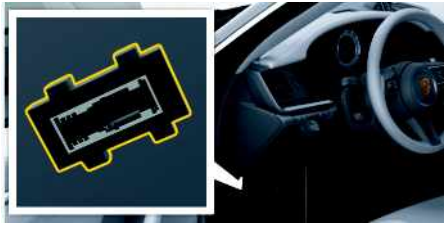
- 車両およびフロントガラス / ウインドウはきれいな状態を保ってください。
- 凍結したワイパー ブレードは溶かし、フロントガラスから動くようにします。
- ワイパー ブレードは定期的に、または少なくともフロントガラスに筋が残るようなら交換します。
  - ▷ 「フロント ワイパー」の章（224ページ）を参照してください。

点検および仕様変更は、必ずポルシェ正規販売店で行ってください。

車両の仕様を変更すると、悪影響が及んだり安全機能を無効にしたりする恐れがあります。 認可されていない作業の実施は、保証期間内であっても請求が無効になることがあります。

- 車両のすべての点検および仕様変更は必ずポルシェ正規販売店で行ってください。 これにより、車両の信頼性と走行安全性を保証し、車両の不完全な整備の結果として生じる損傷を防ぐことができます。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

故障診断用ソケット



故障診断用ソケットは、ポルシェ正規販売店で故障診断機器を接続するために使用されます。
外部装置 (ナビゲーション ユニット、ヘッドアップ ディスプレイなど) を故障診断用ソケットに接続した場合、車両システムの機能に支障をきたしたり、イグニッションを OFF にしたときにバッテリーを消耗させたり損傷 (完全放電) させたりする恐れがあります。 外部装置やケーブルはペダル周辺で邪魔になったり、ブレーキを踏んだ時や方向転換をした時にペダルに引っ掛かったりする恐れがあります。

- いかなる装置も故障診断用ソケットに接続しないでください。
- いかなる装置やケーブルも運転席フットウェルに置かないでください。

ポルシェのスペア パーツ

- お客様の車両専用のポルシェ純正スペア パーツ、またはポルシェ社が要求する性能、品質基準を満たす同等部品のみを使用してください。 これにより、車両の信頼性と走行安全性を保証し、車両の不完全な整備の結果として生じる損傷を防ぐことができます。 これらの部品はポルシェ正規販売店から入手できます。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ポルシェ テクイップメントの範囲またはポルシェが検査し認定したアクセサリーのみ使用してください。 ポルシェテクイップメントについての情報は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

インフォメーション

他社製のスペア パーツまたはアクセサリーを使用し、それにより損傷などが発生した場合、ポルシェ社はいかなる責任も負いかねます。 スペア パーツやアクセサリーを供給しているメーカーが認定メーカーであっても、車両の安全性が損なわれる恐れがあります。
ポルシェ社の承認していないスペア パーツまたはアクセサリーを使用すると、車両の保証が適用されないことがあります。

荷物、安全装備、車両に子供を乗せるとき：ポルシェ ドライバーへの注意事項

ポルシェ車は 100 km/h を超えるまでわずか数秒という加速タイムを誇ります。 このパワーを思いのままに操るには、走行前に万全の準備をして安全を確保する必要があります。
それで、ドライブの準備をする時と同じ思いで、この車の使用についての資料をお読みください。

あなたの命を守る：シート ベルトの正しい使用方法

シート ベルトは、正しく使用し正常に機能している場合にのみ、怪我から守ってくれます。

インフォメーション

シート ベルトを着用しない場合、30 km/h という低速でも重症を負う場合があります。 安全装備は、組み合わさって機能する場合にのみ、乗員を保護します。 例えば、エアバッグはシート ベルトも正しく着用している場合にのみ保護機能が正常に働きます。

- 短い距離の運転であっても、必ずシートベルトをしっかりと着用してください。
- 1 つのシート ベルトが固定するのは、乗員 1 人だけです。
- だぶついた衣服、厚手の衣服 (例：冬物コート) は脱ぐようにしてください。
- 硬い物または壊れやすい物の上からシートベルトを締めないでください (例：メガネやボールペン)。
- シート ベルトがねじれないようにしてください。
- 使用していないシート ベルトは、必ず完全に格納するようにしてください。
- 妊婦の場合：妊娠中の運転手または乗員は、腰ベ

ルトを腹部の下に位置するようにし、肩ベルトを胸部に緩みなく装着する必要があります。

- 摩耗または損傷している場合は、ベルト、ベルトバックルまたは取り付け部を交換してください。
  - ▷ 「シート ベルト」の章（118ページ）を参照してください。

エアバッグ

エアバッグは、乗員全員がシート ベルトを着用し正しく着席している場合にのみ、保護機能を発揮します。荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

- 乗員とエアバッグが展開する間のエリアに、人や動物がいないように、また物がないようにしてください。
- エアバッグから一定の距離を保ってください。例えば、ドアの内側にもたれかからないでください。 走行中、足は常にフットウェルに置いてください。 ダッシュボードやシート クッションの上に足を乗せてはなりません。

手を加えたエアバッグは、保護効果を発揮しません。作動しなかったり、予期せぬタイミングで作動したりする恐れがあります。 予期せぬタイミングでエアバッグが作動すると、重症を負う可能性があります。

- シート カバーを装着しないでください。
- ステアリング ホイールまたはエアバッグ付近にアクセサリーを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- エアバッグの配線の近くには、アクセサリー類の配線を取り付けないでください。
- エアバッグの部品を取り外さないでください (例：ステアリング ホイール、フロント シート、天井の内張り)。
- エアバッグの配線や部品を改造しないでください。
  - ▷ 「エアバック」の章（61ページ）を参照してください。

車内の荷物をすべて固定する

車内の荷物を固定しなかったり不適切な位置に載せたりすると、ブレーキやステアリングを操作したとき、加速時、または事故の際に、滑って動き回る可能性があります。 これは乗員を危険にさらし、怪我につながる恐れがあります。

インフォメーション

例えば、50 km/h (30 mph) で衝突した場合、固定していない荷物はその重量の最大 50 倍の力で前方に投げ出される可能性があります。 例えば、1.5 L のペットボトルの水が室内を飛んだ場合、最大 75 kg の力がかかります。

- 荷物を運ぶ場合には必ず固定してください。
- 例えばラゲッジ コンパートメント内で、荷物は必ず固定して積載してください。
- 小さな物は小物入れに収納し、小物入れをすべて閉じてください。 小物入れから荷物が決してはみ出ないようにしてください。
- ダッシュボードの上には絶対に物を置かないでください。
- タイ ダウン ベルトで荷物を固定してください (引き裂き強度は最低 700 kg)。
- 小物入れのカバーを開けた状態で重い物を運ばないでください。
- また、乗員に安全対策についての情報を提供してください。

正しくポルシェに荷物を積載し、収納するために：

- ▷ 「収納スペース」の章（152ページ）を参照してください。
- ▷ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（255ページ）を参照してください。

挟み込み防止

以下の車両部品の可動範囲に人や動物がいると、巻き込まれたり挟まれたりする可能性があります。 特に次の部品が含まれます:

- 調整式フロント シート
- ドア
- ウィンドウ
- スライディング / チルティング ルーフ
- フラップおよびリッド

– 小物入れのリッド

▶ これらの車両部品を動かすときには可動範囲に人や動物がいないことを確認してください。

子供の行動を監視する

子供は危険を正しく判断できないことが多く、危険な状況で不適切に行動する場合があります。
子供は誤って自動設定 (座席調整など) を作動させて怪我する可能性があります。 子供は緊急な状況 (車内の過熱状態など) で車両から降りられない場合があります。 これは、特に小さな子供にとって命に関わります。

▶ 高温部品 (排気テールパイプなど) や作動中の部品に子供が近づかないようにしてください。
▶ 有毒物質 (タイヤ シーラントやエンジン オイルなど) は子供の手の届かないところ置いてください。
▶ お子様だけを車内に残さないでください。

チャイルド シート システムを安全に使用

チャイルド シート システムは、正しく装備された場合にのみ動作します。

▶ ポルシェによって承認されているチャイルド シート システム**のみ**を使用してください。
▶ チャイルド シート システムを使用する前に：本マニュアルに加え、チャイルド シート システムのメーカーの取扱説明書を読み、従ってください。
  ▷ 「チャイルド シート」の章（172ページ）を参照してください。

安全で優れたドライビング：いつでも適切な判断力を発揮

ポルシェはオールラウンダーな車です。 ローンチ コントロールから緊急ブレーキ機能まで - この車で走り出せば、すべてが可能になります。とはいえ、1 日の終わりに車両を正常な状態に保っておくことは、ユーザーの責任です。

注意力の低下を防ぐ

運転中に PCM やその他の装置を操作すると、周囲の交通状況に対する注意力が低下し、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。 安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

▶ 運転中にミラーやシート、ステアリング ホイールの調整は行わないでください。 シートやステアリング ホイールが思った以上に動く場合があります。 車両のコントロールを失う恐れがあります。 運転前にミラー、シート、ステアリング ホイールの位置調整を行ってください。
▶ マルチファンクション ステアリング ホイールやインフォテインメント システムなどの運転中の使用は、交通状況が許す場合のみにしてください。 不確かな場合は、安全に操作できるよう停車してください。
▶ 運転中は携帯電話やその他の携帯機器を使用しないでください。
▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。
▶ 運転中にステアリングのスポークの間からボタンを押さないでください。 これらを遵守しない場合、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。

雨天や降雪時のブレーキの挙動についての把握

大雨の中で水たまりを走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキ内に水が浸入する可能性があり、ブレーキの反応が遅れたり、ブレーキ ペダルを踏み込む時に普通以上に力が必要になったりすることがあります。
さらに、冬季の路面を長距離にわたって走行すると、ブレーキ ディスクやパッドに被膜ができて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキ性能も低下することがあります。

- 特に停車前には、ブレーキが乾いた状態になるようブレーキをかけてください。 このようにすると腐食を防ぐことができます。
- ブレーキが腐食すると激しい振動が発生しやすくなります。 ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ブレーキ システムの点検を受けてください。

適切なタイヤと適切な運転スタイル

▷ 「タイヤおよびホイール」の章（154ページ）を参照してください。

走行中にハンドルをとられたり、振動が発生したりした場合の適切な反応

タイヤや車両に損傷があると、走行中にハンドルをとられたり振動が発生したりすることがあります。 車両のコントロールを失う恐れがあります。

- 直ちに減速してください。ただし急ブレーキをかけないでください。
- 停車してタイヤを点検してください。 不具合原因がわからないときは、慎重に運転し不具合の修理を受けてください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤの安全な状態を維持

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト (破裂) する恐れがあります。 タイヤを保護するように運転し、タイヤの損傷を防いでください。

- 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。
- 段差が大きな縁石や、尖った縁石を乗り越えないでください。

新しいタイヤの慣らし運転

新しいタイヤはグリップ性能を十分に発揮できず、スリップしやすくなります。

- 新品のタイヤを装着してから最初の 200 km は、抑制した速度で慣らし運転を行ってください。

ウィンター タイヤでの走行

ウィンター タイヤには最高速度が指定されています。最高許容速度を超えると、タイヤがバースト (破裂) する恐れがあります。

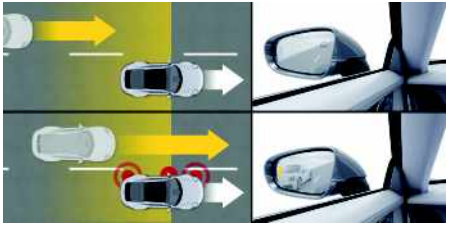
- 装着しているタイヤの最高許容速度を超えて走行しないでください。
- 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。 法定速度を遵守してください。
- インストルメント パネルで最高許容速度を制限速度として設定します：
  ▷ 「インストルメント クラスター」の章（49ページ）を参照してください。

サマー タイヤでの走行

外気温度が 15 °C 未満のときに駐車操作やステアリング操作を行うと、ノイズが発生する場合があります。

- 外気温度が 7 °C を下回る場合、ウィンター タイヤに交換してください。

アシスタント システムおよびその制限



車両には、安全性と乗り心地を高めるアシスタンス システムが装備されています。
ただし、これらのシステムのいずれも物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- 走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。 アシスタンス システムは、不適切な運転スタイルによる事故の危険性を低減することはできません。
- アシスタンス システムを過信せず、安全運転を心がけてください。 周囲の交通状況に適切な反応ができるように、常に慎重な運転をしてください。
- 使用する前に、アシスタンス システムについて十分に理解してください。

アシスタンス システムについては次をご覧ください:

アダプティブ クルーズ コントロール (ACC)	▷ p. 41
アンチロック ブレーキ システム (ABS)	▷ p. 281
アクティブ パーキング サポート	▷ p. 31
アクティブ レーン キープ	▷ p. 37
リヤ クロス トラフィック アラート	▷ p. 261
HOLD 機能	▷ p. 276
オートマチック ヘッドライト、PDLS プラス、ダイナミック ハイビーム	▷ p. 249
ナイト ビュー アシスト	▷ p. 195
パークアシスト、リバース カメラ、サラウンド ビュー	▷ p. 209
ポルシェ アクティブ セーフ (PAS)	▷ p. 233
ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)	▷ p. 277
ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)	▷ p. 281
タイヤ空気圧モニタリング (TPM)	▷ p. 154
レーン キープ アシスト	▷ p. 266
レーン チェンジ アシスト (LCA)	▷ p. 269
クルーズ コントロール	▷ p. 77

緊急ブレーキ機能

通常のフットブレーキが故障している場合などは、電動パーキング ブレーキを使用してフル ブレーキをかけることができます。
緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。 そのために後続の車両が危険にさらされる可能性があります。

- 緊急ブレーキ機能は緊急時にのみ使用し、通常走行時の使用は避けてください。
- 緊急ブレーキ機能を作動させるには、スイッチ Ⓟ を引き続けてください。 ブレーキを解除するには、スイッチを放してください。
  - ▷ 「ブレーキ」の章（218ページ）を参照してください。

荷物積載時の運転

車両の操縦性は積載量によって変化します。 ルーフ トランスポート システムを使用しているときは、空気抵抗も大きくなります。

- ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ルーフ トランスポート システムを装着して荷物を積載しているときは、130 km/h を超える速度で走行しないでください。
- 装着したルーフ トランスポート システムに荷物を載せていないときは、180 km/h を超える速度で走行しないでください。
- 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。

ローンチ コントロールを使用した発進

発進時にローンチ コントロール機能が作動していると、車両は急加速します。 特定の状況では (路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど)、車両の制御が失われたり、他の道路利用者に危険がおよんだりする恐れがあります。

- 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限ってローンチ コントロールを使用してください。
- ローンチ コントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険が及ばないようにしてください。
  - ▷ 「トランスミッション」の章（185ページ）を参照してください。
- スポーツ エキゾースト システムを排気音最適化モードに切り替えて、非常にスポーティーなドライビング スタイルをすると、騒音レベルが大幅に

増加します。 そのため、社会的な責任を考慮に入れて、近隣への配慮をしてください (特に夜間)。

警告音への適切な反応

システムが故障または不良部品を検知すると、下記の機器から警告灯の点灯またはメッセージによりドライバーに警告が行われます：インストルメント パネルまたは PCM. 車両の警告信号を無視すると、事故、ケガおよび車両の損傷の恐れが高まります。

- 警告に適切に対応できるよう、運転の開始前に警告灯およびメッセージの意味を十分に理解してください。必要な場合は運転を停止してください。
  - 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（92ページ）を参照してください。
  - 「インストルメント クラスター」の章（49ページ）を参照してください。

給油時の危険

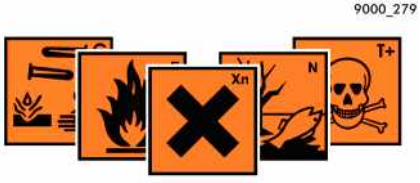
燃料は非常に引火性が高く、激しく燃えたり爆発を起こしたりする可能性があります。 また、燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- 給油の際、火炎、裸火、喫煙は禁止されています。
- 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。
  - 「補給」の章（301ページ）を参照してください。

事故の際、車内に置いたスペアのキャニスターが損傷すると、燃料漏れが発生し、発火または爆発につながる恐れがあります。

- スペアのキャニスターは車内に携行しないようにしてください。

有害なフルード



燃料だけでなく、エンジンおよびトランスミッション オイル、バッテリー液、クーラント、およびブレーキ フルードも人体には有害です。

- 屋外または十分に換気されている場所でのみ、車両の作業を行ってください。
- フルードのコンテナーには必ず適切なラベルを貼付し、子どもの手の届かないところに保管してください。
- フルードの残留物の廃棄は、規制に従い環境に影響が少ない方法で行ってください。

エンジン オイルは発火する可能性があります。 エンジン オイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。

- 布で飛散したエンジン オイルを吸い取ってください。
- エンジン オイルが浸み込んだ布は、廃棄するまで換気の良い場所で保管してください。

有毒な排気ガス

排気ガスに含まれる無色無臭の一酸化炭素は、低濃度でも有毒です。

- 停車時はエンジンを切ってください。 閉鎖された空間では、不必要にエンジンを作動したままの状態にしないでください。
- エンジンを作動した状態での作業は、屋外、または排気ガスの適切な排気システムが備わっている環境でのみ行ってください。

安全な駐車

車両を適切に駐車しなかった場合、不意に動き出し人や物に損傷を与える恐れがあります。
車両から離れる前に、以下の点に注意してください：

- エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
- PDK 装備車: セレクター レバーの P ボタンを押して、トランスミッション パーキング ロックを作動させます。 インストルメント パネルで作動モード P が点滅している場合、パーキング ロックが正しくかかっていません。 セレクター レバーでもう一度 P ボタンを押すか、イグニッションを OFF にしてください。
  イグニッションが OFF になると、トランスミッション パーキング ロックが自動的にかかります。
- マニュアル トランスミッション装備車: 1 速またはリバース ギヤに入れてください。

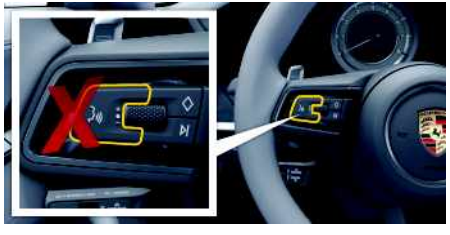
エンジン作動中およびエンジンを停止してからしばらくの間は、エキゾースト システムが非常に高温になっています。 火傷を負ったり、火災に至ったりする恐れがあります。

- 可燃物 (乾燥した草や枯れ葉など) が高温のエキゾースト システムに接触する恐れのある場所に駐車しないでください。
- 車両後方に立つときは、テールパイプから安全な距離を保ってください。
- 子供がテール パイプの熱で火傷をしないように注意してください。

万が一の場合に備えて：故障または緊急時の安全確保

故障時には、安全のため以下の情報に注意してください。

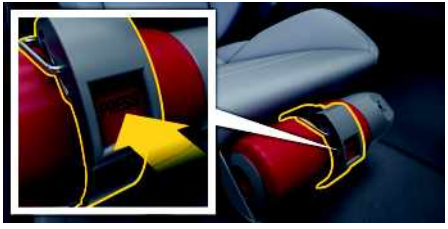
緊急時はボイス コントロールを使用しない



緊急時は緊張のために声が変わり、ボイス コントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。

- 緊急時はボイス コントロールを使用**しない**でください。

消火器を取り外す



該当する車両で利用可能な場合、消火器は助手席の下に配置されています。

- 片手で消火器を持ち、もう片方の手で消火器ホルダーの PRESS ボタンを押します。

消火器を正しく安全に使用するために、以下の点を守ってください。

- 消火器の検査間隔を遵守してください。 消火器が検査間隔を超過して使用される場合、もはやその機能は保証されません。
- 消火器の取扱説明書に従ってください。
- 消火器メーカーによって供給された、消火器ハンドル上のリーフレットの安全に関する指示に従ってください。
- 消火器は、正しく使用するために 1 ～ 2 年毎に修理工場で点検を行ってください。
- 消火器を使用した後は消火剤を再充填してください。

車両で作業する際の注意事項

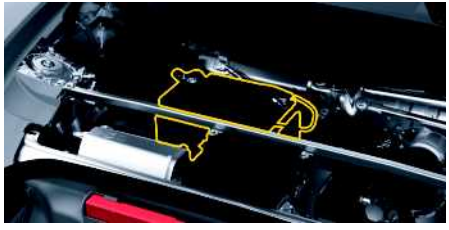
エンジンの作動中は、エンジン コンパートメント内のエンジンおよび周辺部品が非常に高温になります。
クーラント タンクには圧力がかかっています。
ファンはいつでも自動で作動する可能性があります。

- エンジンを OFF にして、可能であれば冷やしてください。
- 身体の一部、衣服、長い髪、アクセサリーなどは、ファンやドライブ ベルトなどのすべての可動部品から遠ざけてください。
- 高温部品から守るため保護手袋を着用してください。
- 水平な場所に停車し、エンジンが冷えているときのみクーラントを補充してください。 エンジンが熱いときにクーラント タンクを **開けない** でください。

車両で特定の作業を行う際は、保護装備 (切り傷防止用の手袋など) を着用する必要があります。

- 車両の作業は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ジャンパー ケーブルによる始動



不適切なジャンパー ケーブルまたは不正な始動手順は、短絡の原因となり火災が発生する可能性があります。
さらに、自動的に始動する部品 (ラジエーター ファンなど) により、エンジン コンパートメント内で負傷するリスクがあります。
ジャンプ スタートを提供または受ける前に：

▹ 「ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動」の章（122ページ）を参照してください。

けん引

PDK 装備車

けん引または押しがけによる始動により、車両に重大な損傷を与える危険があります。

- けん引または押しがけによる始動は**行わない**でください。
- 車両をけん引するまたは車両がけん引される前に：
  - ▹ 「けん引」の章（80ページ）を参照してください。

マニュアル トランスミッション装備車[1]

けん引時は事故を起こす危険が高まります。 パワー アシスト機能が作動しないため、ハンドルを動かすのに力が要ります。 ブレーキ ブースターが作動しない場合は、ブレーキ ペダルを踏むのに大きな力が必要となります。

- けん引時にエンジンが停止している場合、またはパワー アシスト機能またはブレーキ ブースターが作動しない場合は十分に注意してください。
- ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。
  - ▹ 「けん引」の章（80ページ）を参照してください。

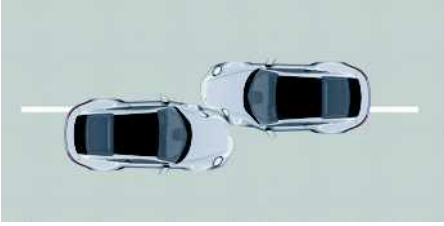
パンクしたとき

損傷したタイヤで走行するときは、速度によっては安全にステアリングを操作できなくなる恐れがあります。

1. 装備は、後でしか使用できない場合や、特定の市場でしか使用できない場合があります。

- 決してパンクしたタイヤで走行**しない**でください。
- 安全な場所に正しく停車して、不具合を修理してください。
  - ▷ 「パンク」の章（207ページ）を参照してください。

衝突後



衝突後は、安全装備 (例：シート ベルト プリテンショナーおよびエアバッグ) が作動しない場合があります。これにより、安全装置によって保護することができなくなります。

- 安全装置が作動していなくても、点検を受けてください。
- 一度作動した安全装置は必ず取り替えてください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

発炎筒

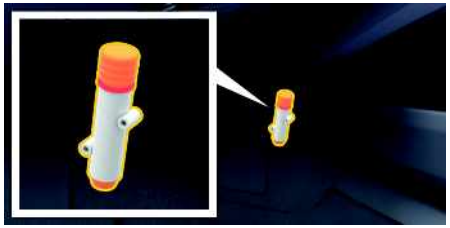


図 1

発炎筒は、事故や故障で路上に停車したとき、 周囲に危険を知らせるために使用します。 発炎筒は、助手席足元前部のドア側に固定して あります。

⚠ 警告 火傷や火災につながる恐れがあります。

- 燃料などの可燃物の近くでは使用しないで ください。引火する恐れがあります。
- 発炎筒を使用するときは、顔や身体に向け たり、近づけないでください。火傷をする 恐れがあります。
- お子様がさわらないように注意してくださ い。誤って使用すると火傷をしたり、車を 損傷する恐れがあります。

⚠ 注意 トンネルの中などで使用すると、事故につなが る恐れがあります。

- トンネルの中など換気が悪い場所で使用す ると、発炎筒の煙で視界が遮られて事故に つながる恐れがあります。必要に応じてハ ザード ランプを使用してください。

発炎筒の使い方

1. キャップを外します。本体をひねりながら、 ケースから取り出します。
2. 本体を逆に向けて、ケースに差し込みます。
3. 本体の点火部を、キャップの擦り薬でこす ると着火します。

知識

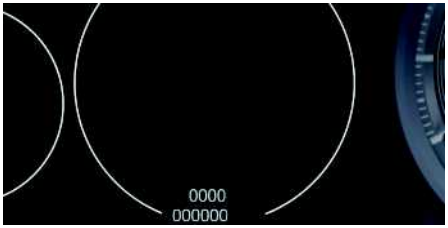
- 発炎筒の燃焼時間は約5 分間です。
- 発炎筒には有効期限があります。表示して ある有効期限が切れる前に、新しい発炎筒 に交換してください。ポルシェ正規販売店 にお問い合わせください。

お出かけの前に：車両に関する重要な情報

シート

フル バケット シート装備車は 2 シーターです。 シート後部エリアに乗員は乗車できません。

車両の慣らし運転



新車時は可動部品同士を馴染ませる慣らし運転を行う必要があります。 新車の場合、走行距離が 3,000 km に達するまで慣らし運転が必要となります。 この期間は、オイルと燃料の消費量が通常よりも若干多くなります。

慣らし運転期間は次の点に注意して運転してください:

- なるべく長距離走行をする。 可能な限り、冷えた状態での発進、短距離走行を繰り返さないようにする。
- モーター レース イベント、スポーツ ドライビング スクール、またはこれに類似したものに参加しない。
- エンジンを高回転域 (4,000 rpm を超える) まで回さない。 エンジン冷間時は低回転域で運転してください。

新しいブレーキ パッドの慣らし運転

車両を数百マイル走行させると、新しいブレーキ パッドおよびブレーキ ディスクが「慣らされる」ことになり、そうすることで初めて最適な摩擦に到達します。

ブレーキ性能が若干減少している場合、ブレーキ ペダルを踏むときに普段より大きな力が必要になります。ブレーキ パッドまたはブレーキ ディスクを交換した場合もこれと同じ状況になります。

地上高に注意する

この車両は地上高が低いため、路面に接触しやすくなります。

- 急な傾斜路での走行は避けてください。
- 以下の状況では注意して運転してください:
  - 立体駐車場など、急勾配の上り坂や下り坂を走行するとき
  - 縁石
  - 凹凸のある路面を走行するとき
  - リフティング プラットフォーム

フロント アクスル リフト システム装備車両：車体のフロント部 (フロント スポイラーの前端部) を約 40 mm 持ち上げることができます。

サーキット走行

公道走行時に比べて、レース サーキット走行には過度に高い車両負荷が伴います。レース専用車両は、点検および構成部品の整備間隔が短いため、その負荷に耐えることができます。 これには、各レース サーキット セッション後に点検を実施し、必要に応じて個別に構成部品を交換し、規定された期間後には部品全体をオーバーホールすることが含まれます。

- レース サーキットで走行する前に最新の規約について必ず確認してください。ポルシェ正規販売店にお尋ねください。

サーキット走行終了後は「クーリング ラップ」走行を実施し、大きな熱負荷が加わったシャーシ コンポーネントの温度を下げる必要があります。 車両をすぐに停車すると、熱を効果的に冷却できないことによって構成部品の温度を更に上昇させる結果に繋がります。 これにより、個々の構成部品に修復不能な損傷を与える恐れがあります。

ブレーキ システム

ブレーキ液は時間とともに空気から湿気を吸収します。 この水分吸収が沸点を下げ、高温でのブレーキ効率を大幅に低下させる可能性があります。

レース サーキット走行時、ブレーキ パッドおよびブレーキ ディスクには非常に高い負荷がかかります。

- ブレーキ液が 12 か月以上経過している場合、レース サーキット走行前にブレーキ液を交換してください。
- レース サーキット走行の前後に、ブレーキ パッドおよびブレーキ ディスクの摩耗点検を行ってください。

タイヤ

レース サーキット走行時、タイヤにも非常に高い負荷がかかります。

- レース サーキット走行の前後に、タイヤの摩耗点検を行ってください。
- レース用タイヤを装着しないでください。 ポルシェはレース用タイヤを承認していません。

エンジン オイル

- レース サーキット走行の前後に、エンジン オイル レベルを確認します。
  - ▹ 「エンジン オイル」の章（ 63ページ）を参照してください。

セントラル ロック

- ▶ レース サーキットでの走行前、必要な場合は走行中、走行後にセンター ホイール ボルトの締め付けトルクの点検を実施してください。
- ▶ レース サーキットでの走行後は必ずすべてのセンター ロック部品の摩耗を点検し、必要に応じて交換してください。
  - ▷ 「セントラル ホイール ロック付きホイールの交換」の章（ 162ページ）を参照してください。

▷ 「サーキットでの走行 (スポーツ ドライビング スクール、モーター スポーツ イベントなど)」の章（ 170ページ）を参照してください。

海外での走行の前に

ポルシェのすべてのモデルがすべての国で販売されているわけではありません。 そのため、スペア パーツが利用できないかもしれず、ポルシェ正規販売店がすべての修理作業を実施できないかもしれません。
海外で走行する前に、次の情報をご確認ください。

- 車両故障時に修理を受けることができますか?
- 車両は技術的調整を必要としていますか?
- 燃料のオクタン価レートは十分ですか?
- 左側 / 右側通行の違いに合わせてヘッドライトを切り替える必要がありますか?

▷ 「車両設定」の章（ 150ページ）を参照してください。

車両のデータ処理

車両には電子コントロール ユニットが取り付けられています。 車両の安全上必要なものもあれば、走行時にアシストするもの (ドライバー アシスタンス システム) もあります。 さらに、車両には電子コントロール ユニットにより実現可能になったコンフォート機能およびエンターテイメント機能が装備されています。
各車両には固有の車台番号があります。 この車両識別番号 (VIN) は、欧州連合内の地方自治体を通じて、車両の現在の所有者と以前の所有者までさかのぼることができます。 車両登録番号の使用など、車両から収集されたデータをオーナーまたはドライバーまでさかのぼって追跡する他の方法もあります。

車両のテクニカル データの保存

電子コントロール ユニットには、車両ステータス、構成部品の負荷、サービス要件、イベントまたは故障に関する技術的な情報を一時的または恒久的に保存できるデータ メモリーがあります。 一般的に、この技術な情報には、次に挙げる構成部品、モジュール、システムまたは環境のステータスが記録されています。

- システム構成部品の作動モード (例: 給油レベル)
- 車両および個々の構成部品 (例: ホイール回転数、速度、減速、横加速度) に関するステータス メッセージ
- 重要なシステム構成部品の故障 (例: ライト、ブレーキ)
- 車両を損傷する可能性のあるイベントに関する情報
- 特別な走行状況での車両の反応 (例: エアバッグの展開、安定性コントロール システムの作動)
- 環境要因 (例: 温度)

このデータは、車両が実際に機能するために使用され、さらに故障の検出や修理、メーカーによる車両の機能の最適化にも使用されます。 このデータの大半は蓄積されることなく、車両内でのみ処理されます。
データのわずかな一部分のみがイベント メモリーまたは故障メモリーに保存されます。 さらに、車両には電子コントロール ユニットにより実現可能になったコンフォート機能およびエンターテイメント機能が装備されています。

テクニカル データの読み出し

必要に応じて、有償でワークショップなどの技術専門家の助けを借りて、車両にのみローカルで保存されたデータを読み出すことができます。 このために法定規定が存在する個々のケースでは、政府機関の要請に応じてメーカーが保存したデータを必要な範囲で開示することが、メーカーとしてのポルシェに義務付けられる場合があります (例 : 犯罪行為の場合の事実認定のため)。
車両の整備時、サービス ネットワーク作業者 (例: ワークショップ、ロード サービス、メーカー) は、車両からこの技術な情報を読み出すことになります。 サービスには修理サービス、サービス プロセス、保証請求および品質保証基準が含まれます。 データは、車両の OBD (オンボード診断) への、法的に規定された接続を使用して読み出されます。 データは、該当するサービス ネットワークのスタッフにより収集され、処理され、使用されます。また、製品監視義務に準拠し、あるいは品質の向上などのためポルシェに送信される場合があります。 車両の故障メモリーおよびイベント メモリーは、修理またはサービス実施と共に修理ワークショップでリセットされる可能性があります。

車両の機能の利用

選択された装備オプションの範囲内で、マルチメディアおよびアドレス帳データなどの情報、またはナビ

ゲーション目的地およびその他の設定を車両のコンフォート機能およびインフォテインメント機能に入力できます。 このデータは車両にローカル保存されるか、車両に接続しているデバイス (例: スマートフォン、USB スティック、MP3 プレイヤー) に保存されます。 車両においてこのデータを保存したデバイスで、いつでもデータを消去できます。 特にオンライン サービス利用時には、ユーザーが要求した時にのみ、選択した設定に合わせて第三者にこのデータが送信されます。

車両に必要な装備がある場合は、接続したスマートフォンまたは他の携帯機器を、車両に内蔵されたコントローラーを使用して制御可能です。 スマートフォンの画像およびサウンドをマルチメディア システムから出力できます。 特定の情報をスマートフォンに転送することもできます。 これには、車両全般の情報または位置データ (該当する装備品のタイプにより異なる) などが含まれます。 この機能により、ナビゲーション システムまたは音楽再生など、スマートフォンで選択したアプリを最適な方法で使用できるようになります。 スマートフォンによる車両データへの能動的なアクセスは行われません。 スマートフォンが受信したデータを処理する方法は、使用している該当アプリの提供者が定めます。 スマートフォンのアプリやオペレーティング システムによって、設定を構成できるかどうか、構成できるのであればどの設定を構成できるかが異なります。

オンライン サービスの使用

車両にワイヤレス ネットワーク接続がある場合は、これを使用して車両と周囲および他のシステム間でデータの交換が可能です。 車両の送受信ユニットまたは接続した携帯機器 (スマートフォンなど) により、ワイヤレス ネットワークに接続可能です。 ワイヤレス ネットワーク接続により、オンライン機能を使用できます。 これにはポルシェまたは他のプロバイダーによる、利用可能なオンライン サービスおよびアプリケーション / アプリが含まれます。

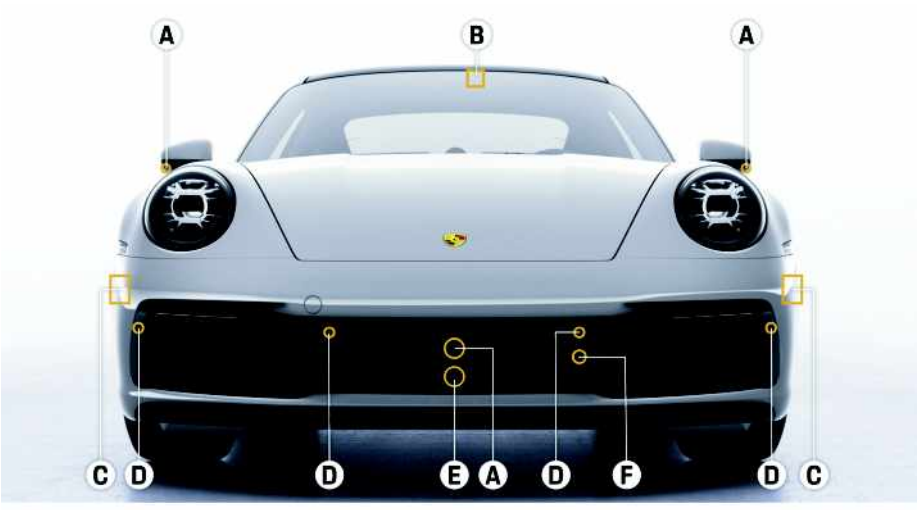
ポルシェ オンライン サービスでは、様々な機能が適切な場所 (例: Porsche Connect ウェブサイト) にまとめられており、関連するデータ保護規定情報が提供されます。 オンライン サービスの提供のため個人データが使用されることがあります。 必要なデータ交換は保護された接続を経由して行われます。この目的でポルシェ IT システムなどが構築されています。 サービス提供に必要なものを超えた個人データの収集、処理、使用は、法的な認可または承諾に基づいてのみ行われます。

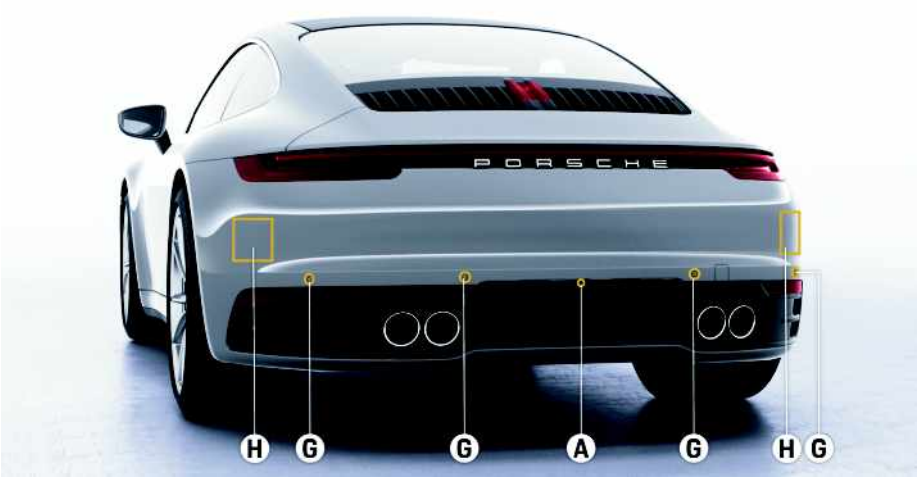
通常、サービス (有料の場合が多い) や機能を、場合によっては車両のデータ接続全体を、有効または無効にできます。 これに含まれないのは、法律で要求された特定の機能とサービスです。

他のプロバイダーのオンライン サービスを使用するためにオプションが存在する場合、それらは該当するプロバイダーの責任であり、そのプロバイダーのデータ保護ポリシーおよび使用規約の対象です。 この場合、ポルシェはデータ交換に何の干渉もしません。 それゆえ、第三者サービスにおけるそうしたデータ収集や個人データの使用の種類、範囲および目的に関する情報は、該当するサービス プロバイダーから入手してください。

概観図

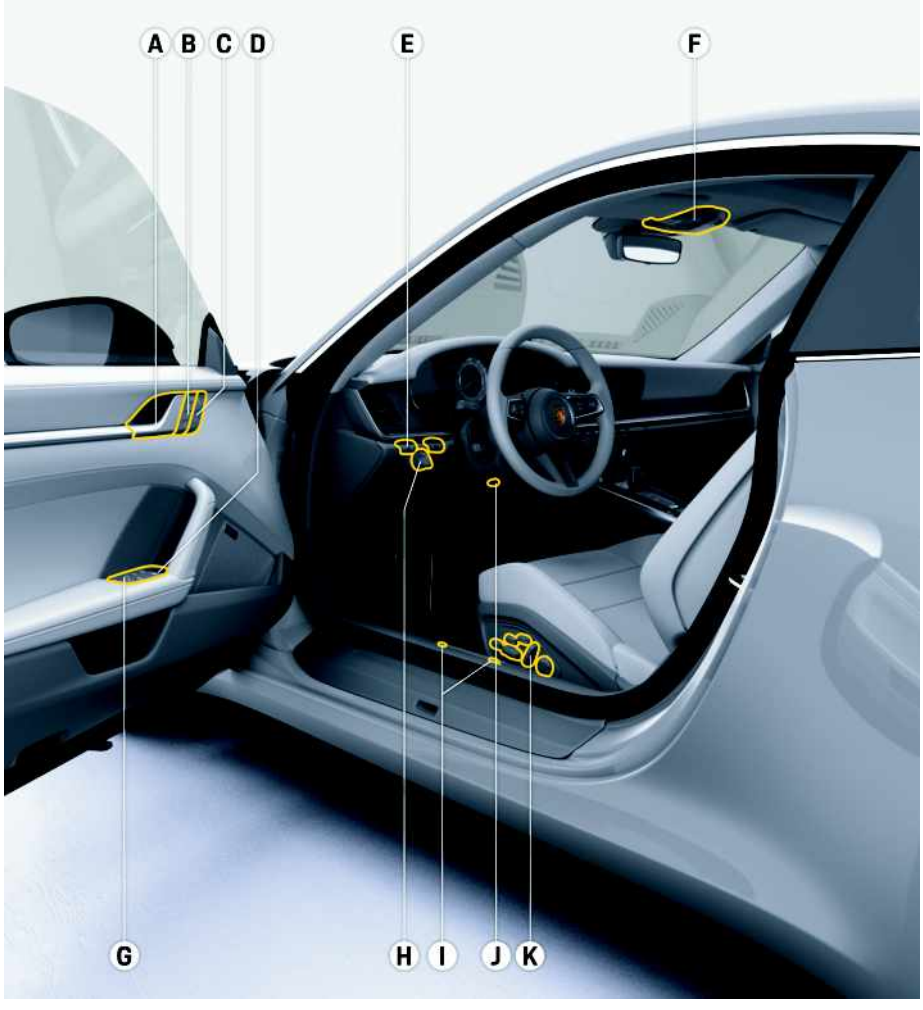
以下のページでは、車両のすべての部位の外観図が、簡単な説明文とともに表示されます。詳細な情報は関連ページでご確認いただけます。





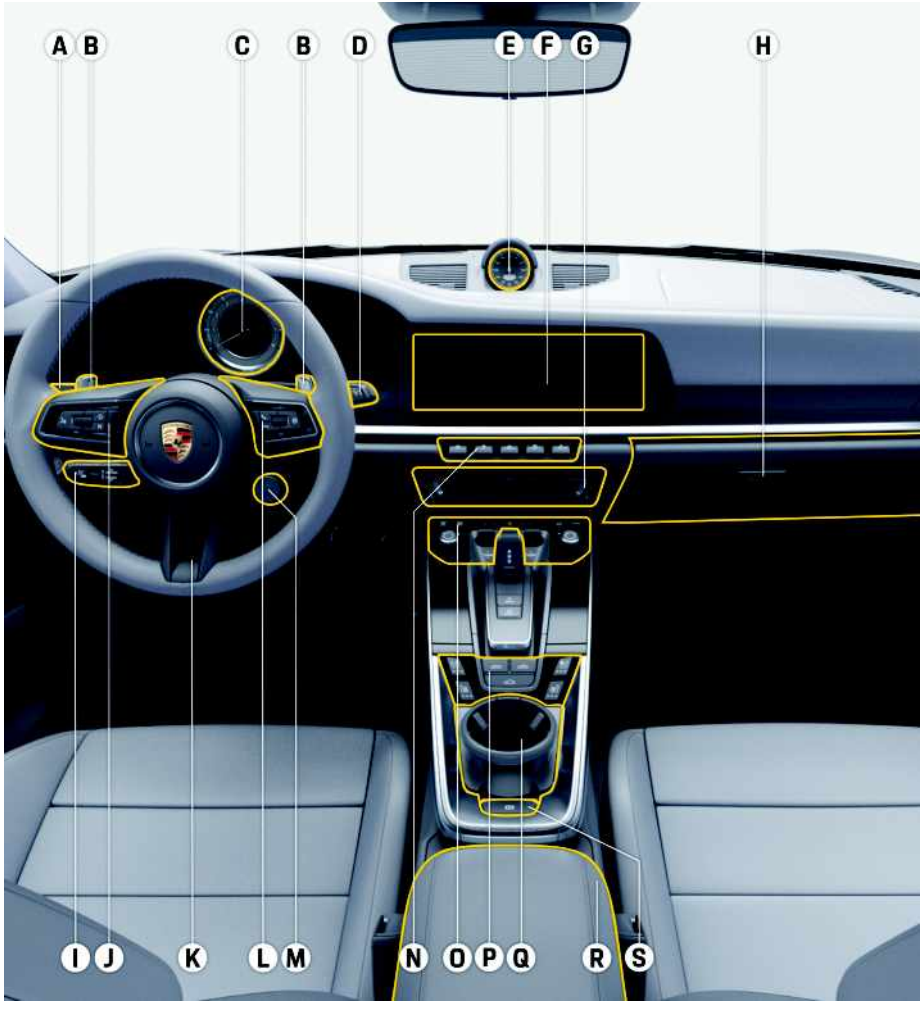
センサーおよびカメラ

A	サラウンド ビュー	p. 209
B	アクティブ レーン キープ	p. 37
	レーン キープ アシスト	p. 266
	ダイナミック ハイ ビーム	p. 249
	ポルシェ アクティブ セーフ (警告およびブレーキ アシスト)	p. 233
C	アクティブ レーン キープ	p. 37
	ポルシェ アクティブ セーフ (警告およびブレーキ アシスト)	p. 233
D	パークアシスト	p. 209
E	アダプティブ クルーズ コントロール (ACC)	p. 41
	アクティブ レーン キープ	p. 37
	ポルシェ アクティブ セーフ (警告およびブレーキ アシスト)	p. 233
F	ナイト ビュー アシスト	p. 195
G	パークアシスト	p. 209
H	アクティブ レーン キープ	p. 37
	レーン チェンジ アシスト	p. 269



運転席

A	ドア オープナー	▷ p. 136
B	メモリー ボタン パーソナル設定	▷ p. 213
C	セントラル ロッキング ボタン	▷ p. 139
D	パワー ウィンドウ	▷ p. 58
E	ライト ボタン	▷ p. 249
F	オーバーヘッド コンソール	▷ p. 25
G	ドア ミラーの調整	▷ p. 243
H	イグニッション ロック	▷ p. 67
I	エンジン コンパートメント リッドのロック解除	▷ p. 66
	ラゲッジ コンパートメント リッドのロック解除	▷ p. 258
J	ステアリング ホイール調節	▷ p. 125
K	シート調節	▷ p. 114

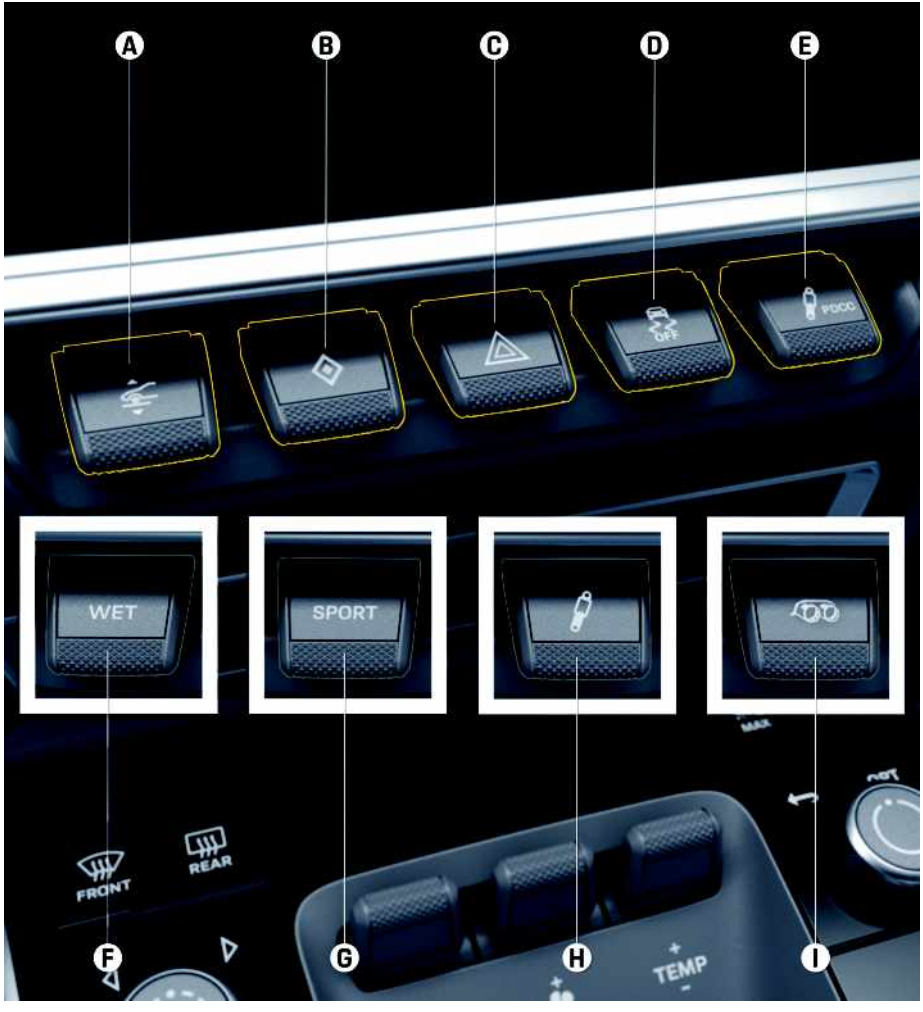


運転席

A	方向指示灯およびハイ ビーム	▷ p. 253
B	ギヤシフト パドル	▷ p. 185
C	インストルメント クラスター	▷ p. 49
D	フロント ワイパー	▷ p. 224
E	スポーツ クロノ ストップウォッチ	▷ p. 129
F	ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)	▷ p. 236
G	エア ベント	▷ p. 294
H	グローブ ボックス ロック	▷ p. 152
	グローブ ボックスのエアバッグの作動停止	▷ p. 62
I	クルーズ コントロール	▷ p. 77
	アダプティブ クルーズ コントロール (ACC)	▷ p. 41
J	ボイス コントロール、インフォテインメント、インストルメント クラスター	▷ p. 51
K	ステアリング ホイール ヒーター	▷ p. 125
L	電話コントロール、インフォテインメント、インストルメント クラスター	▷ p. 51
M	モード スイッチ	▷ p. 297
N	スイッチ パネル	▷ p. 24
O	エアコン アッパー コントロール パネル	▷ p. 23
P	ロア コントロール パネル	▷ p. 23
Q	灰皿	▷ p. 132
	カップ ホルダー	▷ p. 71
R	アームレスト、小物入れ	▷ p. 153
S	エレクトリック パーキング ブレーキ	▷ p. 218

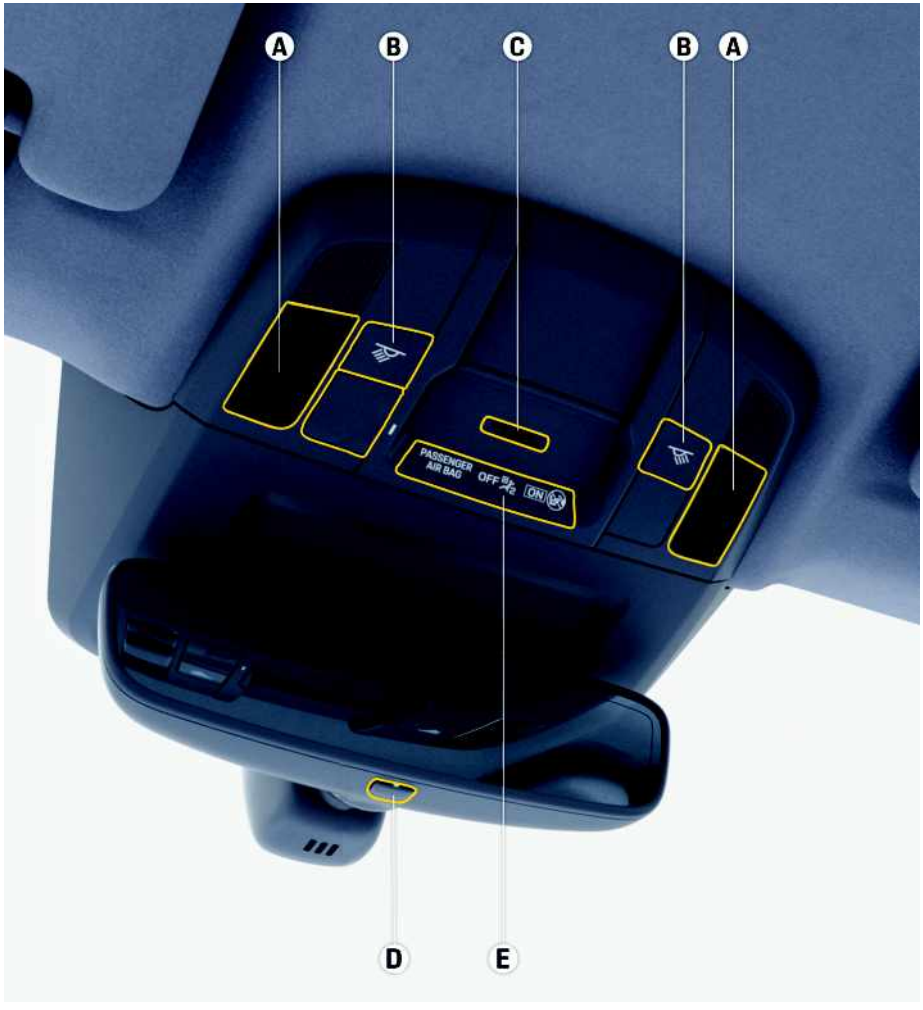
コントロール パネル

A	PCM の ON / OFF の切り替え 音量調整	▷ p. 236
B	エアコン コントロール パネル	▷ p. 291
C	ロータリー プッシュ ボタン (PCM の操作用)	▷ p. 239
D	パーキング ロック	▷ p. 185
E	マニュアル シフト モード	▷ p. 186
F	シート ヒーター / シート ベンチレーター	▷ p. 116
G	アクティブ パーキング サポート	▷ p. 31
H	スライディング / チルティング ルーフ用コントロール パネル	▷ p. 133
	コンバーチブル トップ	▷ p. 83
	タルガ ルーフ システム	▷ p. 284



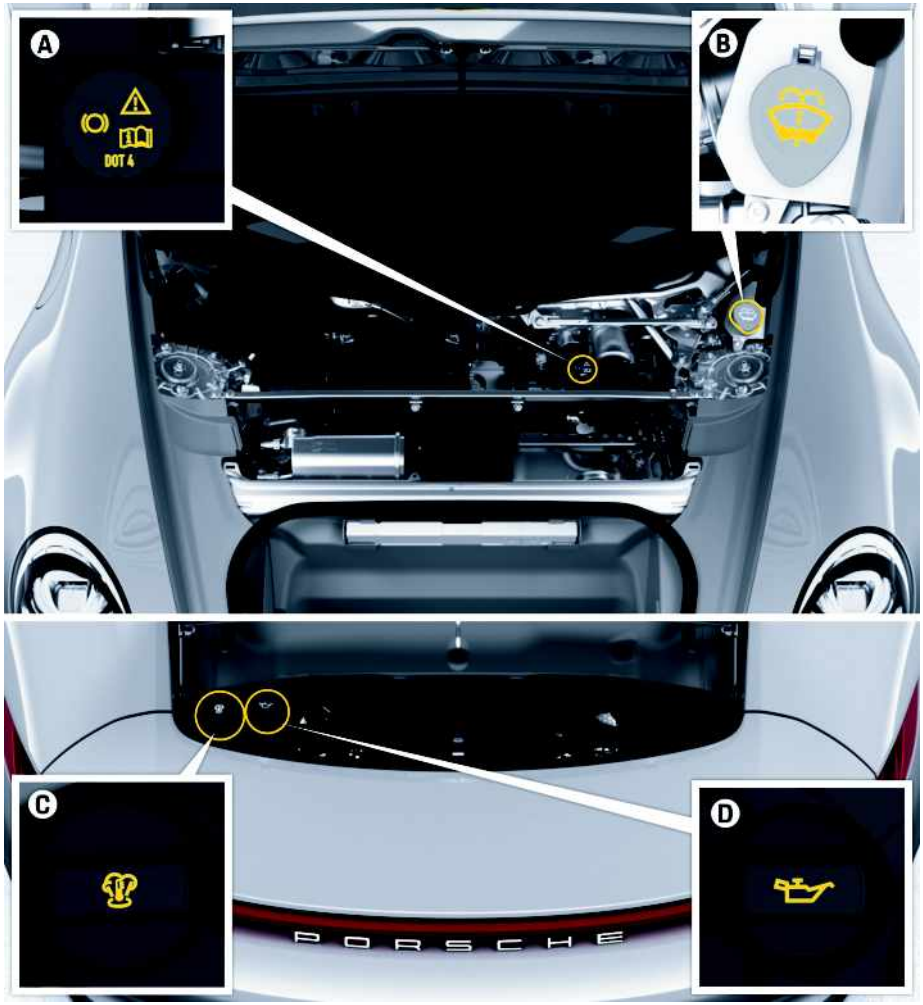
スイッチ パネル

A	フロント アクスル車高リフト システム	▷ p. 222
B	個別の機能が割り当てられるクイック アクセス ボタン (◇ ボタン)	▷ p. 150
C	ハザード ライト	▷ p. 254
D	ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)	▷ p. 281
E	ポルシェ ダイナミック シャーシ コントロール (PDCC) を装備したポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)	▷ p. 277
F	走行プログラム WET モード	▷ p. 297
G	SPORT 走行プログラム	▷ p. 297
H	ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)	▷ p. 277
I	スポーツ エキゾースト システム	▷ p. 297



オーバーヘッド コンソール

A	読書灯	▷ p. 57
B	インテリア ライト / 読書灯用ボタン	▷ p. 57
C	インテリア ライト (コントロール パネルのライト)	▷ p. 57
D	自動減光機能ボタン	▷ p. 246
E	助手席エアバッグ OFF/ON 警告灯	▷ p. 61



給油口

A ブレーキ フルード ▹ p. 221
B ウォッシャー液 ▹ p. 60
C クーラント (冷却水) ▹ p. 75
D エンジン オイル ▹ p. 63

実用的なヒント

以降のページには、車両の各エリアに関する実用的な
ヒントが掲載されて ます。

実用的なヒント

一般的な操作 ポルシェ アドバンスド コックピット および ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM)

項目	ヒント
アシスタントシステムの操作	アシスタンス システムの ON/OFF は PCM の**アシスト** で切り替えることができます。 アシスタンス システムの事前設定は、**アシスト** ▸ オプション ▸ **アシスタンス システムの設定**で設定できます。
車両設定の作成	全般的な車両設定は、**車両** ▸ **制御** ▸ **車両** (車両設定) または**車両** ▸ **制御** ▸ **表示** (タッチ ディスプレイ PCM およびインストルメント クラスターの設定) で行えます。
インストルメント クラスターの操作	インストルメント クラスターの左右に統合されているディスプレイは、マルチファンクション ステアリング ホイールの右側ロータリー ノブを回して押すと表示されます。
ショートカット ボタン (◊ ボタン) を使用する	マルチファンクション ステアリング ホイールおよびセンター コンソール スイッチ パネルのショートカット キー (◊ ボタン) は、様々な車両およびインフォテインメント機能 (ラジオ / メディア再生、ナビゲーションなど) に自由に割り当てることができます。
情報ウィジェットとホーム画面によるクイック アクセス	情報ウィジェットとホーム画面 を利用すると、最も重要な車両および情報機能にすばやくアクセスでき、しかも個別の設定ができます。
デバイス マネージャーを開く	接続はデバイス マネージャを使用して一元管理できます (例: 電話または Bluetooth® オーディオ プレーヤに接続する)。 ▸ フッターの または を選択してください (接続状態により異なります)。
ボイスコントロールの作動	ステアリング ホイールの ボタンを使って、アプリケーションに応じた様々な機能を有効にできます： – 短く押す： PCMのボイスコントロールが有効になります。 – 長押し：Siri 音声認識が有効になります (Apple CarPlay と連動した場合のみ)。
接続した 2 台の携帯電話を切り替える	携帯電話がすでに PCM に接続されている場合、2 番目の携帯電話を PCM に接続することもでき、ユーザーは 2 台の携帯電話を切り替えることができます。 ▸ ヘッダーの右上で、現在接続されている携帯電話を選択します。 既に接続している 2 つのデバイスが表示されます。 ▸ 希望する携帯電話を選択してください。

インストルメント パネル

項目	ヒント
上部ベントパネルのON/OFF	アッパー ベンチレーション パネルは、PCM 経由で ON/OFF を切り替えることができます。 ▸ **エアコン** ▸ **エア** ▸ **センター**
空気の質に基づき外気供給を調整	自動内気循環は PCM 経由で ON/OFF を切り替えることができます。 ▸ **エアコン** ▸ **エア** ▸ **自動内気循環**

セントラル ロッキング

項目	ヒント
車両のロックを解除すると、1つのドアのみロックが解除されます。	ドアのロックおよびロック解除の設定を変更します。 設定内容に関係なく、すべてのドアをロック解除できます。 ▸ キーのボタン を 5 秒以内に 2 回押します。 この設定は、**車両** ▸ **制御** ▸ **車両** ▸ **ロック**で変更することができます。

トピック

以下のページでは各トピックが 50 音順で表示されています。

アクティブ パーキング サポート[1]

一般的な安全に関する指示

⚠ 警告 集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。 ドライバーは常に適切な注意を払う責任があります。 このシステムはドライバーの集中力の代わりになるものではありません。

- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 必要に応じて、ご自分で車両を制御してください。
- ▶ 安全に関する指示を遵守し、アシスタンス システム、センサー、カメラのシステム制限に留意してください。

詳細については以下をご覧ください。

- ▷ 「一般的な安全に関する指示」の章（209ページ）を参照してください。
- ▷ 「リバース カメラ」の章（211ページ）を参照してください。
- ▷ 「サラウンド ビュー (RTV)」の章（211ページ）を参照してください。

⚠ 警告 センサーの検出範囲の制限

センサーは周辺状況を完全には監視できません。 このエリア内では、人、動物、障害物は検出されないか、限られた範囲でしか検出されない場合があります。 怪我や損傷の危険があります。

- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

⚠ 注意 不利な環境条件

不利な環境条件の場合、システムは制限されるか、利用できません。そのため、けがや損傷の危険があります。

- ▶ 適切な環境条件でのみシステムを使用してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビング スタイルで運転してください。

知識

このシステムでは、縁石を越えて車両を誘導することがあるため、 車両のタイヤ、リム、バンパー、およびスポイラーが損傷する恐れがあります。

- ▶ 必要に応じて、車両をご自身でコントロールするか、駐車操作を中止してください。

インフォメーション

駐車アシスタンス システムの使用に関する国固有の法律を遵守してください。

駐車操作中に反対側の車線が使用される場合があります。

システム制限

下記の場合、システムは使用できません。

- 上り勾配が 10% 超の場合。
- 急カーブの場合。

下記の限られた範囲で、システムを使用できます。

- 悪天候時 (雨、雪、氷)、またはスノー チェーンが取り付けられている場合。
- オフロード、舗装されていない道路、緩い砂利、傾斜した路面、またはわだちなどの通常と異なる路面の場合。
- 夕暮れ、暗闇、強い日光などの悪い照明条件。
- 縁石の前など車線の境界に、重い植物や蓄積された落ち葉がある場合。
- その他の超音波を発する機器 (例：他車のエア ブレーキ、掃除機、削岩機など) が障害物の検出に干渉する場合があります。

知識

システムは下記を検出できません。

- 低い物体、細い物体、および突き出ている物体 (トレーラー ヒッチ、駐車しているトレーラーのドローバー、チェーン バリア、ポール、フェンスなど)。
- 検出領域より上にある物体 (駐車車両のバンパー、半開きのガレージ ドア、地面に接していない物体など)。
- 音波を吸収する、または音波を反射する表面や構造を備えた物体 (布、好ましくない状況における立体駐車場のポールや支柱など)。
- 検出領域にすばやく移動してくる物体 (他の通行者など)。
- 駐車場の盛り上がったスピード リミッター (スピード バンプなど) が障害物として認識される場合があります。
- 崖および堤防。
- ▶ 必要に応じて、車両をご自身でコントロールするか、駐車操作を中止してください。

1. 装備は、後でしか使用できない場合や、特定の市場でしか使用できない場合があります。

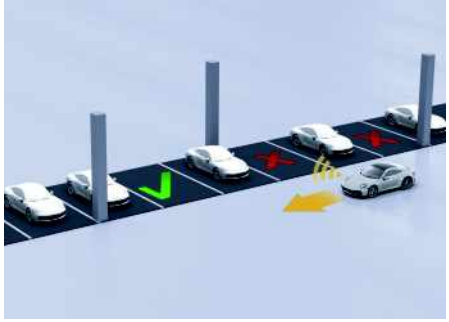


図 2 : 立体駐車場の支柱や柱

▸ 立体駐車場で支柱や柱がある駐車エリアは選択し**ないでください**。

機能

このシステムは、適切な駐車スペースの検索をサポートし、駐車と発進を引き継ぎます。 ドライバーは、駐車スペースが駐車に適しているかどうかを個別に確認する必要があります。 システムは、センサーを使用して車両の周囲を監視します。 障害物が検出されると、システムはブレーキ介入を実行します。

駐車スペース検索

駐車スペース検索の作動条件：

– 前進している場合。
– 駐車している車両までの距離が最大約 1.5 m の場合。
– 速度が 40 km/h 以下の道路に並行する駐車スペースの場合。
– 道路に直角な駐車スペースで、速度が最大 20 km/h の場合。

パーキング

駐車機能の作動条件：

– 駐車スペースに道路に並行して後退駐車する場合。
– 駐車している 2 台の車両の間にある、道路に直角な駐車スペースに後退駐車する場合。
– 駐車している 2 台の車両の間にある、道路に直角な駐車スペースに前進駐車する場合。 車両の前部が既に駐車スペースにある場合でも、駐車操作を開始できます。

発進

発進機能は、車両よりも約 1 m 以上長い、道路に並行する駐車スペースから車両が前進する場合に機能します。

駐車スペース検索

駐車スペース検索の開始

図 3 : アクティブ パーキング サポート、駐車スペース検索

A　駐車または発進する側を選択する
B　駐車方向を選択する

駐車スペース検索はバックグラウンドで実行されます。 駐車スペース検索を開始したのが駐車スペースを通過した後でも、その駐車スペースを選択できます。

1. をタップします。
   – または –
   アシスト ▸ **パークアシスト** ▸ **検索**
   駐車スペース検索が表示されます。
2. 駐車している車両を通り過ぎます。
3. PCM の指示に従います。
4. 駐車スペース検索は、最初は助手席側で作動します。
   駐車する側を変更するには、対応する方向指示灯 (左 / 右) を作動させます。
   – または –
   PCM で関連する記号 **A** （図 3） をタップします。
5. 駐車スペースが見つかったら、車両を停めます。
   見つかった駐車スペースが PCM にオレンジ色の領域として表示されます。 駐車する方向が複数ある場合、それらも表示されます。
6. ディスプレイ上の車両の前に矢印が表示されたら、車両をさらに前進させます。
   駐車操作は、駐車スペースへのルートが表示されないと開始できません。
7. 駐車スペースを選択するには、PCM に表示される目的の駐車方向の駐車スペースのシンボル **B** （図 3） をタップします。

センター コンソールの ボタンが赤く点滅します。

駐車スペース検索の中止

▸ PCM で をタップします。

検索は次の場合に自動的に中止されます。

– 車速が 45 km/h を超える場合。
– トランスミッション レンジ **R** が選択された場合。

駐車操作

駐車操作の開始

✓ 停車している。
✓ ブレーキ ペダルが踏み込まれている。
✓ 駐車スペースが PCM で選択されている。

1. ステアリング ホイールから手を放し、ブレーキ ペダルを踏み続けます。
2. センター コンソールで ボタンを長押しします。
   ボタンが赤色に点灯します。
3. ブレーキ ペダルを放します。

駐車操作が開始されます。
4. 交通状況と車両の周囲を確認します。
5. 障害物が表示されるか、表示されたルートに障害物がある場合には、すぐに駐車操作を中断します (たとえば、センター コンソールの ボタンを放すことにより)。
   ▷ 「駐車操作の中断」の章（33ページ）を参照してください。
   車両が目標位置に達すると、メッセージが表示されます。
   坂道では、ホイールが縁石に向かって操縦されます。
   トランスミッション パーキング ロックが作動し、パーキング ブレーキがかけられます。
6. 車両のコントロールを行ってください。
   ドライバーが車両のコントロールを行わない場合、メッセージが表示され、エンジンが OFF になります。

発進手順の開始

✓ エンジンが作動している。
✓ 車両がまだ動いていない。
✓ ブレーキ ペダルが踏み込まれている。
1. ステアリング ホイールから手を放し、ブレーキ ペダルを踏み続けます。
2. をタップします。
   – または –
   アシスト ▸ パークアシスト ▸ 検索
3. 発進する方向を変更するには、対応する方向指示灯 (左 / 右) を作動させます。
   – または –
   PCM で関連する記号 A （図 3） をタップします。
   センター コンソールの ボタンが赤く点滅します。
4. センター コンソールで ボタンを長押しします。
5. ブレーキ ペダルを放します。
   発進手順が開始します。
6. 交通状況と車両の周囲を確認します。
7. 障害物が現れたら、すぐに駐車操作を中断します (センター コンソールの ボタンを放すなど)。
   ▷ 「駐車操作の中断」の章（33ページ）を参照してください。
   車両が目標位置に達すると、メッセージが表示されます。
   衝突の恐れのない発進ができるよう、車両は駐車スペースから十分離れた場所まで走行します。
8. 車両のコントロールを行ってください。
   ドライバーが車両のコントロールを行わない場合、メッセージが表示され、エンジンが OFF になります。

駐車操作の中断

▸ センター コンソールの ボタンを解除します。
– または –
ブレーキ ペダルを踏み、車両を停止させます。
センターコンソールで ボタンをもう一度押すと、駐車操作を開始できます。 必要に応じてブレーキ ペダルを放します。

駐車操作の中止：
▸ ステアリングを操作します。
– または –
▸ トランスミッション レンジを変更します。
– または –
▸ パーキング ブレーキをかけます。
– または –
▸ アクセル ペダルを踏み込んでください。

駐車操作を再度開始する必要があります。 このとき、発進するときにエンジンを OFF にしてから再び ON にします。

リモート パーキング

一般的な安全に関する指示

危険 有毒な排気ガス

排気ガスに含まれる無色無臭の一酸化炭素は、低濃度でも有毒です。
▸ 閉鎖された空間では、エンジンを作動したままの状態にしないでください。
▸ 駐車後、エンジンが停止していることを確認してください。

警告 集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。 ドライバーは常に適切な注意を払う責任があります。 このシステムはドライバーの集中力の代わりになるものではありません。
携帯電話でアクティブ パーキング サポートを操作する人は、車両の運転者と見なされ、有効な運転免許証を持っていなければなりません。
▸ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
▸ 車両までの適切な距離を確保してください。
▸ 駐車操作中に人や動物を車に乗せていてはなりません。
▸ 必要に応じて、ご自分で車両を制御してください。
▸ 安全に関する指示を遵守し、アシスタンス システム、センサー、カメラのシステム制限に留意してください。

▸ 詳細については以下をご覧ください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

- ▷ 「一般的な安全に関する指示」の章（209ページ）を参照してください。
- ▷ 「リバース カメラ」の章（211ページ）を参照してください。
- ▷ 「サラウンド ビュー (RTV)」の章（211ページ）を参照してください。
- ▷ 「アクティブ パーキング サポート」の章（31ページ）を参照してください。

インフォメーション

パーキング アシスタンス システムの使用に関する各国固有の法律を遵守してください。

システム制限

アクティブ パーキング サポートのシステム制限が適用されます。

▷ 「システム制限」の章（31ページ）を参照してください。

さらに、次の条件が適用されます。

下記の場合、システムは使用できません。

携帯電話と車両間の Bluetooth® 接続が他のデバイスからの干渉の影響を受けた場合。

システムは下記を検出できません。

- ガレージ内の検出領域より上にある物体 (ガレージ ドア リンケージ、地面に接していない他の物体など)。
- 背が非常に低いか、地面に横たわっている物体。
- 非常に狭い、または突き出た障害物 (駐輪している自転車など)。
- ダブル ガレージ。

機能

リモート パーキングでは、アクティブ パーキング サポートの機能を車外にあるリモート コントロール機能を備えたアプリを介して制御できます。

▷ 「アクティブ パーキング サポート」の章（31ページ）を参照してください。

パーキング

駐車機能の作動条件：

- 駐車スペースに道路に並行して後退駐車する場合。
- 駐車している 2 台の車両の間にある、道路に直角な駐車スペースに後退駐車する場合。
- 駐車している 2 台の車両の間にある、道路に直角な駐車スペースに前進駐車する場合。 車両の前部が既に駐車スペースにある場合でも、駐車操作を開始できます。
- 車両がシングル ガレージの前でできるだけまっすぐの位置にあるとき、シングル ガレージ内 (最も狭いポイントでの最小幅 2.60 m) に前進する場合。

発進

発進機能の作動条件：

- 車両よりも約 1 m 以上長い、道路に並行する駐車スペースから車両が前進で発進する場合。
- 道路へ直角に左折または右折で前進する場合。
- 道路に直角にまっすぐバックで発進する場合。
- シングル ガレージ (最も狭いポイントでの最小幅 2.60 m) からバックで発進する場合。

携帯電話を準備する

リモート パーキングに携帯電話を使用するには、アクティブ パーキング サポートとペアリングする必要があります。

✓ ポルシェ コネクト アプリ[1]が携帯電話にインストールされている。

1. PCM でデバイス マネージャーを開きます。 このとき、ヘッダーの または (接続ステータスによって異なる) を選択してください。
2. **遠隔パーキング** を選択します。
3. 携帯電話でポルシェ コネクト アプリ[1]を開きます。
4. アプリで を選択します。
5. アプリの指示に従います。

▷ 「アプリ」の章（48ページ）を参照してください。

インフォメーション

ポルシェ コネクトに関する詳細 (ヘルプ ビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ) は、 www.porsche.com/connectをご覧ください。

ペアリングをリセットする

携帯電話と PCM 間の接続で問題が発生した場合は、ペアリングをリセットする必要があります。

1. PCM でデバイス マネージャーを開きます。 このとき、ヘッダーの または (接続ステータスによって異なる) を選択してください。
2. オプション ▸ **ペアリングされたデバイスを削除**
3. リモート パーキング用に接続された携帯電話を選択します。
4. **削除**を選択します。
5. 携帯電話の設定メニューで、車両へのすべての接続を削除します。
6. 「携帯電話を準備する」の手順を実行します。

▷ 「携帯電話を準備する」の章（34ページ）を参照してください。

1. 名前と機能の変更は保護されています

駐車スペース検索の開始

図 4 : リモート パーキング、駐車スペース検索

A 駐車または発進を選択
B 駐車方向を選択
C リモート パーキングを開始

駐車スペース検索についての情報 :
▷ 「駐車スペース検索」の章（32ページ）を参照してください。

リモート パーキング操作の開始

✔ 停車している。
✔ PCM で駐車スペースまたはシングル ガレージが選択されている。

1. PCM **C** （図 4） で**遠隔パーキング** をタップし、指示に従ってください。
2. セレクター レバーの P ボタンを使用して、トランスミッション パーキング ロックを作動させます。
3. メッセージを確認して、リモート パーキングを有効にします。
4. キーと携帯電話を持って、車両から離れます。

インフォメーション

キーと携帯電話は車から約 3 m 離れていなければなりません。そうしないと、駐車操作が中断されます。

5. ドアおよびラゲッジ コンパートメント リッドを閉じます。
6. ポルシェ コネクト アプリ[1]を起動し、 を選択し、取扱説明書に従ってください。
7. 携帯電話で駐車操作を開始します。
8. 障害物が現れたらすぐに駐車操作を中断します (携帯電話のボタンを解除するなど)。
   ▷ 「駐車操作の中止」の章（35ページ）を参照してください。
9. 携帯電話の取扱説明書に従ってください。
   車両が駐車位置に達すると、メッセージが表示されます。
   到達した駐車位置は、携帯電話を使用して前後に修正できます。

駐車操作を正常に完了した後 :
– 作動モード P を選択します。
– パーキング ブレーキをかけます。
– エンジンを OFF にします。
– 車両をロックします。

リモート発進操作の開始

✔ 停車している。
✔ エンジンが停止している。
✔ キーと携帯電話が車両から約 3 m 離れている。

1. ポルシェ コネクト アプリ[1]を起動し、 を選択します。
2. 取扱説明書に従い、携帯電話を使用してエンジンを始動します。
3. 発進方向と発進側を選択し、発進操作を開始します。
4. 障害物が現れたらすぐに駐車操作を中断します (携帯電話のボタンを解除するなど)。
   ▷ 「駐車操作の中止」の章（35ページ）を参照してください。
5. 車両が目的の位置に到達したら、ドライブ ボタンを放して車両に近づきます。
6. ドア ハンドルのくぼみ部分に手を入れます。 作動中にドア ハンドル前部の近接センサーに**触れない**でください。 車両のロックが解除されるまで待ちます。
7. ステアリング ホイールを動かさずに車両に乗り込み、ブレーキ ペダルを踏んで、イグニッション ロックのコントロール ユニットをイグニッション ロックの位置 **2** まで回します。
   ▷ 「イグニッション ロック」の章（67ページ）を参照してください。

インフォメーション

ドライバーが引き継いだ後、エンジンはオート スタート / ストップ機能を使用して OFF にすることができます。

駐車操作の中止

▸ 携帯電話のボタン を放します。
駐車操作はいつでも中断されます。

以下の場合に駐車操作は自動的に中断されます。
– 車両の経路に障害物が検出された場合。
– キーまたは携帯電話が駐車操作の範囲外の場合。

1. 名前と機能の変更は保護されています

– ドアまたはラゲッジ コンパートメント リッドが開いている場合。
– ポルシェ コネクト アプリ[1]が着信や他のアプリによってバックグラウンドにプッシュされた場合。

原因が解消された後、駐車操作を続行できます。

▶ 携帯電話のボタン を押します。

以下の場合に駐車操作はキャンセルされます。

– キーのボタンが押された場合。
– 車室内で相互作用が検出された場合。
– 駐車操作の制限時間を超過した場合。
– 駐車操作の最大許容距離がカバーされた場合。

車両は停止し、エレクトリック パーキング ブレーキが作動し、作動モードが P になり、駐車操作は終了しました。

インフォメーション

駐車操作が終了した場合、車両の制御を引き継ぐ必要があります。 駐車スペース検索を再開して、車両を駐車してください。

1. 名前と機能の変更は保護されています

アクティブ レーン キープ[1]

一般的な安全に関する指示

⚠ 警告 集中力の低下

アクティブ レーン キープは、高速道路やよく整備された郊外道路でのみ使用することを想定して設計されています。 アクティブ レーン キープを使うとより快適に運転できますが、無謀な運転は避けてください。 車線を守ることおよび交通状況を常に正しく判断することは、ドライバー本人の責任です。 次の状況が発生する可能性があります。

– 急ブレーキ時には、ステアリング介入による補正が行われない場合があります。
– ドライバーの積極的なハンドル操作中には、ステアリング介入による補助が制限されたり、まったく作動しなかったりする場合があります。
– システムは周辺状況を完全には検出できません。この場合、ステアリング介入が作動しないことがあります。
– システムは周辺状況を誤って解釈することがあります。この場合、不必要なステアリング介入が生じる可能性があります。
– わだち、カーブの多い道、坂道または横風などがあると、ステアリング介入だけでは、車両を走行車線に保つには不十分な場合があります。 このような状況では、ドライバーが積極的にステアリングを行わなければなりません。
– 車線の分岐点、高速道路の出口、建設現場または市街地といった不確実な道路状況においては、システムが想定通りに作動しない可能性があります。 ステアリング介入が行われなかったり、意味をなさなかったりすることがあります。
– システムは、不必要なまたは予期せぬ状況で作動したままとなったり、突然停止モードに切り替わったりする可能性があります。

▸ 常にステアリング ホイールを保持し、いつでもハンドルを切れる状態でいてください。
▸ 常にドライバー本人が運転操作 (ステアリング操作、加速または減速) を引き継げる状態でいてください。 インストルメント クラスターに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。
▸ 十分注意して運転してください。
▸ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
▸ 道路状況と天候に応じて適したスピードで運転してください。

⚠ 警告 車両周辺の検出の制限

センサー (カメラ、レーダーなど) が検出できるエリアは、影響を及ぼすさまざまな要素 (降雨、降雪、凍結、激しい水しぶき、対向車両のヘッドライト、汚れ、損傷など) により制限される場合があります。 この場合、ステアリング介入が作動しなくなったり、予期しないステアリング介入が行われたりすることがあります。

▸ 十分注意して運転してください。
▸ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
▸ フロント カメラ レンズおよびフロント レーダーは定期的に洗浄し、付着した雪や氷は除去してください。
▸ センサーを覆わないでください。
▸ カメラ レンズ前面のフロント ウィンドウに損傷がないかを定期的に確認してください。

⚠ 警告 予期しないシステムの挙動

ある状況では、ステアリング介入機能による補正では車線を守るのに十分ではありません。さらに、機能は、いつでも作動中から停止中に切り替わることがあります。

▸ 十分注意して運転してください。
▸ ステアリング ホイールは必ず両手で握ってください。

⚠ 警告 警告メッセージを伴うシステムの誤作動

システム エラーが発生した場合、アクティブ レーン キープは自動的に OFF になることがあります。 ステータス表示が消えて、インストルメント クラスターに警告メッセージが表示されます。

▸ 十分注意して運転してください。
▸ ステアリング ホイールは必ず両手で握ってください。
▸ 常にドライバー本人が運転操作 (ステアリング操作、加速または減速) を引き継げる状態でいてください。
▸ インストルメント クラスターに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。

システム制限

⚠ 警告 事故につながる危険がある運転状況

システムがアクティブ レーン ガイダンスを保証できない運転状況がいくつかあります。従って、システムを

1. 一部の国で利用可能

使用する際に事故が起きる危険があります！

これらには、以下の運転状況が含まれます。

– 通常よりもドライバーの注意が必要とされる場合
– スポーツ走行中
– 悪天候 (霧、雪、または豪雨など)
– (車線表示が消えているか不明瞭な道路を含む) 路面状態が悪い場合
– 道路工事区間
– 起伏の激しい路面や坂道に近づいている場合
– 市街地での走行
– カーブの多い道および細い郊外の道での走行
– 分岐点や料金所などの不安定な交通状況
– オフロード走行中や未舗装または滑りやすい道路を走行中の場合

システムは、常に、車両を車線の中央部分または車列最後尾の中央位置に保持できるわけではありません。

アクティブ レーン ガイダンスは、人や動物、車線を横切る車、または同じ車線の対向車には反応しません。センサーはこれらを障害物として検知しません。

▶ 次の特定の状況では、**絶対に**アクティブ レーン ガイダンスを使用しないでください。
▶ アクティブ レーン ガイダンスは、路上にある障害物を回避するよう車両を誘導する目的で使用しないでください。

インフォメーション

システムに不具合がある場合、またはレーン キープ ON がこの章に記載のとおりに作動しない場合には、アシスト機能を使用しないでください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（92ページ）を参照してください。

作動原理

レーン キープ ON は、フロント カメラ、フロント レーダー、リヤ レーダーを使用して車両の周囲を連続的に監視し、選択した車線に車両が留まるようドライバーを支援します。

– システムが作動している場合、ドライバーは車線内での希望する位置を設定できます。 ドライバーが車両を希望する位置に数秒間保持すると、システムは車線中央維持機能を終了し、選択したオフセット位置での走行を開始します。 システムが停止するか OFF にされると (方向指示器を作動させる、車線変更、ブレーキ作動など)、位置の変更は再度リセットされます。
– システムは、他の物体 (車両など) よりも車線区分線を常に優先します。 このため状況によっては、システムを作動させるのに、ドライバーが車両を車線の中央位置にしなければならない場合があります。 ドライバーが、システム作動直後にステアリング ホイールの強い動きを感じることのないよう、車線中央以外の位置ではシステムが作動しないようになっています。
– ドライバーには、緊急車両のために路肩に移動して車線を空ける責任があります。 このような状況では、ドライバーは、システムを OFF にするか、ステアリング ホイールを使って停止させることができます。

方向指示器が作動したときの挙動

方向指示器を作動させると、ドライバーが車線変更しようとしていることをシステムに警告します。 したがって、この場合、レーン キープ ON はステアリングに介入しません。

一方で、レーン チェンジ アシストは、車線変更する際に方向指示器も作動させてドライバーを支援します。

▷ 「レーン チェンジ アシスト (LCA)」の章（269ページ）を参照してください。

ステアリングが操作されない場合の挙動

ドライバーのステアリング操作は、レーン キープ ON が作動している場合に監視されます。 ステアリングが操作されない場合 (ステアリング ホイールを握っていない、または軽く手を置いているなど)、インストルメント クラスターに警告メッセージが表示されます。 システムは、ステアリング操作を行うようドライバーに促します。 ドライバーがメッセージに応じて操作しない場合、システムは停止モードに切り替わります。

ディスプレイの要素

図 5 : アクティブ レーン キープ ステータス ディスプレイ

ステータス ディスプレイのシンボル

以下のシンボルがステータス ディスプレイ **A** に表示されます。

シンボル	意味
表示なし	アクティブ レーン キープが OFF になっています。
	アクティブ レーン キープは ON になっていますが、停止しています。
	アクティブ レーン キープは ON になっており、作動しています。
	アクティブ レーン キープおよびレーン キープ アシストは ON になっていますが、両方とも停止しています。
	アクティブ レーン キープおよびレーン キープ アシストは ON になっており、両方とも作動しています。
	アクティブ レーン キープは作動しており、レーン キープ アシストは停止しています。
	アクティブ レーン キープは停止しており、レーン キープ アシストは作動しています (例 : ACC ステータスが「走行可能」の場合)。

アクティブ レーン キープの ON/OFF を切り替える

コントロール レバーを使用して、インストルメント クラスターおよびセントラル ディスプレイで選択または選択解除できます。 この機能は、アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) が作動している場合にのみ使用できます。

▷ 「アダプティブ クルーズ コントロール (ACC)」の章（41ページ）を参照してください。

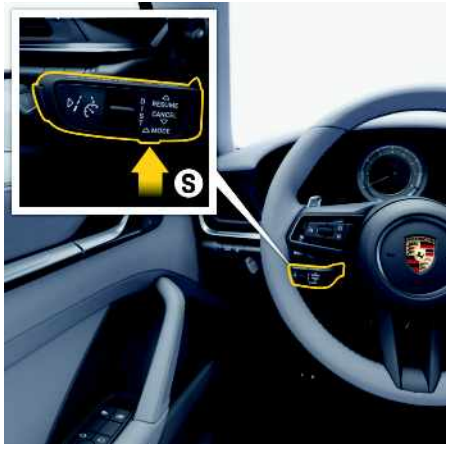


図 6 : ドライバー アシスタンス システムのレバー

アクティブ レーン キープの選択と選択解除

1. コントロール レバーの S ボタンを押します。
   ドライバー アシスタンス システムのオプション メニューがインストルメント クラスターに表示されます。
2. ステアリング ホイールのロータリー ノブを使用して**アクティブ レーン キープ**を選択し、ノブを押して確定します。

- または -

▸ アシスト ▸ アクティブ レーン キープ

インフォメーション

ブレーキを踏むかステアリングを操作して無効にすることで、いつでもレーン キープ ON の作動を停止できます。

追加情報

レーン キープ アシストとアクティブ レーン キープの比較

機能	レーン キープ アシスト	アクティブ レーン キープ	レーン キープ アシスト + アクティブ レーン キープ
ステータスをアイコン表示			
車線中央に誘導	不可	可	可
車線逸脱警告	可	不可	可
ステアリング介入により車線逸脱を防止 (車道外側線ガイダンス)	可	不可	不可
速度範囲	約 65 ～ 250 km/h (40 ～ 156 mph)	約 0 ～ 210 km/h (0 ～ 130 mph)	詳しくは各機能の説明を参照
ACC が作動していることが必要か	不可	作動中の ACC と連動する形でのみ作動	詳しくは各機能の説明を参照

アダプティブ クルーズ コントロール (ACC)[1]

一般的な安全に関する指示

⚠ 警告 集中力の低下

ドライバー アシスタンス システムにより快適性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。 ドライバーは、アダプティブ クルーズ コントロールが作動していても、安全な車間距離を保ち、適切なスピードで走行するなどの安全運転に努めてください。 ドライバー アシスタンス システムはドライバーの集中力の代わりになるものではありません。

- 十分注意して運転してください。
- システムによる減速が不十分であることが判明した場合は、ブレーキ ペダルで直ちに車両にブレーキをかけてください。
- 常に車両を自分でコントロールできるようにしてください。

⚠ 警告 危険な交通状況や路面状態が悪い状況

現在の交通状況では前走車との安全な距離を保って走行できない場合や一定の車速で走行できない場合は、ドライバー アシスタンス システムを使用すると事故を起こす危険があります。

車線の分岐点、高速道路の出口、または道路工事中のエリアを走行する場合、車両は設定速度まで加速できます。

- 道路工事が行われている交通量の多い場所、市街地、私道または野道、あるいは交通静音化対策地域では、ドライバー アシスタンス システムを使用しないでください。
- 車線の分岐点、高速道路の出口、または道路工事が行われている地域では、ドライバー アシスタンス システムを一時的に OFF にしてください。

⚠ 警告 覆われたレーダー センサー

レーダー センサーが覆われると、ドライバー アシスタンス システムの機能に悪影響が及んだり、無効になったりする可能性があります。

- レーダー センサーは常に汚れ、氷、雪などが付着していない状態を保ってください。

図 7 : レーダー センサーの取り付け位置

⚠ 警告 レーダー センサーを損傷する危険性

駐車時の衝突など、バンパー、ホイール ハウジング、またはアンダーボディへの衝撃や損傷によりレーダー センサーが移動することがあります。 これは、アダプティブ クルーズ コントロールの性能を損なう可能性があります。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

⚠ 警告 アクセル ペダルに足が置かれている

アクセル ペダルに足が置かれている場合、ドライバー アシスタンス システムにより自動的にブレーキはかかりません。 足をアクセル ペダルに置くと、クルーズ コントロールおよび車間距離制御が無効になることがあります。

- ドライバー アシスタンス システムが作動したら、アクセル ペダルから足を離してください。

システム制限

⚠ 警告 路面状態や天候が悪い状況

雨水、雪、氷、霧、石はね、多量の水しぶきなどでレーダー センサーの機能が阻害される場合があります。 前走車を正しく検出できないことや、全く検出できなくなることがあります。

氷、豪雨、さらに中央分離帯やトンネルの入り口などの反射物が、レーダー センサーの機能に悪影響を及ぼす可能性があります。 ドライバー アシスタンス システムが利用不可であることを示すメッセージがインス

1. 利用可否は国によって異なります

トルメント クラスターに表示されます。

- このような状況ではドライバー アシスタンス システムを使用しないでください。

⚠ 警告 検出されない車両または物体

レーダー センサーは、車両の前方の狭い円錐形の領域を検出します。 その結果、以下の状況では、車両または物体が時間内に検出されないか、検出できない場合があります。

- 車線変更、または割り込みをする車両の場合
- 投影面積が小さな車両、または幅の狭い車両の場合
- コーナーへの進入および脱出時
- 停車中の車両の場合
- オーバーハングの長い車両の場合
- 歩行者、自転車、動物の場合
- 道路上に障害物がある場合
- 対向車および交差車両の場合

- 必要に応じて適切な運転をし、ブレーキをかけてください。
- 細心の注意を払って運転し、交通状況と車両の周囲に常に注意を払ってください。

車線変更や前方への割り込みをする車両および幅の狭い車両

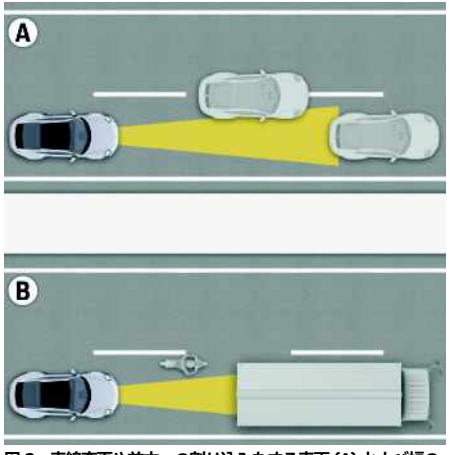


図 8 : 車線変更や前方への割り込みをする車両 (A) および幅の狭い車両 (B)

車線変更した車両や前方に割り込んだ車両は、完全に走行中の車線内に入るまで認識されません。
幅の狭い車両は検出されないか、または検出のタイミングが遅れます。

コーナリングおよび停止中の車両

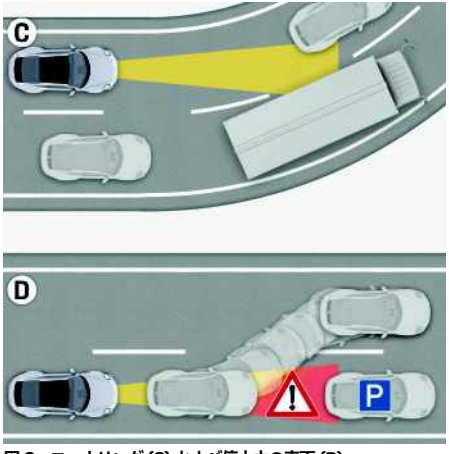


図 9 : コーナリング (C) および停止中の車両 (D)

コーナーにさしかかったときやコーナーから出るときは、前走車を検出できなかったり、検出するタイミングがかなり遅くなる場合があります。また、システムが隣の車線を走行する車両に反応する場合もあります。
前走車が車線変更したときや渋滞の最後にいるときなどは、レーダー センサーの監視エリアに突然現れる停止中の車両や障害物を、アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) は限定的にしか検出できません。

オーバーハングの長い車両

図 10 : オーバーハングの長い車両

木材運搬トラックなどのオーバーハングの長い車両が前方にいる場合、レーダー センサーがその車両の後部を検出できなかったり、誤検出したりすることがあります。

作動原理

アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) を使用すると、前走車のいない道路を走行する場合に、アクセル ペダルを踏まなくても、
約 30 ～ 210 km/h (20 ～ 130 mph) の範囲で希望する速度と距離を維持したまま走行できます。

設定した速度よりも遅い車両を同一車線上に検出すると、ACC は既定の車間距離を自動的に維持します。 アダプティブ クルーズ コントロールは前走車との車間距離が短くなるとブレーキをかけ、車間距離が長くなると加速します。

ACCは、前走車が停止した場合は減速して停止し、その車両が一定時間内に動き出すと再び自動的に走行を再開します。 ドライバー アシスタンス システムが走行再開可能かどうかは、インストルメント クラスターの速度 & アシスト機能ディスプレイに表示されます。 それ以外の場合は、ドライバーが自動速度制御と距離制御を再開できます。

アクセル ペダルを踏むことにより、いつでも加速することができます。 保存された希望の速度と距離が保持され、アクセル ペダルを離すと再び設定されます。 車両の速度はブレーキをかけることでいつでも減速できます。 これにより、ドライバー アシスタンス システムの作動が停止状態に切り替わります。

各操作部

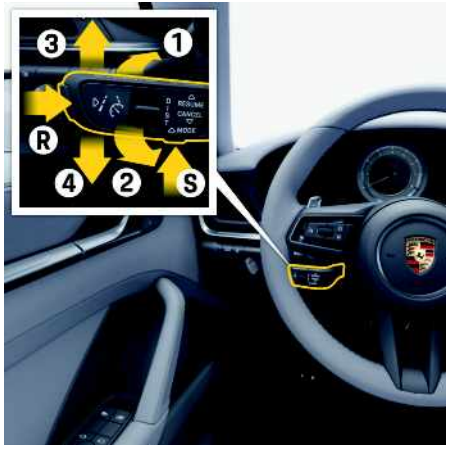


図 11 : ドライバー アシスタンス システムのレバー

- **R** ドライバー アシスタンス システムの ON/OFF を切り替えてオプション メニューを開く
- **S** オプション メニューを開く (ドライバー アシスタンス システムが ON になっている場合)
- **1** 速度の設定 / 加速
- **2** 設定速度を下げる
- **3** 再開 : 制御を再開し、速度を設定する
- **4** キャンセル : 制御を中断する

ディスプレイの要素

アダプティブ クルーズ コントロールに関するすべての重要な情報、メッセージおよび警告は、インストルメント パネルの速度 & アシスト機能ディスプレイの **ACC** メイン メニューに表示されます。

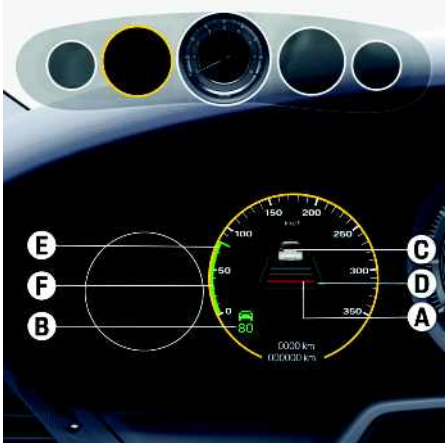


図 12 : 速度 & アシスト機能ディスプレイの ACC

- **A** 前走車との設定車間距離
- **B** ステータス表示と設定速度
- **C** 検出された前走車
- **D** 前走車との現在の車間距離
- **E** 前走車の現在の速度
- **F** 目標速度の表示

アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) を ON にすると、インストルメント パネルの速度 & アシスト機能ディスプレイにステータス ディスプレイ **B** が表示されます。

ステータス ディスプレイのシンボル

シンボル	意味
	ACCは停止中です。
	ACC は設定目標速度で停止中です。
	ACC が設定目標速度で作動しています。
	目標速度が設定されている間に前方に車両が検出されました。 クルーズ コントロール シンボルの代わりに車両シンボルが表示されます。

作動モード

作動していない

スイッチを ON にした後、ブレーキペダルを踏んでから ACC を起動したときと、コントロール レバーを押し込んだとき (位置 **4**、**CANCEL**) に、このモードが設定されます。

– ステータス ディスプレイ **B** はグレーです。
– 制御されていません。
– 設定目標速度および設定車間距離は保持されます。

作動

速度を設定した後、制御を再開した後 (位置 **3**、**RESUME**)、およびアクセル ペダルを踏んで一時的に制御を無効にした後に、このモードが設定されます。

– ステータス ディスプレイ **B** は緑色です。
– 前方の車両までの速度と距離が制御されます。

一時的に停止中

このモードは、ACC の作動中にアクセル ペダルを踏んだときに設定されます。

– インストルメント クラスターに ACC が停止中であることを示すメッセージが表示されます。
– ステータス ディスプレイ **B** はグレーです。
– 制御されていません。
– 設定目標速度および設定車間距離は保持されます。
– アクセル ペダルを戻すと、制御が再び有効になります。

アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) の ON/OFF

常に、前回選択されたドライバー アシスタンス システムが ON になります。 ON になった時点では、ドライバー アシスタンス システムは停止中になっています。クルーズ コントロールを作動させるには、最初にクルーズ コントロールを起動する必要があります。

ACC を ON にする

✓ ドライバー アシスタンス システムがまだ ON になっていません。

1. クルーズ コントロール操作レバーのボタン **R** を押してください。
   ドライバー アシスト システムのオプション メニューがインストルメント クラスターに表示されます。
2. ACC をまだ選択していない場合は、ステアリング ホイールのロータリー プッシュ ボタンを使用して **ACC** を選択し、ボタンを押して確定します。
   ACC が ON になっていて、なおかつ**停止中**です。

すでに作動中のドライバー アシスタンス システムから ACC への切り替え

1. コントロール レバーのボタン **S** を押してください。
   ドライバー アシスト システムのオプション メニューがインストルメント クラスターに表示されます。
2. ステアリング ホイールのロータリー プッシュ ボタンを使用して **ACC** を選択し、ボタンを押して確定します。
   ACC が ON になっていて、なおかつ**停止中**です。

インフォメーション

作動したドライバー アシスタンス システムは、OFF にして作動待機が復元された後でも、再び作動します。

ACC を OFF にする

▸ クルーズ コントロール操作レバーのボタン **R** を押してください。
  設定速度目標が削除されます。
  目標車間距離が保存されています。

アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) の作動

✓ ACC ON。

1. アクセル ペダルの操作で目標速度まで加速または減速します。
2. レバーを前方に短く押し (**1** の位置)、アクセル ペダルを戻します。
   ACC が**作動しています**。

現在の走行速度が目標速度として設定されます。
前走車が目標速度よりも遅く走行していることが検出されるまで、現在の目標速度がステータス ディスプレイに緑色で表示され、自動的に維持されます。

目標速度の変更

設定目標速度は、コントロール レバーを押して変更できます。

✔ ACC が作動しています。

加速する

▶ コントロール レバーを前方に押します (位置 **1**) :
- 短く押す= 1 km/h (1 mph) ずつ速くなります
- 押し続ける = 10 km/h (6 mph) ずつ速くなります

減速する

▶ コントロール レバーを引く (位置 **2**) :
- 短く引く= 1 km/h (1 mph) ずつ遅くなります
- 引き続ける = 10 km/h (6 mph) ずつ遅くなります

ステータス ディスプレイ **B** に新しい設定速度が表示されます。

緑色のバー **F** は車両の設定目標速度を示します。

目標車間距離の設定

前走車との車間距離は **5** 段階に設定できます。 段階 **3** をお勧めします。 車間距離は走行速度によって変わります。 車両が減速すると車間距離は短くなり、加速すると長くなります。

インフォメーション

WET 走行プログラムに切り替えると、設定距離が以前よりも短かった場合、アダプティブ クルーズ コントロールの設定距離が中程度の設定 (「走行速度の半分の距離」) に変更されます。

▷ 「走行プログラムの選択」の章（297ページ）を参照してください。

図 13 : 目標車間距離の設定

インフォメーション

システム ディスプレイが作動していない場合、初めてロッカー スイッチ **Z** を押すと、目標距離が変更されず、ドライバー アシスタンス システムのメイン メニューが表示されます。

目標車間距離を長くする

▶ ロッカー スイッチ **Z** を上方向に押してください。前走車 **C** までの設定車間距離表示 **A** の該当距離セグメントが表示されます。

目標車間距離を短くする

▶ ロッカー スイッチ **Z** を下方向に押してください。前走車 **C** までの目標車間距離表示 **A** の該当接近セグメントが表示されます。

前走車との車間距離を表示する

前走車を検出すると、インストルメント パネルまたはステータス ディスプレイ **B** に車両のシンボル マーク **C** が表示されます。

灰色のゾーン **D** が、前走車 （図 12） との現在の車間距離を示します。

前走車 **C** までの距離が短ければ短いほど、ディスプレイに車両は大きく表示されます。 前走車 **C** までの距離が長ければ長いほど、ディスプレイに車両は小さく表示されます。

シンボル	最適な走行	120 km/h での車間距離
	流れに乗った高速走行	約 33 m (≙ 1 秒)
	流れに乗った走行	約 47 m (≙ 約 1.4 秒)
	「前走車との車間距離が 2 秒」相当	約 60 m (≙ 約 1.8 秒)
	郊外道路での走行	約 73 m (≙ 約 2.2 秒)
	交通量が少ない道路での走行	約 87 m (≙ 約 2.6 秒)

⚠ 警告 近すぎる車間距離

前方車両との車間距離が近すぎると、衝突する恐れがあります。

- 常に各国で規定されている距離を維持してください。

速度と距離の制御を一時的に無効にする

速度と距離の制御は、アクセルペダルを踏むことで一時的に無効にできます。 これは、たとえば追い越す場合に便利です。

✓ ACC が作動しています。

1. アクセル ペダルを踏み込んでください。
   システムはアクセル ペダルを踏んでいる間**停止状態になります** (動作状態が**一時的に停止**)。
2. アクセル ペダルから足を放してください。
   システムは**作動中です**。

クルーズ コントロールおよび車間距離制御の中断と再開

速度と距離の制御の中断

- ブレーキ ペダルを踏んでください。
  – または –
  ステアリング ホイールのレバーを下方に押します (**4** の位置、**キャンセル**)。
  システムは**停止中です**。 目標速度と距離の設定は保存され続けます。
  ステータス ディスプレイ **B** が緑色から灰色になります。

インフォメーション

停車時は、速度および車間距離制御はコントロール レバーを使用してのみキャンセルできます。

速度と距離の制御の再開

- ステアリング コラムのコントロール レバーを上方 (設定 **3**、**RESUME**) に押してください。
  システムは**作動中です**。 目標速度と距離の設定が再度適用されます。
  ステータス ディスプレイ **B** が灰色から緑色になります。

インフォメーション

コントロール レバーを短く押すことにより、車両が停止中でも ACC を作動させることができます。

インフォメーション

コントロール レバーを **4 の位置** (**CANCEL**) にして速度および距離の制御を中断していた場合、前方に静止した物体を検出していない状態でのみ制御を再開できます。

自動ブレーキで停車するまで

アダプティブ クルーズ コントロールが作動している場合、前走車が停止すると、システムの制御範囲内で車両は減速して停車します。

インストルメント パネルのインジケーター ライト HOLD が点灯します。

車両は前走車が発進するまで停止状態を維持します。

HOLD 機能に関するインフォメーション:

▷ 「HOLD 機能」の章（276ページ）を参照してください。

インフォメーション

交通状況によっては (例えば、ゆっくりとした交通の流れの中では)、車両はゆっくりと徐行してから停車します。

インフォメーション

車間距離制御の作動中、または車両が停止状態に維持されているとき、ブレーキ ペダルの感触が変化したり、油圧作動音が聞こえたりすることがあります。 これはシステムの正常な作動です。 故障ではありません。

再発進

アダプティブ クルーズ コントロール システムの作動状態によって、車両は停止後に再発進し、速度および車間距離制御を再開できます。

アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) の作動

- ステアリング ホイールのレバーを上方 (**3** の位置、**再開**) に押してください。
  – または –
  アクセル ペダルを短く踏んでください。
  車両が自動的に再発進します。
  渋滞の場合、数秒以内に再自動発進します。

インフォメーション

状況に応じて、アダプティブ クルーズ コントロールは渋滞の場合の再自動発進をサポートします。 これは、低速走行する交通状況での快適な制御を可能にします。

インストルメント クラスターのメッセージ **ACC準備** は、車両が発進可能であることをドライバーに知らせます。

⚠ 警告 事故の危険

渋滞走行時に、自分の車両と前走車とのあいだに障害物がある場合でも、車両は再発進する可能性があります。

▶ 直ちにブレーキをかけてください。

インフォメーション

前走車が停止しているときは発進できません。

アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) のスタンバイ

自動クルーズ コントロールおよび車間距離制御は車両が停止中または発進後、前方に静止した物体を検出していないとき再開できます。

▶ ステアリング ホイールのレバーを上方 (3 の位置、**再開**) に押してください。
– または –
目標速度を設定してください。

警告メッセージへの対応

アダプティブ クルーズ コントロール作動時のドライバー引き継ぎリクエスト (ACC 有効)

アダプティブ クルーズ コントロールが作動しているときに、ドライバーのブレーキ操作が必要であると判断された場合、警告音が鳴り、インストルメント パネルに警告シンボルが表示されます。

アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) の警告メッセージに関する情報：

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（92ページ）を参照してください。

⚠ 警告 システムによる自動ブレーキ中の制動力不足

この場合、アダプティブ クルーズ コントロール システムのブレーキ制動力では衝突を回避するのに不十分です。

▶ 直ちにブレーキをかけてください。

アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) の例外

アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) が OFF になったので、アダプティブ クルーズ コントロールは使用できません。

– イグニッションが OFF になっている場合。
– 運転席ドアが開いている場合、または運転席のシート ベルトが着用されていない場合。
– エレクトリック パーキング ブレーキが作動している場合。
– セレクター レバーが N、R、P の位置にある場合。
– 急な上り坂または下り坂。

アプリ

国によって、さまざまなアプリが車両で利用可能です (Apple App Store または GOOGLE® Play Store からダウンロード)。

⚠ 危険 運転中の設定変更および操作

運転中にアプリの設定や操作を行うと、交通状況から注意がそらされる危険があります。 車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 車両が完全に停止してからアプリを使用および管理してください。

インフォメーション

ポルシェ コネクトに関する詳細 (ヘルプ ビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ) は、 www.porsche.com/connectをご覧ください。

ポルシェ コネクト アプリ

ポルシェ コネクト アプリは、車両と携帯電話のネットワークを提供します。
住所録やカレンダーに入力した個人設定の POI (施設情報) や目的地を携帯電話から PCM に転送することができます。 国により、必要なアプリをインストールしアカウントを作成すれば、音楽ストリーミング機能を使用して楽曲にアクセスできます。

ポルシェ コネクト アプリを PCM に WiFi 経由で接続し、次で開きます： PCM

✓ ポルシェ コネクト アプリが携帯電話にインストールされている (Apple App Store または GOOGLE® Play Store からダウンロード)。
✓ ポルシェ コネクト アプリが始動しました。
✓ 携帯電話で WiFi を有効にしている。
✓ WiFi 機能が次の場所で有効にされている： PCM.

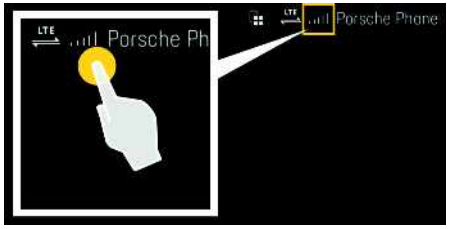


図 14：デバイス マネージャーを開く

1. PCM の WiFi アクセス データを表示し、携帯電話と次の間での WiFi 接続を確立します： PCM.
   a. ヘッドラインで ▶ または (接続状況により異なる) ▶ オプション ▶ **車両ホットスポット**を選択してください
   のホットスポット名および**パスワード** が表示されます。 PCM 表示されます
   b. PCM の WiFi アクセス データを携帯電話の WiFi 設定に入力します。
2. アプリ を選択してください。
   ポルシェ コネクト アプリ の利用可能なコンテンツが表示されます。

インフォメーション

アプリを使用して車両固有データおよびその他の機能にアクセスできるため、このデータを保護し、第三者による不正なアクセスを防ぐようお勧めします。 アプリを使用すると、モバイル通信ネットワークでデータが送信されるため、ご利用のサービス プロバイダーから追加料金を請求される場合があります。

Porsche Track Precision App

一部の国で使用できる Porsche Track Precision App を使用すると、無線 LAN (WiFi) 経由で車両に接続できます。 このアプリにより、携帯電話上で走行データの表示、保存、分析ができます。 Porsche Track Precision App を使用するのに、SIM カード / データ接続が必要ない場合があります。
以下を使用して WiFi 接続を確立するためのインフォメーション： PCM:

▷ 「Porsche Connect」の章（ 278ページ）を参照してください。

Porsche Track Precision App のインストールおよび機能に関する詳細情報はアプリ内および www.porsche.com またはポルシェ正規販売店から入手できます。

⚠ 危険 車両コントロールの喪失

速度の出し過ぎや危険な操作により、車両のコントロールが失われる恐れがあります。

- ▶ 路面、天候、周囲の交通状況とドライビング スキルに適したスタイルで走行してください。
- ▶ アプリは公道ではない道路でのみ使用してください。

インフォメーション

アプリを使うと車両固有データにアクセスできるため、第三者による無断アクセスからデータを保護することをお勧めします。

Porsche Road Trip アプリ

Porsche Road Trip アプリを使用して、すべての経由地 (個別に作成された旅程の一部である、ルート上の眺めの良い場所、レストラン、ホテルなど) を含む完璧な旅行を計画したり予約したりできます。
詳細については以下をご覧ください。 www.porsche.com/connect

インストルメント クラスター

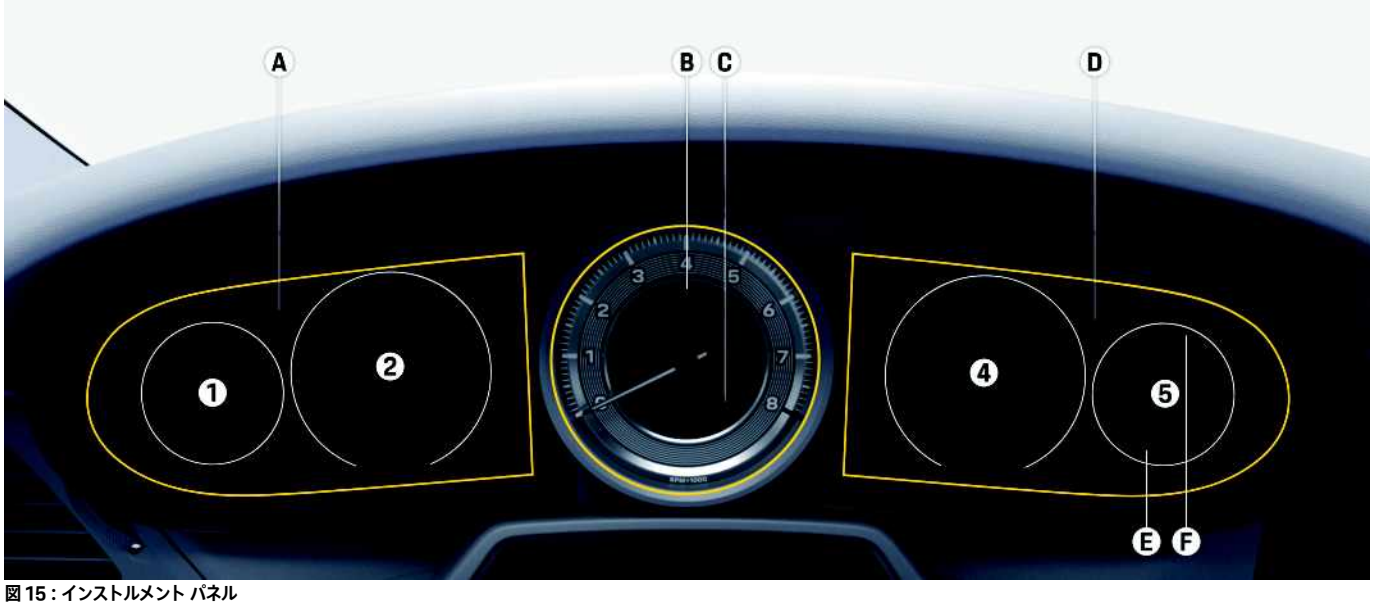


図 15 : インストルメント パネル

A - 速度 & アシスト ディスプレイ

時刻、外気温度、速度、ナビゲーションおよびアシスタンス システムに関する情報は、チューブ 1 と 2 に表示されます。

速度 & アシスト ディスプレイの設定に関する情報 :

▹ 「車両設定」の章（ 150ページ）を参照してください。

B - タコメーター (回転計)

タコメーター スケールのレッド ゾーン開始地点は、エンジン許容最高回転数に対する視覚的な警告のためのものです。

C - デジタル スピードメーター

速度、セレクター レバーの位置、および締結ギヤに関する情報は、デジタル スピードメーターに表示されます。

D - 車両 & 情報ディスプレイ

走行プログラム、車両ステータス、ナビゲーション、アシスタンス システム、およびドライバー アシスタンスに関する情報は、チューブ 4 と 5 に表示されます。

車両 & 情報ディスプレイの設定に関する情報 :

▹ 「車両設定」の章（ 150ページ）を参照してください。

E - 燃料計

知識

燃料不足は、エミッション コントロール システムに損傷を与える恐れがあります。

- 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
- 燃料警告が表示された場合、カーブを曲がるときにスピードを出さないでください。

車体の傾きが変化する場合（上り坂や下り坂の走行など）、表示が少しずれることがあります。

燃料残量警告

燃料の残量が機種ごとに設定された一定量の燃料残量を下回る場合、燃料警告メッセージが表示されます。

- 最寄りの給油所で給油してください。
  - ▷ 「補給」の章（301ページ）を参照してください。

フィラー フラップ位置の表示

矢印はフィラー フラップがある車両の側を示します。

F - クーラント温度計

知識

クーラント温度が過度に高温になると、エンジン損傷の原因になる可能性があります。

冷却水温度が異常に高くなる場合、水温計の指針が最高温度マークまで動きます。 インストルメント クラスターに警告メッセージが表示されます。 警告灯が が点灯、または点滅します。

- レッド ゾーンに達した場合は、直ちに安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。 運転を続けないでください。

バーが左部分にあるとき - エンジン冷間時

- 高いエンジン回転数および重いエンジン負荷を避けます。

バーが中央部分にあるとき - 通常の作動温度

- 外気温が高いときにエンジンに大きな負荷をかけた場合、バーがレッド ゾーンに達することがあります。

バーがレッド ゾーンにあるとき - 作動温度が高すぎる

- クーラント レベルが低い場合、急な坂道など車両が急角度で傾いたり、円状に走行するなどして長いカーブで横加速度が発生したりすると、警告メッセージが表示されることがあります。 車両が「通常」の状態に戻ったときに警告メッセージが消えない場合、クーラント レベルを点検してください。
  - ▷ 「クーラント（冷却水）」の章（75ページ）を参照してください。

F - ブースト圧ディスプレイ

車両の装備仕様によっては、ブースト圧がディスプレイに表示されます。

警告灯およびインジケーター ライト

知識

不具合は警告灯によって表示されます。 不具合の原因が解消した場合に限り、該当する警告灯が消灯します。

次の場合は、必ずポルシェ正規販売店にご相談ください。

– エンジン作動中または走行中に、警告灯が点灯または点滅する。

ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ハイ ビーム インジケーター ライト

ダイナミック ハイ ビーム インジケーター ライト

ロー ビーム インジケーター ライト

リヤ フォグ ライト インジケーター ライト

ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス（PDLS Plus）警告灯

ライト警告灯

クーラント温度警告灯

エンジン コントロール システム警告灯

エンジン コントロール システム警告灯

距離警告警告灯

タイヤ空気圧警告灯
新しく装着したホイールまたはタイヤ空気圧センサーの登録プロセス中に、タイヤ空気圧の低下、タイヤ空気圧監視システム（TPM）の故障または一時的な不具合により、警告灯が点滅または点灯する場合があります。

4 輪駆動警告灯

ポルシェ アクティブ セーフ警告灯

エレクトリック パーキング ブレーキ警告灯

ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント（PASM）警告灯

アンチロック ブレーキ システム（ABS）警告灯

パワー ステアリング警告灯

セントラル警告灯

方向指示器、左

方向指示器、右

エアバッグ警告灯

シート ベルト警告灯

ブレーキ システム警告灯

ブレーキ パッド警告灯

ポルシェ スタビリティ マネージメント（PSM）警告灯

ポルシェ スタビリティ マネージメント（PSM）OFF 警告灯

ナイト ビュー アシスト インジケーター ライト

HOLD 機能インジケーター ライト

エミッション コントロール警告灯 (チェック エンジン)
汚染物質の排出量を増加させたり、損傷を引き起こす原因となったりする作動不良 (エンジンの不点火など) が生じた際に、警告灯が点滅または点灯する場合があります。

エミッション コントロール (チェック エンジン) 警告灯が点滅または点灯する場合

- 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。
- 必要に応じて、安全な場所に停車してください。可燃物 (乾燥した草や枯れ葉など) が高温の排気システムに接触しないよう注意してください。
- 必要な措置を講じて、エミッション コントロール システムの不具合を解消してください。

インストルメント パネルの操作

⚠ 警告 運転中のアプリの設定変更および操作

マルチファンクション ステアリング ホイールやインフォテインメント システムなどの設定と操作は、交通状況に対する注意が逸らされる危険があります。 車両のコントロールを失う恐れがあります。

- 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合にのみコンポーネントを操作してください。
- 安全を確保できない場合は、車列を離れ車両を停車してから詳細な操作や設定を行ってください。

インストルメント パネルは、イグニッションが ON の時のみ有効です。 安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。

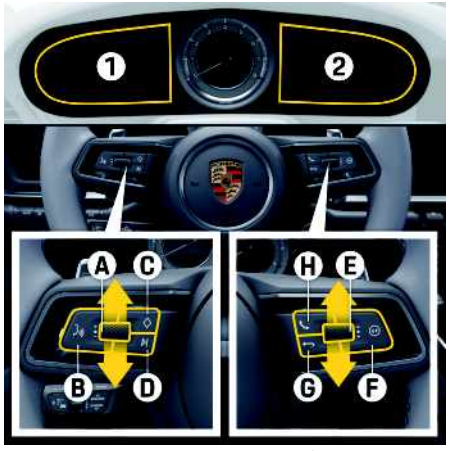


図 16 : マルチファンクション ステアリング ホイールでのインストルメント パネルの操作

A - 音量の調節またはオーディオ ソースのミュート

- 音量調節 : ロータリー ノブ A を上方向または下方向に回します。
- ミュート : ロータリー ノブ A を押します。

B - ボイス コントロールの呼び出し

- ボタン B を押してください。

C - 保存した機能を呼び出す

ショートカット キーを割り当てる

- C ボタン (◇ ボタン) を押してください。 ステアリング ホイールのボタンおよびスイッチ パネルのボタンは個別に割り当てることができます。
  - ▷ 「車両設定」の章 (150ページ) を参照してください。

D - 次 / 前回の放送局 / トラックを再生する

- ボタン D を押してください。

E - 速度&アシスト機能 1 および車両&情報 2 ディスプレイでのメニューおよび機能のスクロールと選択

- スクロール: ロータリー ノブ E を上方向または下方向に回してください。
- 選択/入力: ロータリー ノブ E を押してください。

F - 速度&アシスト機能 1 および車両&情報 2 ディスプレイの切り替え

- ボタン F を押してください。

G -「車両 & 情報 2」ディスプレイでの、1 つ前、または複数前のメニューへの移動

- G ボタンを押してください。

H - 着信を受ける

- ボタン H を押してください。

オプションの選択および機能の有効化

手前のシンボル マークは、オプションが選択されているかどうか、または機能が有効な状態であるかどうかを示します。

複数のオプションから 1 つを選択

オプションは選択されています。

オプションは選択されていません。

機能の有効化および無効化

機能が作動している

機能は作動していません。

インストルメント パネルでの調整ビュー

様々な車両情報をドラッグ & ドロップで 4 つのフィールドに記載することができます。 車両情報の 1 つの項目を複数のフィールドに同時に割り当てることはできません。

▸ **車両 ▸ 制御 ▸ 表示 ▸ インストルメント クラスターの表示 ▸ カスタマイズ表示**

次に、インストルメント パネルのカスタマイズ ビューを選択できます。

▸ **車両 ▸ 表示 ▸ カスタマイズ**

インストルメント クラスターの表示項目

一部のディスプレイ表示は停車中のみ利用できます。

すべての機能に関する詳細がこの取扱説明書で説明されているわけではありません。 例は機能を分かりやすく説明し、メニュー構成を明確にするために記載されています。

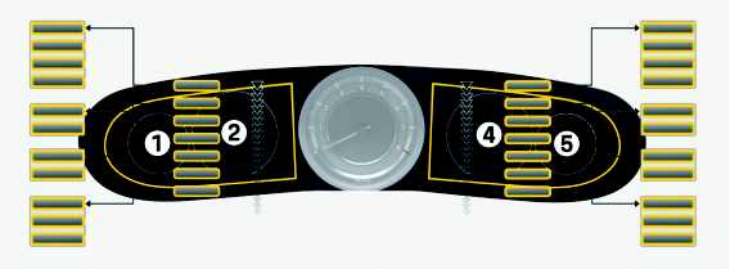


図 17 : インストルメント クラスターの表示項目

チューブ	表示	何ができるか / 何が表示されるか	操作場所
1	▶ **時刻、外気温度、日付**	デジタルまたはアナログ時計、外気温度、および日付を表示します。 表示の選択は PCM で調節できます。	▷ p. 150
1	▶ **コンパス**	コンパスを表示します。	
2	▶ **スピードメーター**	スピードメーターを表示します。	
2	▶ **走行距離および区間走行距離**	オドメーター (積算距離計) およびトリップ メーターを表示します。 トリップ メーターは、9,999 km (6,213 マイル) を超えた後、「0」に戻ります。 **トリップ メーターをリセットします** ▶ マルチファンクション ステアリング ホイールの右ロータリー ノブ **E** （図 16） を押し続けてください。 トリップ メーターが点滅します。 3 回点滅した後、「0」に戻ります。	

チューブ	表示	何ができるか / 何が表示されるか	操作場所
2	▸ **アシスタンス スクリーン**	アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) を調節および表示します。	▹ p. 41
		レーン チェンジ アシストを表示します。	▹ p. 269
		レーン キープ アシストを表示します。	▹ p. 266
		クルーズ コントロールを表示します。	▹ p. 77
2	▸ **速度制限**	速度警告を伴う速度制限のパーソナル設定を行い、表示します。	▹ p. 55
2	▸ **ナビゲーション**	ナビゲーション情報 (メッセージ OFF など) を表示します。	▹ p. 197
4	▸ **電話**	接続した電話を使用します。	▹ p. 190
4	▸ **車両**	車両情報を表示します (情報、メッセージ、サービス インターバル、給油レベル)。	▹ p. 55
4	▸ **トリップ**	走行データ (平均燃費、走行可能距離、走行時間など) を表示およびリセットします。	▹ p. 184
4/5	▸ **地図**	地図画面を表示および調整します。	▹ p. 197
4	▸ **スポーツ クロノ**	ストップウォッチで時間を測定します。	▹ p. 129
4	▸ **G-Force**	現在の最大縦加速度および最大横加速度を円グラフで表示します。	
4	▸ **4 輪駆動**	フロント アクスルとリヤ アクスル間の現在のトルク配分を棒グラフ形式で表示します。	

チューブ	表示	何ができるか / 何が表示されるか	操作場所
4	▸ **タイヤ空気圧**	タイヤ空気圧モニタリング システムを表示します。	▷ p. 154
4	▸ **ナイト ビュー アシスト**	熱画像検出機能付きのナイト ビュー アシストを表示します。	▷ p. 195
4	▸ **パフォーマンス**	出力とトルクを表示します。	
4	▸ **ギヤアシスト**	パフォーマンスを重視した走行のためのギア シフト アシストを表示します。	▷ p. 189
4	▸ **メディア**	現在のメディア (ラジオなど) を表示します。	▷ p. 247
4	▸ **走行プログラム**	選択した走行プログラムを表示します。	▷ p. 297
5	▸ **燃料計と走行可能距離**	燃料計と走行可能距離を表示します。	
5	▸ **クーラント温度計**	クーラント温度計を表示します。	
5	▸ **目的地までのキロメートル**	目的地までのキロメートルを表示します (ルート案内中)。	

速度警告を伴う制限速度のパーソナル設定

速度警告を伴う制限速度のパーソナル設定を行い有効にすると、制限を超えた場合に警告メッセージが表示され、警告音が鳴ります。
この機能は、装着しているタイヤに許容される最高速度を守るために、ドライバーに注意を喚起する場合などに利用できます。

1. **速度制限** ▸ **Lim 1:** または **Lim 2:**
2. 任意の制限を選択します：

– **リセット**：速度制限をリセットします。
– **現在**：現在の速度を設定します。
– **マニュアル：**：目標速度制限を設定します。
– **有効**：速度制限を有効または無効にします。

☑ 速度制限が作動しています。

■ 速度制限が作動していません。

車両情報の表示

様々な車両情報の表示

▸ **車両** ▸ **表示** ▸ **車両**

希望する車両情報ビューを選択してください。

メッセージの表示

▸ **車両** ▸ **通知**

未解決の警告または車両メッセージが表示されます。下部のエリアに表示される警告メッセージは、未解決の重要な警告メッセージの数を示します。

サービス インターバルの表示

▸ **車両** ▸ **メンテナンス**

任意のサービス インターバルを選択してください。

次回のサービス時期が表示されます。

インテリア ライト

明るさの調節

▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **車両** ▸ **ライトと視界** ▸ **インテリア ライト** ▸ **明るさ**

遅延消灯の設定

▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **車両設定** ▸ **ライトと視界** ▸ **インテリア ライト** ▸ **フェードアウト**

インテリア ライトの調節

インテリア ライト / 読書灯の ON/OFF の切り替え

▸ 該当するライトのボタンを押してください。

明るさを調節する (減光)

▸ 該当するライトのボタンを希望の明るさになるまで少なくとも 1 秒間押し続けてください。

インテリア ライトの ON/OFF の自動切り替え

▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **車両** ▸ **ライトと視界** ▸ **インテリア ライト** ▸ **ドアを開いている間**

暗い場合、インテリア ライトは以下の状況で ON になります。
- 車両のロックが解除されている場合、またはドアが開いている場合。
- イグニッションを OFF にした後で、運転席シートベルトが着用されていない場合。

インテリア ライトは以下の状況では、再び OFF になります。
- すべてのドアを閉じた後。
- イグニッションを ON にした直後。
- 車両をロックした直後。
- ON になってから自動で約 10 分後。

インテリア ライトの遅延消灯が設定できます。

▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **車両設定** ▸ **ライトと視界** ▸ **インテリア ライト** ▸ **フェードアウト**

アンビエント ライトの調節

アンビエント ライトの ON/OFF の切り替え

1. **車両** ▸ **制御** ▸ **アンビエント ライト**
2. を選択してください。

アンビエント ライトの色の設定

1. **車両** ▸ **制御** ▸ **アンビエント ライト**
2. **カラー**を選択します。
3. 希望のライトの色を設定してください。

アンビエント ライトの明るさ調節

車室内全体の明るさ設定

1. **車両** ▸ **制御** ▸ **アンビエント ライト**
2. **明るさ**を選択します。
3. 明るさを希望の値に設定してください。

車室内の各エリアの明るさ設定

1. **車両** ▸ **制御** ▸ **アンビエント ライト**
2. **ドア**, **センター コンソール**, **リヤ**または**フット ウェル**を選択します。
3. 明るさを希望の値に設定してください。

ウィンドウ

ウィンドウの開閉

⚠ 警告 ウィンドウの開閉

ウィンドウを開閉するときは、作動中のウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。特にワンタッチ作動で閉じるときは十分に注意してください。

- ウィンドウを開閉するときは、作動中のウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。
- 車両から離れるときは、必ずイグニッションを OFF にしてください。 乗員がパワー ウィンドウを誤って操作し、怪我をする恐れがあります。
- コンフォート アクセス装備車の場合、危険な時は、直ちにドア ハンドルの近接センサーまたはキーのボタンを放してください。
- お子様だけを車内に残さないでください。

⚠ 警告 サイド ウィンドウを手動で閉じる

サイド ウィンドウの動きが妨げられてワンタッチ作動が無効になっている場合、サイド ウィンドウを手動で閉じるとこのウィンドウは最大の力で閉じられます。そのため、動くサイド ウィンドウと車両の固定部品の間に身体の一部が挟まれると、押しつぶされる危険があります。

- サイド ウィンドウを閉じる際には、人が挟まれたり、押しつぶされたりしないよう注意してください。

i インフォメーション

サイド ウィンドウが閉じるときに障害物に妨げられると、サイド ウィンドウは停止した後、再び数センチ開きます。
サイド ウィンドウの動作が約 10 秒以内にもう一度妨げられると、そのウィンドウのワンタッチ操作ができなくなります。サイド ウィンドウは手動で閉じることができます。ワンタッチ操作を再度有効にするには、サイド ウィンドウを手動閉操作で一度完全に閉じてください。

ウィンドウの開閉

✓ イグニッションを ON にしてください。
– または –
✓ イグニッションを OFF にしてから 10 分以内。
✓ 運転席 / 助手席ドアをまだ開いていない。

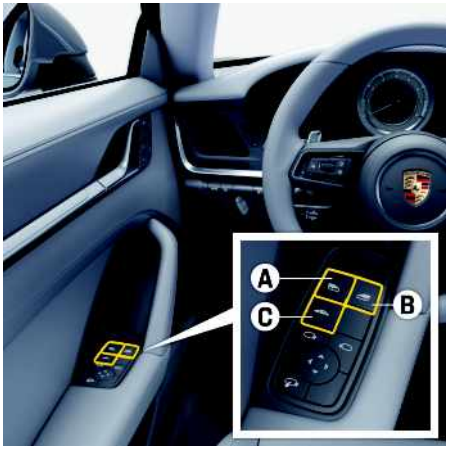


図 18 : 運転席ドアのパワー ウィンドウ スイッチ

A パワー ウィンドウ、運転席側
B パワー ウィンドウ、助手席側
C フロント / リヤ ウィンドウの切り替えスイッチ (カブリオレ)

ロッカー スイッチには **2 段階の作動位置**があります。 この 2 段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

段階 1 - 手動操作

- 希望の位置に達するまで、ロッカー スイッチを 1 段階目の位置まで押すか、引いてください。
  スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まります。

段階 2 - 自動操作

- ロッカー スイッチを 2 段目まで押すか、引いてください。
  ウィンドウは自動的にいっぱいまで開閉します。
- ウィンドウを希望の位置で停止させたいときは、もう一度スイッチを操作してください。

キーによるウィンドウの開閉

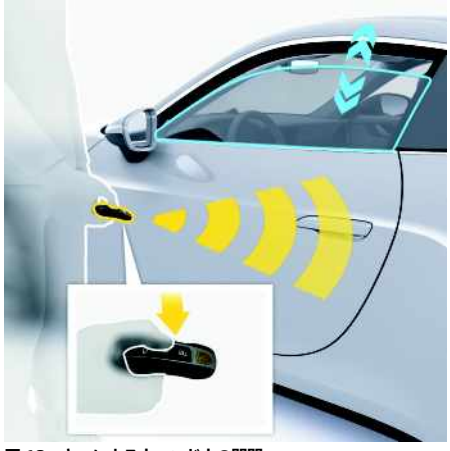


図 19 : キーによるウィンドウの開閉

✓ 機能が作動しています。
  ▷ 「車両設定」の章（ 150ページ）を参照してください。
▶ ウィンドウが希望の位置になるまでキーの車両ロック / ロック解除ボタンを押し続けてください。

カブリオレ : ウィンドウを選択

▶ ボタン C を押して、フロント ウィンドウまたはリヤ ウィンドウを選択してください。
  リヤ ウィンドウを選択すると、ボタン C のインジケーター ライトが点灯します。

コンバーチブル トップが開いているときは、フロント ウィンドウが閉じているときのみリヤ ウィンドウを閉じることができます。

ドア ハンドルの近接センサーでウィンドウを閉じる

✓ コンフォート アクセス搭載車両
✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行している。
✓ 機能が作動しています。
  ▷ 「車両設定」の章（ 150ページ）を参照してください。
▶ 車両をロックするときにウィンドウが希望の位置になるまで、ドア ハンドルのタッチ センサーに触れ続けてください。

ウィンドウ停止位置の保存

バッテリーを切り離したり、再接続したりすると、ウィンドウの停止位置が消去されます。 ウィンドウのワンタッチ操作が無効になります。

すべてのウィンドウで以下の手順を行ってください。

1. スイッチを 2 段目まで引いて、一度完全にウィンドウを閉じます。
2. ウィンドウが完全に閉じたら、ロッカー スイッチを再度短く 2 段目まで引いてください。
3. スイッチを押して、ウィンドウを一度完全に開きます。

ウィンドウ ウォッシャー液

図 20 : フロント ウィンドウ用ウォッシャー液タンク

以下の点に留意してください :

- 季節に応じて、水と適切な添加物 (ウィンドウ クリーナー濃縮液、不凍液) を混合します。 常に適切な割合で混合し、使用する添加物の容器に記載されたすべての指示を読んでください。
- – **夏** : 水とウィンドウ クリーナー濃縮液を充填します。
- – **冬** : 水、不凍液、ウィンドウ クリーナー濃縮液を充填します。

次の要件を満たしたウィンドウ クリーナー濃縮液のみを使用します :

- 希釈 1:100。
- リン酸塩不使用。
- プラスチック製ヘッドライト レンズ適合品。

ポルシェ社が承認したウォッシャー濃縮液についての情報は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ウォッシャー液レベルが低くなり過ぎると、インストルメント クラスターに警告メッセージが表示されます。

ウォッシャー液の追加

知識

ヘッドライトを損傷する恐れがあります。

- ▸ ウォッシャー液を補充するときに、ヘッドライトに寄りかからないようにしてください。

1. ウォッシャー液タンクのキャップを開きます。
2. ウォッシャー液を追加します。
   - ▹ 「テクニカル データ」の章（305ページ）を参照してください。
3. キャップを慎重に閉めます。

エアバック

⚠ 危険 正しくないシート位置または正しく収納されていない荷物

エアバッグは、乗員全員がシート ベルトを着用し正しく着席している場合にのみ、保護機能を発揮します。荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

- **シート ベルトを必ず着用します。**
- ドライバーや乗員とエアバッグが展開するエリアとの間に、人や動物がいないように、また物がないようにしてください。
- ステアリング ホイールは必ずステアリング ホイール リムを握るようにしてください。
- 効果的に保護できるようにするには、ドライバーや乗員からエアバッグまで一定の距離が必要です。 エアバッグに必要以上に近づきすぎないようにシート位置を選択します。
- ドアの内側 (エアバッグが膨らむエリア) にもたれかからないでください。
- ドアの小物入れから荷物が決してはみ出ないようにしてください。
- シート上またはシートの前に重い荷物を載せて走行しないでください。
- ダッシュボードの上には物を置かないでください。
- 走行中はグローブ ボックスを収納しておいてください。
- 走行中、足は常にフットウェルに置いてください。 ダッシュボードやシート クッションの上に足を乗せないでください。
- ドライバーはこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

エアバッグ システムの機能

エアバッグは、シート ベルトと併用することで衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。

正面または側面からの衝突時に、衝突方向のドライバーおよび乗員の動きをダンピングする間、エアバッグは頭、骨盤、上半身を保護します。

フロント エアバッグは、運転席側はステアリング ホイール中央のパッド内、助手席側はダッシュボードの中に取り付けられています。

フロント シートの**サイド エアバッグ**はバックレストの側面に取り付けられています。

ヘッド エアバッグはサイド ルーフ フレーム (クーペ モデル) に取り付けられています。

それぞれのエアバッグは、衝突の角度または衝突の力によって作動することがあります。

⚠ 危険 作動済みのエアバッグを作動させることはできません。

エアバッグは 1 回しか作動できません。

- 作動済みのエアバッグは直ちに取り替える必要があります。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

⚠ 危険 エアバッグの改造による不具合

手を加えたエアバッグは、保護効果を発揮しません。作動しなかったり、予期しないタイミングで作動したりする恐れがあります。 予期しないタイミングでエアバッグが作動すると、重症を負う可能性があります。

- エアバッグの配線や部品を改造しないでください。
- エアバッグの配線の近くには、アクセサリー類の配線を取り付けないでください。
- エアバッグ付近にアクセサリーを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- シートに保護カバーを装着しないでください。
- エアバッグの部品を取り外さないでください。

故障の認識

エアバッグ システムが故障した場合、インストルメント パネルの赤いエアバッグ警告灯 によって表示されます。

次の場合は、必ずポルシェ正規販売店にご相談ください。

– イグニッションを ON にしたときに警告灯が点灯しない
または
– イグニッションが ON のときに警告灯が消灯しない
または
– 走行中は警告灯が点灯します。

ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

助手席エアバッグを OFF にする

図 21 : 助手席エアバッグ OFF/ON インジケーター

⚠ 危険 助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルド シートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▶ チャイルド シートを取り外した後は、助手席エアバッグを ON に戻してください。

⚠ 危険 助手席エアバッグの故障または作動不良

イグニッションを ON にして、助手席エアバッグを OFF にしたときに **PASSENGER AIR BAG OFF** インジケーターが点灯しない場合、システム故障の恐れがあります。

- ▶ 助手席にチャイルド シートを取り付けないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

図 22 : 助手席エアバッグを OFF にする

助手席エアバッグは、グローブ ボックス内のキー スイッチで OFF にできます。キー スイッチはエマージェンシー キーで操作できます。

- ▶ チャイルド シートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▷ 「チャイルド シート」の章（ 172ページ）を参照してください。

エンジン オイル

エンジン オイル レベルの点検

運転スタイルや作動条件によっては、オイル消費量が最大 0.8 リットル /1000 km になる場合もあります。オイル レベルを定期的に確認する必要があります (車両に燃料を補給するときなど)。

オイル レベル警告に対応する

オイル レベルが低過ぎる場合、インストルメント パネルにシンボルが表示され、直ちにエンジンにオイルを補充する必要があることを知らせます。

エンジン オイル レベルの測定と表示

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

オイル レベルがオイル レベル指示器の下限マークを下回る場合、エンジンが十分に作動しない可能性があります。

- ▸ オイル レベルを定期的に点検してください。
- ▸ オイル レベルが下限マークを下回らないように注意してください。

インフォメーション

状況により、オイル レベルが測定されないことがあります。 以下の場合に発生します:

- – エンジン冷間時。
- – フル スロットル走行後のエンジン回転数が高い状態で車両を停車させた場合。
- – エンジン油温が高すぎる。

✔ 車両を平坦な場所に駐車する。

✔ エンジンが作動温度に達した状態で、1 分間以上停止している。

▸ **車両** ▸ **オイル レベル**

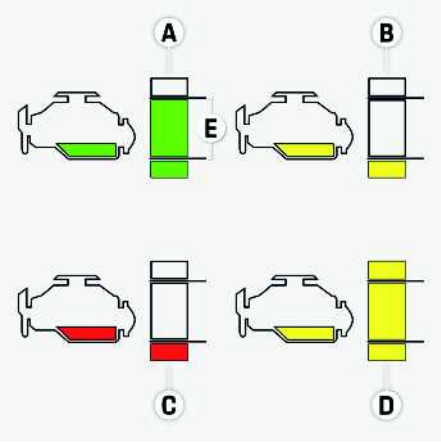


図 23 : オイル レベル インジケーター

A オイル レベルは十分 - 上限に達している
B オイル レベルが下限に達している
C オイル レベルが下限を下回っている
D オイル レベルが上限を超えている
E 差は約 1.3 リットル (911 Carrera、911 Targa) または約 1.0 リットル (911 Turbo S)

表示が緑色 **A** の場合、オイル レベルは最高水準にあり、十分であることを示します。

最下部のセグメントが黄色 **B** で表示されている場合、オイル レベルが下限マークまで低下していることを示しています。

▸ 次の機会に、インストルメント パネルに表示されているエンジン オイルの量を補充します。
表示された補充量以上のエンジン オイルを補充**しないでください**。 下限マークと上限マークの差は、約 1.3 リットル (911 Carrera、911 Targa) または 1.0 リットル (911 Turbo S) です。

最下部のセグメントが赤色 **C** で表示されている場合、オイル レベルが下限マークを下回っていることを示しています。

1. 適切な場所に停車してください。
2. インストルメント パネルに表示されている量のエンジン オイルを直ちに補充します。
表示された補充量以上のエンジン オイルを補充**しないでください**。 下限マークと上限マークの差は、約 1.3 リットル (911 Carrera、911 Targa) または 1.0 リットル (911 Turbo S) です。

最上部 **D** まで黄色で表示されている場合、エンジン オイルが容量の上限を超えて補充されていることを示しています。 これによって車両が損傷するおそれがあります。

次の機会にオイル レベルを適正に戻してください。

▸ ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

サーキット走行

サーキット走行時に増加する負荷を軽減するために、ポルシェではサーキット走行をする前に以下の対策を実施することをお勧めしています。

- ▸ サーキット走行を開始する前に、必ずオイル レベルを点検してください。
- ▸ 表示されるオイル レベルが真ん中と最大の間にあることを確認してください。
- ▸ 表示されたオイル レベルが真ん中より下にある場合は、約 0.5 リットルのエンジン オイルを追加します。
- ▸ 表示されたオイル レベルが最小と真ん中の間にある場合は、約 0.5 リットルのエンジン オイルを追加します。
- ▸ サーキットで定期的に走行する場合は、エンジン オイルとオイル フィルターを最大でも 10,000 km 毎に交換してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン オイルの選択と補充

⚠ 警告 エンジン コンパートメント ブロワまたはエンジン付近の他の可動部品

エンジン コンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪がエンジン コンパートメント ブロワーやドライブ ベルトなどの可動部品に引き込まれる恐れがあります。 エンジン コンパートメント ブロワーはエンジン カバーの下に取り付けられています。 エンジンを停止した後も、エンジン コンパートメント内の温度が監視され続けます。 この間は、エンジン コンパートメント ブロワーが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

- この付近で作業する場合は、エンジンを停止して、身体の一部、衣服の一部、または装飾品類がラジエーター ファン、エンジン コンパートメント ブロワー、ドライブ ベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。

⚠ 警告 エンジン オイルの発火

エンジン オイルが過熱したエンジン部品に触れると発火する恐れがあります。 エンジン オイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。

- 布で飛散したエンジン オイルを吸い取ってください。
- エンジン オイルが浸み込んだ布は、廃棄するまで換気の良い場所で保管してください。
- エンジン オイルを補充する前にエンジンを冷却してください。

⚠ 警告 高温のエンジン部品

エンジン稼働中はエンジン、周辺部品、およびエキゾースト システムが高温になります。

- 触れると火傷する危険があります。
- 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾースト システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- エンジン コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンを OFF にし、十分に冷やしてください。
- エンジン コンパートメントで作業する際は十分に注意します。
- エンジン オイルの補充はエンジンを停止し、イグニッションを OFF にしてから行ってください。

知識

エンジン オイルは少なすぎても多すぎても、エンジンを損傷する恐れがあります。 エンジン オイルが多すぎるとブルースモークが発生し、長期的にはエミッション コントロール システムを損傷する恐れがあります。

- オイル レベルが下限マークを下回らないように注意してください。
- エンジン オイルを追加する際は、上限マークのところまでにしてください。 オイル リザーバーが溢れた時は、できるだけ早く調整してください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

以下の点を常に遵守してください。

- ポルシェ社が認定したエンジン オイルのみを使用してください。 定期点検時期 (サービス インターバル) を遵守してください。
- ポルシェ社が認定したオイルは、混ぜ合わせることができます。
- オイル添加物を使用しないでください。
- エンジン オイルの漏れが検出されたら、直ちにエンジンを点検してください。

エンジン オイルの選択

ポルシェ社では、Mobil 1 を推奨します。

認定されたエンジン オイルの名称を示すラベルがエンジン コンパートメントにある場合、このマニュアルに記載された情報よりもラベルの情報を優先してください。

ご不明な点や、現在の承認オイルを確認するには、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

車両	認定品	SAE 粘度等級
全車両	Porsche C40、または VW 511 00	SAE 0W-40

エンジン オイルの補充

図 24 : オイル フィラー キャップ

1. インストルメント パネルでエンジン オイル レベルを確認します。
2. エンジン コンパートメント リッド (カブリオレ : コンバーチブル トップ コンパートメント リッド、タルガ : ガラス リヤ ウィンドウ) を開きます。
3. オイル フィラー キャップをゆるめて取り外してください。
4. インストルメント パネルに表示されている量のエンジン オイルを補充します。
   表示された量以上のエンジン オイルを追加しないでください。 下限マークと上限マークの差は約 1.3 リットル (911 Carrera、911 Targa) または 1.0 リットル (911 Turbo S) です。
5. オイル フィラー キャップを慎重に取り付けてください。

エンジン コンパートメント リッド

エンジン コンパートメント リッドの開閉

エンジン コンパートメント リッドを開く

知識

Targa ルーフが開く際には、ガラス リヤ ウィンドウが車両のボディから突出します。 ガラス リヤ ウィンドウを損傷する恐れがあります。

- 開閉するときは、車両後方に人がいないことを確認してください。 車両の上方や後方に十分なスペースがあることを確認してください (ガレージ内など)。

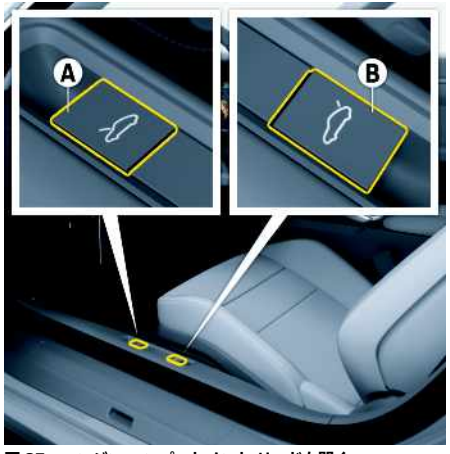


図 25 : エンジン コンパートメント リッドを開く

A　ラゲッジ コンパートメント リッド ボタン
B　エンジン コンパートメント リッド ボタン

✓ イグニッション ON (タルガ)

- ボタン B を引いてください。
  クーペ : エンジン コンパートメント リッドのロックが解除され、引き上げることができます。
  カブリオレ : エンジン コンパートメント リッド (コンバーチブル トップ コンパートメント リッド) が自動的にサービス ポジションまで開きます。
  タルガ : ガラス リヤ ウィンドウはサービス ポジションまで自動的に開きます。

センター コンソールのスイッチまたはエンジン コンパートメント リッド ボタンを使用して Targa ルーフまたはリヤ ガラス ウィンドウを開閉する場合、リヤ パークアシストが同時に作動します[1]。
センサー障害物を検出した時点で障害物までの距離が約 50 cm 以下だと、開閉が停止します。
インストルメント パネルにメッセージが表示されます。
車両付近に障害物がなければ、手動で作業を続行できます。

- 約 10 秒以内にスイッチを 2 回引きます。

エンジン コンパートメント リッドを閉じる

クーペ :

1. エンジン コンパートメント リッドを下げ、ロックに落としてください。 ロック部分を手のひらで押し、エンジン コンパートメント リッドを閉じてください。
2. エンジン コンパートメント リッドが確実にロックされていることを確認してください。
   エンジン コンパートメント リッドが正しく閉じていない場合、車両の発進時にインストルメント パネルにメッセージが表示されます。

カブリオレ :

- ボタン B を引いてください。
  エンジン コンパートメント リッド (コンバーチブル トップ コンパートメント リッド) が自動的に閉じます。

タルガ :

- ガラス リヤ ウィンドウが完全に閉じるまで、ボタン B を引いたままにします。
  – または –
  ガラス リヤ ウィンドウが完全に閉じるまで、タルガ ルーフを閉じるボタンを引いたままにします。
  ▷ 「Targa ルーフ システム」の章（284ページ）を参照してください。

1. アクティブ パーキング サポートを使用している間は作動しません。

エンジンの始動と停止

イグニッション ロック

キーはイグニッション内のコントロール ユニットに変更されました。 必要なのはキーを携行していることだけです。

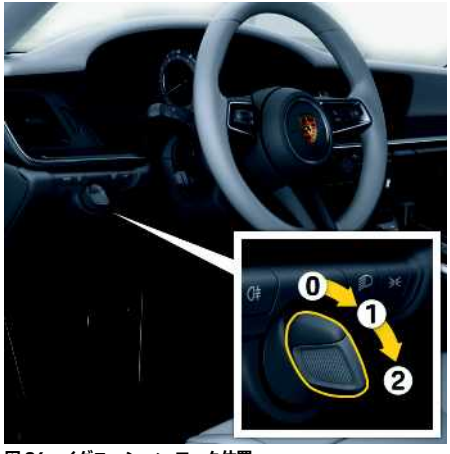


図 26 : イグニッション ロック位置

0　基本設定
1　イグニッション ON
2　エンジンの始動

0 - イグニッション OFF (初期位置)

イグニッション ロックが位置 0 のときは、エンジンとイグニッションは OFF になっています。

1 - イグニッション ON

すべての電装品が作動可能になります。 インストルメント クラスターの警告灯が点灯し、ライトの作動を点検します。

インフォメーション

イグニッションを ON にしてから 10 分以上電装品を ON にしなかった場合、再度イグニッションを ON にする必要があります。 初めにコントロール ユニットをイグニッション ロック位置 0 (初期位置) に回します。

2 - エンジン始動

エンジン始動後、コントロール ユニットが位置 2 から 1 の位置に自動的に戻ります。

ステアリング ホイールのロック / ロック解除

▷ 「警報システム」の章（112ページ）を参照してください。

エンジンの始動

1. ブレーキ ペダルを踏んでください。
2. マニュアル トランスミッション装備車 : クラッチ ペダルを完全に踏み込み、踏んだまま保持してください。
3. マニュアル トランスミッション装備車 : シフト レバーをニュートラル位置にしてください。
4. PDK 装備車 : セレクター レバーの P ボタンを押すか、作動モード N を選択してください。
5. アクセル ペダルは踏まないでください。
6. コントロール ユニットをイグニッション ロック位置 2 に回してください。 エンジン スターターを約 10 秒以上連続して作動させないでください。
   イグニッション ロック位置 2 にすると、クランキング (エンジン始動) が自動的に始まり、エンジンが始動します。

▸ エンジンが始動しない場合は、10 秒程度間をおいてから再度始動させてください。 まずコントロール ユニットをイグニッション ロック位置 0 (初期位置) に戻してください。

停車したままエンジンを暖機しないでください。 直ちに発進してください。 ただしエンジンが通常の作動温度になるまでは、スロットル操作を控えめにし、エンジン回転数を上げすぎないよう注意して運転してください。

エンジンの停止

⚠ 警告　停止中のパワー ステアリングおよびブレーキ ブースター

パワー ステアリングおよびブレーキ ブースターは、エンジンが作動している状態でのみ操作可能です。 エンジンが OFF になっている場合、ステアリング ホイールまたはブレーキを回すために普段より大きな力が必要になります。

▸ イグニッションは、車両が停止している場合にのみ、OFF にしてください。

1. 車両を停止します。
2. ブレーキ ペダルを踏んでください。
3. コントロール ユニットをイグニッション ロック位置 0 に回してください。

▸ 車両を離れるときは、PDK 装備車ではエレクトリック パーキング ブレーキをかけて P ボタンを押し、マニュアル トランスミッション装備車ではギヤを 1 速またはリバース ギヤに入れます。

オート スタート / ストップ機能

例えば信号待ちや渋滞などで停車した場合、エンジンを自動で停止するすべての条件が満たされるとエンジンが自動停止します。車両が徐行中に停車した場合も、エンジンが自動的に停止することがあります。 これにより燃料の消費を節減します。

エンジンが自動停止しているときもイグニッションは ON の状態のままで、 すべての安全機能が作動可能な状態になっています。

エンジン自動停止の前提条件

✔ オート スタート / ストップ機能が ON になっている。

✔ エンジン、トランスミッション、エアコンが作動温度に達している。

✔ 前回エンジンが自動停止してから、車両を徐行運転した。

PDK 装備車

✔ ブレーキ ペダルが踏み込まれている。

✔ 作動モード **D**、**M**、**N**、または **P** が選択されている。

✔ 運転席シート ベルトを着用している、または運転席ドアを閉じている。

マニュアル トランスミッション装備車

✔ 運転席ドアを閉じている。

✔ シフト レバーがニュートラル位置で、クラッチ ペダルを踏んでいない。

マニュアル トランスミッション装備車[1]：エンジン停止とエンジン始動

エンジン停止

1. ブレーキ ペダルを踏んで車両にブレーキをかけてください。
2. ギヤシフト レバーはニュートラルにしてください。
3. クラッチ ペダルから足を放してください。
   エンジンが停止します。

エンジン始動

▸ クラッチ ペダルを踏んでください。
エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

インフォメーション

エアコンで車内を快適にするためなど特定の条件下で、エンジンが自動的に始動する場合もあります。 ギヤシフト レバーはニュートラルにする必要があります。 場合により、ブレーキ ペダルを踏み込むことを促すメッセージがインストルメント パネルにも表示されます。

降車時の作動

エンジンの自動停止中に運転席ドアを開けた場合、エンジンが**自動で始動することはありません**。

エンジンの自動始動は、クラッチ ペダルを完全に踏み込むことで実行できます。

以下の要件のうちの 1 つが検出された場合、オート スタート / ストップ機能が再開します。

– ブレーキ ペダルが踏まれており、運転席ドアが閉まっていて、運転席シート ベルトが着用されている場合。
– または –
運転席ドアを閉じ、運転席シート ベルトを着用した場合。
– または –
運転席ドアを閉じ、運転席シート ベルトを着用したうえで、アクセル ペダルを踏んだ場合。

エンジンが自動停止している (運転手ドアが開いていて、ペダルが解除されている) 間に運転手が車両から降車した場合、エンジンが始動してオート スタート / ストップ機能が再開するには上記の要件が 30 秒以内に検出される必要があります。

車両を離れてから 30 秒以内にオート スタート / ストップ機能を OFF にした場合、運転席ドアを閉めて運転席シート ベルトを着用してからでなければ、エンジンが始動しません。 上記の条件のいずれも満たされなかった場合、車両から離れて 30 秒後にエンジンを**手動**で始動する必要があります。 エンジンを手動で始動することを促すメッセージが、インストルメント パネルに表示されます。

▷ 「エンジンの始動と停止」の章（67ページ）を参照してください。

PDK 装備車: エンジンの自動停止および自動始動

エンジンの停止

1. ブレーキ ペダルを踏んで車両にブレーキをかけてください。
2. ブレーキ ペダルを踏み続けてください。
   – または –
   ▸ 車両が停車中にセレクター レバーの **P** ボタンを押してください。

1. 装備は、後でしか使用できない場合や、特定の市場でしか使用できない場合があります。

インフォメーション

停車中にブレーキ ペダルをいっぱいまで踏み込むと、HOLD 機能が作動します。 この機能は、ブレーキ ペダルを踏まなくても車両を停止した状態に維持します。
エンジンはアクセル ペダルを踏む、またはエンジンを始動する必要が生じたときに自動的に始動します。

インフォメーション

アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) が ON の場合、前走車が停車したら車両は走行を停止し、エンジンが自動的に停止します。
車両は HOLD 機能によって停止状態に維持されます。

エンジン始動

✓ 作動モード D、M、N、または P が選択されている。
▸ ブレーキ ペダルを放してください (作動モードが P の位置にない場合)。
– または –
▸ アクセル ペダルを踏み込んでください。
– または –
▸ ステアリング ホイールを動かしてください。
– または –
▸ 作動モード R を選択してください。

エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

インフォメーション

エアコンで車内を快適にするためなど特定の条件下で、エンジンが自動的に始動する場合もあります。 場合により、ブレーキ ペダルを踏み込むことを促すメッセージがインストルメント クラスターに表示されます。

インフォメーション

アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) の作動中は、前走車が発進するとエンジンが自動的に始動します。

降車時の作動

エンジンの自動停止時に降車する (運転席シート ベルトを着用しておらず、運転席のドアが開いており、ブレーキ ペダルを踏んでいない場合) と、エンジンは**自動的に始動しません**。 さらに、作動モード D、R、または M になっている場合:
– エレクトリック パーキング ブレーキがかかります。
– トランスミッション パーキング ロック P に入れます。

運転席ドアが開き、運転席シート ベルトが外れた状態でも、エレクトリック パーキング ブレーキを手動で解除すると車両を移動させることができます。 この場合、パーキング ブレーキは解除され、トランスミッション レンジは選択された位置のままになります。
作動モード D、R、または M でパーキング ブレーキを解除した場合、またはブレーキ ペダルを踏んだ状態で作動モード D、R、M が選択されている場合には、エンジンが再始動します。
降車後 30 秒以内に以下の条件のうちの 1 つが検出された場合、オート スタート / ストップ機能が再開します。
– ブレーキ ペダルを踏み、さらに運転席ドアを閉じるか、運転席シート ベルトを着用した場合。
– または –
運転席ドアを閉じ、運転席シート ベルトを着用した場合。
– または –
運転席ドアを閉じ、運転席シート ベルトを着用したうえで、アクセル ペダルを踏んだ場合。

車両を離れてから 30 秒以内にオート スタート / ストップ機能を OFF にした場合、運転席ドアを閉めてシート ベルトを着用してからでなければ、エンジンが始動しません。 上記の条件のいずれも満たされなかった場合、車両から離れて 30 秒後にエンジンを**手動**で始動する必要があります。 エンジンを手動で始動することを促すメッセージが、インストルメント パネルに表示されます。
▷ 「エンジンの始動と停止」の章（67ページ）を参照してください。
▷ 「シート ベルト」の章（118ページ）を参照してください。

オート スタート / ストップ機能の例外

次のような状況では、オート スタート / ストップ機能は使用できません。
– SPORT/SPORT PLUS 走行プログラムが有効な場合。
– PSM が OFF または SPORT モードの場合。
– フロント アクスル リフト システムが有効な場合。
– 「最大冷房出力」機能が有効な場合。
– 「フロント ウィンドウ デフロスター」の機能が有効な場合。
– 高地の場合。

次のような状況では、オート スタート / ストップ機能が一時的に制限されます。
– エアコンまたは車内ヒーターが高い設定の場合。
– バッテリー充電が少ない場合。
– 上り坂または下り坂。
– オート エンジン チェック機能など車両の内部点検を実行している場合。
– 外気温度やバッテリー温度が非常に低いまたは高い場合。

インフォメーション

オート ストップ後に次のような状況に陥ったときは、エンジンが自動的に再始動します。

オート スタート / ストップ機能の ON/OFF 切り替え

OFF にする

▶ **車両** ▶ **ドライブ** ▶ **スタート / ストップ**

エンジンのオート スタート / ストップ機能が停止します。

ON にする

▶ **車両** ▶ **ドライブ** ▶ **スタート / ストップ**

停車すると、エンジンが自動的に停止します。

オート スタート / ストップ機能の表示

エンジン自動停止および再始動スタンバイが可能な場合

エンジンがオート スタート / ストップ機能によって自動停止して、オート スタートが可能な場合、インストルメント パネルのインジケーター ライトが緑色に点灯します。

エンジン停止または再始動スタンバイができない場合

オート ストップ機能が利用できない、またはエンジンが自動停止した後に再始動できない場合は、停車中にインストルメント パネルのインジケーター ライトが黄色に点灯します。

オート スタート / ストップ システムが以下を検出しています。

– エンジン自動停止の前提条件が 1 つ以上満たされていない。
– または –
– オート スタート / ストップ機能の例外条件が 1 つ以上満たされている。

▷ 「エンジン自動停止の前提条件」の章（68ページ）を参照してください。

▷ 「オート スタート / ストップ機能の例外」の章（69ページ）を参照してください。

警告メッセージへの対応

故障したときは、オート スタート / ストップ機能が停止していることを示すメッセージがインストルメント パネルに表示されます。

▶ 修理工場で故障を修理してください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

カップホルダー

カップホルダーの使用

⚠ 警告 センター コンソール内のもの

小物入れやカップホルダーがセンター コンソールに挿入されていない場合、何かがパーキング ブレーキ ボタンの操作を妨げたり、作動させたりしてしまう可能性があります。 これにより意図せずブレーキがかかってしまう恐れがあります。

- センター コンソールに荷物を収納する場合は、必ず付属の小物入れを使用してください。
- カップホルダーは、その用途の通り、飲み物を収納するためにのみ使用してください。
- 荷物をカップホルダーに収納しないでください。
- カップホルダーまたは小物入れが挿入されていない状態では車両を操作しないでください。

⚠ 注意 熱い飲み物がこぼれた場合

熱い飲み物がこぼれた場合、乗員がやけどを負う恐れがあります。

- カップホルダーに合う容器だけをご使用ください。
- 飲物や液体がいっぱいに入っている容器をカップホルダーに置かないでください。
- 熱い飲み物を置かないでください。
- 走行中は、乗員のカップホルダーを必ず閉じてください。

知識

飲み物がこぼれて車両を損傷する恐れがあります。

- カップ ホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- 中身がいっぱいに満たされた容器をカップ ホルダーに置かないでください。

カップホルダーは、センター コンソールに 1 個、助手席側のアウター エア ベントの下に 1 個あります。

センター コンソールへのカップホルダーの挿入

図 27 : センター コンソールへのカップホルダーの挿入

- カップホルダーを挿入し、カチッと音がして収まるまで押し込みます。
  カップホルダーを使用できます。

車両装備により、カップホルダーに挿入できる灰皿が利用可能です。

▷ 「スモーカーズ　パッケージ」の章（ 132ページ）を参照してください。

カップホルダーのセンター コンソールからの取り外し

図 28 : カップホルダーのセンター コンソールからの取り外し

- ボタンを押して、カップホルダーを上方に取り外します。

助手席側のカップホルダー

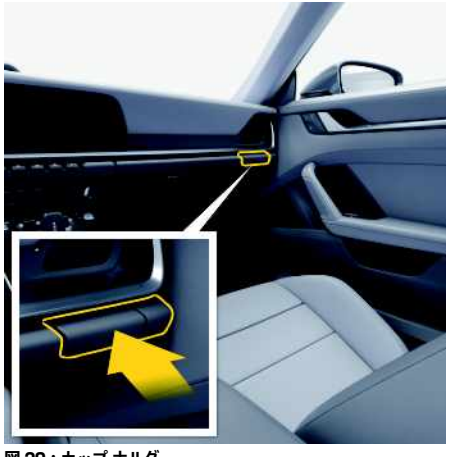


図 29 : カップ ホルダー

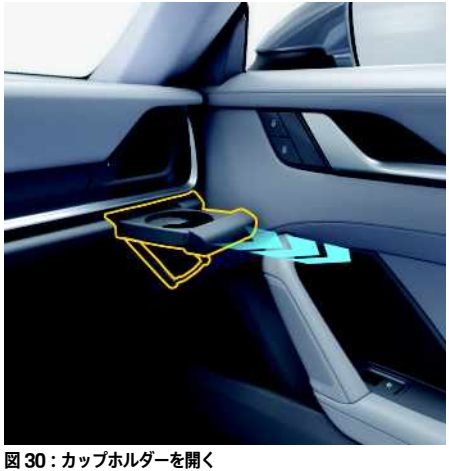


図 30 : カップホルダーを開く

- 助手席側のアウター エア ベントの下のパネルを押し込んで、開きます。
  カップホルダーが自動的に開きます。
- 閉じるには、カップホルダーをカチッと音がして収まるまで挿入します。

キー

キーを使用する場合

インフォメーション

- キーを使用するのは、車両が視界に入っている時だけにしてください。

ボタンを押すと、キーのポルシェ クレストが点灯します。 走行中は、ボタンを押さなくてもクレストが点灯する場合があります。
走行中には、サービスおよびメンテナンスに関連するデータがキーに保存されます。 このため、キーのポルシェ クレストは、作動中でなくても点灯することがあります。 キーへのデータ保存とキーからのデータ読み取りに関する詳細情報：

- ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

以下の理由でリモコンが機能しない場合があります。

– 送信が電磁波によって邪魔されている (コンフォート アクセス装備車両などの場合、キーと車両間の無線通信も含む)。
– 故障のためにリモコンに不具合が発生している場合。
– キーの電池が消耗している場合。

- キーを電源が入っている電子機器 (携帯電話、ノート パソコン、充電ケーブルなど) と一緒に保管しないよう注意してください。 必要に応じて、キーを別の場所に保管してください。

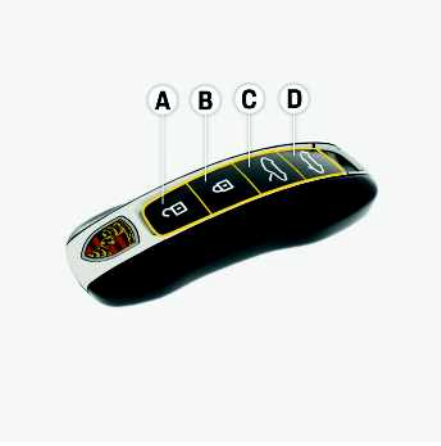


図 31：キー

A ドアのロックを解除する
B ドアをロックする
C ラゲッジ コンパートメント リッドのロックを解除する
D コンバーチブル ルーフ (カブリオレ) を開閉する
ルーフ システム (タルガ) を開閉する

すべてのキーにエマージェンシー キーが一体化されています。 キーは、車両のすべてのロックを操作するのに使用できます。

- キーの取り扱いにはご注意ください：特別な場合を除き、キーを放置しないでください。
- キーを車内に残して離れることは決してしないでください。

エマージェンシー キーを使用する場合

エマージェンシー キーを取り出す

図 32：エマージェンシー キーの取り外し

- エマージェンシー キーを押し上げ、ドライバーのキーから取り出してください。

エマージェンシー キーを元に戻す

- エマージェンシー キーを、音がして解放ボタンと噛み合うまで、ドライバ キーへ挿入します。

キーの電池交換

⚠ 警告 リチウム コイン電池 (ボタン電池) を飲み込むと内部火傷または死亡の恐れあり

キーにはリチウム コイン電池が組み込まれています。

コイン電池を飲み込むと、2 時間以内に内部火傷を負い、死亡する恐れがあります。

- 取り外した電池や新しい電池は、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- キーはお子様の手の届かないところに保管してください。 お子様がキーを分解し、電池を取り出す可能性があります。
- 電池を飲み込んだり、鼻の穴や耳の穴などに押し込んだりした場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

インフォメーション

- バッテリーの廃棄に関する指示を遵守してください。

キーの電池交換が必要になると、インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。 ボタンを押してもキーの Porsche Crest は点灯しなくなります。

図 33 : 電池の交換

電池の交換 (CR 2032、3 V)

1. エマージェンシー キーを取り出してください。
2. キー ハウジングの 2 箇所のクリップを左右に外します。
3. バッテリー カバーを反時計方向にゆるめて、取り外します。
4. 電池を交換します (電極の向きを確認)。
5. バッテリー カバーを再度取り付けて、時計回りにしっかりねじ込みます。
   エマージェンシー キーを元の位置まで押し込めることを確認してください。
6. キー ハウジングを下から押し上げ、所定の位置に取り付けます。
7. エマージェンシー キーを挿入します。

車両キーの電池が消耗している、または電波干渉を受けている際に車両を始動する場合

車両とキーの間の無線通信に不具合があったり、キーの電池が切れたりすると、キーが検出できなくなる恐れがあります。

この状況で車両を始動するには下記に従います。

1. センター コンソール アームレストの小物入れを開きます。
   ▷ 「アームレストの小物入れを開く」の章（153ページ）を参照してください。
2. センター コンソール (ロア コントロール パネルとアームレストの小物入れの間の部分) にキーを置きます。
3. コントロール ユニットをイグニッション ロック位置 2 まで回し、その後位置 0 に戻します。
4. コントロール ユニットを再度イグニッション ロック位置 2 まで回します。
   ▷ 「エンジンの始動と停止」の章（67ページ）を参照してください。

スペア キーの注文と登録

車両のスペア キーは、ポルシェ正規販売店でのみお求めいただくことができます。 注文してからお手元に届くまでには大変時間がかかる場合があります。

- いつでもスペア キーが使えるようにあらかじめご用意ください。
- スペア キーは安全な場所に保管し、決して車内や車両の近くには置かないでください。

車両用の新しいドライバー キーについて知るために：

- ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。 ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- 車両に属するすべてのドライバ キーについて再度学んでください。

インフォメーション

合計 8 個のドライバー キーについて学ぶことができます。

インフォメーション

- ドライバー キーが紛失したり盗まれたりした場合は、ポルシェのパートナーに依頼し、車両のドライバのキーを無効にし、必要に応じて機械的なロックを変更してください。
- ドライバー キーの紛失や盗難保険会社に通知し、追加やスペア キーの製作を依頼してください。

クーラント (冷却水)

⚠ 警告 エンジン コンパートメント ブロワまたはエンジン付近の他の可動部品

エンジン コンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪がエンジン コンパートメント ブロワーやドライブ ベルトなどの可動部品に引き込まれる恐れがあります。 エンジン コンパートメント ブロワーはボンネット下に取り付けられています。 エンジンを停止した後も、エンジン コンパートメント内の温度が監視され続けます。 この間は、エンジン コンパートメント ブロワーが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

- この付近で作業する場合は、エンジンを停止して、身体の一部、衣服の一部、または装飾品類がラジエーター ファン、エンジン コンパートメント ブロワー、ドライブ ベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。

⚠ 警告 高温のエンジン部品およびクーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾースト システム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラント タンクには圧力がかかっています。 クーラント タンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

- 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾースト システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- エンジン コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンを OFF にし、十分に冷やしてください。
- エンジン コンパートメントで作業する際は十分に注意します。
- クーラントの補充はエンジンを停止し、イグニッションを OFF にしてから行ってください。
- エンジンが熱いときは、クーラント リザーバーのキャップを **開かない** でください。 水温計の表示が 60 °C を下回るまで待ってください。

知識

警告シンボルが表示された後でも車両が動き続ける場合は、エンジン損傷の恐れがあります。

- エンジンを OFF にして冷やします。
- クーラント レベルが適正であるにもかかわらず警告が継続する場合は、運転を続けないでください。
- 故障を修理してください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（92ページ）を参照してください。

エンジン クーラントには年間を通じた腐食防止と、−37 ℃ までの凍結防止の働きがあります。

クーラント レベルの定期的な点検はメンテナンスの一部です。

- ポルシェが認定した不凍液のみを使用します。

ポルシェ社では、Glysantin® G40® (または G12++/VW TL 774 G に準拠した不凍液) の使用を推奨しています。

クーラント レベルの点検と補充

図 34 : クーラント リザーバー タンクの表示

▷ 「インストルメント クラスター」の章（49ページ）を参照してください。

✓ 車両を平坦な場所に駐車する。

✓ エンジンが冷えていて、水温計が 60 ℃以下である。

1. クーラント レベルを読み取ってください。 クーラ

ント レベルは必ず **min** マークと **max** マークの間である必要があります。

2. クーラント レベルが **min** マーク未満の場合は、クーラントを補充します。
3. 慎重にクーラント リザーバー タンクのキャップを開き、内部の圧力を逃がしてください。
4. 次にキャップを完全に取り外します。
5. クーラントを充填してください。 不凍液と蒸留水を同量混ぜ合わせた物のみを補充してください。 **max** マークを超えないようにしてください。
6. クーラント リザーバーのキャップがしっかりはまるまで、回して閉めてください。
7. クーラントの減少が著しい場合、クーリング システムに漏れがあるか、過剰に充填されていると考えられます。 クーリング システムを点検し、直ちにクーラント減少の原因を解消してください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インフォメーション

緊急時に純水を補充した場合、混合比を修正しておく必要があります。 クーラントの減少が著しい場合、クーリング システムに漏れがあるか、過剰に充填されていると考えられます。

- 早急に原因を解消してください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

クルーズ コントロール

⚠ 警告 危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

現在の交通状況で前走車との安全な距離を保って走行できない場合、または一定の車速で走行できない場合は、クルーズ コントロールを使用すると事故を起こす危険があります。

- 激しい渋滞、カーブの多い道、悪い路面状態 (冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など) ではクルーズ コントロールを使用しないでください。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（92ページ）を参照してください。

作動原理

クルーズ コントロール (CC) を使用すると、約 30~240 km/h の範囲でアクセル ペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。

インフォメーション

– PDK 装備車：アクティブ ダウンシフト機能とアクティブ ブレーキ機能は、(特に下り坂などで) 設定速度を維持するため、自動的に作動します。
– マニュアル トランスミッション装備車：ギアチェンジ中にクラッチ ペダルが踏まれても、クルーズ コントロールは中断されません。

各操作部

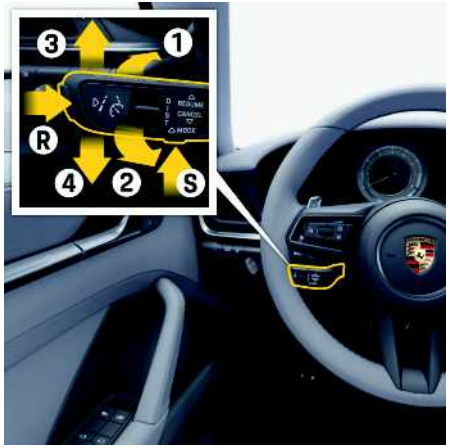


図 35：ドライバー アシスタンス システムのレバー

R ドライバー アシスタンス システムの ON/OFF を切り替えてオプション メニューを開く
S オプション メニューを開く (ドライバー アシスタンス システムが ON になっている場合)
1 速度の設定 / 加速
2 設定速度を下げる
3 再開：制御を再開する
4 キャンセル：制御を中断する

インフォメーション

装備によっては、レバーのボタン S とオプション メニューが利用できます。

ディスプレイの要素

ステータス ディスプレイのシンボル

シンボル	意味
	クルーズ コントロールが停止中です。
	クルーズ コントロールが停止中です。制御が中断され、目標速度が表示されたままになります。
	クルーズ コントロールは、設定目標速度で有効になります。

クルーズ コントロール スタンバイを ON にする

常に、前回選択されたドライバー アシスタンス システムが ON になります。 ON になった時点では、ドライバー アシスタンス システムは停止中になっています。クルーズ コントロールを作動させるには、最初にクルーズ コントロールを起動する必要があります。

クルーズ コントロールを ON にする

✓ コントロール レバーに S ボタンが**ない**車両
▸ クルーズ コントロール操作レバーのボタン R を押してください。
アダプティブ クルーズ コントロールが ON で、なおかつ**停止中**になります。
ステータス ディスプレイに動作ステータスがグレーで表示されます。 速度は保存されていません。
– または –
✓ コントロール レバーに S ボタンが**ある**車両

✓ ドライバー アシスタンス システムがまだ ON になっていません。

1. クルーズ コントロール操作レバーのボタン **R** を押してください。
   ドライバー アシスト システムのオプション メニューがインストルメント クラスターに表示されます。
2. クルーズ コントロールがまだ選択されていない場合は、ステアリング ホイールのロータリー プッシュ ボタンを使用して、**CC** を選択し、ボタンを押して確定します。
   アダプティブ クルーズ コントロールが ON で、なおかつ**停止中**になります。
   ステータス ディスプレイに動作ステータスがグレーで表示されます。 速度は保存されていません。

すでに有効化されたドライバー アシスタンス システムから ACC への切り替え

✓ コントロール レバーに **S** ボタンが**ある**車両

1. コントロール レバーのボタン **S** を押してください。
   ドライバー アシスト システムのオプション メニューがインストルメント クラスターに表示されます。
2. ステアリング ホイールのロータリー プッシュ ボタンを使用して **ACC** を選択し、ボタンを押して確定します。
   アダプティブ クルーズ コントロールが ON で、なおかつ**停止中**になります。
   ステータス ディスプレイに動作ステータスがグレーで表示されます。 速度は保存されていません。

インフォメーション

作動したドライバー アシスタンス システムは、イグニッションを OFF にして再度 ON にした後でも、再び作動します。

クルーズ コントロールを OFF にする

▸ クルーズ コントロール操作レバーのボタン **R** を押してください。
  設定速度が消去され、シンボル マークが消灯します。

クルーズ コントロールの有効化

✓ クルーズ コントロールが ON になっている

✓ 速度が 30 km/h を超過しています。

1. アクセル ペダルの操作で目標速度まで加速または減速します。
2. レバーを前方に短く押し (**1** の位置)、アクセル ペダルを戻します。
   クルーズ コントロールが**作動していません**。
   現在の走行速度はステータス ディスプレイに緑色で表示され、自動的に維持されます。

目標速度の変更

目標速度は、コントロール レバーを押すことで調整できます。

✓ クルーズ コントロールが作動しています。

加速する

▸ コントロール レバーを前方に押します (位置 **1**) :
  – 短く押す= 1 km/h (1 mph) ずつ速くなります
  – 押し続ける = 10 km/h (6 mph) ずつ速くなります

減速する

▸ コントロール レバーを引く (位置 **2**) :
  – 短く引く= 1 km/h (1 mph) ずつ遅くなります
  – 引き続ける = 10 km/h (6 mph) ずつ遅くなります

新しく設定した速度がインストルメント クラスターに表示されます。

インフォメーション

アクセル ペダルを使用して加速することができます。これによって保存された値は変更されません。 アクセル ペダルから足を離すと、保存された値はリセットされます。

クルーズ コントロールの中止 - キャンセル

クルーズ コントロールを停止するとスタンバイ モードに切り替わります。手動で再度作動されるまで、スタンバイ状態のままになります。

▸ レバーを下方向の位置 **4**、**CANCEL**に押します。
  – または –
▸ ブレーキ ペダルを踏む
  – または –
▸ クラッチ ペダルを約 7 秒以上踏み続けます (マニュアル トランスミッション装備車)。
  – または –
▸ セレクター レバーを作動モード **N** にします (PDK 装備車)。
  クルーズ コントロールが停止中です。 目標速度の設定値は保存されたままです。 ステータス ディスプレイが緑色からグレーになります。

次のような状況では、クルーズ コントロールは自動的に中断されます:

– 車両が設定速度以上または未満の速度で一定時間走行している。
– ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が有効。

クルーズ コントロールの再開 – 再開

- レバーを上方向 (**3**、**RESUME** の位置) に押します。
  クルーズ コントロールは、設定速度になるまで加速するかブレーキをかけます。

けん引

インフォメーション

- けん引およびけん引によるエンジンの始動を行うときは、法規等を遵守してください。
- けん引するときは十分注意してください。 発進する前に、けん引する車両とけん引される車両のドライバーが、けん引によるエンジンの始動とけん引についての通常とは異なる運転特性をしっかりと理解しておくことが大切です。
- 電気系統の不具合が発生している場合、エレクトリック パーキング ブレーキやステアリング コラムロックを解除するために外部電源の接続が必要なことがあります。

車両のけん引または押しがけによる始動

知識

けん引または PDK 装備車の押しがけによる始動は、車両とトランスミッションに重大な損傷を与える危険があります。

- けん引または押しがけによる始動は**行わない**でください。
- 車両をけん引しないでください。
- ロードサイド アシスタンスまたは故障復旧サービスに連絡してください。
- 復旧車両、車両輸送専用車またはトレーラーに前輪と後輪の両方を載せて車両を輸送してください。

知識

重大な車両損傷の危険。

- ロープ等で車両を固定するときは、ホイールのみで固定してください。 テンション ストラップをけん引フックにかけないでください。

- マニュアル トランスミッション装備車のけん引または押しがけによるエンジンの始動は、エンジン冷間時にのみ実施してください。 エンジンが熱いと、未燃焼ガスにより触媒コンバーターが損傷する場合があります。

バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、バッテリーを交換するか、ジャンパー ケーブルを使用してエンジンを始動させてください。

▷ 「バッテリー」の章（202ページ）を参照してください。

▷ 「ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動」の章（122ページ）を参照してください。

マニュアル トランスミッション装備車のけん引[1]

警告 パワー アシスト機能を使用しないため、ステアリングを回す力およびブレーキを踏む力を強くする必要がある

けん引されている車両のエンジンが停止している場合、ステアリング アシスト機能を利用することはできません。 ブレーキおよびステアリング操作に、より力を入れる必要があります。

- 車両のけん引時には、十分に注意してください。

4WD/ ポルシェ トラクション マネージメントシステム (PTM) に関する重要なインフォメーション

- けん引時は車両輸送専用車またはトレーラーで輸送するか、**4 輪すべて**が接地するようにしなければなりません。 片側のアクスルを持ち上げた状態でのけん引は**できません**（フロントとリヤのいずれのアクスルでも同様です）。

バッテリーに不具合がある、またはバッテリーが完全に上がってしまった車両に関する注意事項

- バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、バッテリーを交換するか、ジャンパー ケーブルを使用してエンジンを始動させてください。

▷ 「バッテリー」の章（202ページ）を参照してください。

▷ 「ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動」の章（122ページ）を参照してください。

4 輪が接地した状態でのけん引時に関する指示

- けん引される車はイグニッション スイッチを ON にして、ブレーキ ライトや方向指示灯が機能し、ステアリング ロックが解除されるようにしてください。

片側のアクスルを持ち上げた状態でのけん引に関する指示 (後輪駆動車のみ)

- イグニッションを OFF にしてください。 キーをイグニッション ロックに残し、ステアリング ロックがかからないようにしてください。
- 車両のライトが十分に点灯していることを確認してください。

車両のけん引

- マニュアル トランスミッション装備車：ギヤ レバーをニュートラルにしてください。
- けん引するときの速度は 50 km/h 以下にしてください。 けん引距離は 50 km 以内にしてください。

1. 装備は、後でしか使用できない場合や、特定の市場でしか使用できない場合があります。

50 km を超える場合は、車両輸送専用車またはトレーラーで車両を輸送してください。

▷ 「鉄道、船舶、および積載車での輸送」の章（82ページ）を参照してください。

雪や砂などで立ち往生した車両の救援

- ▶ 車両を救出するときは十分に注意してください。
- ▶ 車両を急に引っ張ったり、角度を付けて斜め方向に引いたりしないでください。
- ▶ 可能な限り、立ち往生した車両を進入したタイヤの軌跡に沿って、元の方向に引き出してください。

PDK による車両のけん引

図 36 : 許容されるけん引

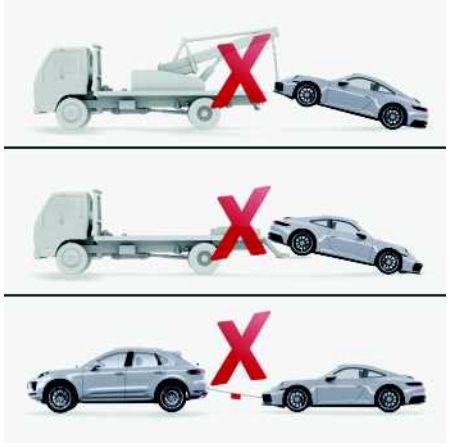


図 37 : 許容されないけん引

バッテリーに不具合がある、またはバッテリーが完全に上がってしまった車両に関する注意事項

- ▶ バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、バッテリーを交換するか、ジャンパー ケーブルを使用してエンジンを始動させてください。

▷ 「バッテリー」の章（202ページ）を参照してください。

▷ 「ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動」の章（122ページ）を参照してください。

▷ 「鉄道、船舶、および積載車での輸送」の章（82ページ）を参照してください。

けん引ロープまたはけん引バーの使用

- ▶ 規定とマウントの指示については、製品メーカーからのマニュアルを参照してください。 メーカーの安全に関する指示と取扱説明書に従ってください。
- ▶ けん引ロープまたはけん引バーの許容けん引力を遵守してください。 けん引ロープまたはけん引バーは車両重量に適している必要があります。 メーカーの規定を絶対に超えないでください。
- ▶ けん引する車両より重い車両はけん引しないでください。
- ▶ ブレーキが故障した車両は、けん引**しないでください**。
- ▶ けん引するときは、けん引フックを車両に取り付けてから、けん引ロープまたはけん引バーをけん引フックに取り付けてください。

▷ 「けん引フックの使用」の章（82ページ）を参照してください。

けん引ロープの使用

- ▶ けん引中はけん引ロープが絶対に緩まないように注意します。 不自然な動きや急な荷物の積載は避けてください。

けん引バーの使用

- ▶ けん引バーを車両間で斜めに取り付けることは**しないでください**。

けん引フックの使用

図 38 : けん引フック

けん引フックの取り付け

けん引フックは工具セットに収納されています。

▷ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（255ページ）を参照してください。

1. プラスチック カバーの下端部をバンパー内に押し込んで取り外すか、または適切なツール (例 : スクリュードライバー) で慎重にプラスチック カバーを取り外してください。
2. プラスチック カバーをバンパーから引き出し、カバーに付いているひもで吊り下げられた状態にしてください。
3. けん引フック **A** を反時計方向いっぱいにねじ込み (逆ねじ)、手で締め付けてください。

けん引フックの取り外し

1. けん引フック **A** を外してください (時計回りに回転、逆ねじ)。
2. 開口部の下端にプラスチック カバーを差し込んでください
3. プラスチック カバーを折り曲げ、バンパーにはまるまで上端を押してください。
4. けん引フックを工具セットに収納してください。

鉄道、船舶、および積載車での輸送

1. ロープ等で車両を固定するときは、ホイールのみで固定してください。 テンション ストラップをけん引フックに**かけないでください**。
2. 室内モニタリング システムと傾斜センサーを解除してください。

▷ 「警報システム」の章（112ページ）を参照してください。

コンバーチブル トップ

▷ 「車両のお手入れ」の章（144ページ）を参照してください。
▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（92ページ）を参照してください。

知識

コンバーチブル トップとコンバーチブル トップ機構を損傷する恐れがあります。

- 次の場合には、コンバーチブル トップを操作しないでください。
  - 温度が 0 ℃ 以下のとき。
  - 車両の片側が縁石、リフト、ジャッキなどで持ち上がっているとき。
  - 荷物の一部、またはその他の物 (リヤ シートの後ろ側など) がコンバーチブル トップの動作を妨げているとき。
  - ロールオーバー バーが展開しているとき。
- エンジンを停止した状態でコンバーチブル トップを何度も操作しないでください。車両のバッテリーがすぐに消耗します。
- 走行するときは、コンバーチブル トップは必ず完全に開いた状態か完全に閉じた状態にしてください。
- コンバーチブル トップの開閉はコンバーチブル トップの上方に十分な空間があることを確認してから行ってください。ガレージなどでは特に注意が必要です。
- 染みや擦り切れを防ぐため、コンバーチブル トップは乾いた清潔な状態のときにのみ開いてください。
- 日光を長時間浴びると布地やラバーが傷んだり塗装が色褪せたりするため、可能であれば車両は日陰に駐車してください。
- コンバーチブル トップは、水平な路面を走行しているときにのみ操作できます。
- 強風や嵐のときはコンバーチブル トップを作動させないでください。

コンバーチブル トップの開閉

⚠ 警告 コンバーチブル トップの開閉

コンバーチブル トップを開閉するときは、コンバーチブル トップ機構またはコンバーチブル トップ コンパートメント リッドと固定車両部品との間に身体の各部が挟まれる恐れがあります。

- コンバーチブル トップ機構またはコンバーチブル トップ コンパートメント リッドによって誰もケガをしないように注意してください。
- 車両が見えない状況で、キーによるコンバーチブル トップの操作はしないでください。
- 万一、危険な状況になった場合は、直ちに車両のボタンもしくはキーのボタンから手を放し、コンバーチブル トップの操作を中止してください。
- コンバーチブル トップを閉じるときは、サン バイザーのバニティー ミラーのカバーを閉じておいてください。

コンバーチブル トップが開くと、フロントおよびリヤ サイド ウィンドウは自動的に下がります。
コンバーチブル トップが終端位置に達した後もコンバーチブル トップの操作を続けると、フロント サイド ウィンドウが自動的に閉じます。

コンバーチブル トップが閉じると、フロントおよびリヤ サイド ウィンドウは自動的に下がります。 コンバーチブル トップが終端位置に達した後もコンバーチブル トップの操作を続けると、それらは自動的に閉じます。

車内のボタンを使用したコンバーチブル トップの開閉

図 39 : ボタンでコンバーチブル トップを開く

図 40 : ボタンでコンバーチブル トップを閉じる

✓ イグニッションが ON になっている。
✓ 速度が約 50 km/h 以下。 この最高速度を超えると開閉操作は中断します。

▸ コンバーチブル トップが終端位置に達するまで、またはウィンドウが希望の位置になるまでコンバーチブル トップ開閉スイッチを引き続けてください。
終端位置に達すると、インストルメント クラスターの関連するメッセージが消えます。

危険が発生した場合、

▸ ボタンを放してください。
コンバーチブル トップの動作が停止します。

キーを使用したコンバーチブル トップの開閉 (国別仕様による)

1. ドアをロック解除してください。
2. コンバーチブル トップが終端位置になるか、ウィンドウが希望の位置になるまで、キーのボタンを押してください。

危険が発生した場合

▸ ボタンを放してください。
コンバーチブル トップは作動を停止します。

3. 必要に応じてドアをロックしてください。

ウィンド デフレクターの上昇 / 下降

⚠ 警告 ウィンド デフレクターの上昇

ウィンド デフレクターの上昇時、リヤ シートの乗員が挟まれる恐れがあります。

▸ ウィンド デフレクターの上昇時、誰もケガをしないように注意してください。
▸ 万一、危険な状況になった場合は、直ちにスイッチの操作を中止してください。

知識

ウィンド デフレクターおよびシート バックレストの損傷の恐れがあります。 バックレストを極端な角度にすると、ウィンド デフレクターがシート バックレストと衝突する可能性があります。

▸ ウィンド デフレクターの上昇前に、両方のシート バックレストを垂直位置に調節してください。

図 41 : ウィンド デフレクターの上昇 / 下降

✓ イグニッションが ON になっている。
✓ 上昇時の最高速度は約 200 km/h 以下、下降時は約 120 km/h 以下。 この速度を超えた場合、ウィンド デフレクターの上昇 / 下降を行うことはできません。

▸ スイッチを押し続けてウィンド デフレクターが終端位置に達すると、インストルメント クラスターの関連するメッセージが消えます。

コンバーチブル トップとウィンド デフレクターの緊急操作

⚠ 警告 緊急操作中のコンバーチブル トップの作動

▸ 緊急操作を行うときは十分に注意してください。
▸ 緊急操作中は、コンバーチブル トップまたはウィンド デフレクターをスイッチまたはキーで操作しないでください。

知識

コンバーチブル トップとコンバーチブル トップ機構を損傷する恐れがあります。

- 緊急操作中または操作後は、コンバーチブル トップまたはウィンド デフレクターをスイッチまたはキーで操作しないでください。
- ゆっくりと慎重に運転してください。
- ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。 ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

コンバーチブル トップ システムの点検

緊急操作を行う前に以下を点検します：

– ウィンド デフレクターおよびコンバーチブル トップの操作中に、車室内のスイッチでイグニッションを ON にしたか?

- ウィンド デフレクターおよびコンバーチブル トップが不意に作動しないよう、イグニッションを OFF にします。

リヤウォール ライニングの取り外し

1. ラゲッジ コンパートメントにある工具セットからドライバーを取り出します。
   ▹ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（255 ページ）を参照してください。

図 42：リヤ シート バックレストとリヤウォール ライニングを前に倒す

2. リヤ シート バックレストを前方に倒します。
3. ドライバーを使用してリヤ ウォール ライニングをロック ポイントから慎重にこじり外し、前方に倒します。
   – または –
   装備に応じて、リヤウォール ライニング両側のストラップを引き出し、前に倒します。

図 43：緊急操作キーを抜き取る

4. 緊急操作キー A をリヤウォール ライニングから抜き取ります。

ウィンド デフレクターの緊急操作の実行

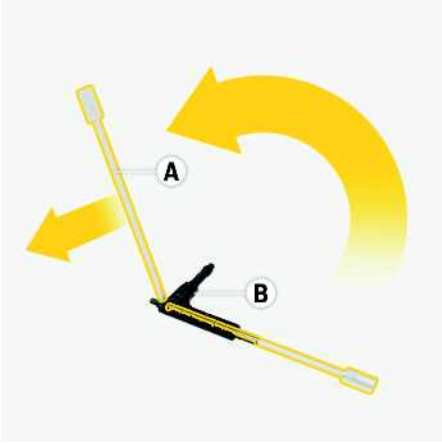


図 44 : 緊急操作キー

1. プラスチック アタッチメント B を緊急操作キー A から取り外します。
2. メタル インサートをプラスチック アタッチメント B から約 90° 上方に回し、前方に引き抜いて取り外します。

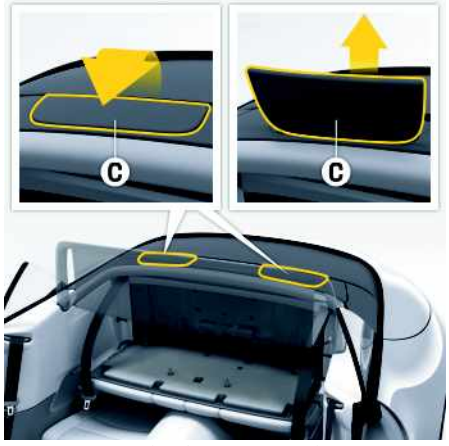


図 45 : ロールオーバー プロテクション カバーの取り外し

3. 両側のロールオーバー プロテクション カバー C を前方に倒し、上方に引いて外します。

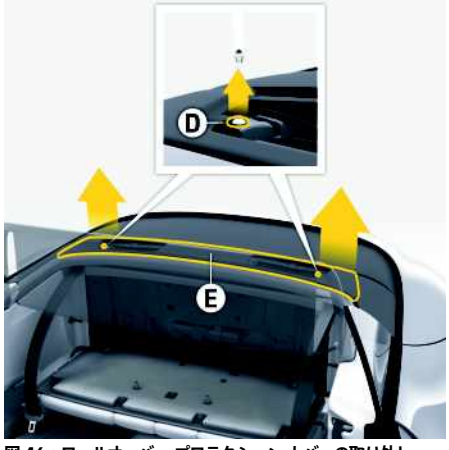


図 46 : ロールオーバー プロテクション カバーの取り外し

4. ドライバーを使用してロールオーバー プロテクション カバーの両側のスクリュー D を外します。
5. ロールオーバー プロテクション カバー E を上方に引き、ロック ポイントから解除します。

図 47 : ウィンド デフレクターの格納

6. 緊急操作キーのメタル インサート A (TORX®) を使用してウィンド デフレクター モーターのスクリュー F を外します。
7. リテーニング ブラケット G を前方に引き (必要に応じてドライバーでこじり外す)、ギヤの締結を解除します。
8. リテーニング ブラケットを取り外します。
9. ウィンド デフレクターを手動で格納します。

コンバーチブル トップ ドライブの解除

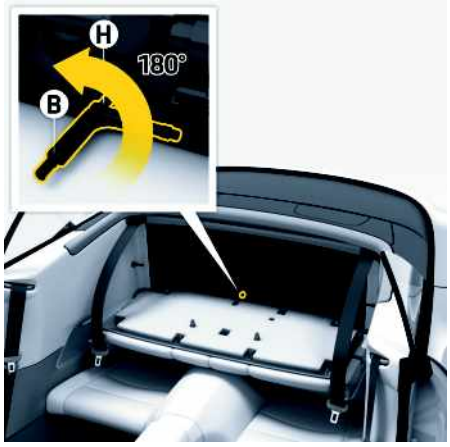


図 48 : コンバーチブル トップ ドライブの解除

- プラスチック アタッチメント B の六角部を使用して、エマージェンシー ハンド スクリュー H を約 180° 反時計回りに回します。

知識

- エマージェンシー ハンド スクリュ H は緩めるのみで、完全には取り外さないでください。

コンバーチブル トップ コンパートメント リッドの開操作

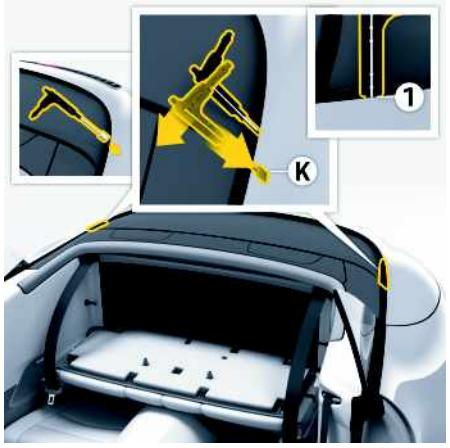


図 49 : 緊急操作キーを挿入します。

1. プラスチック アタッチメント B とメタル インサート A を再び組み立てます。
2. 緊急操作キーのメタル エンドをコンバーチブル トップ コンパートメント リッドとコンバーチブル トップの間に挿入します。
   プラスチック アタッチメント B の曲がった部分が車両後方を向いていることを確認してください。
3. 緊急操作キーをプラスチック トリムに沿って前方向に移動させ、開口部 K にプラスチック アタッチメント B のマーク 1 まで挿入します。

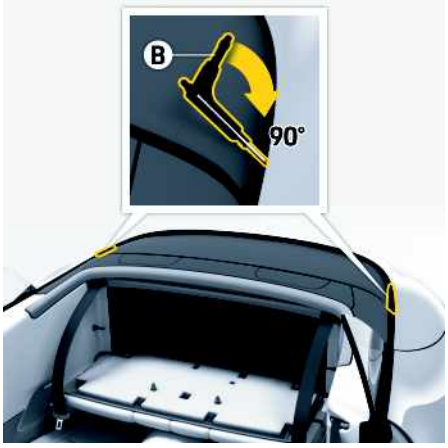


図 50 : コンバーチブル トップ コンパートメント リッドのロック解除 (手順 1)

4. 緊急操作キーを進行方向に約 90° 回し、プラスチック アタッチメント B が上を向くようにします。

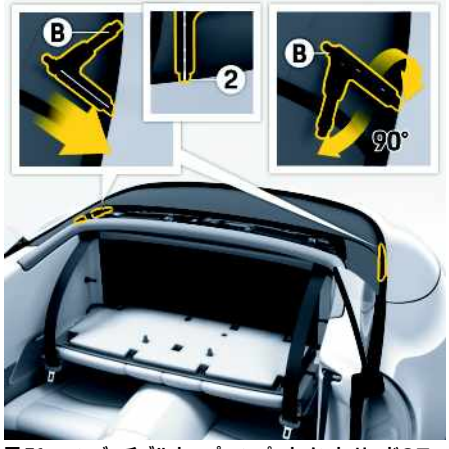


図 51 : コンバーチブル トップ コンパートメント リッドのロック解除 (手順 2)

5. 緊急操作キーをプラスチック アタッチメント B のマーク 2 まで挿入し、抵抗を感じなくなるまで走行方向に 90° 以上回します。
6. 緊急操作キーを進行方向と反対に約 90° 回して、取り外します。
7. 反対側でも同じ手順 (ステップ 2~6) を繰り返します。

図 52 : コンバーチブル トップ コンパートメント リッドの上昇

8. 両手を運転席側と助手席側に置いて、コンバーチブル トップ コンパートメント リッドを上方向にしっかり引き上げます。
9. 後ろからコンバーチブル トップ コンパートメント リッドの中央を持って、直立位置にします。

リヤ サイド トリム パネル フラップの緊急操作

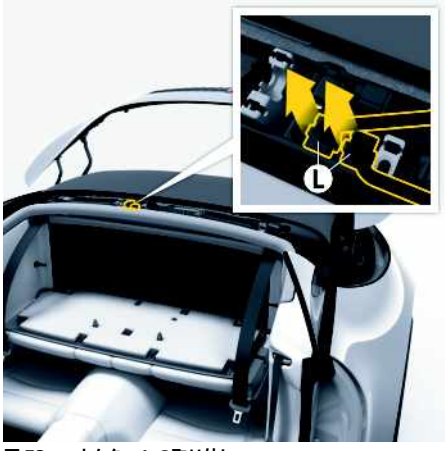


図 53 : コネクター L の取り外し

1. 両方のコネクター L を取り外します。

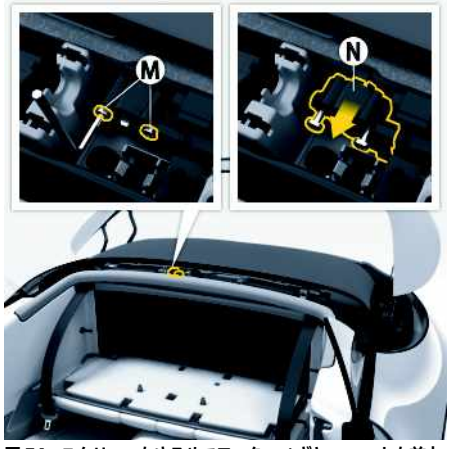


図 54 : スクリューをゆるめてモーター / ギヤ ユニットを前方に引く

2. モーター / ギヤ ユニットの両方のスクリュー **M** を緊急操作キーのメタル インサート **A** (TORX®) でゆるめます。
3. モーター / ギヤ ユニット **N** を前方に引き (必要に応じてドライバーでこじり外す)、ギヤの締結を解除します。

図 55 : リヤ サイド フラップの押し下げ

4. 終端位置に達するまでリヤ サイド フラップを押し下げます。

コンバーチブル トップの閉操作

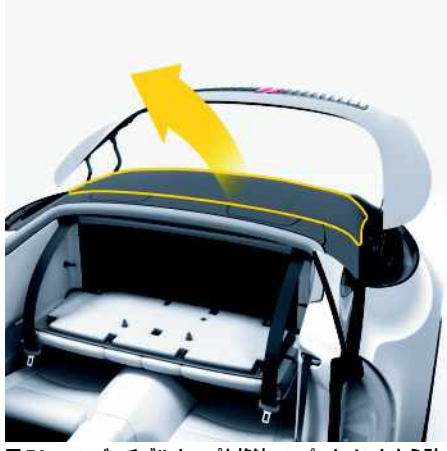


図 56 : コンバーチブル トップを格納コンパートメントから引き出す

1. 車室側からコンバーチブル トップの中央部分を持ち、格納コンパートメントから約半分閉じるまで引き出します。

⚠ 注意 閉じるときに挟まれてケガをする恐れがある

閉じるときに、コンバーチブル トップが作動する範囲内またはコンバーチブル トップ ロック付近に身体の各部があると、挟まれる恐れがあります。

- 以下に注意してください :
  - 閉じるときは、コンバーチブル トップの作動範囲内に誰もいないこと。
  - 閉じるときに、コンバーチブル トップの作動範囲から手を引いてください。

図 57 : プラグの取り外し

2. プラグ O をコンバーチブル トップ ロックの緊急操作用アクセス ポイントから取り外します。

図 58 : コンバーチブル トップ ラッチ フックの展開

3. プラスチック アタッチメント B を緊急操作キーから取り外します。
4. メタル インサート A をプラスチック アタッチメント B から約 90° 上方に回し、前方に引いて取り外します。
5. プラスチック アタッチメント B をコンバーチブル トップ ロックの緊急操作用アクセス ポイントに挿入し、かみ合うまで左または右に回します。
6. プラスチック アタッチメント B を反時計回りに回してラッチ フックを完全に開きます (抵抗を感じる)。

図 59 : コンバーチブル トップの閉操作

7. コンバーチブル トップをフロント ウィンドウのフレームに引き寄せます。
8. コンバーチブル トップを完全に閉じるためには、ラッチ フックがキャッチに完全にかみ合うまで (抵抗を感じるまで)、プラスチック アタッチメント B を時計回りに回します。

コンバーチブル トップ コンパートメント リッドの閉操作

⚠ 警告 コンバーチブル トップ コンパートメント リッドの閉操作

コンバーチブル トップ コンパートメント リッドを閉じるとき、コンバーチブル トップ コンパートメント リッドと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれる恐れがあります。

- 手は必ずコンバーチブル トップ コンパートメント リッドの上において閉じてください。

図 60 : コンバーチブル トップ コンパートメント リッドの閉操作

1. 車両の後方に立ちます :
2. ブレーキ ライト上のコンバーチブル トップ コンパートメント リッドをしっかりつかみ、抵抗を感じますが完全に閉じるまで前方に押します。
3. コンバーチブル トップ コンパートメント リッドを終端位置まで押し込みます。

コンバーチブル トップ コンパートメント リッドはロックされていません。

4. 車室内のエマージェンシー ハンド スクリュー **H** を時計回りに手で締めます。

警告およびインフォメーション メッセージ

警告メッセージが表示された場合は、必ずこのマニュアルの該当する章をお読みください。
警告灯が表示されると、警告音も鳴ります。
すべての測定条件が揃っている場合にのみ、警告メッセージが表示されます - そのため、定期的にすべてのフルード レベルを確認してください。
次の表は、主な警告メッセージとインフォメーション メッセージの抜粋です。

安全

表示	メッセージ		意味および必要な措置
		エアバッグ システム エラー **走行可能** **要整備**	エアバッグ システムが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		ステアリング ロックを解除してください	ステアリング ロックに大きな負荷がかかっています。 継続走行可能です。 ▶ ステアリング ホイールを左右に回して、ステアリング ロックを解除してください。
		ステアリングがロックされています **要整備**	ステアリング ロックが作動しています。 ▶ ステアリング ホイールのロックを解除するには、車両のロックを解除してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		ステアリングアシスト **故障** **操舵力の増大** **継続走行可**	パワー ステアリングは、故障した / 機能が制限された / 不具合がある状態です。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯		**ブレーキ液面** **低下** **安全な場所に** **停車してください**	ブレーキ液面が低過ぎます。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		ブレーキ ブースター **故障**	パワー ステアリングは故障したか不具合があります。

表示	メッセージ		意味および必要な措置
			▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯		**制動力の 配分エラー 安全な場所に 停車してください**	制動力配分が故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯		**ABS/PSM 故障 慎重に 走行してください**	ABS またはポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) に故障があります。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯		**ブレーキパッドの 摩耗 ブレーキパッドを交換してください 走行可能**	ブレーキ パッドが摩耗しています。 ▶ 直ちにブレーキ パッドを交換してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		パーキング ブレーキ サービス モード中	パーキング ブレーキがサービス モードになっています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		P 位置使用不可 車両が動き出す恐れあり 電動パーキング ブレーキ をかけてください	PDK 装備車：トランスミッション パーキング ロック **P** 位置は使用できません。 ▶ 作動モード **P** を選択してください。 ▷ 「トランスミッション」の章（ 185ページ）を参照してください。
		レイン / ライト センサー故障 要整備	レイン / ライト センサーが故障しています。 ▶ フロント ワイパーおよびライトを手動で ON にしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点滅		例： **スタティック左 コーナリング ライト故障 スタティック コーナリング ライト**	表示されたコーナリング ライトが故障しています。 ▶ 該当するライトを点検してください。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	を点検してください	
点灯	**ドライビング ライト 制御エラー 一時的なステータス 走行可能**	ドライビング ライト制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	例： **左リヤ方向指示器 エラー インジケーターを点検してください**	表示されたライトが故障しています。 ▶ 該当するライトを点検してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ハイ ビーム アシスト 使用不可 走行可能 ハイ ビームを手動で オンにしてください	ハイ ビーム アシストは一時的に使用できません。 ▶ ハイ ビームを手動で点灯してください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ハイ ビーム アシスト 使用不可 カメラ ビューなし 必要に応じて フロント ウィンドウを清掃	カメラの故障により、ハイ ビーム アシストは一時的に使用できません。 ▶ フロント ウィンドウの清掃が必要な場合があります。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ヘッドライト ビーム 調整エラー 走行可能 要整備	ヘッドライト レベリングが故障しています。 ▶ 状況に応じた速度で運転してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ワイパーの故障 要整備	フロント ワイパーが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯	**タイヤを点検**	1 つまたは複数のタイヤの空気圧が著しく低下しています。

表示		メッセージ		意味および必要な措置
				▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 該当するタイヤに損傷がないか点検してください。 ▶ 必要に応じてシーラントを追加してください。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▷ 「パンク」の章（207ページ）を参照してください。
	点灯		**空気を充填**	1 つまたは複数のタイヤの空気圧が不足しています。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▷ 「パンク」の章（207ページ）を参照してください。
	点滅または点灯		**タイヤ空気圧モニター エラー 要整備**	タイヤ空気圧モニタリング システム (TPM) が故障しています。 タイヤ空気圧は監視されていません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	点滅または点灯		**システムは一時的に利用できません 一時的なステータス 走行可能**	タイヤ空気圧モニタリング (TPM) が一時的に無効です (センサーのオーバーヒートや信号の干渉など)。 タイヤ空気圧は監視されていません。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	点滅または点灯		**タイヤ空気圧 モニタリング不可 システムの記録 開始：xx km/h**	タイヤ空気圧モニタリング (TPM) がタイヤの登録を完了するまでは、表示された速度で走行する必要があります。 このプロセスを実行している間は、現在のタイヤ空気圧は表示されません。 ▶ 後ほどタイヤ空気圧監視モニタリングを再実行してください。
	点滅または点灯		**タイヤ交換が検出されました 選択を更新**	ホイールを交換した後は、タイヤ設定を更新する必要があります。 ▶ タイヤ設定を更新してください。 ▷ 「車両設定」の章（150ページ）を参照してください。
	点灯	270	**タイヤ空気圧が低すぎます** または **コンフォート プレッシャー 減速してください**	設定したタイヤ空気圧の最高速度を超過しています。 ▶ 減速してください。 ▶ 次の機会にタイヤ空気圧を点検してください。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	歩行者警告 使用不可 要整備	歩行者警告は一時的に使用できません。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	オイル レベル限界 補充量の上限： xx L	オイル レベルが最低値を下回りました。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。 明らかなオイル漏れがあるときは走行を続けないでください。 ▶ インストルメント クラスターのオイル測定を呼び出してください。 ▶ 必要に応じてオイルを補充してください。 ▷ 「エンジン オイル」の章（63ページ）を参照してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	オイル レベル超過 走行可能 要整備	オイル レベルが上限を超えています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	オイルレベル 測定 エラー 走行可能 要整備	オイル レベル測定に故障があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	オイル レベルの低下 補充量の上限： xx L	オイル レベルの下限に達しています。 ▶ オイルを補充してください。 ▷ 「エンジン オイル」の章（63ページ）を参照してください。
	油圧の低下 安全な場所に	油圧が低すぎます。

表示	メッセージ		意味および必要な措置
		停車してください	▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。 ▶ インストルメント クラスターのオイル測定を呼び出してください。 ▶ 必要に応じてオイルを補充してください。 ▷ 「エンジン オイル」の章（63ページ）を参照してください。 ▶ オイル レベルが適正であるにもかかわらず警告メッセージが表示されるときは、運転を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		油圧 測定エラー 走行可能 要整備	油圧測定が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		オイル 温度超過 負荷を軽減してください	油温が高過ぎます。 ▶ 適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷却してください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ インストルメント クラスターのオイル測定を呼び出してください。 ▶ 必要に応じてオイルを補充してください。 ▷ 「エンジン オイル」の章（63ページ）を参照してください。
		オイル温度 表示 エラー 走行可能 要整備	油温計が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
クーラントの温度表示が最高マーク		**冷却水レベルが 低すぎます 安全な場所に停車して 車両を冷却してください**	エンジン クーラント レベルが低過ぎます。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷却してください。 ▶ エンジン クーラント レベルを点検してください。 ▷ 「クーラント (冷却水)」の章（75ページ）を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジン クーラントを補充してください。 エラーが継続する場合：

表示	メッセージ		意味および必要な措置
			▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		水温計 エラー 走行可能 要整備	水温計にエラーがあります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
エンジン クーラントまたは エンジン オイルの温度表示 が最高マーク		**エンジン温度 超過 エンジン冷却のため 停車してください**	エンジン クーラントまたは油温が高過ぎます。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷却してください。 ▶ ラジエーターおよび車体周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。 ▶ クーラントおよびオイル レベルを点検してください。 ▷ 「エンジン オイル」の章（63ページ）を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジン クーラントを補充してください。 ▷ 「クーラント (冷却水)」の章（75ページ）を参照してください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		クーラントポンプ エラー	クーラント ポンプが故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯		**エンジン出力 減少 走行可能 要整備**	エンジン出力が減少します。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯		**エンジン制御 エラー 安全な場所に 停車してください**	エンジン制御システムが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		エンジン制御 エラー	エンジン制御システムが故障しています。 継続走行可能です。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	走行可能 要整備	▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	微粒子フィルターを 確認 取扱説明書をお読みください	微粒子フィルターがすすで目詰まりしています。 フィルターの自動クリーニングが実行される条件を満たすように運転してください。 ▶ スポーツ走行プログラムを選択します。 ▶ クルーズ コントロールとアダプティブ クルーズ コントロール (ACC) を OFF にします。 ▶ 最高許容速度に加速すること (なるべく郊外で) と、アクセル ペダルから足を完全に外してペダルを解除することを交互に行います。 該当する制限速度を常に遵守してください。 ▶ メッセージが消えるまで手順を繰り返します。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	微粒子フィルター 走行可能 ポルシェ正規販売店に相談してください	微粒子フィルターがすすで目詰まりしています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	微粒子フィルター 安全な場所に停車してください	微粒子フィルターがすすで目詰まりしています。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引します。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	車両エレクトリカル システム エラー **安全な場所に** **停車してください**	車両エレクトリカル システムが故障しています。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	電気利用のため **要エンジン作動** **車両エレクトリカル システム エラー** **安全な場所に** **停車してください**	車両エレクトリカル システムが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	車両エレクトリカル システム エラー または **バッテリー低下** **要整備**	車両エレクトリカル システムが故障しているか、バッテリーが低下しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	Start/Stop故障	現在スタート / ストップ機能が利用できません。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	トランスミッション **故障** **安全な場所に** **停車してください**	PDK 装備車：トランスミッションが故障しています。 走行可能なのは、次に停車するまでです。 運転を続けないでください。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。 ▷ 「けん引」の章（80ページ）を参照してください。
	トランスミッション加熱 **トランスミッション** **冷却のため、安全な** **場所に停車してください**	PDK 装備車：トランスミッション温度が高すぎます。 ▶ 適切な場所に停車して、トランスミッションを冷却してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	トランスミッション 温度超過 負荷を軽減してください	PDK 装備車：トランスミッション温度が高すぎます。 継続走行可能です。 車両発進時に「異常を知らせる不自然な動き」が感じられるとともに、 エンジン出力が制限されます。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ エンジンにかかる負荷を軽減してください。 ▶ アクセル ペダルの操作で車両を制御するのではなく、ブレーキを使用してください。 ▶ 警告が消えるまで作動モードを **P** または **N** の位置にしてエンジンをアイドリングさせてください。
	トランスミッション故障 リバースギヤ 使用不可	PDK 装備車：トランスミッションが故障しています。 リバース ギヤが機能しない可能性があります。 スムーズな変速ができなくなりますが、継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	整備通知 トランスミッション	PDK 装備車：トランスミッションの追加のメンテナンスが必要です。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	クラッチ ペダルを踏んでください	マニュアル トランスミッション装備車：クラッチ ペダルが踏まれているときのみ始動可能です。 ▶ 始動時はクラッチ ペダルを踏んでください。
	緊急通話 機能 エラー 要整備	非常通報機能が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ドライバー カードが 検知されません	ドライバー カードが検出されません。 ▶ 必要に応じてセキュリティー オペレーティング センター (SOC) に連絡してください。
	xx 日以内に点検 が必要	サービス インジケーター ▶ 表示されている距離 / 期日を過ぎる前にメンテナンスを行ってください。なお、「整備手帳」に掲載されているサービス インターバルを優先してください。

表示	メッセージ		意味および必要な措置
	 または 	**キーが見つからない、 またはキーのエラー マークされたエリアに 対してキーを 保持してください** または **キーの位置を 変更してください**	キーの電池が消耗しています。 ▶ 車両を始動するには、左フロントのセンター コンソールの小物入れにキーを置きます。 ▶ 電池を交換してください。 ▷ 「キー」の章（73ページ）を参照してください。 **または** キーが故障 / 見つからない / 認識できません。 キーの位置が正しくありません。 ▶ 干渉源となっている可能性のあるもののスイッチを OFF にしてください。 ▶ この操作を行うときは、キーを携行している必要があります。 **– または –** 車内でキーの位置を変更してください。
		スポイラーの故障 減速してください	走行安定性が損なわれます。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 または 	**スポイラー エラー** または **スポイラー制御 エラー 慎重に 走行してください**	走行安定性が損なわれます。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 エンジンを再始動させた後も、エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		リフト システム エラー 要整備	リフト システムが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		リフト システム現在使用不可 温度保護が作動中	リフト システムは使用できません。 システムの温度保護またはチャイルドロック プロテクションが原因で、車両を下降または上昇させることができない場合があります。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		下降させることができません。 ドアが 開いています	ドアが開いた状態で車両を下降させることはできません。 ▶ ドアを閉じてください。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	ドアを閉じてください	
	フロント エンド降下不可 **減速してください**	制限速度「X km/h」を超過しています。 車両が下がりません。 ▶ 「X km/h」に減速してください。
	コンバーチブル トップの作動が 中断されました 減速してください	
	コンバーチブル トップ 最終位置になし 減速してください	
	コンバーチブル トップ システム 使用不 可一時的なステータス 走行可能	
	コンバーチブル トップ システム故障走行 可能 要整備	

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ドライビング システム

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	シャーシシステム エラー **慎重に走行してください** 。 **取扱説明書を**お読みください。	シャーシが故障しています。 ハンドリング性能に悪影響が出る可能性があります。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	シャーシシステム エラー **要整備** **慎重に走行** **してください**	シャーシが故障しています。 ハンドリング性能に悪影響が出る可能性があります。 継続走行可能です。

表示	メッセージ		意味および必要な措置
			▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		シャーシシステム 故障 安全な場所に 停車してください	シャーシが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯		**PSM 故障 要整備 慎重に走行 してください**	ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯		**ABS/PSM 故障 慎重に 走行してください**	ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		PSM スポーツ 車両安定システム 制限中	ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) スポーツが有効である場合、車両安定性システムは制限された範囲でのみ利用可能です。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
		駆動力分配システム エラー 慎重に 走行してください	ポルシェ トラクション マネージメント (PTM) が故障しています。 ▶ 負荷を軽減してください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		駆動力分配システム 故障 または **駆動力分配システム 過負荷 後輪駆動のみ 慎重に走行**	ポルシェ トラクション マネージメント (PTM) に一時的なエラーがあります。 ▶ 負荷を軽減してください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	してください	
	駆動力分配システム 温度限界 負荷を軽減してください	ポルシェ トラクション マネージメント (PTM) の負荷が過大です。 ▶ 負荷を軽減してください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	リヤデフロック 過負荷 慎重に 走行してください	ポルシェ トルク ベクトリング プラス (PTV プラス) の負荷が過大です。 ▶ 負荷を軽減してください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	リヤデフロック 故障 または **リヤアクスル ステアリングの エラー 慎重に 走行してください**	ポルシェ トルク ベクトリング プラス (PTV プラス) が故障したか不具合があります。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	リヤアクスル ステアリング 故障 または **リヤアクスル ステアリング のエラー 慎重に 走行してください**	リヤ アクスル ステアリングが故障したか、不具合がある状態です。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	カメラシステム 使用不可 一時的なステータス 走行可能	アシスト システムまたは車両カメラが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	カメラシステム 制限	アシスタンス システムまたはカメラが天候状態やウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	カメラ ビューなし **必要に応じて** **フロント ウィンドウを清掃**	▶ フロント ウィンドウの清掃が必要な場合があります。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	システム エラー **走行可能** **要整備**	1 つまたは複数の電気系統システムが故障している可能性があります。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	パークアシスト警告音 **故障** または **インストルメントクラスター警告音** **故障** **走行可能** **要整備**	警告音および距離信号 (パークアシストなど) が使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	フロント パークアシスト **故障** または **リヤ パークアシスト** **故障** **走行可能** **要整備**	パークアシストを使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 駐車時に問題が起きる可能性があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	パーキング サポート **利用不可** **センサー制限中。** **取扱説明書をご確認 ください**	アクティブ パーキング サポートが制限されているか、故障しています。 慎重に走行してください。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	RCTA 制限中 **警告ジャーク使用不可** **PSM 無効**	リヤ クロス トラフィック アラートが制限されています。 システムのすべての機能を使用する方法： ▶ PSM を ON にします。 ▷ 「Porsche Stability Management (PSM)」の章（281ページ）を参照してください。

表示	メッセージ		意味および必要な措置
		PASエラー 要整備	Porsche Active Safe (警告およびブレーキ アシスト) が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		PAS 制限 取扱説明書をお読みください	Porsche Active Safe (警告およびブレーキ アシスト) が制限されているか、故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		PAS 制限 センサーが汚れています。 清掃してください	Porsche Active Safe (警告およびブレーキ アシスト) は、天候状態や車両のセンサーの汚れの影響を受けている可能性があります。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ フロント ウィンドウの清掃が必要な場合があります。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		ACC 使用不可 ドライバーの運転操作が 必要です	アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) を使用できません。 ▶ 車両のコントロールを行ってください。
		ACC 使用不可 ABS/PSM 介入	アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) は、ABS または PSM 作動中はご利用いただけません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
		ACC 使用不可	アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) でシステム エラーが発生しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	ACC 使用不可 ギヤをDまたはMに 入れてください	アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) は、D または M 作動モードが選択されている場合のみ、利用可能です。 ▸ 作動モード (トランスミッション レンジ) DまたはMを選択してください。
	ACC 使用不可 センサーが汚れています。 清掃してください	悪天候またはセンサーの汚れにより、アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) が一時的に利用できなくなっています。 ▸ センサーを清掃してください。 エラーが継続する場合： ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	アクティブレーン キープのエラー 要整備	アクティブ レーン キープが不良です。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	アクティブレーン キープのエラー センサーが汚れています。 清掃してください	悪天候、もしくはフロント カメラまたは ACC センサーの汚れにより、レーン キープが一時的に使用できません。 ▸ フロント カメラおよび ACC センサーを清掃してください。 エラーが継続する場合： ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	速度制限表示 現在制限中 カメラ ビューなし 必要に応じて フロント ウィンドウを清掃	悪天候またはフロント ウィンドウの汚れにより、制限速度表示が一時的に利用できなくなっています。 ▸ フロント ウィンドウの清掃が必要な場合があります。 エラーが継続する場合： ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	制限速度表示 使用不可 一時的なステータス 走行可能 または **サービスエリアの 範囲外です**	ナビゲーション データを一時的に受信できません。 継続走行可能です。 エラーが継続する場合： ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

表示	メッセージ		意味および必要な措置
		または **利用可能なナビ ゲーションデータなし**	
		LCA 使用不可 一時的なステータス 走行可能	レーン チェンジ アシスト (LCA) が天候状態により一時的に利用できなくなっています。 ▶ ボタンを押してレーン チェンジ アシスト (LCA) を作動させてください。 ▷ 「レーン チェンジ アシスト (LCA)」の章（269ページ）を参照してください。
		LCA 使用不可 センサーが汚れています。 リヤバンパー要清掃	レーン チェンジ アシスト (LCA) センサーが、ステッカー、汚れ、氷結などにより覆われています。 ▶ センサーの故障を修理してください。 ▶ ボタンを押してレーン チェンジ アシスト (LCA) を作動させてください。 ▷ 「レーン チェンジ アシスト (LCA)」の章（269ページ）を参照してください。
		車線の中央を 維持してください	レーン キープ アシストがより長時間にわたって介入します。 ▶ 車両をレーンの中央の位置に合わせるか、車線区分線からの距離を増やします。
		ご自分でステアリング操作を してください	車両が車線から何度かそれかけた場合に、ステアリング ホイールの操作が著しく少ない、またはまったくないことをレーン キープ アシストが検知します。 ▶ 常にステアリング ホイールを保持し、積極的にステアリング操作を行ってください。
		レーン キープ アシスト 使用不可 走行可能 要整備	レーン キープ アシストを使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		レーン キープ アシスト 制限中 カメラ ビューなし 必要に応じて フロント ウィンドウを清掃	レーン キープ アシストは、天候状態やフロント ウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。 ▶ フロント ウィンドウの清掃が必要な場合があります。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

表示	メッセージ		意味および必要な措置
		レーン キープ アシスト 制限中 一時的なステータス 走行可能	レーン キープ アシストは一時的に使用できません。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		ナイト ビュー アシスト 使用不可	ナイト ビュー アシストを使用できません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		ナイト ビュー アシスト 歩行者検知 使用不可	歩行者検知を使用できません。 歩行者および大きい野生動物は検出されません。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

PCM

メッセージ		意味および必要な措置
⚠	**重大な故障** **ポルシェ正規販売店にお問い合わせください**	ソフトウェア アップデートに失敗しました。 ディスプレイおよびコンフォート機能 (パークアシストなど) が完全に動作しない場合があります。 ▶ 車両を使用する前に、ディスプレイおよびコンフォート機能 (パークアシストなど) が動作していることを確認してください。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
⚠	**アップデートの実施** **車両を使用しないでください**	ソフトウェア アップデートをインストール中です。 ディスプレイおよびコンフォート機能 (パークアシストなど) が完全に動作しない場合があります。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ ソフトウェア アップデート中は車両を使用しないでください。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警報システム

警報システムは次の警報接点を監視します。

– ドア、フロント リッド、エンジン コンパートメント リッド、ソフトトップの警報接点。
– 車内モニタリング：車両をロックした後の車内への侵入 (例えばウィンドウを壊して車内に侵入したとき)。
– 傾斜センサー：車両の傾き (例えば車両をけん引して盗もうとしたとき)。
– 故障診断用ソケット。

これらの警報接点のいずれか 1 つでも作動すると、アラーム ホーンが約 25 秒間鳴り、ハザード ライトが約 300 秒間点滅します。
5 秒間警告が中断した後、再度音による警報が作動します。 この作動を最大 10 回繰り返します (国により異なる)。

警報システムの ON/OFF を切り替える

▶ 車両をロックすると、約 30 秒後に警報システムが有効になります。
▶ 車両のロックを解除すると、警報システムが無効になります。

インフォメーション

ドア ロックにエマージェンシー キーを差し込んで車両のロックを解除した場合、警報システムの作動を回避するために、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをONにしなければなりません。
警報システムが作動するまでの時間は、国によって異なる場合があります。

作動した警報システムを OFF にする

▶ キーの 🔓 ボタンを押してください。
– または –
▶ イグニッションを ON にします。

室内モニタリング システムおよび傾斜センサーを OFF にする

車内に人や動物が残る場合、室内モニタリング システムおよび傾斜センサー、また車両をロックするときは SAFELOCK も一緒に解除することができます (国によって異なります)。

▷ 「セントラル ロック」の章（ 136ページ）を参照してください。

アラーム システム機能表示

ドアのインジケーター ライトの点滅速度によりロック状態が示されます。

警報システムが起動する

車両をロックしたときにインジケーター ライトは素早く点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

アラームシステムが起動、室内モニタリングと傾斜センサーがスイッチ OFF

車両をロックしたときに、インジケーター ライトは素早く点滅し、28 秒間消灯し、その後はノーマル モードで点滅します。

セントラル ロッキング システムおよびアラーム システムの故障

車両をロックする時に、インジケーター ライトは素早く点滅し、28 秒間点灯し続けて、その後はノーマル モードで点滅します。

盗難防止機能

車両から離れる前に、必ず次のことを行ってください：

▶ ウィンドウ、ルーフ システム、およびコンバーチブル トップを閉じます。 これは室内モニタリング システムによる警報の誤作動を防止することにもなります。
▶ パーキング ロック P とエレクトリック パーキング ブレーキを作動します。
▶ イグニッションを OFF にしてください。
▶ グローブ ボックスを閉じてください。
▶ 小物入れをすべて閉じます。
▶ 貴重品、車両の書類、電話、自宅のカギを車両に残さないようにします。
▶ ドアおよびラゲッジ コンパートメント リッドを閉じてください。
▶ エンジン コンパートメント リッド / ガラス リヤ ウィンドウ (タルガ) を閉じてください。
▶ 車両をロックしてください。

イモビライザー

すべてのキーにはコードが保存されたトランスポンダー (電子部品) が含まれています。
イモビライザーを無効にし、エンジンを始動するためには、認定されたキーが必要です。

ステアリング ホイールのロック解除およびロック (国によって異なります)

ステアリング ホイールの自動ロック解除

▶ 車両に乗って、運転席ドアを閉じます (キーは車内になければなりません)。
– または –
▶ イグニッションを ON にします。

ステアリング ホイールの自動ロック

▶ 運転席ドアを開けます (イグニッションは OFF)。
– または –
▶ 車両をロックしてください。

サンバイザー

サンバイザーの調整

図 61 : サンバイザーの調整

- サンバイザーを手で下げて、正面方向からの直射日光を遮ってください。

横から眩しい光が入る場合は次のことを行ってください。

- 内側のブラケットからサンバイザーを外して回転させ、ドア ウィンドウ側にセットしてください。

バニティー ミラーを開く

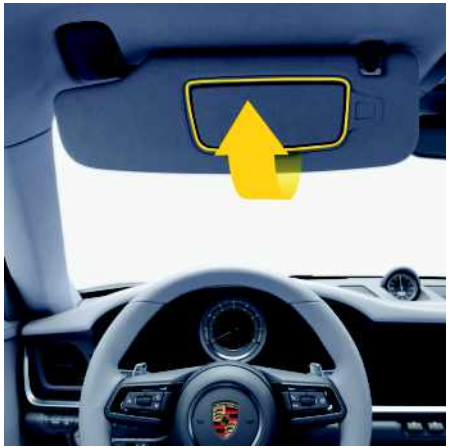


図 62 : バニティー ミラーを開く

- サンバイザー内側にあるバニティー ミラーのカバーを開きます。
  バニティー ミラーのライトが点灯します。

知識

バニティー ミラーのカバーを損傷する恐れがあります。

- カバーを全開位置から無理に開かないでください。

シート

正しいシート位置の選択

安全で疲れにくい運転には、正しい着座姿勢が重要です。 運転者にフィットするよう運転席シート位置を調整するには、以下の手順を実施してください。

1. 頭上の空間に十分余裕があり、周囲がよく見える高さにシートの高さを調節してください。
2. ペダルをいっぱいに踏んだ時に足が伸び切らないように、かつ靴の裏がペダルの表面全体に接触するように、シートの前後の位置を調節してください。
3. ステアリング ホイールの上部分を握ってください。 バックレストの角度とステアリング ホイールの位置は、肘が少し曲がる程度に調節してください。 このとき、肩をバックレストに預けられる位置に調節してください。
4. 必要であればシートの前後の位置を調節します。

シートの調節

⚠ 警告 走行中のシート調節

走行中にシートを調節すると、シートが予期した以上に移動する恐れがあります。 車両のコントロールを失う恐れがあります。

- 走行中にはシートを調節しないでください。

⚠ 注意 シート調節

シートの調節中に可動範囲に人や動物がいると、身体の一部が挟まる恐れがあります。

- 誰にも危険がないようにシートを調節してください。

知識

ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーなどを損傷する恐れがあります。

- ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーとの間に十分なスペースを確保してからシート位置を調節してください。

インフォメーション

ISOFIX リテーニング ラグ装備車両では、チャイルド シートを助手席で使用した場合、助手席バックレストの調節範囲が制限されます。

スポーツ シート/スポーツ シート プラスの調整

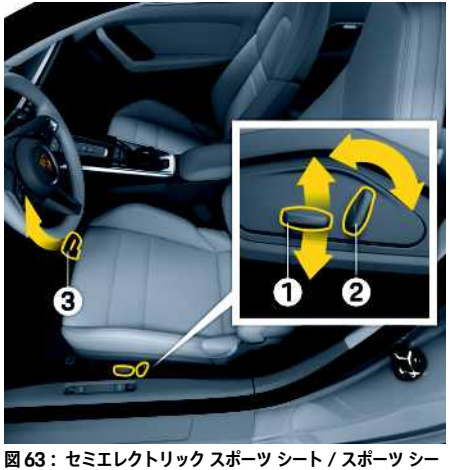


図 63 : セミエレクトリック スポーツ シート / スポーツ シート プラスの調節

1 シートの高さ調節
2 背もたれの角度調節
3 シートの前後調節

- 各スイッチを矢印方向に押して、希望のシート位置、またはリミット位置まで調節してください。
- ロック レバー **3** を引き上げ、シートを希望の前後位置に移動させてからレバーを放してください。
  シートがしっかり固定されていることを確認してください。

フル バケット シートの調節

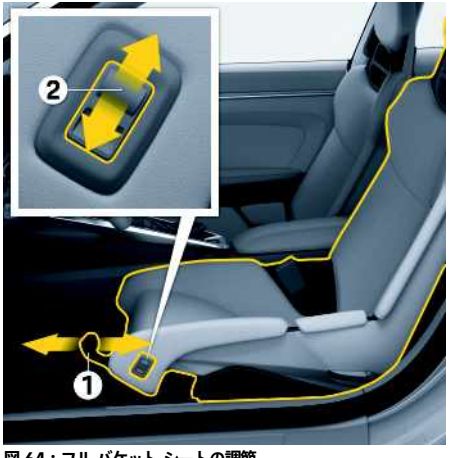


図 64 : フル バケット シートの調節

1 シートの前後調節
2 シートの高さ調節

⚠ 危険 チャイルド シートの使用

フル バケット シートでのチャイルド シートの使用は、重傷または致命傷を負う危険があります。

フル バケット シートでチャイルド シートを使用すると、事故の際に保護効果がありません。

- フル バケット シートではチャイルド シートを使用しないでください。

- ロック レバー 1 を引き上げ、シートを希望の前後位置に移動させてからレバーを放してください。シートがしっかり固定されていることを確認してください。
- スイッチ 2 を矢印の方向に押して、希望のシート位置、またはリミット位置まで調節してください。

フル電動スポーツ シート / アダプティブ スポーツ シート プラスの調節

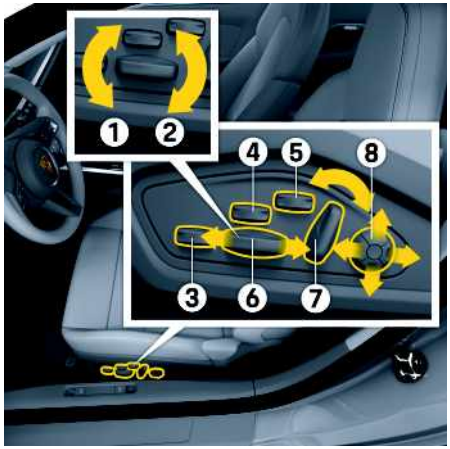


図 65 : フル電動スポーツ シート / アダプティブ スポーツ シート プラスの調節

1 シートの角度調節
2 シートの高さ調節
3 サイ サポートの調節
4 シート クッションのサイド サポートの調節 (アダプティブ スポーツ シート プラスのみ)
5 シート クッションのサイド サポートの調節 (アダプティブ スポーツ シート プラスのみ)
6 シートの前後調節
7 背もたれの角度調節
8 ランバー サポートの調節

- 各スイッチを矢印の方向に押して、希望のシート位置、または終端位置まで調節してください。

シート設定の保存

シート設定の保存および呼び出しに関する情報 :

▷ 「パーソナル設定」の章（213ページ）を参照してください。

シートのバックレストを倒す

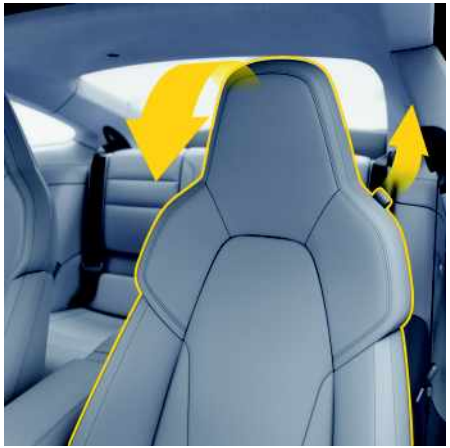


図 66 : シートのバックレストを倒す

シートのバックレストを倒す

- バックレストの側面にあるループを引き上げて、バックレストを前方に倒してください。

シートのバックレストを垂直位置に調節する

⚠ 警告 シートのバックレストが固定されていない

シートのバックレストが固定されていないと怪我をする危険があります。

- シートのバックレストを後方へ倒した場合、固定されていることを確認してください。

- カチッと音がするまでバックレストを起こしてください。
  シート ベルトを挟み込んでいないことを確認してください。

イージー エントリー機能を利用する

イージー エントリー機能は、車両への乗り降りを容易にするための装備です。

⚠ 注意 運転席シート自動調節

運転席の後ろにいる人は、運転席が後ろに向かって自動的に調整された結果、座席に挟まれる可能性があります。

- 運転席の後ろに人がいる場合は、イージー エントリー機能を OFF にしてください。

機能を作動させる

PCM でイージー エントリー機能を作動させることができます。

▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **車両** ▸ **ロック**

▷ 「車両設定」の章（150ページ）を参照してください。

降車するとき

✓ 機能が作動しています。

- イグニッションを OFF にし、さらに運転席ドアを開いてください。
  ステアリング ホイールが上に移動します。
  運転席が後ろに移動します。

乗車するとき

✓ 機能が作動しています。
✓ 運転席とステアリング ホイールは、イージー エントリーで設定した位置にあります。
- 運転席のドアを閉め、イグニッションを ON にします。
  運転席とステアリング ホイールは格納位置に移動します。

インフォメーション

キーを交換した場合、シートおよびステアリング ホイールはそのキーに保存された位置に移動します。

インフォメーション

シート設定を手動で変更すると、乗車時補助機能が中断します。
- ドライビング ポジションを手動で調節してください。

シート ヒーター / シート ベンチレーターを ON/OFF にする

シート ヒーターとシート ベンチレーターは電動で作動します。 シート ヒーターは、シート表面およびバックレストのヒーター エレメントを暖めます。 シート ベンチレーターはシートを冷却し、乾燥させます。 エアは内蔵ファンを介してシート表面とバックレストを通ります。

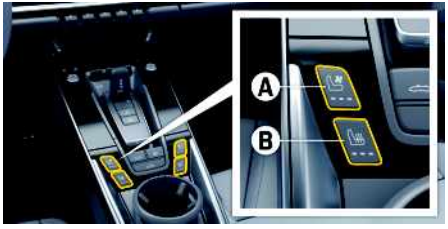


図 67 : シート ヒーター / シート ベンチレーターを ON/OFF にする

シート ヒーター / シート ベンチレーター を ON にする

✓ エンジンを作動状態にする。
- 必要に応じてボタン A (シート ベンチレーター) またはボタン B (シート ヒーター) を繰り返し押します。
  ヒーターまたはベンチレーターの設定に応じた数のインジケーター ライトが点灯します。

シート ヒーター / シート ベンチレーターを OFF にする

- インジケーター ライトがすべて消灯するまで、必要に応じてボタン A (シート ベンチレーター) またはボタン B (シート ヒーター) を繰り返し押します。

インフォメーション

車内の温度が高いときはシート ヒーターを使用できません。
室内の温度が 15 °C より低いときは、シート ベンチレーターを使用できません。
バッテリー電圧が低すぎると、まずシート ヒーター / シート ベンチレーターの作動が制限され、その後 OFF になります。

シート ヒーター/シート ベンチレーターの設定

シート ヒーターとシート ベンチレーターについて、シート クッションとバックレストのバランスを設定することができます。

1. **車両 ▸ 制御 ▸ 車両 ▸ シート設定 ▸ 運転席ヒーター バランス/助手席シート ヒーター バランス/運転席シート ベンチレーター バランス/助手席送風バランス**
2. バランスを設定します。

運転席からの助手席調整

1. **車両 ▸ 制御 ▸ 車両 ▸ シート設定 ▸ 助手席シート位置 ▸ 助手席シートを調整**
2. 運転席のコントロールを使って助手席シート位置を設定します。

調整を終えるには :

- **シート調整を中断する。**

リヤ シートのバックレストを前方へ倒す

図 68 : リヤ シートのバックレストを前方に倒す

リヤ シートのバックレストを前方に倒す

- レバーを手前に引いて、バックレストを前方に倒してください。

リヤ シートのバックレストを垂直位置に戻す

⚠ 警告 シートのバックレストが固定されていない

シートのバックレストが固定されていないと怪我をする危険があります。

- シートのバックレストを後方へ倒した場合、固定されていることを確認してください。

- カチッと音がするまでバックレストを起こしてください。
  シート ベルトを挟み込んでいないことを確認してください。

シート ベルト

シート ベルトの正しい使用方法

⚠ 危険 シート ベルトを着用していない、または正しく使用していない

シート ベルトを着用していないと、事故の際に保護効果を発揮できません。 シート ベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険が高まります。

- 安全のため、すべての乗員がシート ベルトを着用するよう義務付けられています。
- **1 本**のシート ベルトを同時に 2 人で使うことは絶対に避けてください。
- だぶついた衣服やかさばる衣服 (ジャケットなど) は、シート ベルトを正しく装着できない上に動きが制限されるので、乗車時には脱ぐようにしてください。
- 硬い物または壊れやすい物 (メガネ、ボールペン、携帯電話など) の上からシート ベルトを締めないでください。
  衝突の際に怪我をする危険性が高くなります。
- シート ベルトがねじれていないか、またはゆるんでいないかを確認してください。
- ドライバーはこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

⚠ 危険 損傷したシート ベルトの使用。

損傷したシート ベルト、強い負荷のかかったシート ベルト、または摩耗したシート ベルトは、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

シートベルト プリテンショナー システムは 1 回しか作動できません。作動した場合、早急に交換してください。

- すべてのシート ベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またシートベルト バックルと取り付け部が正常な状態にあるかどうかを確認してください。
- シートベルト バックルは汚れないように保護し、清潔に保ってください。
- 損傷していたり、事故によって大きな負荷がかかったりしたシート ベルト、および作動したシート ベルト プリテンショナー システムと挟み込み防止機能は、早急に交換してください。
- さらに、シート ベルトのアンカー部分についても点検してください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- シート ベルトを使用しないときは、汚れや損傷を防ぐために完全にリトラクターに巻き取らせてください。

▷ 「車両のお手入れ」の章（ 144ページ）を参照してください。

シート ベルト プリテンショナー

シート ベルト プリテンショナーは、事故時の衝撃の大きさに応じて作動します。

シート ベルト プリテンショナーは以下の状況で作動する場合があります:

– 車両の前方および後方からの衝突時。
– 車両の側面からの衝突時。
– 車両が横転した場合。

インフォメーション

シートベルト プリテンショナーが作動すると、煙が発生する場合があります。 しかし、この煙は必ずしも車両火災の兆候ではありません。

シート ベルト警告灯および警告メッセージを確認する

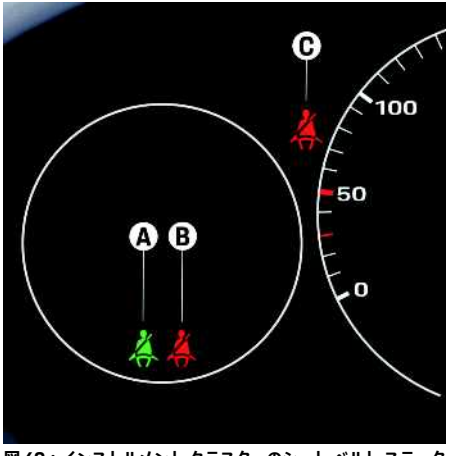


図 69 : インストルメント クラスターのシート ベルト ステータス表示

A 左リヤ シート用シート ベルトのステータス表示
B 右リヤ シート用シート ベルトのステータス表示
C 警告シンボル : 運転席または助手席のシート ベルトが着用されていない

フロント シート

イグニッションを ON にすると、インストルメント クラスターに赤色の警告シンボル C が点灯し、運転席側および助手席側 (乗員が座っている場合) のシート ベルトが着用されるまで点灯し続けます。

さらに、インストルメント クラスターに警告シンボルが表示されます。
速度が約 24 km/h を超えると、運転席側および助手席側 (乗員が座っている場合) のシート ベルトが着用されていない場合、インストルメント クラスターに赤色の警告シンボル C が点滅し、警告音が鳴ります。

リヤ シート

イグニッションを ON にすると、リヤ シート用シート ベルトのステータス表示がインストルメント クラスターに約 60 秒間表示されます。

緑色のシンボル A は、そのシートに座った人がシート ベルトを着用していることを示します。

赤色のシンボル B はそのシートに座っている人がシート ベルトを着用していないか、または誰もそのシートに座っていないことを示します。 走行中にリヤ シートのシート ベルトが外された場合は、警告音が鳴り、該当するシンボル マークが赤色に変わって約 60 秒間点滅します。

シート ベルトの着用

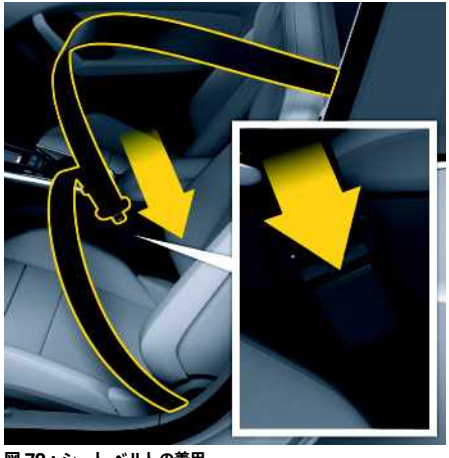


図 70 : シート ベルトの着用

1. 自然な姿勢で安全に運転できる位置に着座してください。
2. シート ベルトが常に上半身に当たり肩の中央を横切るように、バックレストを調整します。
3. シート ベルトのラッチをつかみ、ゆっくり連続した動きでベルトを引き出し、胸とひざに回します。

インフォメーション

シート ベルトは、次のような場合にロックされます。
– 車両が傾いた場合。
– シート ベルトが突然引き出された場合。
– 加速時または減速時、コーナリング時または登坂時。

4. シート ベルトのラッチを、シートの内側の適切なシート ベルト バックルにカチッと音がするまで確実に差し込みます。
5. シート ベルトが挟み込まれたり、ねじれたりしていないこと、鋭利な角などにこすり付けられていないことを確認します。
6. 腰ベルトは必ず腰の低い位置 (骨盤) にぴったりとかかっていることを確認してください。 そのため、シート ベルトを装着した後、肩ベルトを上に引っ張ってください。
妊娠中の方の場合 : 腰ベルトをできる限り低い位置まで下げて骨盤部を横切るように調整し、腹部の圧迫を避けてください。
7. 走行中も肩ベルトを定期的に引き上げ、腰ベルトがゆるまないようにしてください。

シート ベルト バックルを解除してシート ベルトを外す

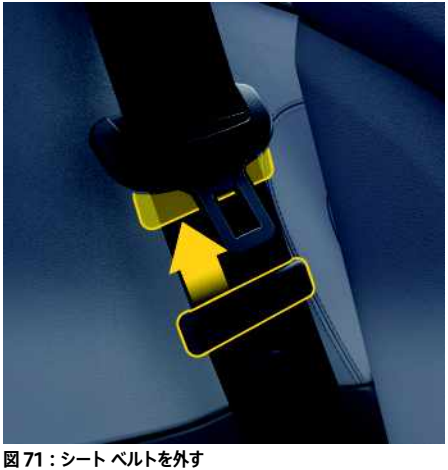


図 71 : シート ベルトを外す

1. シート ベルトのラッチを手で持ちます。
2. シート ベルトのバックルにある赤いボタンを押します。
3. シート ベルトのラッチをシート ベルト引き出し口の約 7 cm 下に移動させ、プラスチック スライドをシート ベルトのラッチの下まで押し上げます。プラスチック スライドにより、シート ベルトのラッチが手の届きやすい位置に保たれます。

ジャッキおよびリフティング プラットフォーム

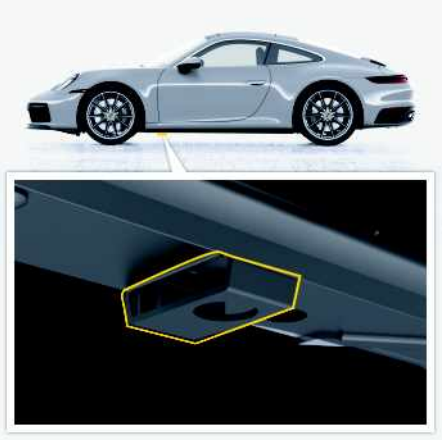


図 72 : フロント側のジャッキアップ ポイントとリフティング プラットフォーム

図 73 : リヤ側のジャッキアップ ポイントとリフティング プラットフォーム

⚠ 警告 車両の固定が十分ではない。

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、車両が不意に動いたり、ジャッキやリフティング プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。 これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は、必ず車両下側にある規定のジャッキアップ ポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート スタンドで車体を支えてください。
- ▶ 車両を持ち上げている間は、エンジンを決して始動しないでください。 エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。
- ▶ エンジンをかけたまま作業する場合は、電動パーキング ブレーキを作動させ、**かつ**作動モードを **P** にします。

▷ 「ホイール交換」の章（ 160ページ）を参照してください。
▷ 「セントラル ホイール ロック付きホイールの交換」の章（ 162ページ）を参照してください。

ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動

モデルおよび装備により、車両には AGM (Absorbent Glass Mat：吸収ガラス マット) テクノロジーの鉛蓄電池または 12 V リチウム バッテリー (LiFePO4) のいずれかが装備されています。

リチウム バッテリー装備車両では、バッテリーにステッカーが貼付されています。

- いかなる場合も、ステッカーを除去したり、汚損したり、判読不能にしたりしないでください。

鉛蓄電池のジャンパー ケーブルによるエンジンの始動

✓ 鉛蓄電池装備車。

バッテリーが上がったときは、他の車両のバッテリーを使用してエンジンを始動したり、ジャンパー ケーブルを使用して外部電源を接続することができます。 両方のバッテリーの公称電圧が 12 V でなければなりません。救援車側のバッテリーの容量 (Ah) が、バッテリーが上がった車両のバッテリーの容量に比べて小さすぎないよう確認してください。 上がったバッテリーを車両電気系統に正しく接続してください。

▷ 「バッテリー」の章（202ページ）を参照してください。

通常の作動条件下でジャンパー ケーブルによるエンジン始動が繰り返し必要になる場合、バッテリーが破損している可能性があります。

⚠ 警告 不適切なジャンパー ケーブルおよび誤った手順

不適切なジャンパー ケーブルを使用したり、ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動方法が正しくなかったりすると、短絡が発生する場合があります。 回路の短絡が原因で火災が発生する恐れがあります。

- 十分な太さがあり、ターミナル クランプが完全に絶縁されている標準的なジャンパー ケーブルのみを使用してください。 ジャンパー ケーブル メーカーの注意事項を遵守します。
- 車両には決して触れないようにしてください。そうしないと、プラス端子を接続した途端、電流が流れる可能性があります。
- 導電性のアクセサリー (指輪、チェーン、時計ストラップなど) が車両の通電部品に接触しないようにしてください。
- ジャンパー ケーブルをバッテリーまたは他の電子部品に決して直接に接続しないでください。 ジャンパー ケーブルを接続するのはジャンパー ケーブル始動端子のみにしてください。

⚠ 警告 凍結または損傷したバッテリーを使用したジャンパー ケーブルによるエンジンの始動

凍結または損傷したバッテリーを使用したジャンパー ケーブルによるエンジンの始動は、爆発および化学熱傷を引き起こす危険があります。

- 凍結または損傷したバッテリーを使用したジャンパー ケーブルによるエンジンの始動は、実施**しない**でください。

⚠ 注意 腐食性電解液

鉛蓄電池には、触れると皮膚や衣服を損傷させる原因となる腐食性の高いバッテリー液が入っています。

- 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- バッテリー液が目や皮膚に触れた場合：冷たい水で数分間洗い流してください。

ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動の実施

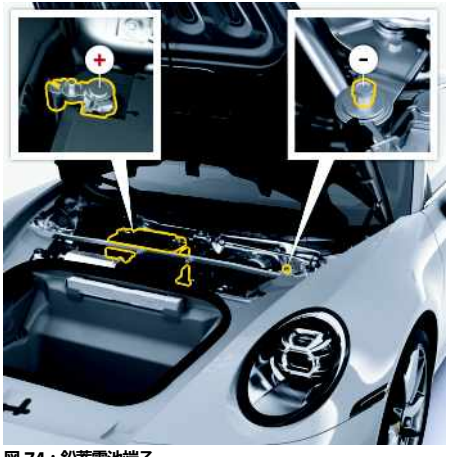


図 74：鉛蓄電池端子

1. ラゲッジ コンパートメントを開きます。
   ▷ 「ラゲッジ コンパートメント リッドの緊急解除」の章（259ページ）を参照してください。
2. ラゲッジ コンパートメント カバーを取り外します。
   ▷ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（255ページ）を参照してください。
3. 赤色のプラス ケーブルをジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用のプラス + 端子に接続します。
4. 赤色のプラス ケーブルを救援車のバッテリーのプラス端子に接続します。
5. 黒色の**マイナス ケーブル**を救援車のバッテリーのマイナス端子に接続します。 黒色のマイナス ケー

ブルは**絶対に**バッテリーに直接接続しないでください。

6. 黒色のマイナス ケーブルをアース箇所 – に接続します。
7. 救援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を高めにします。
8. エンジンを始動します。 ジャンパー ケーブルを使用したエンジンの始動は、15 秒以上続けないでください。 次に試すまで 1 分以上待ってください。
9. エンジンが作動状態のまま：
   最初に、黒色のマイナス ケーブルをアース箇所 – から外し、次に救援車のバッテリーのマイナス端子からケーブルを外します。
10. エンジンが作動状態のまま：
    赤色のプラス ケーブルをまず救援車のバッテリーのプラス端子から外し、次にジャンパー ケーブル接続用のプラス端子 + から外します。

リチウム バッテリー ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動

✓ リチウム バッテリー装備車

12 V リチウム バッテリーはバッテリーの充電状態が低い場合、車両電気系統から接続が自動的に切断されます。 電気系統は一時的に停止します。 バッテリーを充電した場合 (10 分以上)、またはジャンパー ケーブルによるエンジンの始動をした場合、または外部電源を接続した場合、電気系統は自動的に再作動します。 12 V リチウム バッテリーは車両電気系統に自動的に再接続されます。

他の車両のバッテリーを、ジャンパー ケーブルを介してエンジンを始動したり、外部電源にしたりするために使用できます。 両方のバッテリーの公称電圧が 12 V でなければなりません。支援車側のバッテリー容量 (Ah) が、バッテリーが上がった車両のバッテリー容量に比べて小さ過ぎないようにする必要があります。 上がったバッテリーは、必ず車両電気系統に正しく接続してください。

▷ 「バッテリー」の章（202ページ）を参照してください。

通常の作動条件下でジャンパー ケーブルによるエンジン始動が繰り返し必要になる場合、バッテリーが破損している可能性があります。

⚠ 警告 不適切なジャンパー ケーブルおよび誤った手順

不適切なジャンパー ケーブルを使用したり、ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動方法が正しくなかったりすると、短絡が発生する場合があります。 回路の短絡が原因で火災が発生する恐れがあります。

- 十分な太さがあり、ターミナル クランプが完全に絶縁されている標準的なジャンパー ケーブルのみを使用してください。 ジャンパー ケーブル メーカーの注意事項を遵守します。
- 車両には決して触れないようにしてください。そうしないと、プラス端子を接続した途端、電流が流れる可能性があります。
- 導電性のアクセサリー (指輪、チェーン、時計ストラップなど) が車両の通電部品に接触しないようにしてください。
- ジャンパー ケーブルをバッテリーまたは他の電子部品に決して直接に接続しないでください。 ジャンパー ケーブルを接続するのはジャンパー ケーブル始動端子のみにしてください。

⚠ 警告 電解液および有毒ガスの流出

バッテリーの損傷や間違った取り扱いによる例外的な状況では、電解液および有害ガスが漏れる恐れがあります。

- 蒸発ガスを吸い込んだり、電解液に触れたりしないようにしてください。
- 人を周囲に近付けないようにし、かつ人が常に風上にいるようにしてください。
- リチウム バッテリーの充電は、換気の良好な場所でのみ行ってください。

知識

完全放電したリチウム バッテリーにジャンパー ケーブルによる始動が実施されると、損傷を起こす恐れがあります。

- リチウム バッテリーの完全放電が疑いがある場合、ジャンパー ケーブルでエンジンを始動しないでください。

ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動の実施

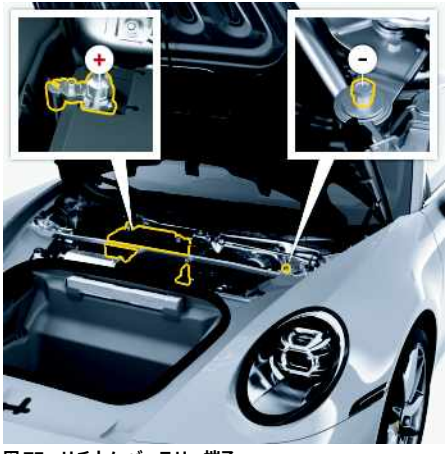


図 75：リチウム バッテリー端子

1. ラゲッジコンパートメントを開いてください。
   ▹ 「ラゲッジ コンパートメント リッドの緊急解除」の章（259ページ）を参照してください。
2. ラゲッジ コンパートメント カバーを取り外してください
   ▹ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（255ページ）を参照してください。
3. 赤色のプラス ケーブルをジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + に接続します。
4. 赤色のプラス ケーブルを支援車のバッテリーのプラス端子に接続します。
5. 黒色の**マイナス ケーブル**を支援車のバッテリーのマイナス端子に接続します。
6. 黒色のマイナス ケーブルをアース箇所 – に接続します。
7. 支援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を高めにします。
8. エンジンを始動します。 ジャンパー ケーブルを使用した始動は、15 秒以上続けないでください。 次に試すまで 1 分以上待ってください。
9. エンジンが作動している状態で、
   まず黒色のマイナス ケーブルをアース箇所 – から外し、次に支援車のバッテリーのマイナス端子からケーブルを外します。
10. エンジンが作動している状態で、
    赤色のプラス ケーブルを先に支援車のバッテリーのプラス端子から外し、次にジャンパー ケーブル接続用のプラス端子 + から外します。

ステアリング ホイール

ステアリング ホイールの調節

⚠ 警告 走行中のステアリング ホイールの調節

走行中にステアリング ホイールを調節すると、ステアリング ホイールが必要以上に移動する可能性があります。 車両のコントロールを失う恐れがあります。

▶ 走行中にステアリング ホイールを調節しないでください。

ステアリング ホイールの手動調節

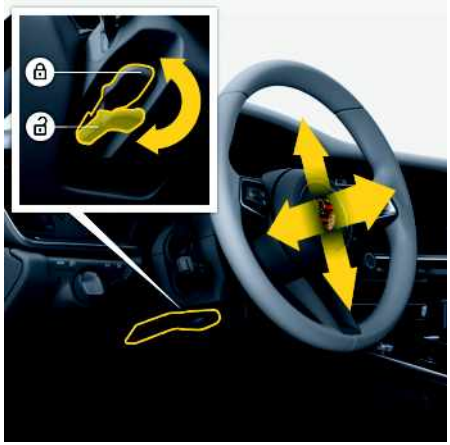


図 76 : ステアリング ホイール調節レバー

1. ドライバーから離して、レバーを下方に回転させてください。
2. ステアリング ホイールを垂直および平行に動かし、ステアリング ホイールの位置をバックレストの傾斜や着座位置に合わせます。
3. ステアリング ホイールが確実に固定されるまで、レバーをドライバーに向かって元の位置まで戻してください。

ステアリング ホイールの電動調節

⚠ 注意 メモリー設定の予期せぬ呼び出し

ステアリング ホイールの調節中に可動範囲に人や動物がいると、身体の一部が挟まれる恐れがあります。

▶ お子様だけを車内に残さないでください。

図 77 : ステアリング ホイール調節用コントロール スイッチ

▶ ステアリング コラム下に取り付けられているコントロール スイッチを前後上下に動かして、ステアリング ホイールを希望の位置に調節してください。

ステアリング ホイール設定の保存

メモリー パッケージ装備車では、ステアリング ホイールの設定を運転席ドアやキーのメモリー ボタンに保存することができます。

▷ 「パーソナル設定」の章（213ページ）を参照してください。

マルチファンクション ステアリング ホイールでのインストルメント クラスターの操作

インストルメント クラスターの操作に関する詳細なインフォメーション:

▷ 「インストルメント パネルの操作」の章（51ページ）を参照してください。

ステアリング ホイール ヒーターを ON/OFF にする

図 78 : ステアリング ホイール ヒーター ボタン

✔ エンジンを作動状態にする。

- インストルメント クラスターに**ステアリングホイール ヒーターON** または**ステアリングホイール ヒーターOFF** のメッセージが短時間表示されるまで、センター ステアリング ホイール スポークのボタンを押し続けます。

スポイラー

格納式リヤ スポイラー

✓ 911 Carrera、911 Targa

⚠ 警告 展開式リヤ スポイラーの故障

高速走行時にリヤ アクスルが浮き気味になるために走行安定性が妨げられます。

- この状態を配慮した走行スタイルと速度で運転を行ってください。
- ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。
  ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

⚠ 注意 リヤ スポイラーの展開および格納

停車中にリヤ スポイラーを手動で展開または格納するときは、動いているスポイラーと車両の固定部分の間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- リヤ スポイラーが稼動する範囲に人や物がないことを確認してください。

知識

リヤ スポイラーを損傷する危険があります。

- リヤ スポイラーを持って車両を動かさないでください。
- 自動洗車機を使用する前に、リヤ スポイラーを格納してください。

知識

リヤ スポイラーを展開させると、異物が付着してインタークーラーへのエア供給が妨げられる場合があります。

- リヤ スポイラーを展開した状態で駐車しないでください。

リヤ スポイラーは高速走行時の走行安定性を向上させます。 オート モードの使用が推奨されています。
スポイラー コントロールに不具合がある場合、インストルメント クラスターに警告メッセージが表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（92ページ）を参照してください。

オート モード

車速および選択した走行プログラムに応じて、リヤ スポイラーは自動的に展開または格納します。

マニュアル モード

イグニッションを ON にした場合、リヤ スポイラーは PCM を介して手動で展開および格納することができます。

ℹ インフォメーション

選択したスポイラー位置は、個別モードに保存できます。

手動で展開

- **車両** ▸ **ドライブ** ▸ **スポイラー** を選択します。
  リヤ スポイラーが展開しています。 現在のスポイラー位置は、車両モデルに表示されます。

手動で格納

1. **車両** ▸ **ドライブ** ▸ **スポイラー** を選択します。
2. 現在のスピードが 15 km/h (9 mph) 未満の場合：リヤ スポイラーが完全に停止位置に達するまで**スポイラー**ボタンを押し続けます。
   – または –
   現在のスピードが
   15 km/h (9 mph) を超えている場合：**スポイラー**ボタンを短く押します。
   リヤ スポイラーはオート モードに切り替わります。

展開式フロントおよびリヤ スポイラー

✓ 911 Turbo S

⚠ 警告 展開式スポイラーの故障

警告メッセージにより、展開式スポイラーの故障が示されます。

- この状態を配慮した走行スタイルと速度で運転を行ってください。
- ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。
  ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

⚠ 注意 スポイラーの格納および展開

停車中にスポイラーを手動で展開または格納するときに、スポイラーの可動部分と車両の固定部分の間に身

体の一部が挟まれる恐れがあります。

- スポイラーの可動範囲に人や物がないことを確認してください。

知識

フロント スポイラーとリヤ スポイラーを損傷する危険があります。

- リヤ スポイラーを持って車両を動かさないでください。
- フロント スポイラーを展開すると、地上高が減少します。
- 自動洗車機を使用する前に、すべてのスポイラーを格納してください。

知識

スポイラーをパフォーマンス ポジションに手動で展開したり、スポーツ プラス モードを選択したりした場合は、停車時にスポイラーが格納されません。

- 駐車時または立体駐車場に入るときは、地上高が低くなることに注意してください。

展開式スポイラーは高速走行時の走行安定性を向上させます。 フロント スポイラーとリヤ スポイラーは以下の 4 つのポジションに動かせます。

– **スタート** ポジション：日常生活での利便性 (傾斜路やガレージ進入時など) のため、フロントおよびリヤ スポイラーを完全に格納した状態。
– **スピード** ポジション：走行安定性、空気抵抗の軽減や高速対応のため、フロントおよびリヤ スポイラーを部分的に展開した状態。
– **パフォーマンス** ポジション：サーキットなどで最高のパフォーマンスを発揮するため、フロントおよびリヤ スポイラーを展開し、リヤ スポイラーを傾斜させた状態。
– **ウェット** ポジション：最大限の走行安定性を得るため、フロント スポイラーが完全に格納され、リヤ スポイラーが展開された状態。

オート モード

車速および選択した走行プログラムに応じて、スポイラーが自動的に展開または格納されます。 自動コントロール システムに不具合がある場合、インストルメント クラスターに警告メッセージが表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（92ページ）を参照してください。

マニュアル モード

イグニッションが ON の場合、PCM から手動でスポイラーを展開および格納することができます。

インフォメーション

選択したスポイラー位置は、個別モードに保存できます。

手動による展開 / 格納

1. **車両** ▸ **ドライブ** ▸ **スポイラー**を選択します。
2. 現在の車速が 15 km/h 未満の場合：スポイラーが完全に停止位置に達するまで**スポイラー** ボタンを押し続けます。
   – または –
   現在のスピードが
   15 km/h (9 mph) を超えている場合：**スポイラー** ボタンを短く押します。
   スポイラーは、格納後に自動モードになります。

スポーツ プラス モードでの作動

スポーツ プラス モードでは、車速が 15 km/h を超えると、スポイラーがパフォーマンス ポジションまで展開します。 この位置では最高速度に到達できません。

スポイラーは自動的には格納されません。

スポーツ クロノ ストップウォッチ

スポーツ クロノ ストップウォッチを使用して、時間を測定および評価でき、PCM およびインストルメントクラスターに表示できます。

次の情報を記録し、評価することができます。

- ラップ回数。
- 完了したラップ距離。
- ラップ タイム。
- オプション : その他の各種データ (車両位置や速度など)。

記録中は以下を表示します。

- 現在のラップ回数。
- 現在のラップ タイムと最速ラップ タイムの色分けでの比較。
- 基準ラップに関して走行した距離の比率。
- 現在のラップ タイムが以前の最速ラップまたは選択したラップより速いか、遅いか、同じかを表示するカラー レート。
- 燃料の残量および現在タンクに残っている燃料で完了できるラップ回数。
- 残りの記録時間。
- 現在のラップおよび基準ラップに関するトラック進捗。

99 時間、59 分59.99 秒まで記録および表示できます。

ダッシュボードのストップウォッチ

図 79 : スポーツ クロノ ストップウォッチ

ダッシュボードのストップウォッチに合計時間が表示されます。

アナログ ポインターは秒を表示します。 デジタル表示は最初の 1 分までは 1/100 秒で表示します。 その後、表示は 2 番目のステップに進みます。

ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示およびライトの設定

▷ 「車両設定」の章（ 150ページ）を参照してください。

PCM のストップウォッチ

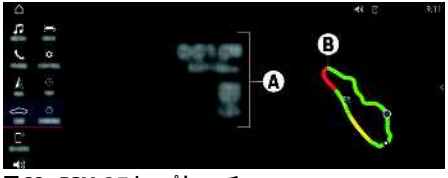


図 80 : PCM のストップウォッチ

A ラップ タイム、ラップ回数および現在の燃費残量で走行可能な残りの距離などの記録情報。

B 走行距離またはラップ カウンター付きサークル ダイアグラム: 基準ラップと比較した走行距離。 現在のラップ タイムが基準ラップより速い (緑色)、同一 (黄色)、または遅い (赤色) のいずれであるかを示すカラー レート。

計時の開始

▸ **車両** ▸ **CHRONO** ▸ **開始**
データの記録が開始されます。 基準ラップが読み込まれていない場合は、最初のラップが基準ラップとして使用されます。

計時の停止

✓ 計時が開始されている。

▸ **車両** ▸ **CHRONO** ▸ **停止**

計時の継続

✓ 計時が停止している。

▸ **車両** ▸ **CHRONO** ▸ **続ける**

ラップの停止 / 新しいラップの開始

1 回の記録で最大 99 ラップを保存することができます。

✓ 計時が開始されている。

▸ **車両** ▸ CHRONO ▸ **新しいラップ**
ラップ カウンターの値が 1 ずつ増えます。 走行した最速ラップのタイムは、距離の差が設定した差に収まっていれば、最速ラップ タイムとして記録されます。

中間タイムの保存

✓ 計時が開始されている。

▸ **車両** ▸ CHRONO ▸ **中間タイム**
中間ラップ タイムは短時間表示され、保存されません。 計時はバックグラウンドで継続します。

ストップウォッチ タイムのリセット

✓ 計時が停止している。

▸ **車両** ▸ CHRONO ▸ **リセット**
すべてのストップ タイム表示は 0 にリセットされ、走行記録は停止されます。

基準ラップの読み込み

▸ **車両** ▸ CHRONO ▸ **ラップ読込**

基準ラップの保存

▸ **車両** ▸ CHRONO ▸ オプション ▸ **Sport Chrono 表示** ▸ **評価** ▸ 希望の記録を選択 ▸ **基準ラップとして保存**

基準ラップのリセット

▸ **車両** ▸ CHRONO ▸ **リセット**

記録の表示と編集および統計の記録

1 回のセッションで最大 99 ラップを記録することができます。 基準ラップがまだロードされていない場合は、記録の中の初めのラップが基準ラップとして使用されます。 最大で 10 時間の記録が可能です。

▸ **車両** ▸ CHRONO ▸ オプション ▸ **Sport Chrono 表示** ▸ **評価**

記録および基準ラップの名前変更、削除、インポートおよびエクスポート

✓ オプションの ▸ **Sport Chrono 評価** が選択されています。

✓ インポート / エクスポートのため、SD カードが挿入されているか、USB データ バンクが接続されています。 データは、「SportChrono」フォルダーの記憶媒体に保存されています。

▸ **車両** ▸ CHRONO ▸ オプション

Sport Chrono の設定

追加データの記録オプションの起動およびトラック進捗の表示

ラップの長さおよびラップ タイムとは別に、他の走行データ (速度など) を 1 秒間隔で記録することができます。 トラック進捗も地図に表示させることが可能です。

▸ **車両** ▸ CHRONO ▸ オプション ▸ **Sport Chrono 設定** ▸ **追加データの記録**

許容距離差の設定

基準ラップの長さと任意のラップの長さがどのくらい異なるかを示します。 長さの逸脱が大きいラップは評価に含まれません。

▸ **車両** ▸ CHRONO ▸ オプション ▸ **Sport Chrono 設定** ▸ **距離の許容偏差**

評価用の最大タイムの逸脱の設定

記録時に速度が同一 (黄色マーク) と評価されたラップ間の最大のタイム差を示します。

▸ **車両** ▸ CHRONO ▸ オプション ▸ **Sport Chrono 設定** ▸ **評価の最大時間偏差**

最速ラップ (ゴースト カー) の車両位置の表示

▸ **車両** ▸ CHRONO ▸ オプション ▸ **Sport Chrono 設定** ▸ **基準ラップを表示**

インストルメント クラスターのストップウォッチ

ストップウォッチが「車両 & 情報」ディスプレイに表示されます。

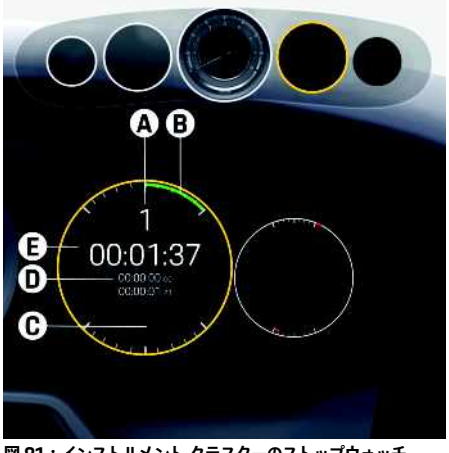


図 81 : インストルメント クラスターのストップウォッチ

A ラップ カウンター
B サークル ダイアグラム : 基準ラップと比較してどれだけラップを完了しているかを示します。
C コントロール コマンド
D ラップ タイム基準ラップ
E 現在のラップ タイム

計時の開始

- Sport Chrono ▸ **開始**
  データの記録が開始されます。 基準ラップが読み込まれていない場合は、最初のラップが基準ラップとして使用されます。

計時の停止

✓ 計時が開始されている。

- Sport Chrono ▸ **停止**

計時の継続

✓ 計時が停止している。

- Sport Chrono ▸ **続ける**

ラップの停止 / 新しいラップの開始

現在のストップウォッチ タイムはラップ タイムとして保存されますが、ストップウォッチは停止しません。
1 回の記録で最大 99 ラップを保存することができます。

✓ 計時が開始されている。

- Sport Chrono ▸ **ラップ**
  ラップ カウンター A が 1 ラップずつ増えます。
  最速で終了したラップのタイムが最速ラップ タイムとして保存されます。

中間タイムの保存

✓ 計時が開始されている。

- Sport Chrono ▸ **中間タイム**
  中間タイムは短時間表示され、保存されません。
  計時はバックグラウンドで継続します。
  サークル ダイアグラム B の数字は設定された中間タイムを示します。

ストップウォッチ タイムのリセット

✓ 計時が停止している。

- Sport Chrono ▸ **リセット**
  すべてのストップウォッチ タイム表示は 0 にリセットされます。

スモーカーズ　パッケージ

灰皿の使用

⚠ 警告 可燃物による火災

灰皿に紙類を入れると発火するおそれがあります。

- 可燃物を灰皿に入れないでください。

灰皿を挿入する

図 82 : 灰皿を挿入する

車両装備によっては、センター コンソールのカップホルダーで灰皿が利用可能です。

▷ 「カップホルダー」の章（71ページ）を参照してください。

- 灰皿をカップホルダーに挿入し、いっぱいに押し込んでください。

灰皿の開閉

図 83 : 灰皿の開閉

- リッドを持ち上げ、倒すことで灰皿を開閉します。

灰皿の取り外し

- 灰皿を握って取り外します。

スライディング / チルティング ルーフ

スライディング / チルティング ルーフの開閉

⚠ 警告 スライディング / チルティング ルーフおよびサン ブラインドの開閉

スライディング / チルティング ルーフまたはサン ブラインドを開閉するときは、作動中のルーフまたはサン ブラインドと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。特にワンタッチ操作で開閉するときは十分に注意してください。

- ▶ スライディング / チルティング ルーフまたはサン ブラインドを操作するときは、誰もケガをしないように十分注意してください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずイグニッションを OFF にしてください。 車両から離れるときは、必ずキーを携行してください。 危険を十分理解していない人 (お子様など) がスライディング / チルティング ルーフまたはサン ブラインドを誤って操作し、ケガをする恐れがあります。
- ▶ 危険が生じたときは、スライディング / チルティング ルーフまたはサン ブラインド ボタンを押すか、車両の開閉またはロッキングを行っている場合は、直ちにキーのボタンを放してください。

知識

ルーフ トランスポート システムを装着している場合に、スライディング / チルティング ルーフを開いたり上げたりすると、ルーフや荷物が損傷します。

- ▶ ルーフ トランスポート システムを装着している場合は、スライディング / チルティング ルーフを開いたり、上げたりしないでください。

インフォメーション

- スライディング / チルティング ルーフおよびサン ブラインドは挟み込み防止機能を備えています。これらの閉操作中に障害物があると、すぐにもう 1 回開きます。
- スライディング / チルティング ルーフは、極端に走行速度が高い場合や気温が極端に低い場合作動しません。

スライディング / チルティング ルーフおよびサン ブラインドの操作

✓ イグニッションが ON になっている。
– または –
イグニッションを OFF にして (10 分以内)、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態。

スライディング / チルティング ルーフおよびサン ブラインドの開閉ボタンには **2 段階の作動位置**があります。 この 2 段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

スチール スライディング / チルティング ルーフを開く

図 84 : スチール スライディング / チルティング ルーフの操作

A スライディング / チルティング ルーフを開く
B スライディング / チルティング ルーフの上げ下げ
C スライディング / チルティング ルーフを閉じる

1 段目 - 手動操作

- ▶ 希望の位置になるまで、ボタン **A** を 1 段目で引き続けてください。
  スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まります。

2 段目 – ワンタッチ操作

- ▶ ボタン **A** を短く 2 段目まで引いてください。
  スライディング / チルティング ルーフが自動的にいっぱいまで開きます。
- ▶ ボタン **A** または **C** をもう 1 回引くと作動が中断します。

ガラス スライディング / チルティング ルーフを開く

図 85 : ガラス スライディング / チルティング ルーフの操作

A　スライディング / チルティング ルーフの開閉
B　スライディング / チルティング ルーフの上げ下げ
C　サン ブラインドの開閉

1 段目 - 手動操作

- 希望の位置になるまで、ボタン A を 1 段目で押し続けてください。
  スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まります。

2 段目 – ワンタッチ操作

- ボタン A を短く 2 段目まで押してください。
  スライディング / チルティング ルーフが自動的にいっぱいまで開きます。
- ボタン A をもう 1 回押すと作動が中断します。

スライディング / チルティング ルーフの上げ下げ

- ボタン B を押してください。
  スライディング / チルティング ルーフがいっぱいまで上がります/下がります。
- ボタン B をもう 1 回押すと作動が中断します。

スライディング / チルティング ルーフを閉じる

1 段目 - 手動操作

- 希望の位置になるまで、ボタン A または C (スチール スライディング / チルティング ルーフのみ) を 1 段目で引き続けてください。
  スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まります。

2 段目 – ワンタッチ操作

- ボタン A または C (スチール スライディング / チルティング ルーフのみ) を短く 2 段目まで引きます。
  スライディング / チルティング ルーフが自動的にいっぱいまで閉じます。
- ボタン A をもう 1 回押すと作動が中断します。

キーによるスライディング / チルティング ルーフの開閉

✓ 機能が作動しています。
  ▹ 「車両設定」の章（150ページ）を参照してください。

スライディング / チルティング ルーフの上げ下げ

- スライディング / チルティング ルーフが希望の位置になるまでキーのボタン 🔓 を押し続けてください。

スライディング / チルティング ルーフを閉じる

- スライディング / チルティング ルーフが希望の位置になるまで、またはスライディング / チルティング ルーフが閉じるまで、キーの 🔒 ボタンを押し続けてください。

ドア ハンドルの近接センサーでスライディング / チルティング ルーフを閉じる

✓ コンフォート アクセス
✓ 機能が作動しています。
  ▹ 「車両設定」の章（150ページ）を参照してください。

- 車両をロックする場合、スライディング / チルティング ルーフが希望の位置になるまで、またはスライディング / チルティング ルーフが閉じるまで、ドア ハンドルの近接センサーを押してください。

挟み込み防止機能が繰り返し介入した後、スライディング / チルティング ルーフを閉じます

⚠ 警告　挟み込み防止保護無効

スライディング / チルティング ルーフおよびサン ブラインドは、その最大の力で閉じます。 そのため、車両の可動部品と固定部品の間に身体の一部が挟まれると、押しつぶされる危険があります。

- 閉じるときは、車両の可動部品と固定部品の間に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。

スライディング / チルティング ルーフの閉作動が障害物に妨げられた場合、手で強く押して手動で閉じることができます。

1. 障害物を取り除いてください。
2. スライディング / チルティング ルーフが閉位置で止まるまで、ボタン A または C (スチール スライディング / チルティング ルーフのみ) を引きます。

サン ブラインドの開閉操作

1段目 – 手動操作

- 希望の位置になるまで、ボタン C を 1 段目まで引いた状態、または押した状態で保持してください。

スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まります。

2 段目 – ワンタッチ操作

- ボタン C を 2 段目まで短時間引くか、または押してください。
  サンブラインドが自動的にいっぱいまで開/閉します。
- ボタン C をもう 1 回押すと作動が中断します。

スライディング / チルティング ルーフを途中まで、または完全に開いた場合、サン ブラインドはスライディング / チルティング ルーフのフロント端までしか閉じません。
サン ブラインドが閉じている場合は、スライディング / チルティング ルーフを開くと自動的に開きます (一緒に引っ張られます)。
スライディング / チルティング ルーフの上昇または下降は、サン ブラインドの位置には影響しません。

挟み込み防止機能が繰り返し介入した後、サン ブラインドが閉じられます

⚠ 警告 挟み込み防止保護無効

スライディング / チルティング ルーフおよびサン ブラインドは、最大の力で閉じます。 そのため、車両の可動部品と固定部品の間に身体の一部が挟まれると、押しつぶされる危険があります。

- 閉じるときは、車両の可動部品と固定部品の間に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。

サン ブラインドの閉作動が障害物に妨げられる場合、手で強く押して手動で閉じることができます。

1. 障害物を取り除いてください。
2. サン ブラインドが閉位置で止まるまで、ボタン C を引いてください。

スライディング / チルティング ルーフ ドライブ メカニズムが故障している場合のルーフの閉操作

スライディング / チルティング ルーフを修理するには：

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

スライディング / チルティング ルーフおよびサン ブラインドの停止位置の保存

緊急操作後、スライディング / チルティング ルーフおよびサン ブラインドの停止位置は消去されます。

⚠ 警告 停止位置の保存

停止位置の保存時はスライディング / チルティング ルーフおよびサン ブラインドが最大の力で閉じます。

- 停止位置の保存作業を行うときは誰もケガをしないように注意してください。

✓ 車両は停止している。
1. イグニッションを ON にする
2. スライディング / チルティング ルーフが閉位置で止まるまで、C ボタンを引いたままにしてください。
3. C ボタンを解除し、再度ボタンを引いたままにしてください。
   約 10 秒後に停止位置を保存するプロセスが開始されます。 ここでスライディング / チルティング ルーフが 1 回自動的に開閉します。
   停止位置が保存されます。
- A ボタンを使用して、サン ブラインドの手順 1~3 を繰り返します。

スライディング / チルティング ルーフが完全に停止する前にボタンから手を放した場合。

- 保存手順をもう一度やり直してください。

エア デフレクターの清掃

スライディング / チルティング ルーフを開いた状態でエア デフレクターを清掃する

1. イグニッションを ON にして、スライディング / チルティング ルーフを完全に開いてください。 エア デフレクターが完全に伸張していない場合は、完全に伸張するまでスライディング / チルティング ルーフを開状態で短い距離を走行してください。
2. 水を含んだスポンジでウィンド デフレクターとカバーを清掃してください。

サン ブラインドの清掃

✓ 車両は停止している。
✓ イグニッションが ON になっている。
1. スライディング / チルティング ルーフを完全に開きます。
2. 可能な限りサン ブラインドを閉じます。
3. サン ブラインドの C ボタンを押します。
   サンブラインドが 10 秒後に閉じ始めます。
4. サンブラインドが完全に閉じるまで、そのままスイッチを押し続けてください。
5. 汚れを取り除きます。

清掃機能の終了

- 発進します。
  – または –
  スライディング / チルティング ルーフを操作します。
  – または –
  サン ブラインドを操作します。

セントラル ロック

概要 - 車外からの開閉とロック

この概要説明は「セントラル ロッキング システム」に記載された詳細な情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

図 86 : キー

図 87 : コンフォート アクセス

希望する操作	操作方法	結果	操作場所
ロック解除	キーを使用する : ▶ キーの 🔓 ボタンを押してください。 コンフォート アクセスを使用する : ▶ ドア ハンドルのくぼみ部分に手を入れます。 作動中はドア ハンドルの近接センサー **A** に**触れない**でください。 車両に近づく場合 : ▶ 車両に近付きます。	ハザード ライトが 1 回点滅します。 車両は設定に従ってロック解除され、ドア ハンドルが展開します。 ドアを開くことができます。	▷ p. 138
ロック	キーを使用する : ▶ キーの 🔒 ボタンを押してください。 コンフォート アクセスを使用する : ▶ ドア ハンドルの近接センサー **A** に触れてください。	ハザード ライトが 2 回点滅します。 ドア ハンドルが格納します。 ドアがロックされ、インナー ドア ハンドルを引いて車内からドアを**開くことができなくなります** (セーフロック)。内側から開けようとした場合、警報システムが発動します。	▷ p. 139

希望する操作	操作方法	結果	操作場所
人 / 動物を車両に残してロックする ▸ **セーフロック**と警報システムの**車内モニタリング システム**を **OFF** にします。	キーを使用する： ▸ 🔒 ボタンを 2 回押してください (約 2 秒以内に)。 コンフォート アクセスを使用する： ▸ ドア ハンドルの近接センサー **A** に 2 回触れてください (約 2 秒以内)。	ハザード ライトがゆっくり 1 回点滅します。 ドア ハンドルが格納します。 ドアはロックされますが、インナー ドア ハンドルを引いて車内からドアを**開くことができます**。 車内からドアを開くと、警報システムが作動します。	▷ p. 139
警告システムの警告音を OFF にする	▸ キーの 🔓 ボタンを押してください。 **– または –** イグニッションを ON にします。	警告音が OFF になります。	▷ p. 112

セントラル ロッキング システムの使用

インフォメーション

▸ キーを使用するのは、車両が視界に入っている時だけにしてください。

車両装備により、キーを使用して、またはキーを使用せずにコンフォート アクセスで、ドアのロック解除およびロックができます。
車両のロックを解除する際、運転席ドアおよびフィラー フラップのみを解除するか、助手席ドアも含めて解除するか設定できます。

▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **車両** ▸ **ロック** ▸ **ドアのロック解除**

選択した設定にかかわらず、両側のドアをロック解除できます：

▸ キーのボタン 🔓 を 5 秒以内に 2 回押します。

インフォメーション

車両の工場設定については、この章で説明されています。

コンフォート アクセス[1]

コンフォート アクセス装備車では、キーを使用せずにロック解除およびロックができます。 そのためには、常にキーをズボンのポケットなどに入れて携帯する必要があります。
ドア ハンドルの汚れがひどいと、コンフォート アクセス機能が制限されることがあります。
▷ 「車両のお手入れ」の章（ 144ページ）を参照してください。

キーを使用するコンフォート アクセスの解除

第三者による車両の不正なロック解除および始動を防ぐため、キーを使用してコンフォート アクセス機能を一時的に停止することができます。

▸ キーのインジケーター ライトが点灯し続けるまで 🔒 ボタンと 🔓 ボタンを同時に押します。
キーのインジケーター ライトが点灯し続けている間は、解除されていることを示しています。

キーの任意のボタンを再度押すと、コンフォート アクセス機能が自動的に作動します。

▸ キーを強い電磁波にさらさないでください。 コンフォート アクセスが妨げられることがあります。

1. コンフォート アクセス システムは最先端技術です。 しかし、無線キーのキー コードが傍受されて、車両のロック解除や盗難に使用される可能性を完全に排除できるわけではありません。

ドアのロック解除

インフォメーション

車両のロックを解除し、ドアまたはリヤ リッドを 12 秒以内に開かなかった場合、車両は自動的に再ロックされます。

インフォメーション

事故が発生してエアバッグが作動した場合、救助者が車両に入れるようにするために、車両全体が自動的にロック解除されます。 ハザード ライトも自動的に作動します。

キーによるドアのロック解除

図 88 : キーによるドアのロック解除

1. ボタン を押してください。
   ハザード ライトが 1 回点滅します。
   設定によっては、車両のロックが解除され、ドア ハンドルが展開します。
2. ドア ハンドルを引いてください。

ドア ハンドルの近接センサーによるドア ロックの解除

図 89 : コンフォート アクセスによるドアのロック解除

✓ コンフォート アクセス装備車
✓ 機能が作動している。

▸ **車両** ▸ **コントロール** ▸ **車両** ▸ **ロック**

✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行している。

キーを携行して運転席または助手席側のドアに近づくと、ドア ロックを解除することができます。

1. ドア ハンドルのハンドルのくぼみに手を入れ、つかみます。 作動中にドア ハンドル前部の近接センサーに**触れない**でください。
   ハザード ライトが 1 回点滅します。
   設定によっては、車両のロックが解除され、ドア ハンドルが展開します。
2. ドア ハンドルを引いてください。

インフォメーション

バッテリーを節約するために、不要なコンフォート機能は 次第に OFF になります。 その後、キーを使用して車両のロックを解除できます。

車両に近づいてドアのロックを解除する

セントラル ロックは、車両に近づくとドアが自動的にロック解除されるように設定できます (約 2 m の距離から)。
最後のロック操作の後、キーが 6 m 以上車両から離れたことがこの前提条件になります。 車両を駐車してロックする場合、キーを十分に離してください。 そうしないと、45 秒以内に誤ってロック解除される可能性があります。

✓ コンフォート アクセス装備車
✓ 機能が作動している。

▸ **車両** ▸ **コントロール** ▸ **車両** ▸ **ロック**

✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行している。

1. 車両に近付きます。
   ハザード ライトが 1 回点滅します。
   設定によっては、車両のロックが解除され、ドア ハンドルが展開します。
2. ドア ハンドルのハンドルのくぼみに手を入れ、つかみます。 作動中にドア ハンドル前部の近接センサーに**触れない**でください。
3. ドア ハンドルを引いてください。

車内からのドア ロックの解除

図 90 : ドア パネルのセントラル ロック ボタン

- ドア パネルのボタン 🔓 を押してください。
  – または –
  インナー ドア ハンドルを引いてください。
  すべてのドアがロック解除されます。 ドア ハンドルが展開します。
  ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

インフォメーション

セーフロック作動で車両をロックした場合、またはエマージェンシー キーを使用して車両をロックした場合には、車内からドアを開くことはできません。

インフォメーション

バッテリーが上がっているなどで車両の電源が入っていない、またはドア ハンドルを引っ張るのが速すぎた場合には、ドア ハンドルを 2 回引っ張る必要があります。

- ドア ハンドルから手を放し、もう一度引きます。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（92ページ）を参照してください。

車両の自動ロック解除

運転席ドアを開くと、車両は自動的にロック解除されます。

バッテリーが切り離された状態でのロック解除

既にロック解除されていたドアは、バッテリーを切り離した後に、エマージェンシー キーで車外からのみ開くことができます。

- バッテリーの切り離し前にウィンドウを開きます。
  インナー ドア ハンドルを 2 回引っ張ると、ドアは車内外から開くことができます。 そのためには、内側のドア ハンドルを静止位置からいっぱいに停止する位置まで完全に引きます。

ドアのロック

知識

展開中のドア ハンドルは、洗車機にかけると損傷する恐れがあります。

- 洗車機にかける前に、車両をロックしてください。

セーフロックの使用 (国別仕様による)

⚠ 警告 車外からのドア ロック

車外からドアをロックすると、車内からドアやウィンドウを開くことができなくなります (セーフロック)。そのため、ロックする前に車両に人または動物が残っていないことを確認してください。 ドアをロックすると、緊急時に救助者が車内に入ることが非常に難しくなります。

- ドアをロックする際、人や動物が車内にいないことを確認してください。

セーフロック (国によって異なる) を使用すると、車両をロックしたときにインナー ドア ハンドルとセントラル ロッキング ボタンが無効になり、車両に侵入することが一層難しくなります。
セーフロック作動中 : ドア ハンドルを引いても車内から**ドアを開けられなくなります**。 内側から開けようとした場合、警報システムが発動します。
人や動物を車内に残して車両をロックする場合、セーフロックを解除してください。

キーによるドアのロック

✓ 作動モード **P** を選択している。
✓ すべてのドアが閉じられている。

- 🔒 ボタンを 1 回押してください。
  ハザード ライトが 2 回点滅します。
  ドア ハンドルが格納します。

車両ロック時のセーフロックの解除

- 🔒 ボタンを 2 秒以内に 2 回押してください。
  ハザード ライトがゆっくり 1 回点滅します。
  ドア ハンドルが格納します。
  ドアはロックされますが、インナー ドア ハンドルを引くことにより、内側から開くことができます。
- ドアを開くと警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

インフォメーション

ドアまたはリヤ リッドが完全に閉じていない場合、車両を完全にロックすることはできません。 警告音が鳴り、ハザード ライトは点滅しません。

インフォメーション

車両をロックする際にキーが車内にある場合は、車両が再度ロック解除されます。 何度か警告音が鳴り、ハザード ライトが 4 回点滅します。 ドアまたはリヤ リッドを約 45 秒以内に開けなかった場合、車両はロックされ、スペア キーを使用しないとロック解除できなくなります。

- 車両をロックするときは、キーが車内にないことを確認してください。

ドア ハンドルの近接センサーによるドアのロック

図 91 : コンフォート アクセスによるドアのロック

✓ コンフォート アクセス装備車

✓ 作動モード P を選択している。

✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行している。

✓ すべてのドアが閉じられている。

- ドア ハンドルの近接センサー **A** に触れてください。
  ハザード ライトが 2 回点滅します。
  ドア ハンドルが格納します。

車両ロック時のセーフロックの解除

- ドア ハンドルの近接センサー **A** に 2 秒以内に 2 回触れてください。
  ハザード ライトがゆっくり 1 回点滅します。
  ドア ハンドルが格納します。
  ドアはロックされますが、インナー ドア ハンドルを引くことにより、内側から開くことができます。
- ドアを開くと警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

インフォメーション

– ドアまたはリヤ リッドが完全に閉じていない場合、車両を完全にロックすることはできません。警告音が鳴り、ハザード ライトは点滅しません。
– 車両をロックするときはキーを車外に持ち出してください。キーが車内にあると車両をロックできません。

車内からのドア ロック

図 92 : ドア パネルのセントラル ロック ボタン

✓ ドアが閉じられている。

- ドア パネルのボタン 🔒 を押してください。
  すべてのドアがロックされます。 フィラー フラップはロックされません。
  ドア ハンドルが格納します。
  ボタンのインジケーター ライトが点灯します。
  インナー ドア ハンドルを引くことによってのみ、車内からドアを開くことができます。

自動ロック (オート ロック)

✓ 機能が作動している。

▷ 「車両設定」の章（ 150ページ）を参照してください。

速度が約 15 km/h を超えると、車両は自動的にロックされます。

ドアの緊急ロック解除および緊急ロック

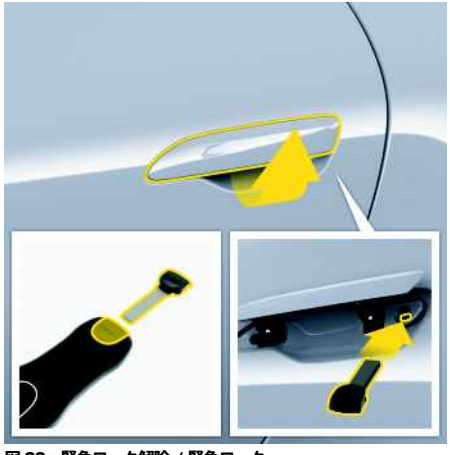


図 93 : 緊急ロック解除 / 緊急ロック

キーのリモコンが機能しない場合、リモコンなしでもドアのロック解除およびロックができます。

緊急ドア ロック解除の実行

- フロント ウィンドウの中央上部にキーを置き、 ボタンを押します。

車両のロックがまだ解除できない場合 :

1. エマージェンシー キーをキーから取り外してください。
   - 「エマージェンシー キーを使用する場合」の章（73ページ）を参照してください。
2. 運転席ドアのドア ハンドルを引いたままにします。
3. エマージェンシー キーをラウンド エッジが上を向くようにしてドア ロックに挿入します (右ハンドル車ではラウンド エッジが下を向きます)。
4. エマージェンシー キーを、最初に抵抗を感じるところまで反時計回りに回してから、回るところまでさらにしっかり回します。
5. エマージェンシー キーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
6. 警報システムが作動しないように 15 秒以内にイグニッションを ON にします。

インフォメーション

国別仕様により、警報システムが作動するまでの時間が異なる場合があります。

緊急ドア ロックの実行

インフォメーション

ドアの緊急ロックは、エンジンが停止している場合のみに使用してください。

- 運転を開始する前に、ドアのロックを解除してください。

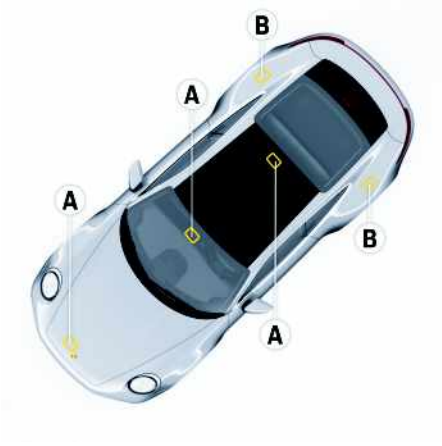
1. エマージェンシー キーをキーから取り外してください。
   - 「エマージェンシー キーを使用する場合」の章（73ページ）を参照してください。
2. 運転席ドアのドア ハンドルを引いたままにします。
3. エマージェンシー キーをラウンド エッジが上を向くようにしてドア ロックに挿入します (右ハンドル車ではラウンド エッジが下を向きます)。
4. 運転席ドアを開けた状態で、エマージェンシー キーを最初に抵抗を感じるところまで時計回りに回してから、回るところまでさらにしっかり回します。
5. エマージェンシー キーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
6. 運転席ドアを閉じます。
7. 車両がロックされているか確認してください。
8. 助手席ドアの緊急ロックの場合、エマージェンシー キーを運転席ドアのドア ロックに再び挿入し、進行方向と反対に 90° 回し、エマージェンシー キーを再び抜き取ります。 助手席ドアがロックされます。

インフォメーション

セントラルロッキングが故障した場合、セントラル ロッキング システムのすべてのファンクション ロックは運転席ドアのロックからロックすることができます。

- セントラル ロッキング システムの故障は修理してください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェ エントリー&ドライブ



ポルシェ エントリー の取り付け位置

ポルシェ エントリー、リ モート コントロール付き キーと車両のアンテ ナが電波で通信することで、ドア やリヤ リッ ドをロック/ロック解除できます。

植え込み型心臓ペースメーカーまたは植え込 み型除細動器を装着されているお客様へ

⚠ 警告

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込 み型除細動器を装着されている方は、車室外ア ンテナAおよび車室内アンテナBから約22cm以 内の範囲に、植え込み型心臓ペースメーカーお よび植え込み型除細動器を近づけないでくだ さい。

- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え 込み型除細動器を装着されている方は、車 室外アンテナAおよび車室内アンテナBか ら約22cm以内の範囲に近づかないでくだ さい。アンテナからは電波が出ており、植 え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込 み型除細動器の作動に影響を与える恐れが あります。
- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え 込み型除細動器以外の医療用電気機器を使 用されている方は、医師や医療用電気機器 製造業者などに電波の影響の有無について 事前に確認してください。電波により医療 用電気機器の作動に影響を与える恐れがあ ります。

ソケット

12 V ソケットの使用

12 V プラグ ソケットには電装品 (アクセサリー) を接続できます。
12 V プラグ ソケットは助手席側の足元にあります。

充電アダプターの接続

インフォメーション

– 12 ボルト プラグ ソケットおよび接続している電装品 (アクセサリー) は、イグニッションが OFF のときでも、キーを抜いた状態でも使用できます。エンジンを停止したままアクセサリーを使用すると、バッテリー上がりの原因になります。 車両のバッテリーを保護するため、約 30 分後に電源の供給が遮断されます。 電装品への電源供給を再開するには、イグニッションを ON にしてください。
– 電装品が 1 つだけ作動している場合、12 ボルト プラグ ソケットの最大電流値は 20 A です。 複数の電装品を同時に使用する場合は、12 ボルト プラグ ソケット 1 つ当たりの電流値が 10 A を超えないようにしてください。
– シールドされていない機器を使用すると、電波干渉や車両電装品の誤動作の原因となることがあります。

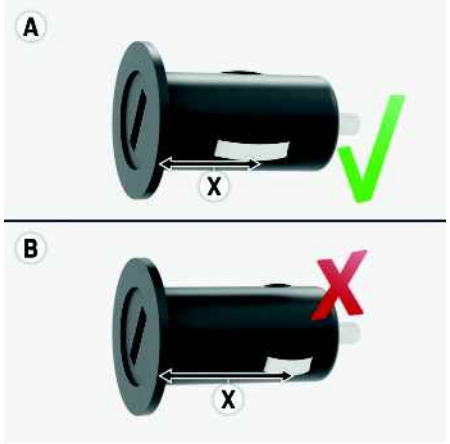


図 94 : 12 ボルト プラグ ソケット用充電アダプター

A 適切な充電アダプター
B 不適切な充電アダプター

知識

電気系統を損傷する恐れがあります。

▶ 適切な充電アダプター (A) のみを使用してください：
グラウンド端子部から充電アダプター上端までの**寸法 X** は、**約16 mm以下**である必要があります。
▶ グラウンド端子部から充電アダプター上端までの**寸法 X** が 16 mm を超える不適切な充電アダプター (B) を使用すると、12 V プラグ ソケットが損傷することがあります。

車両のお手入れ

一般的なお手入れの諸注意

⚠ 警告 ブレーキ ディスクの水膜

大雨の中で水たまりや浅瀬を走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキの反応が遅れたり、ペダルを踏み込む時に普通以上に力が必要になったりすることがあります。

- 洗車後にはブレーキを点検してください。
- そのため、前走車との車間距離を十分に確保しながら、断続的にブレーキをかけてブレーキを「乾燥」させます。 後続の車両に影響を与えないように注意してください。

ポルシェ正規販売店で定期的に点検することは、車両の価値の維持につながります。また、このような点検が車両の保証を受けるための前提条件になっている場合があります。

ポルシェ社では、ポルシェ テクイップメント製のカー ケア用品の使用を推奨しています。

- カー ケア用品のパッケージに記載されている使用上の注意事項を遵守してください。
- カー ケア用品はお子様の手の届かない場所に保管してください。
- カー ケア用品を廃棄する際には、廃棄物に関する法律や地域のルールに従ってください。

車両の点検を適切に実施して、保証期間内の保証を維持するには、ポルシェ正規販売店までお問い合わせください。 ポルシェ正規販売店が状態レポートを作成し、車両の整備状況を認定いたします。

知識

高圧洗浄機およびスチーム クリーナーを使用すると、以下の構成部品に損傷を与えるおそれがあります:

- コンバーチブル トップ
- コンバーチブルトップ エレメント (Targa)
- タイヤ
- ロゴ、エンブレム、デコラティブ フィルム、および塗装用の保護フィルム
- 塗装面
- オルタネーター
- エンジン コンパートメント内の電装部品およびプラグ接続
- パーキングアシスタント センサー
- アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) などのアシスタント システムで使用される (レーダー) センサー
- リバース カメラ
- フロント ワイパー

車両またはコンバーチブル トップは、完全な防漏構造ではありません。 清掃中に車内に水が漏れることがあります。

- 各装置に付属の取扱説明書をよくお読みください。
- デコラティブ フィルムを洗浄するときは、高圧洗浄機またはスチーム クリーナーを使用しないでください。
- 塗装用の保護フィルムを清掃するときは、高圧洗浄機をフィルムの端に向けないでください。
- 高圧洗浄機を使用する場合、ノズルから 50 cm 以上離してください。
- 高圧洗浄機またはスチーム クリーナーと丸型ジェット ノズルを組み合わせて使用しないでください。 高圧洗浄機またはスチーム クリーナーと丸型ジェット ノズルを組み合わせて使用すると、車両が損傷する原因になります。 特にタイヤは損傷しやすいため、丸型ジェット ノズルで洗浄しないでください。
- 高圧洗浄機を使用するときは、これらのコンポーネントにジェット ノズルを直接向けないでください。
- エンジン コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンを OFF にし、十分に冷やしてください。
- 高圧洗浄機のジェットは、絶対に開口部 (スパークプラグ シャフト、エアクリーナー ハウジング、エア フィルターなど) に向けないでください。 洗浄前に開口部を覆ってください。

車両の洗浄

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してください。 解氷剤 (塩分)、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の排せつ物、樹液や花粉などは、車両に付着してからの時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。 車両またはコンバーチブル トップは、完全な防漏構造ではありません。 清掃中に車内に水が漏れることがあります。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するために、次の点に注意してください。

- 車両の下周りは、少なくとも道路の砂まきのシーズンの終わりには、しっかりと洗い流す必要があります。
- すす、グリース、油、重金属が車両に影響を与えるのを防ぐために指定された洗浄エリアのみを洗車するようにしてください。
- 直射日光のもとで、または車体が熱くなっているときには洗車しないでください。
- 手洗いを行うときは、柔らかいスポンジ、洗車用ブラシ、カー シャンプーを使用して多量の水で洗ってください。
- 洗車を始める際には、塗装面にしっかりと水をかけて、泥を洗い落としてください。
- 洗車後は、水で十分に洗い流して、セーム革でふき取って乾かします。 ふき取りには、ウィンドウ

を洗ったときと同じシャンプーを使用しないでください。

自動洗車機

知識

自動洗車機によっては、ボディ表面から突き出ているオプションの追加部品やパーツが損傷する恐れがあります。

- 自動洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。
- 自動洗車機を使用する前に、すべてのスポイラーを格納してください。

危険	以下の点をご確認ください。
コンバーチブルトップの素材 (カブリオレ / タルガ) への損傷	▶ コンバーチブル トップ部にホット ワックス処理をしないでください。
ウィンドウ (カブリオレ / タルガ) が下がっていると車内に水が入ります	▶ イグニッションを OFF にしないでください。 – または – 車両をロックしてください。
洗車機で洗車中、フロント ウィンドウ ワイパーの不意の作動による損傷の可能性があります。	▶ フロント ワイパーのスイッチを OFF にしてください。 ▶ 洗車機での洗車中はヘッドライト ウォッシャー システムを操作しないでください。
外装部品への損傷	▶ ドア ミラーを格納してください。 ▶ ルーフ トランスポート システムを完全に取り外してください。 ▶ 車両をロックしてください。
ホイールへの損傷	▶ 洗車機のガイド レールの寸法を確認してください。 タイヤのリム径が大きく高さが低くなるに従い、損傷のリスクも大きくなります。
ハイグロスまたはシルクグロス ホイールへの傷	▶ 洗車機のホイール用洗浄ブラシを使用しないでください。

コンバーチブル トップ (カブリオレ) およびコンバーチブル トップ エレメント (タルガ) の清掃

知識

高圧洗浄機の洗浄ジェット、不適切な自動洗車機、またはホット ワックス処理を行うと、コンバーチブル トップおよびコンバーチブル トップ エレメントを損傷する恐れがあります。

- 高圧洗浄機をコンバーチブル トップおよびコンバーチブル トップ エレメントの洗浄に使用しないでください。
- カブリオレでは、洗浄プログラムのある自動洗車機を使用してください。
- コンバーチブル トップ部にホット ワックス処理をしないでください。

適切な車両の清掃と整備のために、次の点を順守してください：

- コンバーチブル トップおよびコンバーチブル トップ エレメントは、車両を洗車する度に毎回洗う必要はありません。 通常は、きれいな水でコンバーチブル トップ / コンバーチブル トップ エレメントを洗うのみで十分です。
- 雪や氷を縁の鋭いもので取り除かないでください。
- 毛の柔らかいブラシを使用して、織目に沿ってブラッシングしコンバーチブル トップのほこりを取り除いてください。
- 汚れが頑固な場合にのみ、シャンプー & コンバーチブル トップ クリーナーを混ぜたぬるま湯で洗浄し、スポンジか柔らかいブラシで軽く擦ってください。
- その後きれいな水でシャンプーおよびコンバーチブルトップ クリーナーをコンバーチブル トップから残さず洗い流してください。
  ポルシェ社では、ポルシェ テクイップメント製のカー ケア用品の使用を推奨しています。
- 洗車後、少なくとも年に 1 度はコンバーチブル トップ ケア製品を使用してコンバーチブル トップ カバーのお手入れを行ってください。 コンバーチブル トップ用のケア用品が塗装面やガラスに付着しないよう注意してください。 塗装に付着した場合はすぐに取り除いてください。
- コンバーチブル トップ カバー本体または縫い目や折り目から漏れが生じた場合は、コンバーチブル

トップ専用ケア用品を使用してください。 容器に記載されている指示に従ってください。
ポルシェ社では、ポルシェ テクイップメント製のカー ケア用品の使用を推奨しています。

- 鳥の排せつ物は直ちに除去してください。 排せつ物に含まれる酸はゴム部品を膨張させ、コンバーチブル トップおよびコンバーチブル トップ エレメントに水漏れを起こす原因になります。
- 染みや擦り切れを防ぐため、コンバーチブル トップおよびコンバーチブル トップ エレメントは天候が良いときにのみ開いてください。
- コンバーチブル トップ カバーから染みを落とす際は、柔らかいラバー スポンジで慎重に擦って除去してください。

塗装面のお手入れ

知識

塗装面に付着した汚れの粒子は、適切にお手入れをしないと塗装に損傷を与える場合があります。

- 乾いた布でほこりを拭きとらないでください。

知識

適切にお手入れを行わないと構成部品の艶消し効果が失われる場合があります。

- 艶消し仕上げの部品にワックスや光沢剤を**使用しない**でください。

塗装面の保護

塗装面は風化によって時間とともにつやがなくなりますので、洗車後に定期的に塗装保護剤で保護する必要があります。 そうすることにより、塗装の輝きと弾性を維持することができ、汚れが塗装面に付着したり、粉塵が塗装面に侵入したりすることを防ぎます。

塗装面のつや出し (研磨)

ペイント ポリッシュを使用するのは、保護剤では元の輝きが出せなくなった場合のみにしてください。
ヘッドライトは磨かないでください。

マークを取り除く

タールの跳ねかかり、オイル跡、虫などは、そのまま放っておくと時間とともに塗装が変色しますので、インセクト リムーバーを使用してできるだけ早めにそれらを取り除いて、その後その部分を慎重に洗ってください。

小さな傷の補修

亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の小さな傷は、ボディの腐食が進行する前に修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
ボディが腐食したときは、はじめに錆を完全に除去してください。 錆を取り除いたら、その箇所にプライマー (防錆剤) を塗布してから、上塗り塗装を施してください。

ワイパー ブレードのお手入れ

知識

適切に洗浄されない場合、ワイパー ブレードのグラファイト コーティングが損傷することがあります。

- 洗浄機のノズルをワイパー ブレードに向けないでください。
- 布やスポンジでワイパー ブレードを洗浄しないでください。
- ワイパー ブレードの洗浄は清潔な水でのみ行ってください。

フロント ワイパー ブレードを万全の状態に保つことは良好な視界のために不可欠です。

- ウィンドウ クリーナーを使用してフロント ウィンドウを定期的に清掃してください。特に洗車機を使用した後は清掃してください。
- 汚れがひどい場合 (虫の付着など)、スポンジまたは布を使用してフロント ウィンドウを清掃します。

ワイパーブレードは年に 2 回 (寒い季節の前後に)、またはワイパーのパフォーマンスが落ちたり、ブレードが損傷したりした場合に交換する必要があります。

ウィンドウの清掃

フロント両側のウィンドウには、汚れを抑制する (疎水性の) 撥水剤がコーティングされています。 このコーティングは経年変化により徐々に効果が弱まります。また新たにコーティングすることができます。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

適切に車両を清掃するために、次の点を順守してください：

- すべてのウィンドウの内側と外側を、ウィンドウ洗浄剤を使用して定期的に清掃してください。
- 塗装面に使用したのと同じセーム皮を使用してウィンドウをふき取らないでください。 保護剤の残留物で視界が低下する可能性があります。
- 虫の死骸はインセクト リムーバーで取り除きます。

アンダー コーティングの補修

⚠ 警告 エキゾースト システム付近の可燃物

エキゾースト システムのエリア内の追加の防錆剤またはアンダー コーティングは、運転時に過熱して発火す

る可能性があります。

- エキゾースト マニホールド、エキゾースト パイプ、触媒コンバーター、またはヒート シールドの近くに、追加のアンダーコーティングや防錆を施さないでください。

車両のアンダーボディは化学的、機械的影響から永続的な方法で保護されています。 走行中の保護コーティングへの損傷をなくすことはできません。

- ポルシェ正規販売店で定期的に点検を受け、必要に応じて保護コーティングの復元を依頼するようお勧めします。 ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

デコラティブ フィルムの清掃

知識

洗浄時にデコラティブ フィルムが剥れて損傷する恐れがあります。

- ポリッシュやホット ワックスを使用しないでください。
- 高圧洗浄機またはスチーム クリーナーを使用しないでください。
- 柔らかいスポンジ、中性洗剤、および多めの水を使用してください。

保護フィルムのお手入れの諸注意

知識

保護フィルムのお手入れを不適切な方法で行うと、損傷する恐れがあります。

- 保護フィルムのメーカーが提供するお手入れの諸注意に従ってください。
- フィルムを貼った後、少なくとも 48 時間経過するまで、洗車を控えてください。
- 洗車機を使用する場合は、布製の洗車機でのみ洗車してください。 洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。
- 高圧洗浄機の水流をフィルムの端に直接向けないでください。
- 虫の死骸などの汚れはなるべく早く取り除いてください。
- 頑固な汚れを取り除くには、99% イソプロパノール溶液を使用します。
- ホット ワックスを均等に塗ります。ワックスはスムースかつ均一に塗布するようにしてください。

ヘッドライト、ライト、プラスチック製部品と表面、センサーとカメラの清掃

知識

洗剤がコントローラまたはスイッチに侵入し、損傷させる恐れがあります。 不適切な洗浄剤を使用するとプラスチック製の表面に損傷を与える場合があります。

- 車内のプラスチック部品に直接水や室内用ウィンドウ クリーナーをスプレーしないでください。
- ヘッドライト、 ライト類、プラスチック製部品とその表面、アダプティブ クルーズ コントロール用センサー、および車両カメラの清掃には、きれいな水と、小量の食器用洗剤または室内用ウィンドウ クリーナーのみを使用してください。 このとき、柔らかいスポンジまたは柔らかい不織布を使用してください。
- ヘッドライトは磨かないでください。
- タッチ センシティブ ボタンを有するセンターコンソールの洗浄には、マイクロ ファイバー布のみを使用してください。
- 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を使用しないでください。

ホイールのお手入れ

⚠ 警告 ブレーキ ディスクの洗浄剤の膜

洗浄剤 (ホイール洗浄剤など) がブレーキ ディスクにかかると、ブレーキ ディスクに膜が形成されてブレーキ性能が低下する恐れがあります。

- 洗浄剤がブレーキ ディスクにかからないように注意してください。
- 洗浄剤がブレーキ ディスクにかかった場合は、強力なウォーター ジェットでブレーキ ディスクをしっかりと清掃してください
- 後方の交通に注意しながら、ブレーキをかけてブレーキ ディスクを乾燥させます。

軽合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子 (ブレーキ ダストに含まれる黄銅や銅など) は長期間放置しないでください。 接点の腐食により穴開きが発生する恐れがあります。
酸化除去効果のある洗浄剤や不適切な pH 値の洗浄剤 (他の金属には通常使用している)、および機械的なツールや製品は、表面を損傷するため、使用には適しません。

- 合金製ホイールには中性の洗浄剤のみを使用してください (pH 値 : 4 ～ 10)。 不適切な pH 値の製

品を使用すると、ホイールの表面が損傷する恐れがあります。
- 可能な限り、2 週間ごとにホイールをスポンジか洗車用ブラシで洗浄してください。 ホイールが、解氷剤 (塩分)、砂、または粉塵にさらされる場合は、毎週清掃する必要があります。

ドア、ルーフ、リッドとウィンドウ シールの清掃

知識

インナー ドア シールをコーティングしている潤滑剤は、不適切な清掃や洗剤の使用によりダメージを受けることがあります。
- 合成洗剤や溶剤を使用しないでください。
- 防錆剤を使用しないでください。

適切に車両を清掃するために、次の点を順守してください：
- 定期的に、すべてのシールの汚れ (摩耗、ほこり、凍結防止剤、砂など) を暖かい石鹸水を使用して洗浄してください。
- 凍結の恐れがある場合は、適切な手入れ用品を使用して、アウター ドア シールおよびリッドとフラップのシールを凍結から保護してください。

革製品のお手入れ

知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な処理を行ったりすると革製品が傷む場合があります。
- 腐食性のある洗浄剤または固い清掃具を使用しないでください。
- 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないよう注意してください。
- 水滴は革製品から直ちに取り除いてください。

適切な車両の清掃と整備のために、次の点を順守してください：
- 湿らせた柔らかくて白い毛織布、または市販のマイクロファイバー クロスを使用して、すべての種類の革製品を定期的に清掃し、細かなほこりを取り除いてください。
- 頑固な汚れ (水性のしみ**ではない**) は、革用洗浄剤で取り除きます。 容器に記載されている取扱説明をお読みください。
  ポルシェ社では、ポルシェ テクイップメント製のカー ケア用品の使用を推奨しています。
- 清掃した革製品は、皮革ケア製品でのみ取り扱うようにしてください。

シート ベンチレーター付きシートの清掃

雨水や湿気により、表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革シートに染みが付く可能性があります。

水染みおよび湿気による染みを取り除く

✓ シート ヒーターおよびシート ベンチレーターが OFF です。
✓ 直射日光が当たらないようにしてください。
1. 清潔で、目の細かいスポンジと蒸留水を使用して、シートおよびバックレストの表面全体を軽くたたいてください。 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないよう注意してください。
2. シート カバーは直射日光を避けて室温で完全に乾かしてください。 シート ヒーターおよびシート ベンチレーターを ON にしないでください。
3. 乾いた後、シート カバーを乾燥した不織布で拭いてください。

カーペット、フロア マットの清掃

⚠ 警告　ペダル操作の妨げ

不適切なフロア マットや正しく固定されていないフロア マットは、ペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。 アクセル ペダルが不意に踏み込まれたり、ブレーキ ペダル操作の妨げとなったりする場合があります。 これにより、予期しない加速が起こったり、ブレーキ操作が難しくなったりすることがあります。
- 車両に適切なフロア マットのみを使用してください。
- フロア マットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- いくつものフロア マットを重ねて敷かないでください。
- 清掃などのためにフロア マットを取り外した場合には、元の場所に正しく取り付けられているか確認してください。

適切に車両を清掃するために、次の点を順守してください：
- 電気掃除機または柔らかすぎないブラシを使用して清掃します。
- しみ抜きを使用して、ひどい汚れやしみを取り除きます。
  ポルシェ社では、ポルシェ テクイップメント製のカー ケア用品の使用を推奨しています。

フロア カーペットの汚れや傷付きを防ぐため、この車両に適したサイズの固定具付きフロア マットをカー アクセサリーとして用意しています。

エアバッグ カバーの清掃

⚠ 危険　不適切な清掃

不適切な洗浄剤やケア剤を使用すると、エアバッグ システムに侵入する場合があります。 正しく取り扱わな

いと、エアバッグ システムが損傷する恐れがあります。 事故の際にエアバッグが作動しなくなる恐れがあります。

- 個々の部品 (ステアリング ホイール カバー、ダッシュボード、フロント シート、ドア パネル、天井パネルなど) にいかなる調整も加えないでください。
- エアバッグのエリアには、クリーナーや他の液体を使用しないでください。

ファブリック ライニングの清掃

ピラー、ルーフライナーおよびサン ブラインドなどのファブリック ライニングは、素材に適した洗浄剤やドライ フォームと柔らかいブラシのみを使用して清掃してください。

Alcantara® / Race-Tex / その他の生地のお手入れ

Alcantara® / Race-Tex / その他の生地でできた**マイクロファイバー カバー**の清掃には、皮革ケア製品を使用しないでください。 普段のお手入れには、柔らかいブラシでカバーを清掃するだけで十分です。 清掃する際に強く擦りすぎると、表面に永久的な変化を与えてしまいます。

- 軽い汚れの場合、柔らかい布を水または中性石鹸水で湿らせて、汚れをふき取ります。
- ひどい汚れの場合、柔らかい布をぬるま湯または水で薄めた揮発油で湿らせて、外側から内側に軽くたたいて汚れを取り除きます。

Alcantara® /Race-Tex 製マイクロファイバー カバーの付いた**ステアリング ホイール**は、皮膚との恒久的な接触が原因でより汚れやすくなります。

- 軽い汚れの場合、柔らかい布を水または中性石鹸水で湿らせて、ステアリング ホイール リムの汚れをふき取るために使用します。
- アウター ステアリング ホイール リムの汚れがひどい場合は、柔らかい布と市販の内張りフォーム クリーナーを使用し、フォーム メーカーの指示に従って軽くこするかたたくことで清掃できます。

シート ベルトの清掃

適切に車両を清掃するために、次の点を順守してください：

- シートベルトの汚れには、中性洗剤を使用します。
- 乾燥時は直射日光を避けてください。
- 適切な洗浄剤のみを使用してください。
- シート ベルトを染めたり漂白したりしないでください。 ベルトの繊維が弱くなり安全性に影響が出る可能性があります。

スクリーンとタッチ ディスプレイの清掃

知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な処理を行うとスクリーンおよびタッチディスプレイを痛めることがあります。

- PCMの清掃に変性アルコール、シンナー、ガソリン、アセトン、アルコール類（エタノール、メタノール、またはイソプロピルアルコール）などの溶剤、または研磨剤などを使用しないでください。
- スクリーンおよびタッチディスプレイに直接クリーナーや他の液体を吹きつけないでください。水が入ると、電子部品は修理不能になることがあります。液体を吹き付けるのではなく、布にしみこませて注意深くスクリーンを拭いてください。

適切に車両を清掃するために、次の点を順守してください：

- スクリーンとタッチ ディスプレイは擦ると傷がつく恐れがあります。 時々、清潔で柔らかい乾いた布 (マイクロファイバー クロス) で慎重にスクリーンとタッチ ディスプレイを清掃してください。 清掃の際、表面に力を加えすぎないでください。
- 指紋は、少し湿らせた布や中性洗剤を使用してふき取ります。

車両の保管

車両を長期間にわたり保管する場合には：ポルシェ正規販売店にご連絡ください。 必要な対策 (腐食の予防、お手入れ、メンテナンス、保管など) についての情報やアドバイスを喜んでお伝えします。

▷ 「けん引」の章（ 80ページ）を参照してください。

バッテリーを切り離している場合の車両のロックに関する情報は以下をご覧ください：

▷ 「セントラル ロック」の章（ 136ページ）を参照してください。

車両設定

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、様々な車両機能を調整できます。 ここで説明した車両機能は、すべてのモデル、国別仕様および装備仕様で利用可能なわけではありません。 安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

車両機能はイグニッションを OFF にしても保存され続けます。

▷ 「パーソナル設定」の章（213ページ）を参照してください。

希望する操作	何を選択するべきですか?	操作場所
ロック / ロック解除オプションを設定する	▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **車両** ▸ **ロック**	
ライト、フロント ワイパーおよびドア ミラーを調整する	▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **車両** ▸ **ライトと視界**	
シート ヒーター、シート ベンチレーターおよびシート位置を調節する	▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **車両** ▸ **シート設定**	
タイヤ空気圧モニタリング (TPM) を設定する	▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **車両** ▸ **タイヤ空気圧モニタリング**	▷ p. 154
マルチファンクション ステアリング ホイール / センター コンソール スイッチ パネルのショートカット キー (◇ ボタン) を設定する	▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **車両** ▸ **ハンドル ボタン / ショートカット キー**	
サービス履歴を表示する (サービスの電子記録)	▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **車両** ▸ **サービス履歴** 実施されたサービスおよびサービス範囲が表示されます。	
自動リフト機能の設定	▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **車両** ▸ **スマート リフトの設定**	
PCM 表示を調整する	▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **表示** ▸ **PCM を表示**	
インストルメント パネル ディスプレイを調整する	▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **表示** ▸ **インストルメント クラスターの表示**	
インストルメント パネルのカスタマイズ表示を調整する	▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **表示** ▸ **インストルメント クラスターの表示** ▸ **コンテンツ** ▸ **カスタマイズ表示** 様々な車両情報をドラッグ & ドロップで 4 つのフィールドに記載することができます。 車両情報の 1 つの項目を複数のフィールドに同時に割り当てることはできません。	
追加機能の表示を変更する	▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **表示** ▸ **追加機能**	

希望する操作	何を選択するべきですか?	操作場所
日付と時刻を設定する	▸ **車両** ▸ **制御** ▸ システム ▸ **日付と時刻**	
単位を設定する	▸ **車両** ▸ **制御** ▸ システム ▸ **ユニット**	
ボイス コントロール システムを設定する	▸ **車両** ▸ **制御** ▸ システム ▸ **ボイス コントロール**	
言語を設定する	▸ **車両** ▸ **制御** ▸ システム ▸ **言語**	
警告シグナルおよびパークアシストの音量を調整する	▸ **車両** ▸ **制御** ▸ システム ▸ **警告シグナル**	
ソフトウェア アップデートを実行する	▸ **車両** ▸ **制御** ▸ システム ▸ **ソフトウェア アップデート**	
工場設定にリセットする	▸ **車両** ▸ **制御** ▸ システム ▸ **工場出荷時設定** 工場設定にリセットすると、**すべての**設定が削除されます。	

収納スペース

荷物の収納

⚠ 警告 荷物が固定されていない、または設置位置が正しくない場合

固定されていない荷物、あるいは積載位置が正しくない荷物は、急ブレーキ、進路変更、または事故の際に、位置がずれたり飛び出したりして乗員を危険にさらす可能性があります。

- ▶ 車内に固定していない物を載せて走行しないでください。
- ▶ 収納コンパートメントのカバーが開いた状態で重量物を運搬しないでください。
- ▶ 走行中はロック可能な小物入れを閉じてください。

⚠ 警告 センター コンソール内のもの

小物入れやカップホルダーがセンター コンソールに挿入されていない場合、何かがパーキング ブレーキ ボタンの操作を妨げたり、作動させたりしてしまう可能性があります。 これにより意図せずブレーキがかかってしまう恐れがあります。

- ▶ センター コンソールに荷物を収納する場合は、必ず付属の小物入れを使用してください。
- ▶ カップホルダーは、その用途の通り、飲み物を収納するためにのみ使用してください。
- ▶ 荷物をカップホルダーに収納しないでください。
- ▶ カップホルダーまたは小物入れが挿入されていない状態では車両を操作しないでください。

知識

収納ネットを損傷する危険があります。

- ▶ 収納ネットの中に重量物やかさばる物を置かないでください。

知識

リヤ シート後方に荷物を置くと、コンバーチブル トップまたはルーフ システムを開いたときに損傷する恐れがあります。

- ▶ コンバーチブル トップまたはルーフ システムを開く前に、リヤ シート後方の荷物を取り除いてください。

車両装備により、次のような収納オプションが利用できる場合があります。

- 2 つのカップ ホルダー
- グローブ ボックス
- ドアのボトル トレイ付き小物入れ
- 助手席フットウェルの収納ネット
- センター コンソールの小物入れ
- アームレストの小物入れ
- リヤ シート後方のリヤ シェルフ

グローブ ボックスの開閉

図 95 : グローブ ボックスを開く

グローブ ボックスを開く

- ▶ ハンドルを引いてください。
  グローブ ボックスは自動的に開きます。

グローブ ボックスを閉じる

- ▶ カバーを押して閉じてください。

グローブ ボックスは、エマージェンシー キーを用いてロックやロックの解除ができます。

小物入れの取り付けおよび取り外し

⚠ 警告 センター コンソール内のもの

小物入れやカップホルダーがセンター コンソールに挿入されていない場合、何かがパーキング ブレーキ ボタンの操作を妨げたり、作動させたりしてしまう可能性があります。 これにより意図せずブレーキがかかって

しまう恐れがあります。

- センター コンソールに荷物を収納する場合は、必ず付属の小物入れを使用してください。
- カップホルダーは、その用途の通り、飲み物を収納するためにのみ使用してください。
- 荷物をカップホルダーに収納しないでください。
- カップホルダーまたは小物入れが挿入されていない状態では車両を操作しないでください。

図 96 : 小物入れの取り付けおよび取り外し

小物入れの取り付け

車両には、センター コンソールに挿入できる小物入れが付いています。

- センター アームレストの前の開口部に小物入れを挿入し、可能な限り下方に押し込みます。

小物入れの取り外し

- 小物入れを握って取り外します。

アームレストの小物入れを開く

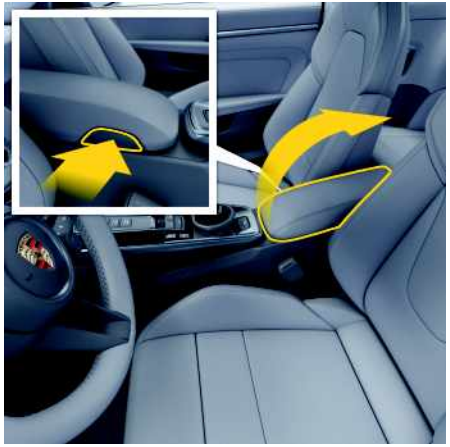


図 97 : アームレストの小物入れを開く

小物入れを開く

- アームレストの右側のボタンを押してください。リッドが自動的に開きます。

タイヤおよびホイール

タイヤの寿命は、適正なタイヤ空気圧やホイール アライメント以外に、お客様の運転スタイルにも左右されます。 急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。 また、外気温度が高いときや悪路での走行も、タイヤの摩耗を早める原因です。

積載荷重および速度の要件を満たす

- ▶ 適切な速度で走行してください。
- ▶ 車両に規定重量を超える荷物を積まないようにし、ルーフ積載荷重を確認してください。
- ▷ 「テクニカル データ」の章（305ページ）を参照してください。

タイヤ空気圧の点検

知識

不十分なタイヤ空気圧が原因でタイヤがオーバーヒートし、目に見えない損傷が生じることがあります。

- ▶ タイヤ空気圧を補正しても目に見えないタイヤの損傷は除去されません。
- ▶ 温かいタイヤから空気を決して抜かないでください。 タイヤが温かい場合、タイヤ空気圧が上昇します。 これにより、タイヤ空気圧が規定値下に低下する原因となる場合があります。

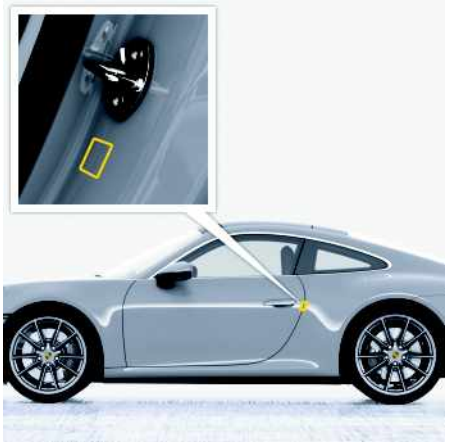


図 98 : タイヤ空気圧プレート

規定の空気圧を維持してください。 これらの値は、タイヤが冷えているとき (20 °C) の値です。

- ▶ タイヤ空気圧プレートを確認します。
- ▶ タイヤが冷えているときに、最低 2 週間ごとにタイヤ空気圧を点検します。

タイヤ空気圧モニタリング (TPM)

⚠ 警告 欠陥のあるタイヤ

欠陥のあるタイヤで走行すると、重大な事故につながることがあります。

- ▶ 赤色のタイヤ空気圧警告がインストルメント パネルに表示される場合 : 直ちに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。 必要に応じて、パンク修理剤で損傷箇所の修理を行うか、スペア ホイールを装着してください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したままで運転を続け**ない**でください。 損傷したタイヤは速やかに交換してください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 空気圧を調整しても短時間で空気が抜ける場合、そのタイヤでの運転を続け**ない**でください。 不安な場合は、ポルシェ正規販売店で点検を受けてください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

⚠ 警告 コンフォート プレッシャーでの高速走行

コンフォート プレッシャーでの制限速度を超過して走行するとタイヤおよびホイールの損傷につながります。

- ▶ インストルメント パネルに表示された最大速度まで減速してください。
- ▶ 高速走行するときは、タイヤ空気圧を標準タイヤ空気圧まで充填してください。

タイヤ空気圧モニタリングには、次の機能があります :

- – タイヤ空気圧および温度の常時モニタリング。
- – 走行中の実際のタイヤ空気圧 (実際の空気圧) の表示。
- – 2 段階のタイヤ空気圧警告 (黄色と赤色の警告)。
- – 停車時 : 規定空気圧との空気圧差の表示。

タイヤ空気圧警告灯 ⓘ およびインストルメント クラスターの関連するメッセージは、空気圧が不足している場合、2 段階 (空気圧低下の程度に応じて、黄色および赤色のタイヤ空気圧警告) で警告を表示します。
タイヤ空気圧警告灯が消灯するのは、タイヤ空気圧が正された場合だけです。
黄色のタイヤ空気圧警告は、車両を停止してイグニッションを OFF にした場合、またはイグニッションを再

度 ON にした場合に、約 10 秒間表示されます。 イグニッションを ON にすると黄色のタイヤ空気圧警告を確認できます。 赤色の空気圧警告は走行中でも表示され、異常を知ることができます。

- タイヤ空気圧が適正であるにもかかわらず、タイヤ空気圧警告灯が点灯し、タイヤ空気圧警告が表示される場合、ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インフォメーション

タイヤ空気圧モニタリングは、自然に発生する圧力低下や異物による緩やかな圧力低下を警告します。タイヤ空気圧モニタリングは、突然生じるタイヤの損傷については警告しません (予期しない外部効果によるパンクなど)。

タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムの故障

次のような場合は、TPM は正常に機能しません :

- タイヤ空気圧モニタリング システムが故障している場合。
- タイヤ空気圧モニタリング システム用のホイール トランスミッターが取り付けられていない場合。
- タイヤの設定を更新した直後の登録プロセス中。
- ホイールを交換した後、設定を更新しなかった場合。
- タイヤの温度が高すぎる場合。

タイヤ空気圧の確認

個々のタイヤの空気圧は、約 25 km/h の速度を超えた場合、またはタイヤに 0.1 bar 以上の空気を補充した場合にのみ表示されます。 車両が約 10 分以上停止した後にイグニッションを ON にした場合、タイヤ空気圧の代わりにダッシュ記号 (-.-) が表示されます。

▸ **タイヤ空気圧 ▸ 現在の空気圧**

この空気圧表示は、情報としてのみ利用してください。 タイヤ空気圧は温度によって変化します。

- いかなる場合も、この表示を元にタイヤ空気圧を調整しないでください。

圧力差を表示する

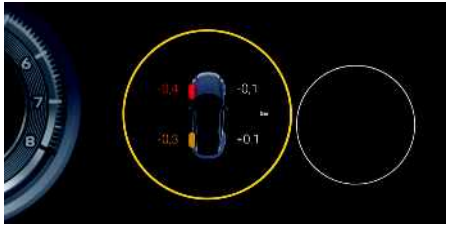


図 99 : 圧力差の例

✓ 車両は停止している。

▸ **タイヤ空気圧 ▸ 空気圧偏差**

該当するホイールの規定圧との差が表示されます。
例 :
右リヤ ホイールに対して **–0.1 bar** と表示された場合は、このタイヤに 0.1 bar の空気を補充してください。 表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- タイヤ空気圧を補正するときは、ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される空気圧差を必ず使用してください。

タイヤ設定

タイヤのタイプとタイヤのサイズ、負荷およびコンフォート / 標準空気圧の設定はダッシュボードのタッチ ディスプレイで行えます :

▷ 「タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」の章（ 154 ページ）を参照してください。

タイヤ温度の表示

⚠ 警告 車両コントロールの喪失

タイヤ温度表示がもたらすメリットがあるとしても、ドライバーには、路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

タイヤ温度表示は、不適切な走行速度による事故の危険性を減少させるものではありません。

- 路面、天候、周囲の交通状況と車両挙動に適したスタイルで走行してください。

✓ スポーツ クロノ パッケージ装備車
✓ サマー タイヤまたはウルトラ ハイ パフォーマンス タイヤ (UHP タイヤ) 装着済み、および TPM システムで選択済み。

タイヤ温度表示は、ドライバーがタイヤの現在の温度を確認するサポートを行います。
これにより、タイヤのグリップと固さが示されます。

インフォメーション

タイヤ温度は、複数の要因 (加速度、ホイール スピード、外気温など) から算出されます。 タイヤ温度表示により、トレッド表面、ベルト コア、およびタイヤ内側の温度の平均値が表示されます。 そのため、タイヤの特定のポイントで表示されたタイヤ温度を確認することはできません。

表示

タイヤ温度は、各ホイールのタイヤ空気圧 (実際の空気圧) の横にある色付きのバーとしてインストルメント クラスターに表示されます。
冷間タイヤは青いバーで示されます。 移行時間中は、バーの色が青から白に変わります。 白いバーは、温かいタイヤを示します。 バーが大きくなるほど、タイヤは温かくなります。

冷間時

移行時間

作動温度

インフォメーション

ポルシェ社が承認したサマー タイヤおよび UHP タイヤにより、冷間タイヤでも幅広い温度範囲で安全に走行できます。

- 路面、天候、周囲の交通状況と車両挙動に適したスタイルで走行してください。
- 最高のドライビング ダイナミクスで走行するため、またはレース サーキットで走行するために、タイヤが作動温度に達していることを必ず確認してください。

PCM でのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定

⚠ 警告 不適切な設定

極端に低いまたは高いタイヤ空気圧は、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。

タイヤ空気圧モニタリングを使用している場合でも、タイヤ空気圧を適切に維持し、車両を適切に設定することはドライバーの責務です。 不完全な、または不適切な設定は、警告とメッセージ表示に悪影響を及ぼす可能性があります。

- タイヤの種類および積載重量に適したタイヤ空気圧に調整してください。
- タイヤ空気圧モニタリング メニューの設定が、車両に装着されているタイヤおよび車両の積載荷重と一致していることを確認してください (特にホイール交換後または車両積載の変更後)。
- 新しく装着したホイールのタイヤ空気圧が以前の設定と一致しているとしても、タイヤ空気圧モニタリング メニューでタイヤの種類とタイヤのサイズを再度選択してください。

空気圧偏差および充填情報の表示

✓ 車両は停止している。

▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **車両** ▸ **タイヤ空気圧監視システム** ▸ **空気圧偏差**

該当するホイールの規定空気圧と規定空気圧との差、および積載量、タイヤの種類、タイヤのサイズに関する設定が表示されます。

例: 右リヤ ホイールに対して **–0.1 bar** (–1.5 psi) と表示された場合は、このタイヤに 0.1 bar (1.5 psi) の空気を補充してください。 表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- タイヤ空気圧を補正するときは、ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される空気圧差を必ず使用してください。

タイヤをまだ登録していない場合、現在の空気圧偏差の代わりに、新しい規定空気圧が表示されます。

タイヤの種類とサイズの設定

インフォメーション

利用できる項目は、車両のモデルやタイヤの種類により異なります。このため本書で説明しているオプションの中には、利用できないものが含まれている場合があります。

- タイヤ空気圧モニタリング メニューで選択できないサイズのタイヤとホイールを装着するときは、装着の前に不足している情報を追加する必要があります。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ポルシェが認定したタイヤとホイールのみを使用してください。

▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **車両** ▸ **タイヤ空気圧モニタリング** ▸ **タイヤ選択**

全負荷または部分積載の選択

▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **車両** ▸ **タイヤ空気圧モニタリング** ▸ **全負荷**

☑ **全負荷**
全負荷が選択されます。

☐ **全負荷**
部分積載が選択されます。

- 選択した荷重タイプに応じてタイヤ空気圧を調整してください。

インフォメーション

全負荷が表示されない場合は、荷重タイプに応じてタイヤ空気圧の調整が必要ないことを意味します。

コンフォートまたは標準プレッシャーの選択

タイヤ空気圧は乗り心地の快適性を向上させるために減圧することができます。

コンフォート プレッシャーを選択した場合、タイヤ空気圧モニタリングはタイヤ空気圧をモニタリングして自動的に低いプレッシャー値を使用します。

▸ **車両 ▸ 制御 ▸ 車両 ▸ タイヤ空気圧モニタリング ▸ コンフォート プレッシャー**

☑ **コンフォート プレッシャー**
コンフォート プレッシャーが選択されます。

☐ **コンフォート プレッシャー**
標準プレッシャーが選択されます。

▸ コンフォート プレッシャーまたは標準プレッシャーにタイヤ空気圧を調整してください。

タイヤ空気圧モニタリングの登録

タイヤ / ホイールを交換、ホイール トランスミッターを交換、またはタイヤの設定を更新すると、タイヤ空気圧モニタリング システムがタイヤの登録を開始します。 このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリング システムが各タイヤとその装着位置を認識します。タイヤ空気圧モニタリング システムが各タイヤの装着位置を割り当てると、直ちにタイヤの位置と空気圧情報が表示されます。

このプロセス中、PCM に冷間時 (20 °C) の規定タイヤ空気圧が表示され、インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。

すべてのタイヤの登録が完了するまで、インストルメント パネルのタイヤ空気圧警告灯 が点灯したままになります。

タイヤ空気の充填

⚠ 注意 高温の充填ホース

充填中に、コンプレッサー充填ホースが高温になり、やけどの原因となる場合があります。

▸ 作業用手袋を着用してください。

コンプレッサーはラゲッジコンパートメント内のカバーの下にあります。

▷ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（255ページ）を参照してください。

▷ コンプレッサーの取扱説明書を読み、遵守してください。

1. コンプレッサー充填ホースをタイヤ バルブにねじ込んでください。
2. コンプレッサーを車両のプラグ ソケットに接続し、コンプレッサーを ON にしてください。
   タイヤに空気が充填されます。
3. 空気圧計で充填した圧力を点検し、必要であればタイヤ空気圧を調整してください。 もう 1 回タイヤ空気圧を点検してください。
4. コンプレッサーを OFF にしてください。
5. コンプレッサー充填ホースをゆるめます。

i インフォメーション

また、ガソリンスタンドでもタイヤ空気圧の点検、およびタイヤに空気の充填ができます。

タイヤ空気圧を下げる

1. コンプレッサーを OFF にしてください。
2. 規定のタイヤ空気圧になるまで、充填ホースのエア抜きスクリューを開いてください。

タイヤ表記の読み取り

図 100 : タイヤ表記

A タイヤ幅 (mm)
B 偏平率 (%)
C タイヤ構造記号
D リム径 (インチ)
E ロード インデックス
F 速度記号

速度記号 F は、そのタイヤの許容最高速度を示します。

H	210 km/h まで
V	240 km/h まで
W	270 km/h まで

Y	300 km/h まで
(Y)	300 km/h まで (Y 記号タイヤの場合) タイヤのロード インデックス (最大積載容量) の 85% までを搭載した状態の場合、300 km/h 以上の速度で走行することが可能です (300 km/h 以上で走行する場合はタイヤ メーカーの確認が必要です)。

タイヤの損傷の検出

⚠ 警告 見えないタイヤ損傷とリム フランジの損傷

目に見えないタイヤの損傷によりタイヤがバーストする恐れがあります。 車両のコントロールを失う恐れがあります。

- 定期的にタイヤの状態 (側面も含めて) を点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、側面の膨れなどがないか確認してください。
- 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。 傾斜が大きく縁が尖った縁石や角ばった物体 (石など) に強くぶつかったり乗り上げたりしないように注意してください。
- ホイールを損傷した可能性があるとき (特に内側) は、専門家による点検を受けてください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。 タイヤ シーラントを使用してタイヤの傷をふさぐことは、最寄りの修理工場まで走行するための応急処置に過ぎません。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全のためにタイヤを交換してください：

– タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性があるとき。
– タイヤ空気圧が不足しているときや、損傷箇所がある場合など、それらが原因でタイヤが過熱したり、異常な負荷がかかった可能性があるとき。

タイヤおよびリムの交換

- ホイール交換の際には、イグニッションを OFF にしてください。

⚠ 警告 グリップの低下

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮できません。

- このため最初の 200 km は、控えめな速度で走行してください。これによりタイヤ寿命が伸び、性能を最大限に引き出すことができます。

- 同一メーカーの同一仕様番号 (「NA...」など) のタイヤのみを装着してください。
- 新しいタイヤを取り付ける前に、タイヤの最新承認状況についてポルシェ正規販売店にお尋ねください。
- ポルシェがテストを行い、承認したタイヤのみを使用してください。
- 同一アクスル上のトレッド溝の深さの差は 30 % を超えないようにしてください。
- 使用経歴が不明な中古タイヤは使用しないでください。
- トレッド溝の深さの差を原因とする車両操作への不必要な影響を避けるため、同一アクスルのタイヤは必ず同時に両方交換してください。
- タイヤの交換は、必ず専門の整備工場で実施してください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- タイヤ空気圧モニタリング (TPM) 用タイヤ空気圧センサー付きタイヤのみを使用してください。
- この車両の TPM システムに適合するホイールであることを確認してください。 この車両の適正ホイールと TPM システムに関する情報は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- タイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーのバッテリー充電状態を点検してください：ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ 「テクニカル データ」の章（305ページ）を参照してください。

ℹ インフォメーション

新しいタイヤを 1 つのアクスルのみに取り付ける場合、前後のアクスルのトレッド溝の深さの相違により、以前の慣れた運転挙動が大きく変化する可能性があります。新しいタイヤをリヤ アクスルに取り付ける場合は特にそうです。とはいえ、タイヤの走行距離が長くなるにつれ、影響は減少していきます。

バルブおよびバルブ キャップの点検と交換

- タイヤ空気圧モニタリング システム (TPM) 用のポルシェ純正バルブのみを使用してください。
- タイヤを交換する場合は必ずバルブを点検し、必要に応じて交換してください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術

情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バルブ キャップがない場合、ほこりや汚れからバルブを保護することができないため、漏れの原因になることがあります。

- バルブ インサートの汚れを防ぐため、必ずバルブ キャップをしっかりと閉めてください。 バルブ インサートが汚れると、タイヤ空気圧がゆっくり減少する場合があります。
- 紛失した場合は、直ちに新しいバルブ キャップを取り付けてください。
- プラスチック製のバルブ キャップのみを使用してください。

ウインター タイヤを使用する

⚠ 警告 最高許容速度の超過

最高許容速度を超えると、タイヤがバーストする恐れがあります。

- タイヤの最高許容速度を守ってください。
- タイヤの側面に M+S 名称、または雪の結晶のマーク (国により異なる) がある場合、最高許容速度記号が車両の最高速度より低いウィンター タイヤのみを装着してください。 各国の法律を遵守してください。
- 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。 各国の法律を遵守してください。
- 許容最高速度を制限速度として設定します。

- 積雪や凍結の恐れがある時期が近づいたら、早めにウィンター タイヤを装着してください。
- ポルシェがテストを行い、承認したタイヤのみを使用してください。
- 新しいタイヤを取り付ける前に、タイヤの最新承認状況についてポルシェ正規販売店にお尋ねください。

i インフォメーション

このようなタイヤを気温が低いときに使用し続けると、ドライ / ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中に振動に伴うノイズが発生することがあります。

サマー タイヤの走行性能は、気温が 7 °C を下回ると低下し、快適性も損なわれます。 このため、ポルシェ社では気温が 7 °C を下回る時期にはウィンター タイヤの使用を推奨しています。

さらに外気温度が -15 °C を下回り極端に低くなると、サマー タイヤに恒久的な損傷が生じることがあります。

ウィンタータイヤは、トレッド溝の深さが 4 mm 以下になると使用に適さない状態になります。

スノーチェーンを使用する

スノー チェーンはリヤ タイヤのみに装着してください。また「テクニカル データ」の章のリストを参照して、スノー チェーンの装着に適したタイヤ / ホイールの組み合わせを使用しなければなりません。

- スノー チェーンとタイヤ ハウスのクリアランスを十分に確保するため、ポルシェ社が承認したスノーチェーンのみを使用してください。
- チェーンを装着する前に、タイヤに溜まった雪や氷を取り除いてください。
- 最高速度については各国の法規に従ってください。

タイヤ トレッドの点検

多くのタイヤはトレッド中央部にウェア インジケーターを備えています。 ウェア インジケーターは主要なトレッド溝に設けられており、トレッド溝の深さが最少の 1.6 mm になると現れます。

- タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に点検してください。

タイヤ トレッドの深さの測定

- 市販のトレッドの深さを測るゲージまたはキャリパーをタイヤ トレッドに挿入してタイヤ トレッドの深さを測定します。

i インフォメーション

タイヤの摩耗に偏りがある場合、車両の不具合が考えられます：

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤの保管

製造から 6 年以上が経過したタイヤは**使用しない**でください。 年数が経過すると、ゴムに弾性を与えるために添加している化学添加物の効果が弱まり、ゴムがもろくなります。 タイヤの製造時期は、タイヤ側面の DOT コードでわかります。 例えば、最後の 4 桁の数字が 3016 の場合、タイヤが 2016 年の第 30 週に製造されたことを示します。

- タイヤは、常に乾燥した冷暗所に保管してください。 ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。
- 外気温が -15 °C 以下の場所にサマー タイヤを保管したり、またはサマー タイヤ装着車を駐車したりしないでください。
- 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。

ホイールのバランス調整

万一に備えて、春 (サマー タイヤ) および冬 (「M+S」のタイヤ) の前にホイールのバランス調整を実施してください。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分な

トレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ホイール交換

⚠ 警告 車両の下側の作業

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。

- ジャッキ アップやホイール交換時に、車内に人がいないことを確認してください。
- 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキ アップ ポイントで持ち上げてください。
- 車両が斜面 (上り坂、下り坂、道路端に向かって傾斜している場所など) に駐車されている場合は絶対にジャッキ アップしないでください。
- ジャッキは、ホイール交換時に車両を持ち上げるためのみに使用してください。
- 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート スタンドで車体を支えてください。

インフォメーション

ホイール交換に必要な工具 (ジャッキ、ホイール ボルト レンチ、取付補助工具など) は車両の標準装備ではありません。

- 必要な工具についての情報は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

インフォメーション

前輪と後輪のタイヤとホイールのサイズは異なります。 ホイールを取り外す場合は、各ホイールの回転方向や取り付け位置をマーキングしておき、これらのマーキングに従って取り付けを行います。

- 認可されたサイズの前輪 / 後輪用ホイール / タイヤを必ず使用してください。
- ▷ 車両の公式登録書類またはこのマニュアルの「テクニカル データ」の章を参照してください。

ホイール取り付け面のお手入れ

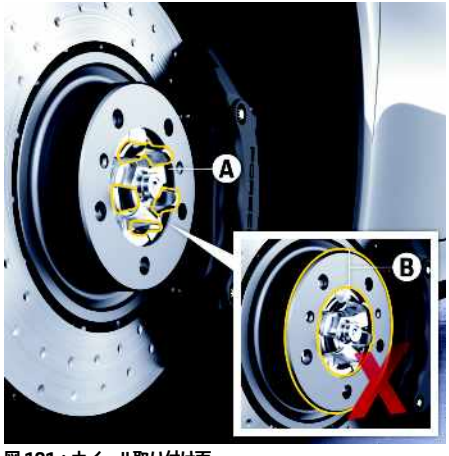


図 101：ホイール取り付け面

知識

ホイールおよびホイール取り付け面を損傷する恐れがあります。

- ブレーキ ディスクのホイール取り付け面 B およびホイール ハブ自体にグリースを絶対に塗布**しないでください**。
- A の領域にのみグリースを塗布します。これらの領域にグリースの Optimoly® TA を非常に薄く塗ります。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。他のグリースやペーストを使用しないでください。

ホイール ボルトのお手入れ

- ホイール ボルトは取り付ける前に、必ず清掃してください。
- ホイール ボルトには油脂類を塗布しないでください。
- 損傷したホイール ボルトは交換してください。 この車両専用のポルシェ純正ホイール ボルト、またはポルシェ社が要求する性能、品質基準を満たす同等部品のみを使用してください。
- **ホイール ボルトは 160 Nm の締め付けトルクで締め付けてください。**
- インパクト ドライバーなどの駆動式ツールは使用しないでください。

盗難防止ホイール ボルトの使用

図 102 : 盗難防止ホイール ボルト アダプター

盗難防止ホイール ボルトのアダプターは、ツール キットにあります。

- 盗難防止ホイール ボルトを脱着するときは、このアダプターをホイール ボルトとホイール ボルト レンチの間に入れて使用してください。
- アダプターを取り付けるときは、ホイール ボルトの歯がしっかり噛み合っていることを確認してください。

ホイール交換

車両の準備

1. P ボタンを使用してトランスミッション パーキング ロックを作動させます。
2. エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
3. イグニッションを OFF にしてください。
4. 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。
5. 交換するホイールのホイール ボルトまたはホイール ナットをわずかにゆるめます。
6. 車両のリフト アップは必ず所定のジャッキアップ ポイントで行ってください。
   ▹ 「ジャッキおよびリフティング プラットフォーム」の章（121ページ）を参照してください。
7. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から浮かせてください。

ホイール交換

図 103 : PCCB 非装備車には、組み付け補助工具を 1 つねじ込みます

図 104：PCCB 装備車には、組み付け補助工具を 2 つねじ込みます

1. PCCB 非装備車：ホイール ボルトを 1 本取り外し、組み付け補助工具を 1 つねじ込みます。
   – または –
1. PCCB 装備車：**ホイール ボルトを 2 本取り外し、組み付け補助工具 2 つ A および B をねじ込みます。**

知識

ホイール交換を正しく行わないと、特に ポルシェ　セラミック　コンポジット　ブレーキ 装備車の場合、ブレーキ ディスクを損傷する恐れがあります。

- タイヤを交換する場合は、組み付け補助工具を取り付けてください。

2. 残りのホイール ボルトを取り外してください。
   ▷ 「ホイール ボルトのお手入れ」の章（160ページ）を参照してください。
3. ホイールを取り外します。
   ▷ 「ホイール取り付け面のお手入れ」の章（160ページ）を参照してください。
4. 新しいホイールを取り付けます。
5. ホイール ボルトを挿入し、対角線方向の順に少しだけ締め付けてください。
6. 組み付け補助工具を外し、残りのホイール ボルトを仮締めしてください。 すべてのホイール ボルトを対角線方向の順に少しだけ締め付け、ホイールの中心位置を合わせてください。
7. 必要に応じてタイヤの空気圧を調整してください。
8. 車両を完全に下げた後、ジャッキを取り外してください。
9. ホイール ボルトを対角線方向の順に完全に締め付けてください。 インパクト ドライバーなどの駆動式ツールは使用しないでください。
10. **ホイールの交換後、直ちにトルク レンチを使用してホイール ボルトの規定締め付けトルク（160 Nm）を確認します。**
11. タイヤ空気圧モニタリング（TPM）の設定は更新されました。
    ▷ 「PCM でのタイヤ空気圧モニタリング（TPM）の設定」の章（156ページ）を参照してください。

セントラル ホイール ロック付きホイールの交換

⚠ 警告 セントラル ホイール ロックに関する注意点

セントラル ホイール ロック付きホイールの交換は、標準のホイール ボルト付きホイールの交換とは大きく異なります。

ホイール交換の方法が正しくなかったり不適切なツールを使用したりすると、損傷や作動不良が発生したりホイールがゆるんだりすることがあります。

- ホイールを交換する場合、以下に記載されている手順に厳密に従ってください。
- センター ボルトのゆるめと締め付けには、純正のソケットのみを使用してください。
- 600 Nm の高い締め付けトルクに適しており、設定値からの公差が 15% 以内のトルク レンチを使用します。

⚠ 警告 車両の下側の作業

組み付け時に大きく力がかかると、車両が動き出してジャッキから滑り落ちる恐れがあります。

- 利用可能な場合は、必ずリフティング プラットフォームを使用してください。
- 車両が動き出さないように固定します。
- ジャッキ アップやホイール交換時に、車内に人がいないことを確認してください。
- 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキ アップ ポイントで持ち上げてください。
- 車両が斜面（上り坂、下り坂、道路端に向かって傾斜している場所など）に駐車されている場合は絶対にジャッキ アップしないでください。

⚠ 警告 認定外部品およびホイールの使用によるボルト接続の欠陥

アクセサリー ホイールのハブ部分に不適切なサイズや寸法の部品を使用すると、部品を破損するおそれがあります。 追加でスペーサーを使用すると、ホイール取り付け全体の機能が損なわれます。

- ポルシェで承認されている構成部品のみを使用してください。
- スペーサーは**決して使用しない**でください。

知識

インパクト レンチの強い衝撃により、センター ボルトとキャプティブ ロックが損傷します。

コードレス インパクト レンチのリアクション アームにより、リムが損傷する恐れがあります。

リアクション アームなしでコードレス インパクト レンチを使用すると、高トルクの回り止めができず、傾く恐れがあります。

- インパクト レンチは**使用しないでください**。
- コードレス インパクト レンチは使用**しない**でください。

知識

ボルトの締め付け中は、ホイールが地面に触れないようにして、自由に回転できるようにする必要があります。 そうしないと、車両の重量により、ボルト接続部に応力と不均衡が生じます。

- 取り付け時は、ホイールの締め付け前に車両を接地状態にしないでください。
- 適切なトルク レンチのみを使用してください。

インフォメーション

ホイール交換に必要な工具とグリース (ジャッキ、トルク レンチ、アルミニウム ペーストなど) は、車両に標準装備されていません。
詳細情報については、ポルシェ正規販売店までお問い合わせください。

インフォメーション

前輪と後輪のタイヤ / ホイールのサイズは異なります。
ホイールを取り外す場合は、各ホイールの回転方向や取り付け位置をマーキングしておき、取り付け時はこれを目印にしてください。

- 認可されたサイズの前輪 / 後輪用ホイール / タイヤを必ず使用してください。

ホイールの準備

ポルシェ センター ホイール ロックは、以下の構成部品が適切に組み合わされた完全なシステムです。

– ホイール。
– キャプティブ ロック付きセンター ボルト。
– ブレーキ ディスク。
– ホイール スタッド。
– ホイール ハブ。
– キャップ。

ホイールの交換はポルシェ正規販売店で行ってください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

図 105 : ラゲッジ コンパートメントのソケット

1. ラゲッジ コンパートメントを開き、プラスチック カバー A を開きます。
2. ソケットを取り外します。 センター ボルトは、必ずこの純正のソケットを使用してゆるめてください。 常にソケットをラゲッジ コンパートメントに保管し、故障の際にいつでも使用できるようにしてください。

図 106 : 補助ツール付きソケット

ソケットには、カバー キャップを取り外すための補助ツール **C** が含まれています。 この補助ツールは四角い部分から取り外して使用してください。使用した後は元に戻してください。

知識

カバー キャップを慎重に外さないと、カバー キャップに傷が付く恐れがあります。

- カバー キャップは慎重に取り外してください。

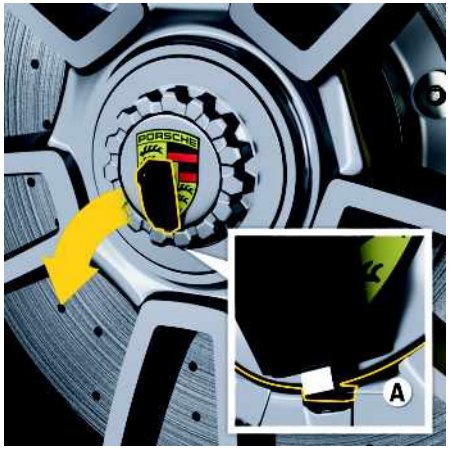


図 107 : 補助ツールを使用してカバー キャップを取り外す

3. 補助ツールを使用して、カバー キャップを取り付け位置から慎重に取り外します。 そのために、その金属の突起部をセンター ボルトの開口部の溝 **A** に奥まで挿入します。 次に、補助ツールを 90° 以上回転させて戻します。

車両の準備

1. **PDK 装備車** : セレクター レバーの P ボタンを押して、トランスミッション パーキング ロックを作動させます。
   – または –
   マニュアル トランスミッション装備車 : シフト レバーをニュートラルの位置に動かします。
2. エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
3. イグニッションを OFF にしてください。
4. キーを抜き取ってください。
5. 交換するタイヤの対角線方向の反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにします。
6. 車両のリフト アップは必ず所定のジャッキアップ ポイントで行ってください。
   ▷ 「ジャッキおよびリフティング プラットフォーム」の章（121ページ）を参照してください。
7. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から完全に浮かせます。 ホイールの取り付けが完了するまで、車両を下げないでください。

ホイールの取り外し

図 108 : 持ち上げられた車両

- 取り付け時は、ホイールの締め付け前に車両を接地状態にしないでください。

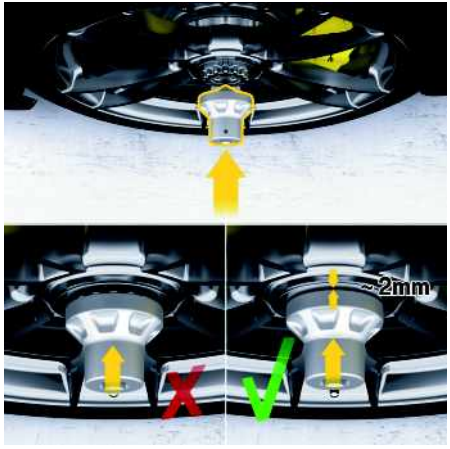


図 109 : ソケットの押し込み

1. ソケットを位置決めし、わずかな抵抗を受けながら押し込みます。
   ソケットはカチッという音がしてロックします。これにより、センター ボルトのキャプティブ ロックが解除されます。

インフォメーション

ソケットを押し込むことができない場合 :
長期間使用したり、高い応力がかかり続けたりした場合、ロック ピン **A** が動かなくなる場合があります。

図 110 : ロック ピンの解除

- この場合には、適切な補助ツール (細い丸棒など) を使用して、ゴム ハンマーで軽く叩いてロック ピン **A** を解除します。

2. 1 インチの四角い取り付け具が付いた、トルク レンチまたは長いレバー (最適な長さは 1.2 m ～ 1.5 m) をソケットに挿入します。
3. **別の作業員**にブレーキ ペダルを踏んでもらい、ホイールにしっかりとブレーキをかけます。 パーキング ブレーキまたはトランスミッションだけでは、このトルクを回り止めできません。

⚠ 警告 センター ボルトは突然ゆるみます

センター ボルトをゆるめるには、非常に高い解除トルクが必要です。 解除トルクは、締め付けトルクよりも大幅に大きくなる場合があります。 ボルトが急に動いてゆるむ場合があります。

ソケットのはまり具合が不十分な場合、滑り落ちて怪我をする恐れがあります。

- レバーで作業者が怪我をしたり車両部品が損傷したりしないように、十分な空間を確保してください。
- センター ボルトをゆるめるときには、ソケットをしっかり奥まで押し込み続け、滑って外れないようにしてください。

知識

ソケットが完全に押し込まれていない状態でセンター ホイール ロックを開くと、キャプティブ ロックが損傷する恐れがあります。

- センター ボルトをゆるめるときには、ソケットをしっかり奥まで押し込み続け、滑って外れないようにしてください。
- 回転方向に注意してください。
- フロント ホイールをゆるめる際は、別の作業員にステアリング ホイールをしっかり保持してもらってください。

図 111 : センター ボルトのゆるめ

4. 強力な力をかけてセンター ボルトをゆるめ、取り外します。 その間ずっと、ソケットを完全に押し込み続ける必要があります。
5. 目に見える側を上にして、水、ほこり、汚れなどが付かないようにして、センター ボルトを置きます。

知識

ポルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB) 装備車ではブレーキ ディスクが損傷する恐れがあります。

- ホイールの取り外し時に、ホイールを PCCB ブレーキ ディスクの上に置かないでください。
- PCCB アッセンブリー エイドを使用します。

6. ホイールを慎重に取り外します。

ホイールの取り付け準備

ホイールを取り付ける前に、関係する構成部品を清掃および点検し、部分的にグリースを塗布する必要があります。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

センター ボルトの点検

図 112 : コーン リングの点検

- 大きな抵抗や不均一さがない状態で、センター ボルトのコーン リング C を回すことが可能でなければなりません。 ほとんど回すことができない場合は、センター ボルトの内側に再びグリースを塗布します。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

図 113 : キャプティブ ロックの点検

- キャプティブ ロック D は時計回りに回すことが可能でなければなりません。 金庫のダイヤル錠のようにカチカチと音がします。
- キャプティブ ロック D を反時計回りに回してはなりません。 不規則なカチカチ音、ロックの遅れ、スキップ、ジャミング (動かなくなる) が発生した場合、キャプティブ ロックが破損していると考えられます。 このセンター ボルトは、どんな状況であっても使用しないでください。

図 114 : ロック ピンの点検

- ロック ピン E をボルトに約 1 cm 押し込みます。 ピンを放すと、ピンは元に戻ります。 固着している場合は、キャプティブ ロックが破損していると考えられます。 このセンター ボルトとキャプティブ ロックは、どんな状況であっても使用しないでください。

ホイールの取り付け

図 115 : ホイールをホイール ハブに取り付ける

知識

ポルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB) 装備車ではブレーキ ディスクが損傷する恐れがあります。

- ホイールをホイール ハブに取り付けるときに、ホイールを PCCB ブレーキ ディスクの上に置かないでください。
- PCCB アッセンブリー エイドを使用します。

1. ホイールを傾けずに、ホイール ハブに慎重に取り付けます。 ホイールを少し回してホイール スタッドにはめ込み、ブレーキ ディスクに押し付けます。

ホイールを取り付ける際に、必ず次の表面にグリースを塗布してください

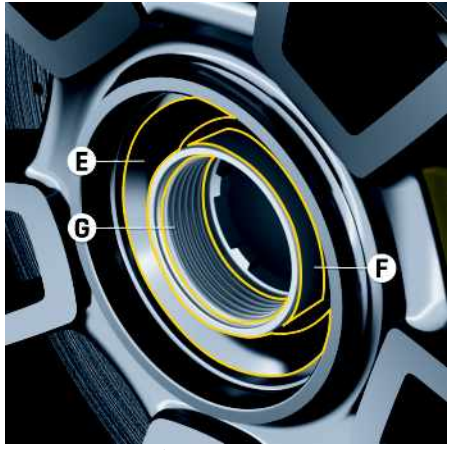


図 116 : 構成部品にグリースを塗布する

2. ホイールの円錐面 E とホイール ハブのフロント外側 F から古いグリースや汚れを拭き取ります。 その後、アルミニウム ペーストを非常に薄く塗布します。 これにより、ボルトを所定の位置にまでスライドさせるのが容易になります。
3. ホイール ハブのネジ山 G にグリースを十分に塗布する必要があります。 そのため、ボルトをねじ込むときには、必ずアルミニウム グリースを塗布し直してください。 古いグリースを除去しないでください。 他のすべての部品と接触面には、グリースが付かないようにする必要があります。

- ポルシェが承認したアルミニウム グリースのみを使用してください。

図 117 : センター ボルトのねじ込み

4. センター ボルトをホイール ハブに挿入し、手でねじ込みます。

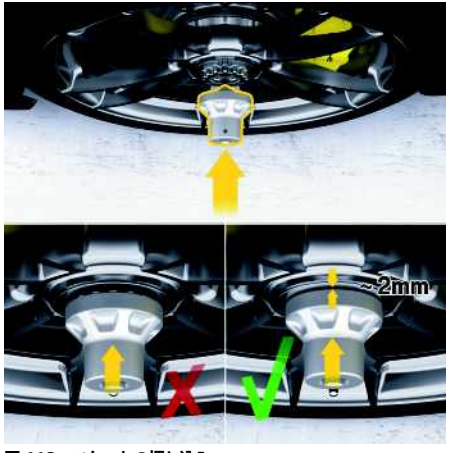


図 118 : ソケットの押し込み

5. ソケットを位置決めし、わずかな抵抗を受けながら押し込みます。
   ソケットはカチッという音がしてロックします。これにより、センター ボルトのキャプティブ ロックが解除されます。
6. 1 インチの四角い取り付け具が付いたトルク レンチをソケットに挿入します。
7. **別の作業員**にブレーキ ペダルを踏んでもらい、ホイールにしっかりとブレーキをかけます。 パーキング ブレーキまたはトランスミッションだけでは、このトルクを回り止めできません。

▸ フロント ホイールを締め付ける際は、別の作業員にステアリング ホイールをしっかり保持してもらってください。

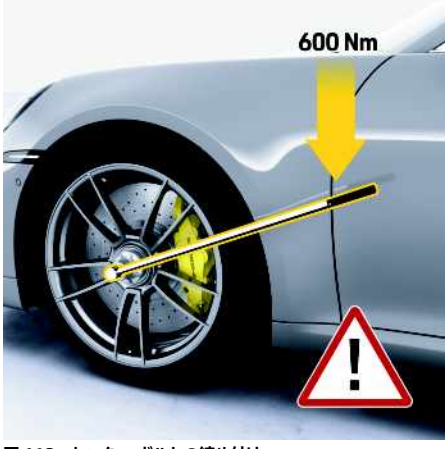


図 119 : センター ボルトの締め付け

8. センター ボルトを 600 Nm で締め付けます。

インフォメーション

ホイール ハブ、**ブレーキ ディスク**、**ホイール スタッド**、**ホイール**、または**センター ボルト**を**交換**した場合、センター ボルトを **2 回**締め付ける必要があります。

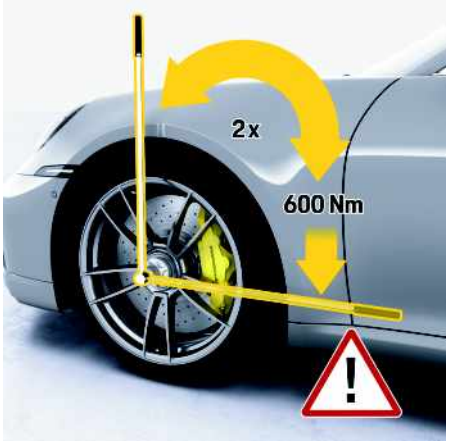


図 120 : 新品の部品の使用

1. センター ボルトを 600 Nm で締め付けます。
2. センター ボルトを再度 1/4 回転ゆるめます。
3. センター ボルトを再度 600 Nm で締め付けます。

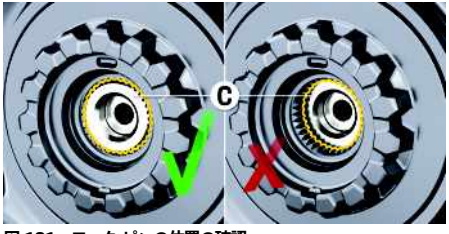


図 121 : ロック ピンの位置の確認

4. ロック ピン **C** が歯の面取りの前部にあることを確認します。
5. 車両を完全に降ろしてください。

インフォメーション

後で (50 km 走行後など) センター ボルトを再度締め付ける必要は**ありません**。

図 122 : カバー キャップの取り付け

6. カバー キャップのラバー リングにグリースを薄く塗布します。 これにより、カバー キャップの取り付けと後の取り外しが容易になります。
7. 位置決めタブがねじ溝に向くように、カバー キャップをセンター ボルトに位置決めします。 その後、キャップを取り付け位置まで押し込んでください。
   カバー キャップが適正な位置にない状態では走行しないでください。 これを守らないと、水や汚れが侵入して、キャプティブ ロックの機能が損なわれる恐れがあります。

インフォメーション

- ホイール交換後、タイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定を更新します。

センター ボルトの緊急締め付けの実施

警告 センター ボルトのゆるみ

センター ボルトがしっかり締め付けられていない状態で走行すると、事故を起こす危険があります。

- 急加速やコーナリングは避けてください。
- 80 km/h を超える速度で走行しないでください。
- サーキット走行時に、緊急締め付け手順を絶対に実施しないでください。

故障時に、センター ボルトの締め付けに必要な 600 Nm の高いトルクをかけるための適切なトルク レンチを**使用できない**場合、緊急締め付けの手順でセンター ボルトを締め付ける必要があります。

– 長いレバー (約 1 m) と 1 インチのアダプター。
– トルク レンチ (100 Nm 用) と 1 インチのアダプター。

- ホイールを交換します。
  ▷ 「セントラル ホイール ロック付きホイールの交換」の章（ 162ページ）を参照してください。
- 取り付け時は、ホイールの締め付け前に車両を接地状態にしないでください。

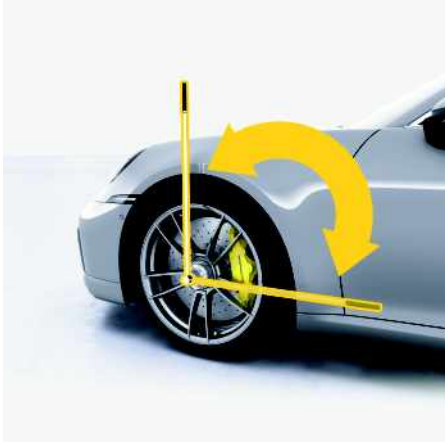


図 123 : センター ボルトを締め付けて再びゆるめる

1. 長いレバーで大きな力を加えてセンター ボルトを締め付け、再び 1/4 回転ゆるめます。

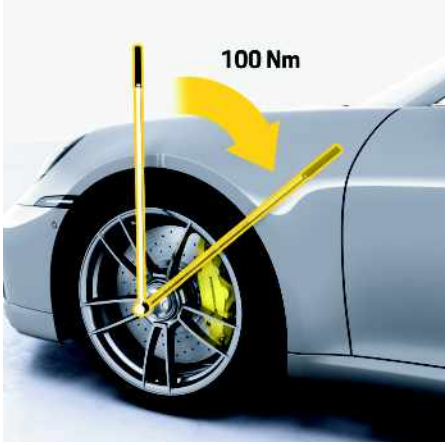


図 124 : センター ボルトを締め付ける

2. 適切なトルク レンチを使用して、センター ボルトを 100 Nm で締め付けます。

図 125 : センター ボルトのマーク

センター ボルトには▮および■のマークが付いています。

- ペンを使用して、ホイール上の▮マークの向かい側に基準線を付けてください。

図 126 : センター ボルトを締め付ける

3. 長いレバーを使用して、■ STOP マークが基準線に合うまでセンター ボルトを締め付けてください。 これにより、ボルトを確実に締め付けることができます。
4. ロック ピンの点検とカバー キャップの取り付けの手順を実施します。
   - ▷ 「ホイールの取り付け」の章（ 167ページ）を参照してください。

- 直ちにポルシェ正規販売店でセンター ボルトを再度ゆるめ、適切なトルク レンチを使用して 600 Nm の規定トルクで締め付けてください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

サーキットでの走行 (スポーツ ドライビング スクール、モーター スポーツ イベントなど)

公道走行時に比べて、サーキット走行には過度に高い車両負荷が伴います。

このため、サーキット走行時には、センター ホイール ロックに関する以下の仕様も遵守してください。

⚠ 警告 サーキット走行

点検、メンテナンス、交換措置を実施しなかったり、取り付け手順を誤って実施したりすると、構成部品の故障や事故につながる恐れがあります。

これは、特にサーキット走行で合計走行距離が長くなった場合に当てはまります。

- ツールが完全な状態であり、トルク レンチが正しく設定されていることを確認してください。
- サーキットで走行する前に、現在の仕様と使用条件を必ず確認してください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

- サーキットでの走行前、必要な場合は走行中、走行後に、センター ホイール ボルトの締め付けトルクを点検してください。
- ホイールを交換する場合、ここに記載されている手順に厳密に従ってください。
  - ▷ 「セントラル ホイール ロック付きホイールの交換」の章（ 162ページ）を参照してください。
- ホイールを交換する場合には、記載されているように必ず構成部品にグリースを塗布し直してください。 高温になると、グリースはより早く消耗し

ます。 または、グリースが塗布されているボルトのセットを追加で用意しておきます。

- 故障したキャプティブ ロックが付いた状態では、決して走行しないでください。
- 緊急締め付け手順を使用してホイールを締め付けることはしないでください。
- サーキットで走行した後は、センター ホイール ロック システムのすべての構成部品 (センター ボルト、キャプティブ ロック、ホイール、ホイール ハブ、ホイール スタッド、ブレーキ ディスクなど) の摩耗と損傷を必ず点検し、不安がある場合は交換してください。
- ポルシェが指定した間隔で、高い応力がかかるアクスル構成部品を交換します。 サーキットで走行する前に、現在の仕様を確認してください。
- 摩耗によって車両操舵性が変わる場合があるその他の部品 (ボール ジョイント、ラバー マウントなど) をすぐに点検し、不安がある場合は交換してください。

チャイルド シート

⚠ 危険 チャイルド シートの誤った使用

チャイルド シートを正しく使用しなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

車種に適さないチャイルド シートを使用した場合、またはチャイルド シートを車両に正しく取り付けていない場合、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- ▶ チャイルド シートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- ▶ フル バケット シートではチャイルド シートを使用しないでください。
- ▶ チャイルド シートは道路交通法に従って使用してください。
- ▶ ポルシェ社が推奨するチャイルド シートのみを使用してください。 ポルシェ社推奨のチャイルド シートは、ポルシェ社がテストを実施し、この車両のインテリアやお子様の体重グループに適するように調整されています。 推奨外のチャイルド シートはテストされておらず、万一のときに負傷する危険性が高まります。
- ▶ チャイルド シートを助手席に取り付けている場合は、助手席エアバッグを OFF にしてください。

▷ 「各種シートへのチャイルド シートの取り付け」の章（178ページ）を参照してください。

ポルシェ社では、ポルシェ テクイップメント製品のチャイルド シートを使用することを推奨いたします。取り付け方法に関するインフォメーション:

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▷ www.porsche.com/tequipment
▷ 「チャイルド シートの正しい取り付け位置の徹底」の章（175ページ）を参照してください。

⚠ 危険 チャイルド シートの助手席での使用

助手席エアバッグは、ある程度の体格と最低限の体重のある乗員にのみ保護効果を発揮します。 チャイルド シートを助手席に取り付けた場合、または小柄な乗員が助手席に乗車している場合、助手席エアバッグが作動することにより重傷または致命傷を負う危険があります。

- ▶ チャイルド シートを助手席に取り付ける前に、助手席エアバッグを OFF にする必要があるか、必ず確認してください。
- ▶ 助手席とチャイルド シート システムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。

▷ 「助手席へのチャイルド シートの取り付けの概要」の章（176ページ）を参照してください。
▷ 「助手席エアバッグの ON / OFF」の章（178ページ）を参照してください。

- ▶ チャイルド シートが取り付けられている場合、シート ヒーターを必ず OFF にしてください。

図 127 : エアバッグ警告ラベル

図 128 : サンバイザーのエアバッグ警告ラベル

- ▶ エアバッグ警告ラベル A または警告標識を除去したり、汚損したり、判読不能にしたりしないでください。

チャイルド シートの正しい使用

このセクションは、1 つずつ遵守していただく必要のある 3 つの項目に分けられています。

- ▶ チャイルド シートを安全に取り付けるため、以下の 3 つの項目すべてを注意深くお読みください。

1. 適切な体重およびサイズ グループのチャイルド シートを使用してください。
   ▷ 「適切な体重およびサイズ グループのチャイルド シートの使用」の章（173ページ）を参照してください。
2. チャイルド シートの正しい取り付け位置で使用してください。
   ▷ 「チャイルド シートの正しい取り付け位置の徹底」の章（175ページ）を参照してください。
3. チャイルド シートを正しく取り付けてください。

▷ 「チャイルド シートの正しい取り付け」の章（177ページ）を参照してください。

適切な体重およびサイズ グループのチャイルド シートの使用

▶ 適切な体重およびサイズ グループに加えて、チャイルド シートが正しく取り付けられており、取り付け位置が適切であることも確認してください。

▷ 「チャイルド シートの正しい取り付け位置の徹底」の章（175ページ）を参照してください。

▷ 「チャイルド シートの正しい取り付け」の章（177ページ）を参照してください。

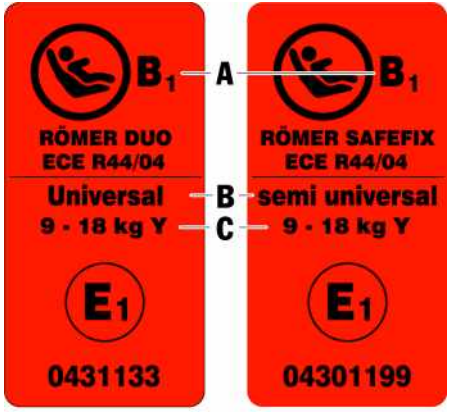


図 129 : チャイルド シート システムの ECE ラベルの例

A サイズ分類
B 「汎用 (ユニバーサル)」または「準汎用 (セミ ユニバーサル)」マーク
C 体重グループ

▶ 準汎用 (セミ ユニバーサル) 認可のチャイルド シートの場合は、該当のチャイルド シートに付属する、またはインターネットで入手できる適合車種一覧表を参照してください。

チャイルド シートの体重グループによる分類

グループ 0、0+のお子様 : 13 kg まで (ISOFIX システムおよび車両シート ベルトによる固定)
この体重グループのお子様は、**後ろ向きに着座するタイプ**のチャイルド シートを必ず使用してください。

グループ I のお子様: 9 ～ 18 kg (ISOFIX システムまたは車両シート ベルトによる固定)
この体重グループのお子様は、必ず**前向きに着座するタイプ**のチャイルド シートを使用してください。 特別な状況に限り、この体重グループのお子様は後ろ向きに着座するタイプの特別なチャイルド シートを使用することもできます。 このタイプのチャイルド シートは、可能な限り、リヤ シートに取り付けてください。

グループ II のお子様: 15 ～ 25 kg (シート ベルトによる固定)
この体重グループのお子様は、必ず**前向きに着座するタイプ**のチャイルド シートを使用してください。 このタイプのチャイルド シートは、可能な限り、リヤ シートに取り付けてください。

グループ III のお子様: 22 ～ 36 kg (シート ベルトによる固定)
この体重グループのお子様は、必ず**前向きに着座するタイプ**のチャイルド シートを使用してください。 このタイプのチャイルド シートは、可能な限り、リヤ シートに取り付けてください。

チャイルド シートのサイズ グループによる分類

A ISO/F3 : 前向き、フルサイズ チャイルド シート
B ISO/F2 : 前向き、小型サイズ チャイルド シート
B1 ISO/F2X : 前向き、小型サイズ チャイルド シート
C ISO/R3 : 後ろ向き、フルサイズ チャイルド シート
D ISO/R2 : 後ろ向き、小型サイズ チャイルド シート
E ISO/R1 : 後ろ向き、乳幼児用チャイルド シート
F ISO/L1 : 左向きチャイルド シート (ベビー キャリア)
G ISO/L2 : 右向きチャイルド シート (ベビー キャリア)

バックレスト装備または非装備のブースター シート
ISO/B2 : 前向きチャイルド シート (バックレスト装備または非装備のブースター シート)、減少幅 440 mm
ISO/B3 : 前向きチャイルド シート (バックレスト装備または非装備のブースター シート)、全幅 520 mm

▶ チャイルド シートの適用範囲、および使用するチャイルド シートのメーカーの取り付けおよび取扱説明書を遵守してください。

体重およびサイズ グループの概要

この表は利用可能なチャイルド シート サイズの概要を示しています。推奨する取り付け方法を示しているわけではありません。

体重グループ	サイズ グループ	チャイルド シート
グループ 0 : 0～10 kg	F	ISO/L1
	G	ISO/L2
	E	ISO/R1
グループ 0 + : 0～13 kg	C	ISO/R3

体重グループ	サイズ グループ	チャイルド シート
	D	ISO/R2
	E	ISO/R1
グループ I : 9 ～18 kg	A	ISO/F3
	B	ISO/F2
	B1	ISO/F2X
	C	ISO/R3
	D	ISO/R2

推奨するチャイルド シート システム

体重グループ	メーカー	シート ベルトによる固定			ISOFIX システムによる固定		
		タイプ	適合番号	ポルシェ部品番号	タイプ	適合番号	ポルシェ部品番号
グループ 0 および 0 + : 13 kg まで ▶ 助手席シートへの取り付けのみに適切です。 **絶対に**リヤ シートに取り付けないでください。	Britax-Römer	ポルシェ ベビー シート G0+	E1 04301146	955.044.805.84	ポルシェ ベビー シート ISOFIX G0+ **次のものと組み合わせた場合のみ** : ベース ISOFIX	E1 04301146	955.044.805.84 **次のものと組み合わせた場合のみ**: 955.044.805.97
グループ I : 9 から 18 kg	Britax-Römer	ポルシェ ジュニア シート ISOFIX G1	E1 04301199	955.044.806.09	ポルシェ ジュニア シート ISOFIX G1	E1 04301199	955.044.806.09

体重グループ	メーカー	シート ベルトによる固定			ISOFIX システムによる固定		
		タイプ	適合番号	ポルシェ部品番号	タイプ	適合番号	ポルシェ部品番号
グループ II：15 から 25 kg	Britax-Römer	ポルシェ ジュニア プラス G2 + G3	E1 04301169	955.044.806.19	ポルシェ ジュニア プラス ISOFIT G2 + G3	E1 04301198	955.044.806.18
グループ III：22 から 36 kg	Britax-Römer	ポルシェ ジュニア プラス G2 + G3	E1 04301169	955.044.806.19	ポルシェ ジュニア プラス ISOFIT G2 + G3	E1 04301198	955.044.806.18

チャイルド シートの正しい取り付け位置の徹底

- 適切な取り付け位置に加えて、チャイルド シートが正しい体重およびサイズ グループで、正しく取り付けられていることを確認してください。
  - ▹ 「適切な体重およびサイズ グループのチャイルド シートの使用」の章（173ページ）を参照してください。
  - ▹ 「チャイルド シートの正しい取り付け」の章（177ページ）を参照してください。

下表は、ECE-R16 規格に従ってチャイルド シートを使用する方法の概要です。

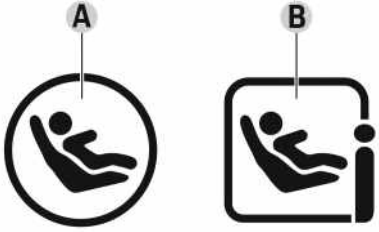


図 130：ISOFIX および i-Size のシンボル

A　ISOFIX チャイルド シートのアタッチメントのシンボル (国によって異なる)
B　i-Size チャイルド シートのアタッチメントのシンボル (国によって異なる)

i-Size および ISOFIX はチャイルド シート用の標準化されたリテーニング ラグです。使用できるかどうかは国によって異なります。 ECE-R 129 および ECE-R 44 に準拠して承認された ISOFIX チャイルド シートおよび i-Size チャイルド シートは、i-Size のリテーニング ラグに取り付けることができます。

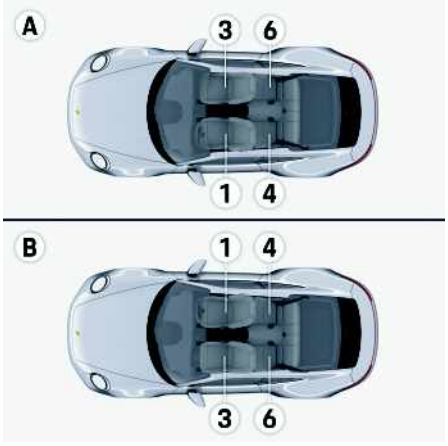


図 131：チャイルド シート取り付けのためのシート番号

A　左ハンドル車
B　右ハンドル車

	シート ベルトによる固定	ISOFIX システムによる固定
シート番号に応じて許容される取り付け位置	3、4 および 6	3、4 および 6

チャイルド シート取り付けのためのシート番号	1	3 [1]	4 [2 3]	6 [2 3]
シート ベルトによる固定[4]	不可	可	可	可
ISOFIX 取り付け位置[5]	不可	可	可	可
i-Size 取り付け位置[6]	不可	不可	不可	不可
横向きのチャイルド シート	不可	不可	不可	不可
適切な後ろ向きチャイルド シートで最大のもの	不可	R2X	このシートはポルシェ推奨のチャイルド シートにのみ適しています。 ▷ 「推奨するチャイルド シート システム」の章（174ページ）を参照してください。	
適切な前向きチャイルド シートで最大のもの	不可	F2X		
適切なチャイルド シートで最大のもの (バックレスト装備または非装備のブースター シート) (B2/B3)	不可	B3		

不可：シートはこのグループのチャイルド シートの取り付けに適して**いません**。

チャイルド シートの体重とサイズ グループの説明、および i-Size チャイルド シートとバックレスト装備または非装備のブースター シートの分類：

▷ 「チャイルド シートのサイズ グループによる分類」の章（173ページ）を参照してください。

助手席へのチャイルド シートの取り付けの概要

汎用 (U) または「準汎用」 (L) 認定カテゴリーのチャイルド シートを助手席に取り付ける場合、下記の表を使用して、助手席エアバッグを OFF にする必要があるかどうかを確認してください。

認定カテゴリーの詳細については、チャイルド シートにあるオレンジ色の認証マークを参照してください。

X: シートはこのグループのチャイルド シートには適していません。

U / L：「汎用」または「準汎用」認定カテゴリーの前向きタイプのチャイルド シートで、大人用シートベルトで固定され、このグループでの使用が認定されているものに適しています。

1. 助手席エアバッグを OFF にする必要があるかどうかを必ず確認してください。
2. この取り付け位置は、サポート レッグ付きのチャイルド シートの取り付けに適して**いません**。
3. 助手席と子供、チャイルド シートまたはその後方に座っている乗員との間に十分な距離を確保するために、助手席を調節する必要があります。
4. **可**：シート ベルトで固定された汎用および準汎用チャイルド シートに適しています。 準汎用チャイルド シートを取り付けることができるかどうかを検討する際、チャイルド シートに付属している、インターネットで入手可能なタイプ リストにご注意ください。
5. **可**：汎用および準汎用 ISOFIX チャイルド シートに適しています。 準汎用チャイルド シートを取り付けることができるかどうかを検討する際、チャイルド シートに付属している、インターネットで入手可能なタイプ リストにご注意ください。
6. **可**：前向きおよび後ろ向きの i-Size チャイルド シートに適しています。

グループ	助手席エアバッグ スイッチ ON	助手席エアバッグ OFF
グループ 0: 0 から 10 kg	X	U / L
グループ 0 +: 0 から 13 kg	X	U / L
グループ I: 9 から 18 kg 後ろ向き	X	U / L
グループ I: 9 から 18 kg 前向き	U / L	U / L
グループ II: 15 から 25 kg	U / L	U / L
グループ III: 22 から 36 kg	U / L	U / L

チャイルド シートの正しい取り付け

- チャイルド シートは、適切に取り付けることに加えて、体重、サイズ グループ、および取り付け位置が適切であることも確認してください。
  - ▹ 「適切な体重およびサイズ グループのチャイルド シートの使用」の章（ 173ページ）を参照してください。
  - ▹ 「チャイルド シートの正しい取り付け位置の徹底」の章（ 175ページ）を参照してください。
- チャイルド シートが取り付けられている場合、シート ヒーターを必ず OFF にしてください。

各種シートへのチャイルド シートの取り付け

図 132 : フル バケット シート

フル バケット シート （図 132） ではチャイルド シートを決して使用しないでください。
推奨するチャイルド シートは、その他すべての種類のシートで使用できます。

▷ 「シート」の章（114ページ）を参照してください。

▷ 「適切な体重およびサイズ グループのチャイルド シートの使用」の章（173ページ）を参照してください。

ベビー キャリア

サイズ カテゴリー F および G の左向きまたは右向きタイプのチャイルド シート (ベビー キャリアなど) は、どのシートにも使用できません。
ポルシェ社では、ポルシェ テクイップメント製品のチャイルド シートを使用することを推奨いたします (例: Porsche Babyseat ISOFIX G0+)。

助手席エアバッグの ON / OFF

⚠ 危険 助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- チャイルド シートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- チャイルド シートを取り外した後は、助手席エアバッグを ON に戻してください。

図 133 : 助手席エアバッグを OFF にする

✓ イグニッションが OFF になっている。

1. グローブ ボックスを開いてください。
2. エマージェンシー キーを車両キーから取り外してください。
   ▷ 「キー」の章（73ページ）を参照してください。

知識

キー スイッチおよびエアバッグ システムが損傷する危険があります。

- エマージェンシー キーは必ず、キー スイッチにいっぱいまで押し込んでから回してください。
  キー スイッチはさほど大きな力をかけなくても回せるはずです。
- 助手席エアバッグは、イグニッションが OFF のときにのみ、ON または OFF に切り替えてください。

3. エマージェンシー キーをキー スイッチにいっぱいまで押し込んでください。
4. エマージェンシー キーを回し、助手席エアバッグをオフ (スイッチ位置**OFF**) またはオン (スイッチ位置**ON**) にしてください。

⚠ 危険 助手席エアバッグの不意の作動により重傷または致命傷を負う危険

キー スイッチにエマージェンシー キーを挿入したまま走行した場合、振動によってエマージェンシー キーが不意に回転し、エアバッグが作動する恐れがあります。

- エマージェンシー キーを助手席エアバッグ スイッチに挿入したまま走行しないでください。

5. エマージェンシー キーをキー スイッチから抜き取ってください。
6. グローブ ボックスを閉じてください。

PASSENGER AIR BAG OFF/ON インジケーター

図 134 : 助手席エアバッグ OFF/ON インジケーター

助手席エアバッグ OFF/ON インジケーターはオーバーヘッド コンソールにあります。

ライト作動点検

イグニッションを ON にすると、ライト作動点検のために **PASSENGER AIR BAG OFF/ON** インジケーターが約 5 秒点灯します。

助手席エアバッグ OFF

助手席側のエアバッグを OFF にすると、イグニッション スイッチが ON のときやエンジンが作動しているときは **PASSENGER AIR BAG OFF** インジケーターが継続的に点灯します。

助手席エアバッグ スイッチ ON

助手席エアバッグを ON にすると、イグニッション スイッチが ON のときは **PASSENGER AIR BAG ON** インジケーターが点灯し、約 1 分後に消灯します

危険 助手席エアバッグの故障または作動不良

イグニッションを ON にして、助手席エアバッグを OFF にしたときに **PASSENGER AIR BAG OFF** インジケーターが点灯しない場合、システム故障の恐れがあります。

- 助手席にチャイルド シートを取り付けないでください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両シートベルトを使用したチャイルド シートの取り付け

車両シートベルトを使用したリヤ シートへのチャイルド シートの取り付け

1. 助手席とチャイルド シート システムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。
2. 助手席シートを最後部上部位置に調整します。
   ▷ 「シートの調節」の章（114ページ）を参照してください。
3. フロント助手席側シートとその後ろに座っている乗員の間に十分な距離があることを確認してください。

車両シートベルトを使用したリヤ シートへのチャイルド シートの取り付け

- リヤ シートとチャイルド シートをしっかりと接触させるようにします。
- ブースター シートにバックレストがない場合は、ブースター シートとリヤ シート バックレストが接触していることを確認します。

ISOFIX システム付きチャイルド シートの取り付け

▷ 「適切な体重およびサイズ グループのチャイルド シートの使用」の章（173ページ）を参照してください。

- チャイルド シート システムに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。

チャイルド シートの助手席への取り付け

図 135 : 助手席シートの ISOFIX リテーニング ラグ

ISOFIX チャイルド シート アンカー ポイントのリテーニング ラグ A は助手席のバックレストとシート表面の間にあります。

1. グローブ ボックス内のエマージェンシー キーで、助手席エアバッグを **OFF** にします。
   オーバーヘッド コンソールの **PASSENGER AIR BAG OFF** 警告灯が点灯します。
2. 助手席シートを最後部上部位置に調整します。
   ▷ 「シートの調節」の章（114ページ）を参照してください。
3. チャイルド シートを付属の説明書に従ってリテーニング ラグ A に固定してください。
4. チャイルド シートを引っ張って、両側のリテーニング ラグに確実に固定されているか点検してください。
5. 助手席とチャイルド シート システムが確実に接す

るように助手席のバックレスト角度を調節すること。

6. リヤ シートに乗員が座っている場合、子供またはチャイルド シートまたは乗員とフロント シートの間に十分な空間があることを確認します。 子供またはチャイルド シートまたは乗員の前のフロント シートを、できるだけ前方かつ高い位置に、シート バックレストをできるだけ急角度になるように調節します。

サポート レッグ付きチャイルド シートの助手席シートへの取り付け

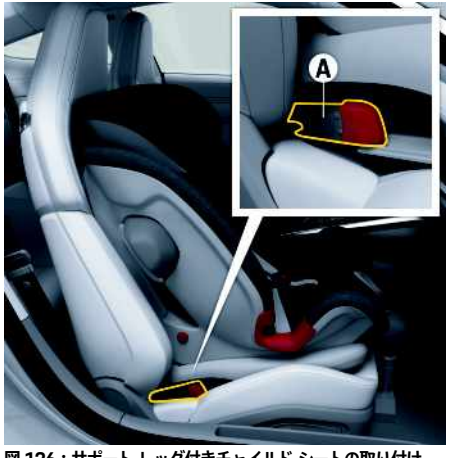


図 136 : サポート レッグ付きチャイルド シートの取り付け

1. チャイルド シートを ISOFIX アンカー システムで、リテーニング ラグ **A** と共に正しく取り付けます。

▷ 「助手席シートの ISOFIX リテーニング ラグ」の章（ 179ページ）を参照してください。

2. チャイルド シート メーカーの指示に従って、サポート レッグを位置決めします。
3. チャイルド シートが助手席シートに対して面一に取り付けられているようにします。

チャイルド シートのリヤ シートへの取り付け

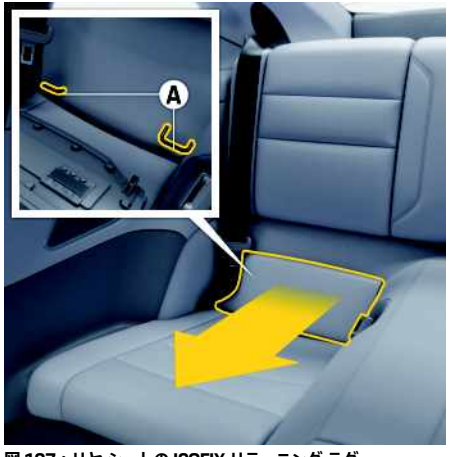


図 137 : リヤ シートの ISOFIX リテーニング ラグ

チャイルド シート用 ISOFIX アンカー システムのリテーニング ラグ **A** は、背もたれ下部の後方にあります。

1. まず中央上部 (マジック テープ) を外し、背もたれ下部をリテーニング ラグ **A** からロック解除し、取り外します。
2. チャイルド シートを付属の説明書に従ってリテーニング ラグ **A** に固定してください。
3. チャイルド シートを引っ張って、両側のリテーニング ラグに確実に固定されているか点検してください。
4. リヤ シートとチャイルド シートをしっかりと接触させるようにします。
5. 子供またはチャイルド シートとフロント シートの間に十分な空間があることを確認します。 子供またはチャイルド シートの前のフロント シートを、できるだけ前方かつ高い位置に、シート バックレストをできるだけ急角度になるように調節します。

クーペのみ : トップ テザー付きチャイルド シートの取り付け

回転しないように、チャイルド シートをトップ テザーでさらに固定する必要があります。

▶ トップ テザー付きチャイルド シートを使用する際は、トップ テザーはリヤ シート後方のリア シェルフ上の固定箇所に取り付けます。

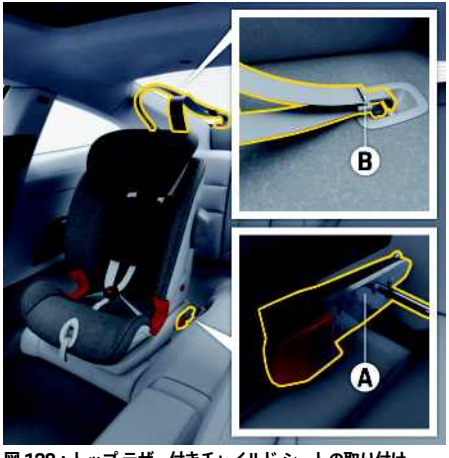


図 138 : トップ テザー付きチャイルド シートの取り付け

1. チャイルド シートを ISOFIX アンカー システムで、リテーニング ラグ **A** と共に正しく取り付けます。

▷ 「助手席シートの ISOFIX リテーニング ラグ」の章（ 179ページ）を参照してください。

2. さらに、トップ テザー B をリヤ シート後方のリアシェルフ上の固定箇所で固定し、トップ テザーを締め付けます。

テスト スタンドでの点検

テスト スタンドでのテストの実施

⚠ 警告 有毒な排気ガスの吸い込み

有毒な排気ガスの吸い込みにより重傷または致命傷を負う危険があります。

排気ガスに含まれる無色無臭の一酸化炭素は、低濃度でも有毒です。

- エンジンを作動した状態での作業は、屋外、または排気ガスの適切な排気システムが備わっている環境でのみ行ってください。

⚠ 警告 不十分な車両の固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティング プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。 これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキ アップ ポイントで持ち上げてください。
- 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート スタンドで車体を支えてください。 この場合、車両ジャッキは適していません。
- 車両をジャッキアップした後は、エンジンを始動しないでください。 エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。

パフォーマンス テスト

ポルシェはローラータイプのテスト スタンドでのパフォーマンス テストを承認していません。

ブレーキ テストの実施

- ブレーキ テストには、ローラータイプのテスト スタンドのみを使用してください。

以下の制限値を超えないでください。

– テスト速度 7.5 km/h
– 測定時間 20 秒

エレクトリック パーキング ブレーキのテスト

- ブレーキ テスト スタンドでのエレクトリック パーキング ブレーキ テストは、**イグニッションを ON にし、マニュアル トランスミッションをニュートラルにするか、PDK を動作モード N にして実行する必要があります (トランスミッション パーキング ロックは作動しない)**。

車両が自動的にブレーキ テスト モードに切り替わり、エレクトリック パーキング ブレーキのテストが可能になります。 インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。

デバイス マネージャー

デバイス マネージャーを開く

デバイス マネージャーを開くと、使用可能な機器や各機器の接続ステータスの概要を確認できます。

▸ フッターにある または を選択します (接続ステータスによって異なる)。

接続ステータスの表示

シンボルの色と意味

– 緑色のシンボル：接続は有効。
– 白色のシンボル：接続は可能だが、有効になっていない。
– シンボルがない：接続不可能。

選択できる機能：

– **電話**：Bluetooth® 経由で接続された携帯電話。 190ページの 「電話」の章を参照してください。
– **音楽**：Bluetooth® 経由で接続された外部メディア ソース。 247ページの 「メディア」の章を参照してください。
– **データ**：アクセス ポイント経由でデータ接続が確立されている。 278ページの 「Porsche Connect」の章を参照してください。
– **アプリ**：WiFi で接続されたポルシェ コネクト アプリ。 48ページの 「アプリ」の章を参照してください。
詳細情報 ポルシェ コネクト アプリ：www.porsche.com/connect にアクセスしてください。
– **リンク**：Apple CarPlay へのアクセスが許可された USB ポート経由で接続された iPhone。 274ページの 「Apple CarPlay」の章を参照してください。
– **遠隔パーキング**：リモート パーキング ペアリング用の携帯電話。 33ページの 「リモート パーキング」の章を参照してください。

新しいデバイスを Bluetooth® 経由で接続する

1. フッターにある または を選択します (接続ステータスによって異なる) ▸ **新しいデバイスを検索**。
2. リストからデバイスを選択してください。
6 桁の Bluetooth® コードが生成され、 PCM とデバイスに表示されます。
3. 次の Bluetooth® コードを比較します： PCM およびデバイス。
4. PCM とデバイスの Bluetooth® コードが一致する場合、確定します。
携帯電話が正常に接続されたら、デバイス概要に表示されます。

以下の操作に関するインフォメーション： ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM):

▹ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（236ページ）を参照してください。

デバイス マネージャーの設定

▸ ヘッダーの または (接続ステータスにより異なる) ▸ オプション を選択します。

– **電話**： 190ページの 「電話」の章を参照してください。
– **Bluetooth**：
  – **Bluetooth** を ON または OFF にします。
  – 次の **Bluetooth 名**を編集します： PCM.
– **WiFi**：
  – **WiFi を起動 / WiFi を停止**
  – **PCM の WiFi ホットスポット設定**：次を表示および設定します PCM WiFi アクセス データ。 このデータはデバイス (携帯電話など) を WiFi 経由で PCM に接続したり、WiFi ホットスポットを使用したりするために必要です。
  – **接続された WiFi デバイス**：登録済みのすべての WiFi デバイスのリスト。
– **モバイル データ サービス**：
  – **モバイル データ サービス** を ON または OFF にします。
  – **データ接続の共有**：WiFi デバイスのデータ接続を有効にします。
– **車両ホットスポット**： PCM WiFi アクセス データを表示します。
– **ペアリングされたデバイスを削除**

ドライビング データの表示（トリップ情報）

PCM およびインストルメント クラスターには、走行時間、走行距離、平均車速、平均燃費などの一連のドライビング データが表示できます。

PCM およびインストルメント クラスターの操作に関するインフォメーション：

▷ 「インストルメント パネルの操作」の章（51 ページ）を参照してください。

▷ 「タッチ ディスプレイの操作」の章（239ページ）を参照してください。

インストルメント クラスターの走行データの表示

「車両 & 情報」ディスプレイのドライビング データの表示

1. **[トリップ]** メニューを選択します。
2. リストから表示内容を選択します。

走行データのリセット

1. **トリップ ▸ リセット**
2. リストから表示内容を選択します。

PCM のドライビング データ ディスプレイ

走行データの表示

1. **車両 ▸ トリップ**
2. 必要な表示内容までスクロールしてください。

トリップを個人的に設定

1. **車両 ▸ トリップ ▸ オプション ▸ トリップをカスタマイズする**
2. 走行データをドラッグ & ドロップで 4 つのフィールドに記載することができます。 走行データの 1 つの項目を複数のフィールドに割り当てることはできません。

走行データのリセット

▸ **車両 ▸ トリップ ▸ ▸ トリップ データをリセットする**

トランスミッション

Porsche Doppelkupplung (PDK) による走行

8 速 Porsche Doppelkupplung (PDK) はオートマチック シフト モードとマニュアル シフト モードを備えたトランスミッションです。

オートマチック シフト モード (作動モード D) ではギヤが自動的にシフトされます。 ステアリング ホイールのシフト パドルを操作することにより、一時的にオートマチック シフト モードからマニュアル シフト モードに切り替えることができます。

マニュアル シフト モード (作動モード **M**) では、ステアリング ホイール上にあるシフト パドルの操作でギヤを変更できます。 D モードと **M** モードは、走行中も必要に応じて切り替えられます。

- オートマチックとマニュアルのどちらのモードにあるときでも、ステアリング ホイールのギヤシフト パドルを誤って操作しないように注意してください。思わぬタイミングでギア シフトが発生してしまいます。

作動モードの変更

作動モード **P** はイグニッションを OFF にすると有効になります。

P から **N**、D または **R** に切り替える時にはブレーキペダルを踏む必要があります。

D から **R** または **R** から D に切り替える時にはブレーキペダルを踏む必要があります。

作動モード D から作動モード **M** にのみ切り替えが可能です。 **P** 作動モードに切り替えるには、セレクター レバーの P ボタンを押すか、イグニッションを OFF にします。

P ボタン

セレクター レバーの **P ボタン** は、トランスミッション パーキング ロックを作動させます。 イグニッションが OFF のとき、D、**M** または **R** 作動モードでトランスミッション パーキング ロックが自動的にかかります。

エンジンの始動

エンジンは、ブレーキ ペダルが踏まれており、モード **P** または **N** が作動中の場合に限り始動できます。

車両の発進

- 発進するために希望する走行作動モード (D、**M** または R) は、エンジンがアイドリング状態で、ブレーキ ペダルを踏んでいるときにのみ選択してください。
- ギアが入ると車両はゆっくりと動き出そうとするので、発進の準備が整うまでブレーキ ペダルから足を放さないでください。

坂道での発進

▷ 「HOLD 機能」の章（276ページ）を参照してください。

車両の停止

- 信号待ちなど短時間の停車時は、セレクター レバーを作動モード D または **M** のままにし、ブレーキ ペダルを踏んでください。
- 上り坂ではアクセル ペダルを踏みながら停止位置を保つようなことはしないでください。 ブレーキ ペダルを踏むか、エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
- 車両から離れるときは、必ずエレクトリック パーキング ブレーキをかけ、作動モード **P** を有効にしてください。

駐車

- アクセル ペダルをやさしく踏んでください。
- 狭い場所での駐車時や操舵時は、ブレーキ ペダルを慎重に使用し速度をコントロールしてください。

作動モードと締結ギヤのインジケーターを読み取る

図 139 : 作動モードと締結ギヤのインジケーター

エンジン作動中に、作動モード **A** と締結ギヤ **B** が表示されます。

ブレーキを踏まずに誤って **P** または **N** から別の作動モードに切り替えた場合、作動モードは変わりません。 インストルメント パネルにメッセージが表示されます。

- エンジンを始動するには、ブレーキ ペダルを踏んで、再度 **P** または **N** から希望する作動モードを選択します。

インストルメント パネル内での作動モード R または D の点滅

最高許容速度以上で作動モード R の選択が試みられました。

- 車両を停止させ、ブレーキ ペダルを踏みながらセレクター レバーを **P** または **N** 位置から動かし、希望する操作モードに入れます。

作動モード

P – パーキング ロック

車両が完全に停止してからパーキング ロックをかけてください。

図 140 : パーキング ロックに入れる

- P ボタンを押してください。
  作動モード P が点滅している場合、パーキング ロックがかかっていません。 車両が不意に動き出す恐れがあります。
- 再度 R から P を選択します。

R – リバース ギヤ

- 車両が完全に停止し、ブレーキをかけてからシフトしてください。

N – ニュートラル

例えば、けん引または洗車機を使用する時などは、作動モード N を必ず選択してください。

- エンジンがアイドリング状態で、ブレーキ ペダルを踏んでいる時のみ、走行位置 (D、M、R) にシフトしてください。

インフォメーション

車両が操作モード N で停止している場合、数分後に自動的に操作モード P に入ります。 インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。

D – オートマチック シフト モード

- 「通常」の走行時には、作動モード D を使用してください。
  車速とアクセル ペダルの踏み込み方により、ギヤが自動的に切り替わります。

インフォメーション

ステアリング ホイールのギヤ シフト操作により、一時的にオートマチック シフト モード D からマニュアル シフト モード M に切り替えることができます。
例えば、以下のような状況ではこの操作を行ってください。

– カーブや市街地に入る前にシフトダウンしたいとき。
– 下り坂でエンジン ブレーキをかけるためにシフトダウンしたいとき。
– 急加速のためにシフトダウンしたいとき。

次の場合は、マニュアル シフト モードが維持されます。

– オーバーラン モードのとき。
– 車両が交差点などで停車したとき。
– 車両のシフト ロジックが 2 段以上シフトダウンしたとき。

次の場合は、マニュアル シフト モードが解除されます。

– 自動的に 6 秒後。

M - マニュアル シフト モード

ステアリング ホイールのシフト パドルにより、8 速前進ギヤを選択することができます。

図 141 : マニュアル シフト モード

- M ボタンを押してください。
  現在のギヤは、D から M にシフトしてもそのまま維持されます。
  M から D に切り替える場合は、現在のドライビング スタイルに適した変速特性が選択され、適切なギヤにシフトされます。

図 142 : シフト パドル付きステアリング ホイール

右「+」シフト パドルでのシフトアップ

- 右シフト パドルを引きます。

左「–」シフト パドルでのシフトダウン

- 左シフト パドルを引きます。

シフト パドルを使用して N – ニュートラルにシフトする

- 両方のシフト パドルを同時に引いて、すぐに放してください。
  トランスミッションは **N** – ニュートラルにシフトします。 その後、エンジンが切り離されてアイドル回転数になった状態で車両は走行し、エンジンブレーキの効果は得られません。 最後に作動した作動モードが **D** または **M** の場合、ギヤシフト インジケーターの数字が点滅します。

いずれかのシフト パドルを引くか、セレクター レバーを **D**、**R**、または **M** 位置に動かすと、再びギヤが締結します。

インフォメーション

速度しきい値を下回ると、クラッチは締結しません。その後、ブレーキ ペダルを踏みながら、**N** から希望する作動モードを再度選択します。

低燃費走行のためのシフトアップ インジケーター

燃費重視の運転を促すシフトアップ インジケーターは、ドライバーが経済的な運転をできるよう支援します。 シフトアップ インジケーター ▲ が点灯し、現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセル ペダルの踏み込み量に応じて 1 段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- シフトアップ インジケーター ▲ が点灯したときは、1 段高いギヤにシフトしてください。

キックダウン機能を作動させる

キックダウン機能はモード **D** で作動しています。

- 追い越し時などで大きな加速力が必要な場合は、アクセル ペダルを素早くいっぱいに踏み込んで (キックダウン) ください。
  車速とエンジン回転数に応じて、トランスミッションがシフトダウンされます。
  そのギヤでのエンジン回転数の許容上限に達するまで、シフトアップされません。

惰性走行モードで走行する

惰性走行モードでは、締結しているギヤが自動的に解除され、それによってエンジンのブレーキ効果が回避されます。 車両はアイドル回転数で走行します。

ドライバーは、手動の惰性走行モードを開始できます。

必要に応じて、自動惰性走行モード (911 Turbo、911 Turbo S は除く) がシステムによって自動的に開始されます。

手動の惰性走行モードの開始

✓ 走行プログラム NORMAL または WET が作動している。
✓ 操作モード **D** または **M** が選択されている。
✓ ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が有効になっている。
✓ クルーズ コントロールが有効になっていない。
✓ アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) が有効になっていない。
✓ Porsche InnoDrive (PID) が有効になっていない。

1. アクセル ペダルから足を完全に離してください。
2. シフト パドルを使用して、可能な限り高いギヤより上に手動でシフトアップする
   惰性走行モードが開始されます。

惰性走行モードの終了

- アクセル ペダルを踏み込んでください。
  – または –
  シフト パドルを使用してギヤを変更します。
  エンジンが締結され、惰性走行モードが終了します。

ローンチ コントロールを使用した発進

✓ スポーツ クロノ パッケージ装備車。

⚠ 警告 車両のコントロールの喪失、または他の通行者への危険

特定の状況では (路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど)、車両の制御が失われたり、他の道路利用者に危険がおよんだりする恐れがあります。

- 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限ってローンチ コントロールを使用してください。
- ローンチ コントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険がおよばないようにしてください。

インフォメーション

通常の発進に比べて、最大加速での発進が構成部品に与える負荷は劇的に増大します。

ローンチ コントロールは停車状態から最大加速度で発進することができるシステムです。

✔ トランスミッションが作動温度に達している。
✔ 道路の勾配が低い。
✔ SPORT PLUS 走行プログラム作動中。
✔ ステアリング ホイールが直進方向に向いている。

1. 左足でブレーキ ペダルを踏んでください。
2. 素早くアクセル ペダルをいっぱいに踏み込んで、そのまま保持してください。
   エンジン回転数は自動的に横ばい状態になります。
   インストルメント パネルにメッセージが表示されます。
3. 1 秒以内にブレーキ ペダルを解除します。

マニュアル トランスミッションによる走行[1]

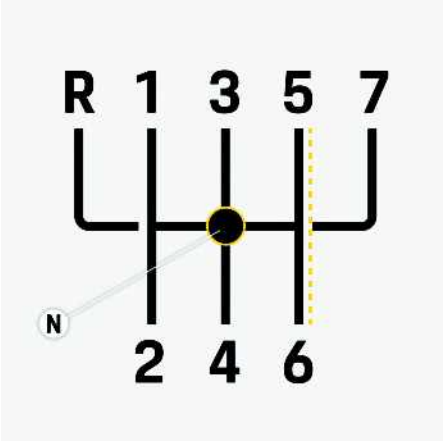


図 143 : シフト レバーのシフト パターン

⚠ 警告 ペダル操作の妨げ

不適当なまたは誤って敷かれたフロアマットや他の障害は、ペダルの動きを制限したり、ペダルの動作を妨げます。

- フロアマットや他の障害が、ペダルの動きを妨げないよう確認します。

- 変速するときはクラッチ ペダルをしっかりと踏み込み、ギヤ レバーを確実に操作してください。
- 上り坂ではエンジン パワーを有効に使用できるように、また下り坂では十分なエンジン ブレーキがかかるように、
  適切なギヤを選んでシフトダウンしてください。

インフォメーション

1~6 速ギヤは通常の走行および性能を重視した走行に適しています (6 速ギヤで最高速度に到達します)。
7 速ギヤは高速走行での快適性を向上するようエンジン回転数を低減し、同時に燃費も向上するよう設計されています。

トランスミッションをニュートラルにシフトする

トランスミッションのニュートラル位置 **N** は 3 速と 4 速ギヤの中間にあります。

7 速ギヤにシフトする

スポーティーなドライビング スタイルで走行時に意図せず 7 速ギヤにシフトすることを回避するため、シーケンシャル ギヤシフト ロックが取り付けられています。
7 速ギヤには、5 速または 6 速ギヤからのみシフトすることができます (（図 143） を参照、白/黄線)。

7 速ギヤから 6 速ギヤへのシフト

- 右へ少し力をかけながらギヤ レバーを 7 速ギヤから 6 速ギヤへシフトしてください。

7 速ギヤから 5 速ギヤへのシフト

- 推奨: 7 速ギヤからは、まずニュートラル位置 **N** (ギヤシフト ロック作動) にシフトしてから 5 速ギヤに入れてください。

締結ギヤを表示する

インストルメント クラスター内のギヤシフト インジケーターは現在締結されているギヤを表示しています。

1. 装置は後日まで利用できない場合や、特定の市場でのみ利用できる場合があります。

リバース (後退) に入れる

- ギヤをリバース (後退) に入れるときは完全に停車してから行ってください。
- リバース ギヤには、ギヤ レバーを左にいっぱいまで動かした後にシフトすることができます。
  イグニッション ON でギヤ レバーをリバース (後退) に入れると、リバース ライトが点灯します。

シフトアップ インジケーターを使用した走行

燃費重視の運転を促すインストルメント クラスターのシフトアップ インジケーターは、ドライバーが経済的な運転をできるよう支援します。

シフトアップ インジケーター ▲ が点灯し、現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセル ペダルの踏み込み量に応じて 1 段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- シフトアップ インジケーター ▲ が点灯したときは、1 段高いギヤに変更してください。

エンジン許容回転数を遵守する

- タコメーター (回転計) の指針が赤色のエリア (レッドゾーン) に到達する前に、1 段高いギヤにシフトアップするか、アクセル ペダルをゆるめてください。

加速中、エンジン回転数がタコメーターの赤色のエリア (レッドゾーン) に到達すると、燃料の供給が遮断されます。

知識

低いギヤにシフトダウンする場合に、エンジンの過回転 (オーバーレブ) が原因でエンジンを損傷する恐れがあります。

- 低いギヤにシフトダウンするときは、エンジンが最高許容回転数を超えないように注意してください。

ギヤシフト アシストによる運転

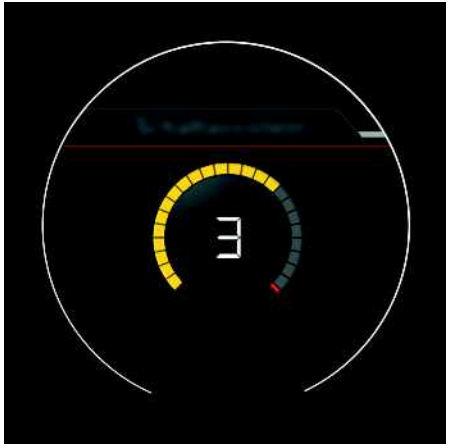


図 144 : ギヤシフト アシストの例

- **ギヤアシスト**

性能を重視した走行中にドライバーをアシストするため、インジケーターが表示されます。 ギヤシフト アシストは、次のギヤへのシフト操作のタイミングをセグメントが増加するグラフィックによって事前にドライバーにお知らせします。 セグメントが増加するにしたがって、表示色が白、黄色、赤の順番に変化します。

図 145 : 例: ギヤのシフトアップ

すべてのセグメントが赤で表示されると、+ サインが現在のギヤ段数の横に表示され、次のギヤへのシフトを促します。

電話

概要説明 - 電話

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。 操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

操作に関するインフォメーション ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM):

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（236ページ）を参照してください。

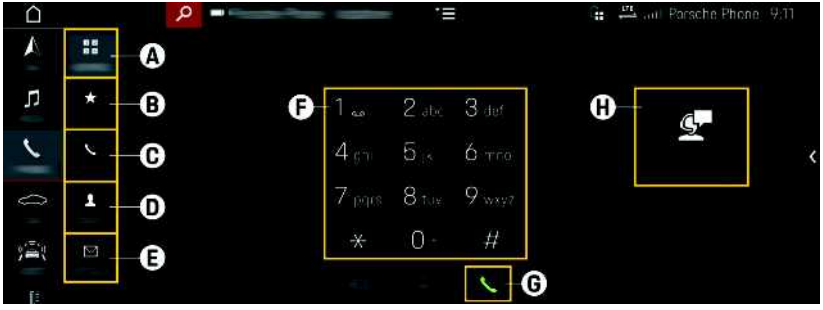


図 146 : 電話番号の入力 (キーパッド)

希望する操作	操作方法	操作場所
携帯電話を Bluetooth® 経由で接続する (携帯電話の準備)	▶ **電話** ▶ **新しい電話を検索**、または既知の電話を選択します。	▷ p. 192
接続された 2 つの携帯電話を切り替える	▶ ヘッダーの右上で、現在接続されている携帯電話を選択します。 すでに接続している 2 つのデバイスが表示されます ▶ 希望する携帯電話を選択します。	▷ p. 192
外部 SIM カードを使用してデータ接続を確立するには PCM を使用します	▶ グローブ ボックスまたはアームレストを開きます ▶ SIM カードを SIM カード スロットに挿入します (切り欠き部分を前方左側にして、チップ面を下にする) ▶ 必要に応じて PIN を入力する ▶ データ接続を確認します。	▷ p. 192
ポルシェ コンシェルジュを開始する	▶ 下記を選択します**電話** ▶ **キーパッド** (A を参照) ▶ **コンシェルジュ サービス**[1]。	▷ p. 199

1. 必要条件 : データ接続が確立されていること。

希望する操作	操作方法	操作場所
番号をダイヤル	▸ **電話** ▸ **キーパッド** (A を参照) ▸ を選択します (Gを参照)。	–
故障通報を選択する	✓ プライベート モードが無効になっている。 ▸ **電話** ▸ **キーパッド** (A を参照) ▸ **故障通報**	▹ p. 290
連絡先をお気に入りに登録する	▸ **電話** ▸ **お気に入り** (B を参照) ▸ **お気に入りを追加する** ▸ 対象の連絡先をリストから選択します ▸ を選択します。	▹ p. 193
通話履歴を表示する	▸ **電話** ▸ **通話** (C を参照)	–
連絡先を表示する	▸ **電話** ▸ **連絡先** (D を参照)	–
メッセージを表示する	▸ **電話** ▸ **メッセージ** (E を参照) ▸ 希望のフォルダー (例 : **メッセージ**) を選択してください。	▹ p. 194
ボイスメールを聞く	▸ 下記を選択します**電話** ▸ **キーパッド** ▸ しばらくの間、ボタン **1** (F を参照) を押し続けます。	–
着信に応答する / 拒否する	▸ **応答** または**拒否** を選択します。	–
通話を終了する	▸ フッターまたは電話メニューで を選択します。	–

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、いろいろなオプションが利用できます。 ここに説明されている機能は、すべてのモデル、国別仕様および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。

⚠ 警告 携帯電話を使用することによる事故の危険

走行中に携帯電話を使用すると、交通状況に対する注意力が低下する恐れがあります。 車両のコントロールを失う恐れがあります。

▸ 必ずハンズ フリー機器を使用してください。

⚠ 警告 怪我をする危険

ガソリン スタンド、燃料貯蔵所、化学工場、または爆破作業を行っている近くなど、危険な場所では携帯電話の電源を切ってください。 携帯電話は機器設備と電

波干渉を起こすことがあります。

▸ 常に法律および各地域の規定、および取扱説明書に従ってください。

Bluetooth® 経由で携帯電話を接続する

新しい携帯電話を接続する

✓ 携帯電話の Bluetooth® 機能が作動していて、他のデバイスから探索可能な状態になっている。

✓ Bluetooth® 機能 (PCM) が作動している。

▷ 「デバイス マネージャー」の章（183ページ）を参照してください。

1. **電話** ▸ **キーパッド** ▸ **新しい電話を検索**
2. デバイス リストから携帯電話を選択します。
   6 桁の Bluetooth® コードが生成され、 PCM および携帯電話で表示されます。
3. Bluetooth® コードを PCM および携帯電話で表示されます。
4. 携帯電話の Bluetooth® コードが一致していれば確定してください。
   電話が正常に接続されると、数字入力 (**キーパッド** メニュー) が次に表示されます： PCM.

インフォメーション

– 携帯電話の Bluetooth® の性能によっては、電話帳、通話履歴、およびメッセージの内容にアクセスすることができます。携帯電話がサポートしている場合には、車両を停車した後に通話を携帯電話に転送し、車両の外で通話を継続することもできます。

– 対応している携帯電話の概要は、ご利用の国のポルシェ ウェブサイトからご覧いただけます：モデル ▸ お客様の所有モデル (例 : 911 Carrera) ▸ 取扱説明書のダウンロード ▸ Bluetooth® 経由。

携帯電話の接続 (Windows® および iOS® オペレーティング システム)

Windows® および iOS® オペレーティング システムを搭載した携帯電話については、携帯電話から接続を開始することをお勧めします。

1. 携帯電話の Bluetooth® メニューから利用可能なデバイスを検索してください。 ヘッダーの または を押して (接続ステータスにより異なる)、PCM を検索可能な状態にします。
2. 利用可能なデバイスのリストから PCM を選択します。
   Bluetooth® デバイス名 (PCM) を表示するには、オプション ▸ **Bluetooth** ▸ **Bluetooth 名**から**デバイス マネージャー**を選択します。

登録済みの携帯電話に接続する

✓ 携帯電話の Bluetooth® 機能が有効になっている。

✓ Bluetooth® 機能 (PCM) が作動しています。

▷ 「デバイス マネージャー」の章（183ページ）を参照してください。

1. フッターにある または を選択します (接続ステータスによって異なる)。
   登録されている携帯電話のリストが最大 20 件表示されます。
2. リストから携帯電話を選択してください。
   携帯電話が Bluetooth® 経由で接続されます。

別の携帯電話の接続と使用

✓ 携帯電話が次に既に接続されている： PCM.

1. フッターにある または を選択します (接続ステータスによって異なる)。
2. リストから携帯電話を選択するか、新しい携帯電話を接続してください。
   ▷ 「新しい携帯電話を接続する」の章（192ページ）を参照してください。
   接続された携帯電話は両方とも着信可能ですが、発信は有効な携帯電話のみ行うことができます。
3. 接続された 2 つの携帯電話を切り替えるために、現在接続しているデバイスをヘッドラインの右上で選択します。
   既に接続している 2 つのデバイスが表示されます。
   – または –
   電話 ▸ オプション ▸ **電話を選択** ▸ 希望のデバイスを選択します。

SIM カードでの PCM の使用

SIM カードはデータ接続の目的のためにのみ使用されます。 データ接続に関するインフォメーション：

▷ 「Porsche Connect」の章（278ページ）を参照してください。

外部 SIM カードの挿入および取り出し

知識

SIM カード アダプターを使用すると、振動により SIM カードがアダプターから外れて、カードの構成部品がドライブに詰まる恐れがあります。

- SIM カード アダプターは使用しないでください。

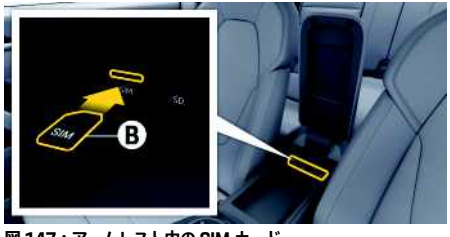


図 147 : アームレスト内の SIM カード

✓ PCM 電話が ON になっている。 (**設定** ▸ **ポルシェ コネクト** ▸ **電話機能を ON にする**)

1. SIM カード B (ミニ SIM、寸法 : 25 x 15 mm) を挿入します。 切り欠き部分を前方左側にして、チップ面を下にしてください。
2. PIN **付き** SIM カード :
   a. SIM カードの PIN を入力し、**OK** で確定します。
   b. **PIN を保存**を選択します。
3. SIM カードを取り出すには、挿入されたカードを押して抜き出します。

接続ステータスの表示

モデル、国および装備によっては、以下のようにヘッダーに表示されることがあります:

電話が接続されていません。

データ接続が利用できません (考えられる原因: 接続なし、ネットワーク品質不良、音声接続中のデータ接続の中断)。

LTE 携帯電話ネットワークを介したデータ接続。

UMTS/HSPA 携帯電話ネットワーク (3G) を介したデータ接続。

EDGE 携帯電話ネットワーク (GSM) を介したデータ接続。

電話機能用の携帯電話ネットワークの受信電界強度。

外部 WiFi ホットスポットによるデータ接続。

お気に入りの保存および編集

お気に入りの保存

1. **電話** ▸ **お気に入り**
2. 連絡先を**最近の連絡先**から選択し、ドラッグ & ドロップで**お気に入り**に移動します。

お気に入りの整理

1. **電話** ▸ **お気に入り**
2. 希望する連絡先を選択して、ドラッグ & ドロップで希望する場所に移動します。

お気に入りの削除

1. **電話** ▸ **お気に入り**
2. 希望する連絡先を選択し、ドラッグ & ドロップで**お気に入り**表示エリアから上に移動させます。
   – または –
   利用可能な場合は、 アイコンを選択します。

通話中の各種機能

✓ **電話** ▸ **キーパッド** が選択されている。

マイクのミュート

✓ 通話している。

- マイクをミュートするには、 を選択します。

通話の保留

✓ 通話している。

- を選択してください。
- 通話を再開するには、 を選択します。

電話会議を開始する

✓ 通話している。

1. ▸ 新しい通話を追加する (番号または連絡先を入力する) ▸
2. 会議を開始するには、 を選択します。
3. 会議を停止するには、 を選択します。

2 つの会議間の切り替え (スワッピング)

✓ 1 つ目の通話で通話している。
✓ 2 つ目の通話が保留になっている。

- を選択すると、保留中の通話が有効になり、それまで有効だった通話が保留になります。

インストルメント パネルでの電話情報の表示

- インストルメント パネルの車両 & 情報ディスプレイで希望の機能を選択してください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

▷ 「D - 車両 & 情報ディスプレイ」の章（49 ページ）を参照してください。

– **着信**：ステアリング ホイールの電話ボタンを使用して、着信の**応答**または**拒否**を操作します。
– **前回の通話**：ステアリング ホイールの電話ボタンやロータリー ノブを使用して、前回ダイヤルした電話番号のリストを表示します。
– **会議**：ステアリング ホイールのロータリー ノブや電話ボタンを使用して、通話中に別の電話をかけたり、会議通話の参加者を追加したりします。

インストルメント パネルの操作に関するインフォメーション：

▷ 「インストルメント パネルの操作」の章（51 ページ）を参照してください。

メッセージの表示および編集

携帯電話がサポートしている場合には、テキスト メッセージや E メールを読んだり、音声で読み上げたり、メッセージに書かれている電話番号に電話をかけたりすることができます。 携帯電話はテキスト メッセージ機能に対応していても、E メール機能には対応していないことがあります。 この設定に関する詳しい情報は、お使いの携帯電話の取扱説明書を参照してください。

インフォメーション

– 携帯電話がデバイスのメモリーに保存されている SMS しか表示できない場合、車両で受信した SMS は携帯電話メッセージ リストには表示されません。受信した SMS は SIM カードに保存されます。
– PCM はマルチメディア メッセージング サービス (MMS) に対応していません。

テキスト メッセージや E メールの作成

1. **電話** ▸ **メッセージ** ▸ **テキスト メッセージ/E メール**
2. を選択します。
3. (電話番号を入力または連絡先を選択することにより) 受信者を追加します。
4. 入力フィールドにテキストを入力し、OK で確定します。
5. **送信**を選択します。

テキスト メッセージ / E メールの返信または転送

1. **電話** ▸ **メッセージ** ▸ **テキスト メッセージ/E メール**
2. 返信 / 転送したいテキスト メッセージまたは E メールを選択します。
3. ▸ **返信/転送**を選択します。

携帯電話の収納 (国別仕様による)

図 148：アームレスト内の小物入れ

車両の装備仕様により、アームレスト内の小物入れにさまざまなインターフェースがあります。 USB インターフェース (タイプ A) を使用して携帯電話を充電し、PCM に接続することができます。

✓ 携帯電話のキーパッド / コード ロックが有効になっています。
▸ 携帯電話の画面を上向きにして、小物入れに置いてください。
▷ 「インターフェイス」の章（242ページ）を参照してください。

電話設定を変更する

一般設定

▸ **電話** ▸ オプション ▸ **電話設定** ▸ 希望の設定を選択します。

連絡先の管理

▸ **電話** ▸ **連絡先** ▸ オプション ▸ 希望の設定を選択します。

メッセージの編集

▸ **電話** ▸ **メッセージ** ▸ メッセージ / E メール フォルダー ▸ オプション ▸ 希望の設定を選択します。

ナイト ビュー アシスト[1]

⚠ 警告 集中力の低下およびナイト ビュー アシストにより障害物が検出されない

ナイト ビュー アシストはサポート システムであり、あらゆる状況下で衝突が差し迫っている状況を警告するものではありません。 事故を起こす恐れがあります!

適時ブレーキをかけることおよび状況に適した車両のライトの点灯は、常にドライバーの責任です。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

⚠ 注意 ナイト ビュー アシストの制限または使用不可

駐車場の段差など、バンパーへの衝撃や損傷により、センサーが作動することがあります。これは、システムの性能を損なう可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両フロントのナイト ビュー アシストのサーマル イメージング カメラは周囲のサーマル イメージを提供し、インストルメント パネルの車両 & 情報ディスプレイに表示することができます。 システムはヘッドライトにより照らされたエリアを超えて人および動物を検知し、カメラ画像内で対象物をハイライトします。

サーマル イメージング カメラは、熱放射の帯域のみを感知します。そのため、このカメラの画像は人間の目に知覚できる映像とはかなり異なる場合があります。

ナイト ビュー アシストは、周囲がかなり暗く、温度が 28 °C 未満の場合に人と動物を検出します。

衝突が起こりそうになる場合、または通行人に近づく危険な運転をする場合、システムの限界内で警告が発せられます。 この場合、システムは、ドライバーに視覚と音により警告します。 ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス装備車では、危険にさらされた人が危険を認識できるよう、点滅による警告が行われます。

市街地の外で野生動物と衝突が起こりそうになる前にも、システムの限界内で警告が発せられます。 この場合、システムは、ドライバーに視覚と音により警告します。

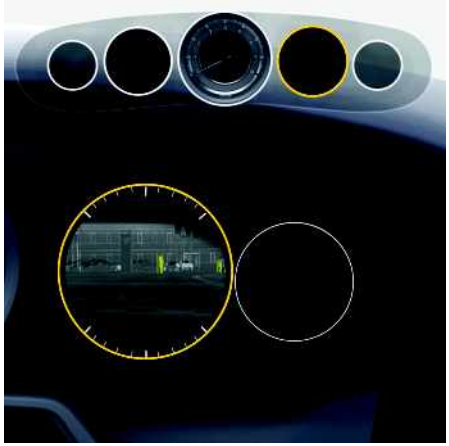


図 149 : ナイト ビュー アシスト サーマル イメージ

ポルシェ ナイト ビュー アシストには、次の機能が搭載されています :

- – サーマル イメージの表示。
- – 歩行者および動物警告。

歩行者警告

歩行者と衝突する危険性をシステムが検出した場合、車両の速度が最大 250 km/h の範囲内であれば、警告音、インストルメント パネルでの表示によりドライバーに警告が行われます。

図 150 : インストルメント パネルの歩行者警告。

歩行者が走行車線内で立ち止まっている、または走行車線に移動している場合、歩行者警告が発令されます。 LED マトリックス ヘッドライト装備車では、危険にさらされた人が危険を認識できるよう、点滅による警告が行われます。 この警告が出された場合、ドライバーが歩行者を避けたり急ブレーキをかけたりすることで衝突を防げる可能性があります。 交通状況とドライバーの運転方法で、警告のタイミングが違ってきます。

動物警告

動物警告は、野生動物による危険を警告します。例えば、市街地から離れた場所でシカが走行レーンにいる

1. 利用可否は国によって異なります

場合、または接近していて危険な場合、動物警告が行われます。 市街地では、つながれた犬などによる警告の誤報を防ぐため、動物警告が自動的に停止します。

ナイト ビュー アシストの ON/OFF を切り替える

▸ アシスト ▸ ナイト ビュー アシスト

衝突警告および画像調整の設定

衝突警告のタイミングおよびナイトビュー アシストのイメージ パラメーターは PCM で設定できます。

▸ アシスト ▸ ▸ アシスタンス システムの設定 ▸ ナイト ビュー アシスト

ナイト ビュー アシスト ステータス ディスプレイ

シンボル	インストルメント パネル	意味
	車両 & 情報ディスプレイ	カメラ画像が表示されている場合、車外の状況 (外気温度や明るさ) が原因でシステムは人や動物を確実には検出できないことを示しています。この場合、警告機能は使用できません。

ナイト ビュー アシスト カメラの清掃

✓ ロー / ハイ ビームが作動している。

イグニッションを ON にした後、フロント ウィンドウ ウォッシャー システムが初めて作動するとき、および 10 回作動するごとに、ナイト ビュー アシスト カメラが自動的に清掃されます。

▷ 「フロント ワイパーの操作」の章（225ページ）を参照してください。

ナビゲーション

概要説明 - ナビゲーション

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。 操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

以下の操作に関するインフォメーション： ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)：

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（236ページ）を参照してください。

図 151：目的地の入力 / 検索

希望する操作	操作方法	操作場所
目的地を検索する	▸ ヘッダーで**ナビ** ▸ を選択してください (A を参照)。 **– または –** **ナビ** ▸ **目的地** ▸ **目的地入力** (A を参照) – 統合検索：PCM メモリーおよびオンライン コンテンツの検索 – オンライン検索 (国によってはご利用いただけない場合があります)[1]：インターネット検索	–
コンシェルジュ サービスを選択する	▸ **ナビ** ▸ **コンシェルジュ サービス** (B を参照) ▸ **ポルシェ コンシェルジュに連絡**[2]	– ▷ p. 199
目的地の住所を入力する	▸ **ナビ** ▸ **目的地** ▸ **目的地入力** (C を参照)	–

1. 必要条件：データ接続が確立されている。 オンライン ナビゲーションと ポルシェ コネクト サービスが有効になっている。
2. 前提条件：データ接続が確立されている。

希望する操作	操作方法	操作場所
目的地履歴から選択する	▸ **ナビ** ▸ **目的地** / **お気に入り** ▸ **目的地履歴** (D を参照) / **マイ目的地**	–
POI を入力する	▸ **ナビ** ▸ **目的地** ▸ **施設情報**	–
GPS 座標を入力する	▸ **ナビ** ▸ **目的地** ▸ オプション ▸ **GPS 座標を入力**	–
ルート案内を開始する / 終了する	▸ **ナビ** ▸ 目的地を入力 ▸ **ルート案内を開始** または**停止** を選択してください。	–
保存した目的地を選択する	▸ **ナビ** ▸ **お気に入り** ▸ **保存した目的地**	–
連絡先から目的地を選択する	▸ **ナビ** ▸ **お気に入り** ▸ **連絡先**	–
マップ ビューを開く	▸ **ナビ** ▸ **マップ**	–
ルート オプションを表示する (代替ルートなど)	▸ **ナビ** ▸ **マップ** ▸ オプション ▸ **ルート オプション**	–
交通情報を表示する	▸ **ナビ** ▸ **交通** ▸ **VICS** /**ITS スポット**	▷ p. 200
オンライン ナビゲーションを有効化する	▸ **ナビ** ▸ オプション ▸ **ナビゲーション設定** ▸ **オンライン ナビゲーション サービス** ▸ **オンライン ナビゲーション**[1]	–
ポルシェ コネクト サービスを使用する (オンライン マップ アップデートなど)	✓ データ接続が確立されている。 ポルシェ　コネクト サービスが有効になっている。 詳細については、ポルシェ コネクトをご覧ください。 ▷ www.porsche.com/connect	▷ p. 278
ETC を表示する	▸ **車両** ▸ **ETC**	▷ p. 201

1. データ接続が確立されている。 ポルシェ コネクト サービスおよびオンライン ナビゲーション サービスが有効になっている。

⚠ 警告 道路交通法を無視することによる事故の危険性。

案内されたルートが有効な道路交通法と反する場合は、いつでも国固有の交通規則が適用されます。 ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▸ 常に周囲の交通状況に注意してください。
- ▸ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビング スタイルと速度で走行してください。

⚠ 警告 システム関連の不正確さおよび不具合による事故の危険性

人工衛星に基づくナビゲーション中は、不適切な指示や不具合の可能性を排除することができません。 ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▸ 常にオフロードの状態に注意してください。

コンシェルジュ サービスの開始

コンシェルジュ サービスは、ナビゲーション データを使用してドライバーをサポートするパーソナル アシスタントです。

✓ SIM カード経由でデータ接続が正常に確立されている。

✓ 携帯電話が PCM に Bluetooth® 経由で接続されている。

1. **ナビ** ▸ **目的地** ▸ **コンシェルジュ サービス** ▸ **ポルシェ コンシェルジュに連絡**を選択してください。
   コンシェルジュ エージェントが呼び出されます。
2. 目的地をリクエストします。
3. コンシェルジュ エージェントが通話を終了した後に、ナビゲーション データが PCM に 送信されます。 そのため、先に通話を終了しないでください。
4. POI または個々の目的地を選択し、**開始** を選択します。

インフォメーション

– 現在位置やナビゲーション目的地の地理的位置などのポルシェ コンシェルジュ データを使用している場合は、車両識別データおよび言語設定がコンシェルジュ コンタクト センターに転送されます。
– ポルシェ コンシェルジュへの通話ごとに最大 5 つの目的地のナビゲーション データを PCM に送信できます。

地図からの目的地入力

1. **ナビ** ▸ **マップ** を選択します。
2. 地図上で目的地をタッチして長押しします。
3. を選択してルート案内を開始します。

ツアーを計画する (経由地の入力)

ツアーは、1 つの目的地と 1~8 箇所の経由地からなっています。

ツアーの入力および開始

1. **ナビ** ▸ 目的地を入力 ▸ **ルート案内を開始** 。
2. オプション ▸ **ルートを編集** ▸ **経由地を追加** 。
3. 経由地を入力または選択します。
4. **経由地として追加** ▸ **ツアー開始**。

ツアーの保存

✓ ツアーが開始されています。

- ▸ オプション ▸ **ルートを編集** ▸ オプション ▸ **ツアーを保存**

ツアーの呼び出し

✓ ツアーが保存されました。

1. **ナビ** ▸ **お気に入り** ▸ **マイ目的地**
2. **マイ目的地** ▸ **保存されたツアー** ▸ 希望するツアーを選択してください。

ツアーの編集

経由地は後で変更することができます。

✓ ツアーが開始されています。

- ▸ **ナビ** ▸ **目的地** ▸ オプション ▸ **ルートを編集**の順に移動し、該当する経由地を押したまま、希望の位置に移動させてください (ドラッグ & ドロップ)。

地図コンテンツの設定

1. ナビ ▸ マップ ▸ (ヘッダー内)
2. 地図コンテンツの起動 / 停止 (国別仕様による) :

– **3D マップ** : 3D マップ ビュー (または 2D ビュー) の表示または非表示を切り替えます。
– **自動ズーム** : 地図の自動ズーム機能の有効または無効を切り替えます。
– **サテライト マップ** : 地図のサテライト ビューの表示または非表示を切り替えます。
– **天気**[1] : 地図の天気情報の表示または非表示を切り替えます。
– **施設情報を表示** : 地図上の施設情報の表示または非表示を切り替えます。
– **コンパス** : 地図上のコンパスの表示または非表示を切り替えます。

交通情報の表示

地図上に交通情報を表示[2]

地図上に、現在地または選択したルートに関する次の交通情報を表示することができます :
– **斜線区間** : 通行止め区間の表示。
– **色付き警告シンボル** : 選択したルート上に差し迫った交通渋滞。 ルート案内が有効でない場合は、現在の交通渋滞がすべてカラー表示されます。
– **グレー表示の警告シンボル** : 選択したルート上にはない交通渋滞。

VICS/ITS スポット交通情報のリストの表示

1. ナビ ▸ 交通 ▸ VICS

VICS アイコン内に表示されている数は、選択されたルート上の道路交通案内の件数を示します。

2. **道路交通案内**を選択してください。

交通渋滞の回避

ルート案内で交通渋滞を自動的に回避または表示することができます。

▸ ナビ ▸ オプション ▸ **ルート オプション** ▸ **ダイナミック リルート / 道路交通案内を参照** を有効にします。

道路交通案内は、ラジオ放送局またはオンライン コンテンツ プロバイダーから発信されます。 従いまして、この情報の完全性および正確性に関してポルシェでは責任を負いかねます。

マップ ビューおよびナビゲーション情報をインストルメント パネルに表示する

インストルメント パネルの操作に関するインフォメーション :

▷ 「インストルメント パネルの操作」の章（51 ページ）を参照してください。

地図画面の表示および設定

1. インストルメント パネルの車両 & 情報ディスプレイにあるマップ ビューを選択します。
   ▷ 「D - 車両 & 情報ディスプレイ」の章（49 ページ）を参照してください。
2. マルチ ファンクション ステアリング ホイールから希望のビュー オプションを選択してください。

– **手動ズーム** : 地図の縮尺を地図画面に合わせて調節します。
– **オート ズーム** : 地図の縮尺は自動調節されます。
– **3D マップ** : 立体地図を表示します。
– **ノース アップ** : 常に北が地図の上側になります。
– **マップ情報** : インストルメント パネルの車両 & 情報ディスプレイにあるマップ ビューが選択されていない場合は、ナビゲーション使用時に地図が自動的に表示されます。
– **矢印情報** : インストルメント パネルの速度 & アシスト機能ディスプレイの**ナビゲーション** メニューが**選択されていない**場合は、ナビゲーション使用時にメニューが自動的に表示されます。

ナビゲーション情報をインストルメント パネルに表示する

▸ インストルメント パネルの速度 & アシスト機能ディスプレイにある**ナビゲーション** メニューを選択します。
   ▷ 「A - 速度 & アシスト ディスプレイ」の章（49ページ）を参照してください。

ナビゲーション設定の変更

▸ ナビ ▸ オプション ▸ **ナビゲーション設定** ▸ 希望の設定を選択してください。

1. 必要条件 : データ接続を確立していること。 ポルシェ コネクト サービスが起動中であること。
2. 必要条件 : データ接続が確立されている。 ポルシェ コネクト サービスが有効になっている。

ETC (道路通行料自動収受システム) の使用

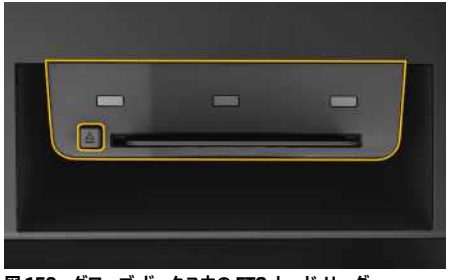


図 152 : グローブ ボックス内の ETC カード リーダー

ETC カードの挿入および取り出し

1. 有効な ETC カードをカード リーダーにロックされるまで差し込んでください。
2. ETC カードを取り出すには、 を押してください。

   ヘッダーに表示される ETC は、カードがないこと、またはカード エラーを示します。

ETC 設定

✓ ETC カードが挿入されている

▸ **車両** ▸ **ETC** ▸ **支払い方法**

– **通行料通知**
– **通行料警告**
– **ETC カード抜き忘れ警告**

バッテリー

- バッテリーの脱着は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

モデル、国、および装備により、車両には AGM (-Absorbent Glass Mat) テクノロジーの鉛バッテリーまたは 12 V リチウム バッテリー (LiFePO4) のいずれかが装備されています。

リチウム バッテリー装備車両では、バッテリーにステッカーが貼付されています。

- いかなる場合も、ステッカーを除去したり、汚損したり、判読不能にしたりしないでください。

鉛蓄電池

⚠ 警告 感電、ショートまたは火災

車両の通電部品に触れると感電する恐れがあります。車両電気系統への作業が原因で、ショートする恐れがあります。 回路の短絡が原因で火災が発生する恐れがあります。

- エレクトリカル システムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。
- ツールまたは導電性のアクセサリー (指輪、ネックレス、腕時計バンドなど) が車両の通電部品に決して触れないようにしてください。

⚠ 警告 火災または爆発

燃料、エンジン オイル、トランスミッション オイルなど、自動車用油脂類の多くは非常に引火しやすい性質を持っています。 燃料蒸発ガスは可燃性です。 鉛バッテリー充電時には爆発性の高い混合ガスが発生します。

- エレクトリカル システムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。
- 静電気を避けるため、乾いた布でバッテリーを拭かないでください。
- バッテリーに触れる前に車両に触れて静電気を放電してください。
- バッテリーの近くでたばこを吸ったり、裸火を使用したりしないでください。 ケーブルとの接触などによるスパークにもご注意ください。
- 屋外または十分に換気されている場所でのみ、車両の作業を行ってください。

⚠ 注意 腐食性電解液

鉛蓄電池には、触れると皮膚や衣服を損傷させる原因となる腐食性の高いバッテリー液が入っています。

- 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- バッテリー液が目や皮膚に触れた場合：冷たい水で数分間洗い流してください。

知識

回路のショート、火災、またはオルタネーター、電気系統、および構成部品を損傷する危険があります。

- バッテリーの脱着は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。 ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー マイナス ケーブルの端子を外してください。

図 153：鉛蓄電池

鉛蓄電池はラゲッジ コンパートメント内のプラスチック カバーの下にあります。 プラスチック カバーの取り外しに関するインフォメーション:

▷ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（255ページ）を参照してください。

- ジャンパー ケーブルによるエンジン始動時は、黒色のマイナス ケーブルを絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。 必ず黒色のマイナス ケーブルを - アース箇所に接続してください。

▷ 「ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動」の章（122ページ）を参照してください。

鉛蓄電池の安全シンボル

指示をお読みください

保護眼鏡を着用してください

子どもたちを近づけないでください

爆発の危険があります
バッテリー充電中には、爆発性の高い混合ガスが発生します。そのため、

火気、スパーク、裸火、喫煙は禁止されています
電気配線や電気機器を取り扱うときは、火花を発生させたり、ショートさせたりしないでください。 中央排気口のあるバッテリーの場合、ホース開口部では爆発性ガスの濃度が高くなります。 ガス排気ホースは、決してねじれた状態にせず、汚れで詰まらせたりしないでください。

腐食性やけどの危険
バッテリー液には強い腐食性があります。保護手袋と保護眼鏡を着用してください。バッテリーを傾けないでください。傾けると、排気口からバッテリー液 (酸) がこぼれる可能性があります。

応急処置
電解液が目にかかった場合、直ちに水で数分間洗い流し、 すぐに医師の診察を受けてください。 バッテリー液 (酸) が皮膚や衣服にかかった場合、直ちに石鹸水で中和し、多量の水で洗い流してください。 万一バッテリー液 (酸性) を飲み込んでしまった場合は、直ちに医者の診察を受けてください。

廃棄
古いバッテリーは、バッテリー回収場所に持ち込んでください。

古いバッテリーを決して家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

鉛蓄電池のお手入れ

インフォメーション

バッテリーの凍結を防ぐため、常に完全な充電状態を維持してください。 バッテリーが充電不足だと 0 °C 程度の温度でも凍結することがあります。完全に充電されている場合は -40 °C まで凍結しません。

希望する操作	操作方法
バッテリー上がりを避ける	▸ 短距離走行時には、不要な電気装備のスイッチを OFF にしてください。 ▸ 車両から離れるときは、イグニッションを OFF にしてください。 ▸ エンジン停止時には、 PCM を使用しないでください。
バッテリーのお手入れ	▸ バッテリーの表面をきれいな乾燥した状態に保ってください。 ▸ 端子クランプが確実に固定されていることを確認してください。
冬季走行の準備をする	▸ 冬季になる前にバッテリーを点検してください。
バッテリーを充電してください	▸ 凍結または損傷したバッテリーを決して充電しないでください。

鉛蓄電池の充電

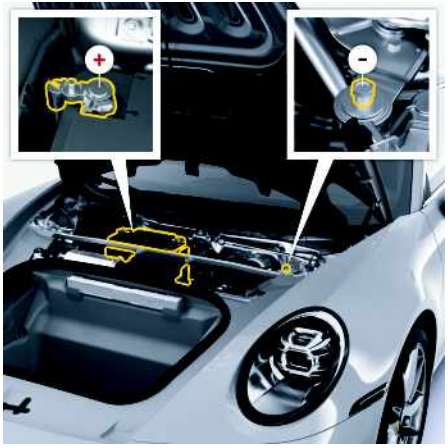


図 154 : 鉛蓄電池端子

+ プラス端子
- アース箇所

警告 凍結または損傷したバッテリーの充電

凍結または損傷したバッテリーを充電すると、爆発および化学やけどの危険があります。

▸ 凍結または損傷したバッテリーを**決して**充電しないでください。

▸ 充電器メーカーの取扱説明書に従ってください。
▸ バッテリーの充電時は、必ず十分に換気してください。

1. ラゲッジコンパートメントを開いてください。
   ▹ 「ラゲッジ コンパートメント リッド」の章 (258ページ) を参照してください。
2. ラゲッジ コンパートメント カバーを取り外してください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

▷ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（255ページ）を参照してください。

3. 充電器の赤色のプラス ケーブルをジャンパー ケーブル接続用のプラス (+) 端子に接続してください。
4. 充電器の黒色の**マイナス ケーブル**を – アース箇所に接続してください。
5. 充電器のスイッチを ON にしてください。
6. バッテリーの充電後、充電器のスイッチをオフにし切り離します。

▶ 適切な充電器に関する情報は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

鉛蓄電池の交換

バッテリー ケースに記載されている仕様の詳細に基づいて、ポルシェのすべての特定の要件を満たす同等のバッテリーを識別することはできません。

▶ 必ずポルシェ正規販売店でバッテリーの交換を行ってください。
▶ 鉛蓄電池は、必ず車両の特定の要件に合致する AGM (Absorbent Glass Mat：吸収ガラス マット) バッテリーと交換してください。 ポルシェでは、ポルシェ純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。
▶ 新しいバッテリーは取り付け後、コントロール ユニットに登録する必要があります。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
▶ バッテリーの廃棄指示を遵守します。

電源遮断

一時的な電源遮断の後、一部の機器では再初期化が必要です。

1. パワー ウィンドウの停止位置を保存します。

▷ 「ウィンドウ」の章（58ページ）を参照してください。

2. タイヤ空気圧監視システム (TPM) にホイールおよびタイヤを登録します。

▷ 「タイヤおよびホイール」の章（154ページ）を参照してください。

3. スライディング / チルティング ルーフの停止位置を保存してください。

▷ 「スライディング / チルティング ルーフ」の章（133ページ）を参照してください。

リチウム バッテリー

⚠ 警告 感電、ショート、火災または爆発

車両の通電部品に触れると感電する恐れがあります。車両電気系統への作業が原因で、ショートする恐れがあります。 回路のショートが原因で火災が発生する恐れがあります。 燃料、エンジン オイル、トランスミッション オイルなど、自動車用油脂類の多くは非常に引火しやすい性質を持っています。 燃料蒸発ガスは可燃性です。

▶ バッテリーの脱着は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。 ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

⚠ 警告 電解液および有毒ガスの流出

バッテリーの損傷や間違った取り扱いによる例外的な状況では、電解液および有害ガスが漏れる恐れがあります。

▶ 蒸発ガスを吸い込んだり、電解液に触れたりしないようにしてください。
▶ 人を周囲に近付けないようにし、かつ人が常に風上にいるようにしてください。
▶ リチウム バッテリーの充電は、換気の良好な場所でのみ行ってください。

知識

回路のショート、火災、またはオルタネーター、電気系統、および構成部品を損傷する危険があります。

▶ バッテリーの脱着は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。 ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
▶ エレクトリカル システムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。

図 155：リチウム バッテリー

12 V リチウム バッテリーはラゲッジ コンパートメント内のプラスチック カバーの下にあります。 プラスチック カバーの取り外しに関するインフォメーション：

▷ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（255ページ）を参照してください。

12 V リチウム バッテリーの接続は、バッテリーの充電状態が低い場合、車両エレクトリカル システムから自動的に切り離されます。 エレクトリカル システムは一時的に停止します。 バッテリーを充電した場合 (10 分間以上) またはジャンパー ケーブルによるエンジンの始動や外部電源の接続を行った場合、エレクトリカル システムは自動的に再作動します。 12 V リチウム バッテリーは車両エレクトリカル システムに自動的に再接続されます。

▷ 「ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動」の章（122ページ）を参照してください。

▶ ジャンパー ケーブルは絶対にバッテリーに直接接続しないでください。

リチウム バッテリーの安全シンボル

指示をお読みください

保護メガネを着用してください

火気、スパーク、裸火、喫煙は禁止されています

ケーブルや電気機器を取り扱うときは、火花を発生させたり、ショートさせたりしないでください。

子どもたちを近づけないでください

爆発の危険があります

腐食性やけどの危険があります

電解液には極めて強い腐食性があります。保護手袋と保護メガネを着用してください。

応急処置

電解液が目にかかった場合、直ちにきれいな水で数分間洗い流し、 すぐに医師の診察を受けてください。 電解液が皮膚や衣服にかかった場合、直ちに石鹸水で中和し、多量の水で洗い流してください。 万一電解液を飲み込んでしまった場合は、直ちに医者の診察を受けてください。

廃棄

古いバッテリーは、バッテリー回収場所に持ち込んでください。

絶対に古いバッテリーを家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

メンテナンス作業は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください

ご自身では絶対にバッテリーを交換しないでください。 この車両のリチウム バッテリーの交換には、ポルシェ社指定のリチウム バッテリーのみを使用してください。 他のリチウム バッテリーまたは鉛蓄電池の使用は、エレクトリカル システムの全面的な故障を含め著しい不具合の原因になります。

必ずポルシェ正規販売店でバッテリーの交換を行ってください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

リチウム バッテリーのお手入れ

希望する操作	操作方法
バッテリー上がりを避ける	▶ 短距離走行時には、不要な電装品のスイッチを OFF にしてください。 ▶ 車両から離れるときは、イグニッションを OFF にしてください。
冬季走行の準備をする	▶ 冬季になる前にバッテリーを点検してください。
バッテリーを充電してください	▶ 損傷したバッテリーは決して充電しないでください。
車両を保管する	▶ 車両を使用せず、車庫や修理工場に長期間保管する場合は、車両のドアやリッド類を確実に閉じてください。 ▶ イグニッションを OFF にしてください。

インフォメーション

車両を使用していない間でも、バッテリーは常に放電しています。

- 正常に使用可能な状態を保つには、約 6 週間ごとの充電またはリチウム バッテリーに適した CC/CV または pure CV 充電特性を持つトリクル充電器の使用が必要です。 ポルシェ社では、Porsche Tequipment の充電器およびトリクル充電器を使用することを推奨いたします。

リチウム バッテリーの充電

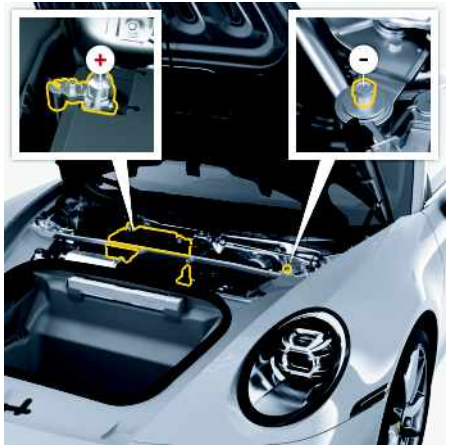


図 156 : リチウム バッテリー端子

注意 損傷のあるバッテリーが引き起こす刺激性ガスの流出

ブースターまたは認定されていない充電器を使うと、充電対象バッテリーでの充電電圧や充電電流が過度に高くなる場合があります。 この場合、バッテリーが損傷して刺激性のガスが流出する恐れがあります。 また、車両が相当の損傷を受けたり、火災が起きたりする恐れがあります。

- ブースターを使用しないでください。
- 内蔵型電子保護回路付きの $LiFePO_4$ バッテリーには、メーカーにより承認された充電器のみを使用してください。
- 以下の最大値を絶対に超えないでください。
  - 最大充電電圧 : 14.8 V (バッテリーが切り離された状態で故障している場合であっても、電圧ピーク不可)
  - 最大充電電流 : 90 A
- ご不明な点がある場合は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

- 充電器メーカーの取扱説明書に従ってください。
- バッテリーの充電時は、必ず十分に換気してください。

1. ラゲッジ コンパートメントを開いてください。
   ▷ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（255 ページ）を参照してください。
2. ジャンパー ケーブル接続用のプラス (+) 端子のキャップを開いてください。
3. 充電器の赤色の**プラス ケーブル**を、ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 (+) に接続してください。
4. 充電器の黒色の**マイナス ケーブル**をアース箇所 – に接続してください。
5. 充電器のスイッチを ON にしてください。
6. バッテリーの充電後、充電器のスイッチを OFF にし、切り離します。
7. ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + のキャップを閉じます。

適切な充電器に関する情報は、

- ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

リチウム バッテリーの交換

警告 不適合なリチウム バッテリーによる火災の恐れ

車両電気系統の著しい不具合に加えて、不適合なリチウム バッテリーの使用または誤った取り付けは特別な状況下で火災の原因になる恐れがあります (充電中など)。

- ご自身では絶対にバッテリーを交換しないでください。 この車両のリチウム バッテリーの交換には、ポルシェ社指定のリチウム バッテリーのみを使用してください。 他のリチウム バッテリーまたは鉛バッテリーの使用は、電気系統の全面的な故障を含め著しい不具合の原因になります。
- 必ずポルシェ正規販売店でバッテリーの交換を行ってください。 ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- リチウム バッテリーの廃棄に関する指示を遵守してください。

電源遮断

一時的な電源遮断の後、一部の機器では再初期化が必要です。

1. パワー ウィンドウの停止位置を保存します。
   ▷ 「ウィンドウ」の章（58ページ）を参照してください。
2. タイヤ空気圧監視システム (TPM) へのホイールおよびタイヤの登録。
   ▷ 「タイヤおよびホイール」の章（154ページ）を参照してください。

パンク

モデルと車両装備に応じて、車両にはタイヤ シーラント キット(Tire Mobility System - TMS)またはコラプシブル スペア ホイールが付属しています。

タイヤ空気圧モニタリングの警告メッセージに対応する

タイヤ空気圧モニタリング システムが空気圧の著しい低下を検出した場合、インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。 空気圧の低下はタイヤの損傷を示している可能性があります。

- 適切な場所に停車し、該当するタイヤに損傷がないか点検してください。
- ▷ 「タイヤおよびホイール」の章（ 154ページ）を参照してください。

安全に駐車

1. 走行車線からできるだけ遠くに車両を停止します。 車両を滑り止めのしてある固い平面に駐車する必要があります。
2. ハザード ライトを ON にします。
3. エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
4. トランスミッション パーキング ロックを P ボタンを使用して作動します。
5. フロント ホイールをまっすぐにします。
6. すべての乗員に車両を降りてもらいます。 降車時には交通状況に注意してください。
7. 適切な距離に停止表示板を設置します。
8. 交換するタイヤの対角線方向の反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。

- ▷ 「ジャッキおよびリフティング プラットフォーム」の章（ 121ページ）を参照してください。

損傷したタイヤの補修

✓ タイヤ シーラント装備車 (
タイヤ モビリティ システム - TMS)

⚠ 警告 密閉されたタイヤは事故の原因となります

タイヤ シーラントで密閉された損傷タイヤは、不適切な速度で走行したり連続的な負荷がかかったりすると、圧力を失ったりバーストしたりする可能性があります。

- タイヤ シーラントを使用してタイヤの傷をふさぐことは、最寄りの修理工場まで走行するための応急処置に過ぎません。
- タイヤ シーラントは 4 mm 以下の切り傷またはパンクにしか使用しません。
- リムが損傷している場合や、空気圧が低いタイヤや収縮したタイヤで走行した場合、絶対にタイヤ シーラントを使用しないでください。
- 外気温度が -20 °C 未満の場合は、タイヤ シーラントを使用しないでください。
- 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
- 80 km/h を超える速度で走行しないでください。
- 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。 タイヤ空気圧が 1.5 bar (22 psi) 未満の場合は走行を中止してください。
- 密閉されたタイヤはできるだけ早く修理工場で交換してください。 タイヤ シーラントを使用したタイヤであることを修理工場に伝えてください。
- タイヤを修理**しないでください**。 損傷したタイヤは交換してください。
- タイヤ シーラントおよびコンプレッサーの各取扱説明書に記載されている安全と操作の指示を読み、それに従ってください。

パンクした場合、車両に備えられているタイヤ シーラントを使用してタイヤの傷を一時的にふさぐことができます。

タイヤ シーラント キット (Tire Mobility System - TMS) はラゲッジ コンパートメントにあります。

- ▷ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（ 255ページ）を参照してください。

タイヤ シーラントの充填 (タイヤ モビリティ システム - TMS)

⚠ 警告 人体に有害な可燃性シーラント

シーラントは強燃性であり、人体に有害です。 長時間または繰り返しの露出は、刺激、アレルギー反応、または臓器の損傷の原因となります。

- タイヤ シーラントを取り扱う際、火炎、裸火、喫煙は禁止されています。
- お子様の手の届かない場所に保管してください。
- 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- タイヤ シーラントが皮膚に付着したり目に入ったりしたときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
- 体調不良やアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
- シーラントの蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- タイヤ シーラントを誤って飲み込んだときは、すぐに口を多量の水でゆすぎ、多量の水を飲んでください。 無理に嘔吐しないでください。 直ちに医師の診察を受けてください。

⚠ 警告 タイヤの空気圧低下が検出されない

パンク修理剤が付着したタイヤ空気圧センサーは、タイヤ空気圧を正しく検出できません。

▶ 損傷したタイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーも必ず一緒に交換してください。

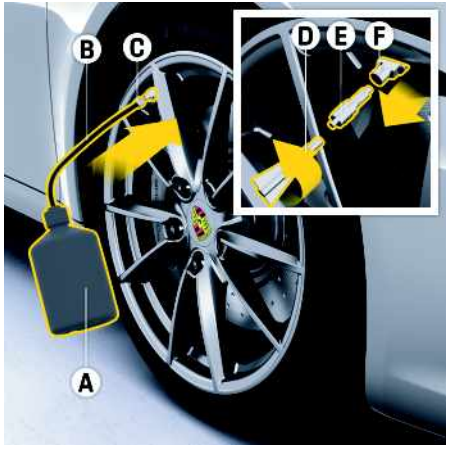


図 157 : タイヤ シーラントの充填

A 充填ボトル
B 充填ホース
C 充填ホース プラグ
D バルブ回し
E バルブ インサート
F タイヤ バルブ

充填作業の準備

1. タイヤの空気が抜けた原因である異物は取り除かず、そのままタイヤに残しておいてください。
2. タイヤ シーラント (タイヤ モビリティ システム - TMS) および付属のステッカーをラゲッジ コンパートメントから取り出します。 タイヤ シーラント (タイヤ モビリティ システム - TMS) はラゲッジ コンパートメントの右側のボックスに収納されています。 コンプレッサーはラゲッジ コンパートメントのカバーの下にあります。
   ▷ 「ラゲッジ コンパートメント」の章（255ページ）を参照してください。
3. 許容最高速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。

タイヤ シーラントの充填 (タイヤ モビリティ システム - TMS)

▷ タイヤ シーラントに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。

1. 充填ボトル A を振ってください。
2. 充填ホース B を充填ボトルに取り付けてください。
   充填ボトルが開いています。
3. タイヤ バルブ F からバルブ キャップを取り外してください。
4. バルブ回し D を使用して、バルブ インサート E をタイヤ バルブから取り外してください。
   交換用バルブ インサートが入手できない場合は、バルブ インサートを清潔で乾燥した場所に保管してください。
5. 充填ホース B のプラグ C を取り外してください。
6. 充填ホースをタイヤ バルブに押し付けてください。
7. 充填ボトルをタイヤ バルブより上方に持ち上げ、ボトルを強く握って中身をすべてタイヤに充填してください。
8. 充填ホースをタイヤ バルブから引き抜いてください。
9. 入手可能な場合は、バルブ回し D を使用して、交換用バルブ インサートまたはバルブ インサート E をタイヤ バルブに確実にねじ込んでください。

タイヤ空気の充填

▷ コンプレッサーの取扱説明書を読み、遵守してください。

▷ 「タイヤ空気の充填」の章（157ページ）を参照してください。

1. コンプレッサーを車両のプラグ ソケットに接続し、圧力が 2.5 bar (36 psi) 以上になるまでタイヤに空気を入れてください。タイヤ空気圧がこの規定値に達しない場合は、タイヤの損傷が大きすぎます。このようなタイヤで運転を続けないでください。
2. バルブ キャップをタイヤ バルブ F に取り付けてください。

空気圧の点検

▶ 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。 タイヤ空気圧が 1.5 bar (22 psi) 以下の場合は、運転を中止してください。

▷ 「テクニカル データ」の章（305ページ）を参照してください。

タイヤ交換

▷ 「タイヤおよびホイール」の章（154ページ）を参照してください。

ホイールを交換した後、タイヤ空気圧モニタリングのタイヤ設定を更新する

▷ 「PCM でのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定」の章（156ページ）を参照してください。

パークアシスト

一般的な安全に関する指示

⚠ 警告 集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。 ドライバーは常に適切な注意を払う責任があります。 このシステムはドライバーの集中力の代わりになるものではありません。

- ▶ 人や動物、障害物が操作エリア内にいないことを確認してください。
- ▶ 操作中、赤色部分に人または動物がいる場合は、車両を停止してください。

⚠ 警告 センサーの検出範囲の制限

センサーは周辺状況を完全には監視できません。 このエリア内では、人、動物、障害物は検出されないか、限られた範囲でしか検出されない場合があります。 怪我や損傷の危険があります。

- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

⚠ 注意 不利な環境条件

不利な環境条件の場合、システムは制限されるか、利用できません。そのため、けがや損傷の危険があります。

- ▶ 適切な環境条件でのみシステムを使用してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビング スタイルで運転してください。

システム制限

その他の超音波を発する機器 (例 : 他車のエア ブレーキ、掃除機、削岩機など) が障害物の検出に干渉する場合があります。

システムは以下の物体を検出できません。

- 音波を吸収する障害物 (例 : 冬場の滑りやすい路面、粉雪などの雪、布地や毛皮の衣類など)。
- 音波を反射する障害物 (例 : ガラス面や平らな塗装面など)。
- 非常に細い障害物 (例 : 細い支柱)。
- 障害物がある、センサーやカメラが非常に汚れている、ほこり、汚れ、雪や氷などに覆われている場合など。

機能

ドライバーが駐車操作をしているとき、駐車アシストが車両と障害物の間の距離を視覚的および音響的に示します。

車両前後の障害物が PCM に色別にフィールド表示されます。 このフィールドにより障害物の形や車両との距離が分かります。

距離の測定

図 158 : 距離測定用超音波センサー

フロントおよびリヤ バンパーの超音波センサー A が障害物からの距離を測定します。 障害物を検出すると**警告音が断続的に**鳴ります。 障害物との距離が近づくにつれて警告音の断続間隔が短くなります。 障害物との距離が約 30 cm 以下になると、**警告音が連続**して鳴ります。

センサーの上および下にある障害物は検知できません。

警告音の音量は PCM で設定できます。

▷ 「車両設定」の章（ 150ページ）を参照してください。

パークアシストの作動

自動作動 (約 15 km/h の速度まで)

✔ イグニッションが ON になっている。

✔ リバース (後退) ギヤに入れる

– または –

✓ 前方の距離が約 80 cm 以下。
– または –
✓ 車両が後退していることを検出している。

手動での作動

▸ アシスト ▸ パークアシスト

PCM に表示する

図 159 : 駐車アシスト ディスプレイ

色	フロント側の距離	リヤ側の距離
白色	車両の経路に障害物がない、または障害物との距離が 30 cm 以上。	
橙色	< 120 cm	< 180 cm
赤色	< 40 cm	< 40 cm
赤色と連続音	< 30 cm	< 30 cm

シンボル	意味
	現在の駐車操作では、パークアシストを無効にします。 15 km/h の速度を超えるか、リバース ギヤを再度選択した場合、無効化はキャンセルされます。
	オーディオ再生を OFF にします。

操作に関するインフォメーション ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM):
▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（236ページ）を参照してください。

Targa モデルの警告作動

知識

Targa ルーフが開く際には、ガラス リヤ ウィンドウが車両のボディから突出します。 ガラス リヤ ウィンドウを損傷する恐れがあります。

▸ 開閉するときは、車両後方に人がいないことを確認してください。 車両の上方や後方に十分なスペースがあることを確認してください (ガレージ内など)。

センター コンソールのスイッチまたはエンジン コンパートメント リッド ボタンを使用して Targa ルーフまたはリヤ ガラス ウィンドウを開閉する場合、リヤ パークアシストが同時に作動します[1]。
センサーが約 50 cm 以下の距離に障害物を検出すると、開閉が停止します。
インストルメント パネルにメッセージが表示されます。
車両付近に障害物がなければ、手動で作業を続行できます。

▸ 約 10 秒以内にスイッチを 2 回引きます。
▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（92ページ）を参照してください。

パークアシストの停止

手動での停止

▸ PCM の ✕ をタップします。

自動停止

✓ セレクター レバーの P ボタンが作動している。

自動有効化を有効にする / 無効にする

▸ アシスト ▸ ▸ アシスタンス システムの設定 ▸ パークアシスト ▸ 自動で有効にする

パーキング アシスタントの警告音量を設定する

▸ アシスト ▸ ▸ アシスタンス システムの設定 ▸ パークアシスト ▸ 音量

1. アクティブ パーキング サポートを使用している間は作動しません。

リバース カメラ

一般的な安全に関する指示

⚠ 警告 ゆがんだ表示による怪我の危険

カメラが映す物体はゆがんで見えます。 赤色のマークは車両後部を示します。 リバース カメラ画像は車両の後方全体を映してはいません。

- 常に車両周囲全体の状況に十分注意を払ってください。
- 人や動物または障害物がリバース カメラ画像の赤色のエリア内にないことを確認してください。

システム制限

カメラがひどく汚れている場合、またはほこり、汚れ、雪、氷などで覆われている場合、このシステムは使用できないか、限られた範囲でのみ使用できます。

機能

リバース カメラは駐車操作時の車両後方エリアのモニタリングを容易にします。
リバース カメラ画像は PCM に表示されます。

リバース カメラの作動

自動

✔ イグニッションが ON になっていて、リバース ギヤに入れてある。
– または –
✔ 車両が後退していることを検出している。

手動

- アシスト ▸ パークアシスト

リバース カメラの自動停止

✔ 速度が 15 km/h を超過した場合。
– または –
✔ セレクター レバーの P ボタンが作動している。

サラウンド ビュー (RTV)

一般的な安全に関する指示

⚠ 警告 ゆがんだ表示による怪我の危険

カメラが検出した物体はゆがんで見えます。 スクリーン ウィンドウの多くは、車両周囲全体を映してはいません。

- 常に車両周囲全体の状況に十分注意を払ってください。
- 人や動物、障害物が操作エリア内にいないことを確認してください。

システム制限

カメラがひどく汚れている場合、またはほこり、汚れ、雪、氷などで覆われている場合、このシステムは使用できないか、限られた範囲でのみ使用できます。

機能

サラウンド ビューは車両を上方から見た映像で、車両周辺のエリアを映し出したものです。 複数のカメラで障害物や路面標識を、車両の正確な位置とともに検出します。 サラウンド ビューが作動しているときは、明るさを確保するためカーテシー ライトのスイッチが ON になります。

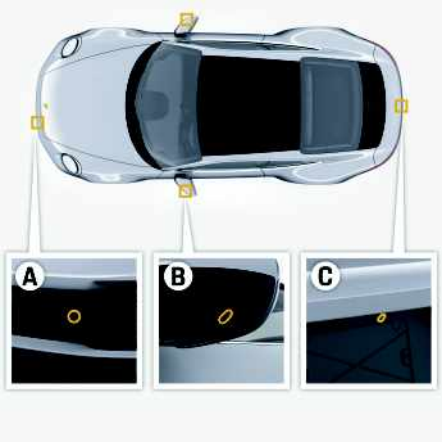


図 160 : サラウンド ビュー カメラの位置

A フロント バンパーのセンターにあるカメラ
B 両方のドア ミラーのカメラ
C リヤ リッドのライセンス プレート ライト間のカメラ。

Surround View (サラウンド ビュー) を有効にする

自動

✔ パークアシストがアクティブになっている。
– または –
✔ リバース (後退) ギヤに入っている。
– または –
✔ 車両が後退していることを検出している。

手動

- アシスト ▸ パークアシスト

リヤ など該当するシンボルを介し希望するビューを選択します)。 有効になっているビューのシンボルは赤色で強調されます。

シンボル	表示
	駐車時 (タップしてフロント ビューとリヤ ビューを切り替え)
	パノラマ (タップしてフロント ビューとリヤ ビューを切り替え)
	サイド
	3D ビュー – サイド カメラ シンボルのいずれかをタップして、視点を切り替えます。 – 画面下部にあるカメラ シンボルをタップして、オール ラウンド ビューを選択します。カメラ画像をスワイプして視点を 360° 回転させることができます。

インフォメーション

カメラ画像に加え、フロントおよびリヤ カメラのビューにはガイドラインが重ねて表示されます。
これらのガイドラインは、現在の位置のステアリング ホイールで車両が進むことのできる方向を示しています。 前輪の位置が変わると、ガイドラインも変わります。

サラウンド ビューを無効にする

自動

✔ 速度が 15 km/h を超過した場合。

手動

▸ セレクター レバーの P ボタンを押してください。

パーソナル設定

運転席ドアのメモリー ボタンを使って、手動で、人間工学に基づいた設定を保存して呼び出せます。 また、PCM で個々のドライバー プロフィールを作成し、人間工学に基づく設定やコンフォート設定を自動的に保存して呼び出すことができます。 どちらの機能も、お互いに独立して使用できます。

パーソナル設定の保存と呼び出し

イグニッションを OFF にすると、事前にした設定は PCM により自動的にドライバー プロファイルに保存され、使用したキーと関連付けられます。 ドアのロックを解除すると、設定がキーにより自動的に呼び出されます。 複数の人が車両を使用する際、各自で別個にドライバー プロファイルとキーを使用すると便利です。 必要であれば、ドライバー プロファイルは手動で変更できます。

さらに、運転席ドアのメモリー ボタンにより、人間工学に基づいた設定を 3 件まで手動で保存して呼び出せます。

人間工学に基づいた設定の機能:

シート、ドア ミラーおよびステアリング ホイールの設定。

さらに、運転席ドアのメモリー ボタンにより、人間工学に基づいた設定を 3 件まで手動で保存して呼び出せます。

コンフォート設定の機能:

人間工学、エアコン、ライト、視界、アシスタンス システム、インストルメント クラスターおよびインフォテインメントの設定。

インフォメーション

車両の損傷を避けるため、特定の機能については個人設定を行えません (例 : リバース ギヤの使用時にリヤ ワイパーを自動的に作動させる)。

注意

シート、ドア ミラー、およびステアリング ホイールの自動設定の呼び出し

メモリー設定が予期せぬタイミングで起動した場合、身体の一部が挟まれたり、圧迫される恐れがあります。

- お子様のみを車内に残さないでください。
- メモリー ボタンまたはシート調節ボタンのいずれかを押すと、必要に応じて**人間工学に基づいた設定**の自動呼び出し機能を**キャンセル**できます。

コンフォート設定の保存と呼び出し

コンフォート設定の保存

- イグニッションを OFF にすると、事前にした設定は**自動的に** PCM のドライバー プロファイルに保存されます。

コンフォート設定の呼び出し

1. ドアをロック解除してください。
   ドライバー プロファイル設定が呼び出されます。
   – または –

✓ 車両は停止している。

1. PCM を使用してドライバー プロファイルを変更します。
2. すべての設定が適用されるまで待ちます。

設定のロードが中断された場合:

- PCM より、**ドライバーを有効にする**を選択します。

ドライバー プロファイルの管理

最大 6 つのドライバー プロファイルと 1 つのゲスト プロファイルを作成、管理できます。

初めて PCM を起動する場合、**セットアップ ウィザード**が表示され、PCM 設定の重要なステップを案内します。 最初のドライバー プロファイルを正しく作成するために、**セットアップ ウィザード**を完全に実行することを推奨します。

イグニッションが ON にしてすぐ後のみインストルメントクラスターを経由して、またイグニッションが ON のときはいつでも PCM 経由で、作成したドライバー プロファイルを切り替えることができます。

キーを使用するとドライバーを自動的に検出します。キーは常にアクティブなプロファイルに自動的に割り当てられます。

ドライバー プロファイルの管理

ドライバー プロファイルは PCM で管理できます。

- **設定** ⚙ ▸ **ドライバー**

– ドライバーを追加する
– ドライバーを編集する
– ドライバーを変更する
– ドライバーを削除する (ドライバー編集のメニュー項目から)
– ドライバーを有効にする
– 個人設定を有効にする
– 自動保存を無効にする

有効になった個人設定が現在のドライバーのものではない場合は、作成してある別のドライバー プロファイルに切り替えることをお勧めします。 必要であれば、新しいドライバー プロファイルを作成して車両設定を調整できます。 これにより、選択した最初のドライバー プロファイルの車両設定を不用意に調整することがないようにできます。

人間工学に基づいた設定の保存と呼び出し

メモリー ボタンへの人間工学に基づいた設定の保存

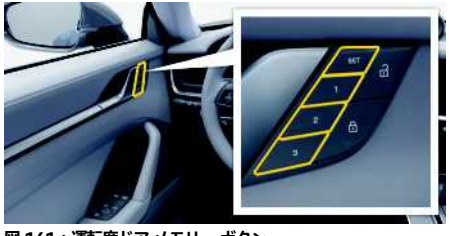


図 161 : 運転席ドア メモリー ボタン

1. SET ボタンを押してください。
   ボタンの表記が点灯します。
2. 該当するメモリー ボタン 1、2 または 3 を 10 秒以内に押してください。

設定が保存されます。
保存されると確認音が鳴り (運転席ドアのみ)、**設定**ボタンのライトが消灯します。

メモリー ボタンによる人間工学に基づいた設定の呼び出し

- ▸ すべての設定が呼び出されるまで該当するメモリー ボタン 1、2 または 3 を押し続けてください。
  – または –
- ✓ イグニッションが OFF になっている。
- ✓ 運転席ドアが開いています。
- ▸ 該当するメモリー ボタン 1、2 または 3 を短く押してください。
  設定が自動的に呼び出されます。

ヒューズ

⚠ 警告 短絡

車両のエレクトリカル システムの作業により、短絡が発生する場合があります。 回路の短絡が原因で火災が発生する恐れがあります。

- エレクトリカル システムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。

⚠ 警告 不適切な介入および不適切なアクセサリー

ヒューズ ボックスへの不適切な介入および不適切なアクセサリーの使用は、エレクトリカル システムおよび電子回路の損傷や故障の原因になります。

- ここに記載されているヒューズ以外のすべての電気部品 (リレーなど) については、交換しないでください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ポルシェによって認証されたアクセサリーのみを使用してください。 認証されたアクセサリーについての情報は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ヒューズの点検および交換

ショートや過負荷による電気系統の損傷を防ぐために、各々の回路がヒューズで保護されています。

ヒューズ ボックスは運転席および助手席側のフットウェルにあります。

装備仕様により、追加のヒューズ ボックスが車両内のさまざまな場所にあります。これらの場所は修理工場でのみアクセスできます。

ヒューズ定格

カラー		電流
	薄茶色	5 A
	茶色	7.5 A
	赤色	10 A
	青色	15 A
	黄色	20 A
	白色 / 透明	25 A
	緑色	30 A
	青緑色	35 A
	橙色	40 A

ヒューズの点検および交換

ヒューズ スロットの番号は、ヒューズ キャリアのカバー内側または上に印字または刻印されています。

割り当てられていないヒューズ スロットは、以下の概要に記載されていません。

1. 可能であれば交換するヒューズと関係のある電装品を OFF にしてください。
2. 該当するヒューズ ボックス カバーを開きます。
3. 必要に応じて、ヒューズ上の紫色のプラスチック ストリップを慎重に取り外します。
4. ヒューズを点検するため、黄色のプラスチック製ヒューズ リムーバーを使用して、スロットから対応するヒューズを引き抜いてください。 切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで判別できます。
5. 新しいヒューズを差し込んでください。 交換するヒューズは、必ず同じ容量のものを使用してください。
6. 紫色のプラスチック ストリップを元の位置に戻します。

同じヒューズが何度も切れる場合は、不具合原因を早急に修理してください。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

運転席フットウェルのヒューズ ボックスを開く

図 162 : 運転席フットウェルのヒューズ ボックスを開く

A 列

No.	負荷
1	イグニッション スイッチ、ライト ボタン、センター コンソールのスイッチ ストリップ
3	ステアリング コントロール ユニット
4	ステアリング ホイール ヒーター コントロール ユニット
5	警報システム
9	パーキング ブレーキ、PSM コントロール ユニット
10	ドライバー アシスタンス システム コントロール ユニット
12	PVTS コントロール ユニット
13	故障診断用ソケット
14	BCM コントロール ユニット
15	ソケット供給
16	シート調節、左フロント

B 列

No.	負荷
2	BCM コントロール ユニット
3	ホーン
4	シート ベルト、左フロント
5	シート ヒーター
6	パーキング システム
7	エアコン システム
8	インテリア ライト
9	サブウーファー
10	ステアリング コラムの電動調整コントロール ユニット
11	左右のドア コントロール ユニット
12	左ヘッドライト エレクトロニクス

C 列

No.	負荷
2	ラジエーター ファン、左
3	ブレーキ ブースター コントロール ユニット
4	シート ベンチレーター、左フロント
8	BCM コントロール ユニット
12	PVTS コントロール ユニット
14	故障診断用ソケット

助手席フットウェルのヒューズ ボックスを開く

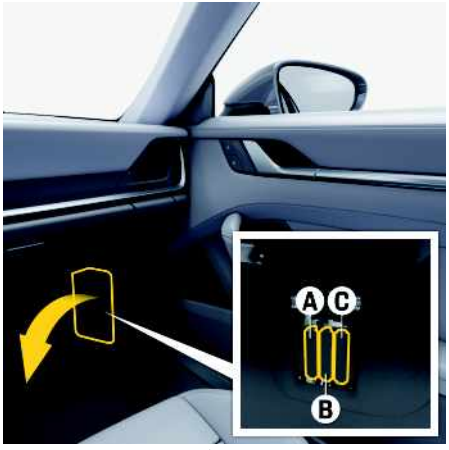


図 163 : 助手席側のヒューズ ボックス

A 列

No.	負荷
5	メディア インターフェイス
9	タイヤ空気圧モニタリング コントロール ユニット
11	エアバッグ コントロール ユニット
13	ガレージ ドア オープナー
14	BCM コントロール ユニット

No.	負荷
15	BCM コントロール ユニット
16	シート調節、右フロント

B 列

No.	負荷
4	シート ベルト、右フロント
6	4WD コントロール ユニット
7	外気ファン
8	ラゲッジ コンパートメント
9	PCM
10	PCM
11	運転席 / 助手席のドア コントロール ユニット
12	右ヘッドライト エレクトロニクス

C 列

No.	負荷
1	エア クオリティ センサー
2	ラジエーター ファン、右
4	シート ベンチレーター、右フロント
5	アダプティブ クルーズ コントロール
6	4WD コントロール ユニット
8	イオナイザー
9	ブレーキ ブースター コントロール ユニット

ブレーキ

エレクトリック パーキング ブレーキ

エレクトリック パーキング ブレーキは後輪に作用し、停車中に車両が動き出さないように固定します。

図 164 : エレクトリック パーキング ブレーキ ボタン

パーキング ブレーキを作動させる

- スイッチ Ⓟ を引いてください。
  スイッチ Ⓟ のインジケーター ライトとブレーキ警告灯 (!) が点灯します。

警告灯およびインジケーター ライトに関するインフォメーション:

▷ 「インストルメント クラスター」の章（49ページ）を参照してください。

パーキング ブレーキを手動で解除する

✓ イグニッションが ON になっている。

1. ブレーキ ペダルを踏んでください。
2. ボタン Ⓟ を押してください。
   ブレーキ警告灯 (!) が消灯します。

パーキング ブレーキの自動解除

パーキング ブレーキをかけたままでも通常のように発進することができます。

✓ エンジンを作動状態にする。
✓ 運転席ドアを閉じている。
✓ 運転席シートベルトを着用している、または作動モード D、R または M が選択されている。

エレクトリック パーキング ブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキング ブレーキを自動解除します。

これらの条件のいずれかが満たされていない場合は、ドライバーが発進操作を行ってもエレクトリック パーキング ブレーキが自動解除されません。

インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。 ブレーキ警告灯 (!) およびスイッチ Ⓟ のインジケーター ライトが点滅します。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（92ページ）を参照してください。

パーキング ブレーキの自動ロック

✓ PDK 装備車。
✓ 車両は停止している。
✓ 作動モード D、R、または M が選択されている。
✓ 運転席ドアが開いている。
✓ 運転席シートベルトが外れている。

電動パーキング ブレーキが自動的に入ります。

スイッチ Ⓟ のインジケーター ライトとインストルメント パネルのブレーキ警告灯 (!) が点灯します。

警告灯およびインジケーター ライトに関するインフォメーション:

▷ 「インストルメント クラスター」の章（49ページ）を参照してください。

インフォメーション

パーキング ブレーキの自動ロックは手動で無効にすることができます。

- ボタン Ⓟ を押してください。
  パーキング ブレーキが解除された状態のままになります。

エレクトリック パーキング ブレーキの締結を無効にした場合、この機能はドアを再度開いた場合にのみ利用できます。

緊急ブレーキ機能を作動させる

通常のブレーキ操作のみでは車両を停車できない場合、エレクトリック パーキング ブレーキを使用して急制動をかけ、停車させることができます。

- スイッチ Ⓟ を引き続けてください。
  ブレーキ警告灯 (!) およびスイッチ Ⓟ のインジケーター ライトが点滅します。

緊急ブレーキ機能を解除するには:

- スイッチ Ⓟ を放してください。

⚠ 警告 急激な減速

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。 周囲の走行を妨げたり、車両のコントロールを失ったりする恐れがあります。

- 緊急ブレーキ機能は緊急時にのみ使用してください。
- 通常走行時に緊急ブレーキ機能を使用しないでください。

警告メッセージへの対応

停車中にエレクトリック パーキング ブレーキを完全に作動させることができない場合、スイッチ Ⓟ のインジケーター ライトおよびブレーキ警告灯 (!) が点滅します。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（92ページ）を参照してください。

フットブレーキ

⚠ 警告 ペダル操作の妨げ

不適切なフロア マットや正しく固定されていないフロア マットは、ペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。 アクセル ペダルが不意に踏み込まれたり、ブレーキ ペダル操作の妨げとなったりする場合があります。 これにより、予期しない加速が起こったり、ブレーキ操作が難しくなったりすることがあります。

- 車両に適切なフロア マットのみを使用してください。
- フロア マットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- いくつものフロア マットを重ねて敷かないでください。
- 清掃などのためにフロア マットを取り外した場合には、元の場所に正しく取り付けられているか確認してください。

⚠ 警告 ブレーキ ブースターの停止

ブレーキ ブースターは、エンジンが作動している間のみ作動準備状態になります。 このため、エンジンが OFF の場合、またはブレーキ ブースターが故障している場合には、制動の際にペダルをより強く踏み込む必要があります。

- ブレーキが故障した車両は、決してけん引しないでください。

⚠ 警告 ブレーキ ディスクの水膜

大雨の中で水たまりや浅瀬を走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキの反応が遅れたり、ペダルを踏み込む時に普通以上に力が必要になったりすることがあります。

- 洗車後にはブレーキを点検してください。
- そのため、前走車との車間距離を十分に確保しながら、断続的にブレーキをかけてブレーキを「乾燥」させます。 後続の車両に影響を与えないように注意してください。

⚠ 警告 ブレーキ性能の低下

凍結防止剤 (塩分) が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長時間にわたって走行すると、ブレーキ ディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキ性能も低下することがあります。
車両を長期にわたり駐車した場合、ブレーキ ディスクの腐食は避けられません。 その結果、ブレーキに「ジャダー」が発生しやすくなります。

- ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- 急な斜面でブレーキ システムの負担を減らすために、適切なタイミングで 1 段低いギヤにシフトしてください (エンジン ブレーキ効果)。 坂道でのエンジン ブレーキ効果が十分でない場合は、間隔を置いてフットブレーキを使用してください。 継続的にブレーキをかけるとブレーキの過熱を引き起こし、ブレーキ効果が損なわれます。

ブレーキ液とブレーキ液レベルの点検に関するインフォメーション:

▷ 「ブレーキ フルード」の章（221ページ）を参照してください。
▷ 「けん引」の章（80ページ）を参照してください。

ブレーキ パッドとブレーキ ディスク

ブレーキ パッドやブレーキ ディスクの摩耗は、ユーザーの運転の仕方や使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。
高性能ブレーキ システムは、すべての速度域および温度下で最大の制動効果が得られるように設計されています。
特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境 (気温、湿度など) によってブレーキから異音が発生することがあります。

警告メッセージへの対応

ブレーキ パッドの摩耗限界に達すると、警告シンボルマークが表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（92ページ）を参照してください。
- 直ちにブレーキ パッドを交換してください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB)

高性能ブレーキ システムは、すべての速度域および温度下で最大の制動効果が得られるように設計されています。
特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境 (気温、湿度など) によってブレーキから異音が発生することがあります。
ブレーキ パッドやブレーキ ディスクなどのブレーキ システムおよび関連部品の摩耗は、ユーザーの運転の

仕方や使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。
ポルシェ社が使用している数値は、交通状況に合わせた通常の運転操作に基づいています。 サーキット走行や過激な運転スタイルは、摩耗を大幅に促進させます。

- 車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在のガイドラインについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ポルシェ サーフェス コーテッド ブレーキ ディスク (PSCB)

この車両の高性能ブレーキ システムは、摩擦面の摩耗と腐食から最適な保護効果が得られるように設計されています。 ブレーキ ディスクやブレーキ パッドなどのブレーキ システムの関連部品の摩耗は、ユーザーの運転の仕方によって大きく左右されるため、必ずしも実際の走行距離には依存しません。 ここに記載されている利点に加えて、ブレーキ ディスク摩擦面の革新的なハード コーティングにより、ディスクは印象的な外見で、標準的なブレーキ ディスクとは比較のしようがありません。 ブレーキ ディスクがハード コーディングされているため、PSCB の慣らし期間をより長く見積もる必要があります。その間、技術的には問題のない摩擦音が発生する可能性があります。 車両が通常の交通状況で一般的な方法で運転されている場合、数千キロ走行した後、細かいひびで覆われた光るクロムのような摩擦面が現れます。 サーキット走行や過激な運転スタイルにより、摩耗やひびは増え、光るシルバーの摩擦面が暗くなります。 これらの外見の変化によってブレーキ機能が影響を受けることはなく、数千キロ走行した後で一部軽減します。

- 車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在のガイドラインについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ブレーキ フルード

図 165 : ブレーキ液タンク

警告メッセージへの対応

ブレーキ液レベルが低すぎる場合、インストルメントパネルに警告灯 (!) および警告メッセージが表示されます。 警告灯が点灯した場合、ペダルの可動域が大きくなり、ブレーキ システムの故障を示す可能性があります。

- 直ちに安全な場所に停車し、運転を中止してください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（92ページ）を参照してください。

ブレーキ液量の点検

- ブレーキ液タンクのブレーキ液レベルを読み取ります。 液量レベルは必ず **MIN** と **MAX** マークの間である必要があります。
- ブレーキ液量が **MIN** マークより下にある場合は、ブレーキ液を補充してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

フロント アクスル リフト システム

フロント アクスル リフト システムによって、フロント エンド (フロント スポイラーの前端部) を約 40 mm 上昇させることができます。 これにより、地下駐車場への乗り入れや減速帯を乗り越えるときなどに起こる可能性のあるボディの損傷を防ぐことができます。

作動条件および挙動

– フロント アクスル リフト システムは、エンジンが作動している状態で停車しているとき、または車速が約 35 km/h 以下 (国によっては約 60 km/h 以下) のときにシステム制限の範囲内で作動します。
– システム制限を超える速度では、車両が自動的に再び通常のレベルに下降します。
– 車両を上昇させると、フロント アクスルのダンピング特性が変化し、ステアリングを操作する際にフロント アクスル周辺からノイズが発生することがあります。
– 気温が約 - 10 °C を下回ると、車両前部を完全に上昇させるまでの時間が長くなります。 ノイズが大きくなる恐れがあります。

車両前部を上昇させる

図 166 : リフト システム用ボタン

✓ エンジンを作動状態にする。
▸ ボタン を押してください。
フロント エンドが上昇します。
ボタンが赤色に点滅し、インストルメント パネルにメッセージが表示されます。

車両前部が完全に上昇すると、
– ボタンが赤色に点灯します。
– インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。

知識

フロント エンドの意図しない下降により、損傷が起こる恐れがあります。

この特別なシステムでは、エンジンが作動していない場合、しばらくするとフロント エンドが自動的に下降します。

▸ 必ず下降させた状態で駐車してください。

車両前部を下降させる

✓ すべてのドアが閉じている。
✓ エンジンを作動状態にする。
▸ ボタン を押してください。
フロント エンドが下降します。 ボタンが赤色に点滅し、インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。

車両前部が完全に下降すると：
– ボタンの赤色ライトが消灯します。
– インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。

インフォメーション

下降中にドアを開くと、車両前部が自動的に再び上昇します。

知識

車両の下廻りを損傷する恐れがあります。

▸ 障害物の上などで車両を下降させないでください。

リフト システムの故障

フロント アクスル リフト システムに故障が発生すると、インストルメント パネルに表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（ 92ページ）を参照してください。

自動リフト機能

自動リフト機能は、フロント エンドを場所に基づいて自動的に上昇させるために使用されます。

知識

このシステムがあるからといって無謀な運転はしないでください。 ドライバーは、適切な速度で走行するなどの安全運転に努めてください。 自動リフト機能はドライバーの集中力の代わりになるものではありません。

リフトが完全に展開した状態であっても、不適切な速度で走行しているときには障害物との接触を防ぐことができません。

保存された位置が認識されず、自動リフト機能が作動しない状況が発生する可能性があります。

リフト システムに故障がある場合、自動リフト機能を作動することができません。

▸ 登録した位置に近づくときは、フロント エンドが上昇していることを確認してください。
▸ 適切な速度で障害物を乗り越えてください。

自動リフト機能の登録

最初に障害物に近づくとき、フロント エンド リフト機能を手動で開始し、位置を保存する必要があります。

1. ボタンを押してください。
2. タッチ ディスプレイで**保存**をタップします。

PCM に位置が保存されたことを示すメッセージが表示されます。

インフォメーション

目的地まで / からの走行など、障害物へ接近する方法が複数ある場合、障害物にすべての方向から接近して位置を保存することが重要です。

自動リフト機能の有効化

フロント エンドを自動的に上昇させる

✓ 自動リフト機能が作動している。
✓ 自動リフト機能に位置が登録されている。
✓ 速度がシステム制限内。

保存された位置に近づくと、フロント エンドが自動的に上昇します。 インストルメント クラスターにメッセージが表示されます。

インフォメーション

自動リフト中に ボタンを押すと、自動リフト機能は中断します。 PCM タッチ ディスプレイにメッセージが表示されます。

フロント エンドを下降させる

▸ ボタンを押してください。
– または –
リフト システムのシステム制限を超える速度での自動制御。

自動リフト機能の設定

PCM でこの機能の作動 / 停止を切り替えることができます。 保存した位置は名前を変更したり削除したりできます。

▸ **車両** ▸ **コントロール** ▸ **車両** ▸ **スマート リフトの設定**

フロント ワイパー

概要説明

この概要説明は「フロント ウィンドウ ワイパー」の項の詳しい情報に代わるものではありません。 操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

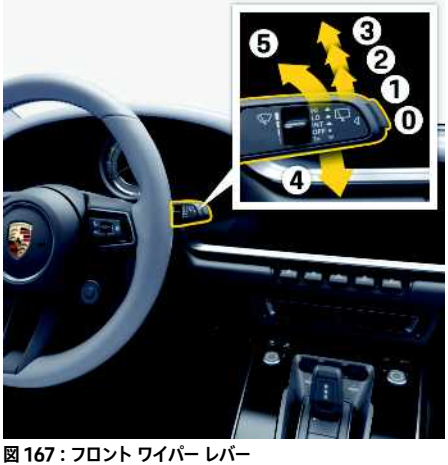


図 167 : フロント ワイパー レバー

図 168 : レイン センサー / 間欠作動およびリヤ ワイパーのスイッチ

希望する操作	操作方法	操作場所
フロント部のワイパーを自動で作動 (レイン センサー / 間欠作動)	▶ 操作レバーを **1** の位置に押します。	▷ p. 225
レイン センサー / 間欠作動感度を設定する	▶ 操作レバー右部のスイッチ **B** を上 (作動回数が増える) または下 (作動回数が減る) 方向に押してください。	▷ p. 226
フロント部でワイパーを作動させる	▶ 低速: 操作レバーを **2** の位置に押します。 ▶ 高速: 操作レバーを **3** の位置に押します。 ▶ ワンタッチ: 操作レバーを **4** の位置に短く押してください (**4** の位置で保持すると、ワイパーの動きが速くなります)。	▷ p. 225

希望する操作	操作方法	操作場所
フロント部のワイパー & ウォッシャー作動	▶ 操作レバーを 5 の位置でステアリング ホイールの方向に引き続けます。	▷ p. 226
リヤ部でワイパーを作動させる (間欠作動)	▶ スイッチ A を押してください。	▷ p. 226
フロント ワイパーを格納位置から出す	▶ イグニッションを OFF にして、ワイパー レバーを下方向の 4 の位置に 1 回押します。 フロント ワイパーが上方に約 90° 移動します。	▷ p. 225

⚠ 警告 ワイパーの不意な作動

レイン センサー モードでは、フロント ウィンドウで水分が検出されるとフロント ウィンドウ ワイパーが自動的に作動します。

▶ 必ずフロント ウィンドウ ワイパーを OFF にしてからフロント ウィンドウを清掃してください。

知識

ラゲッジ コンパートメント リッド、フロント ウィンドウおよびワイパー システムを損傷する恐れがあります。

▶ フロント ウィンドウが十分に濡れた状態でワイパーを作動させてください。乾いた状態での使用はウィンドウの擦り傷の原因になります。
▶ ワイパー ブレードが凍結した場合は、走行前に慎重にフロント ウィンドウから剥がしてください。
▶ (レイン センサー機能により) 不意に作動することのないよう、洗車機で洗車する前に必ずフロント ワイパーを OFF にしてください。
▶ ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパー アームをしっかりと保持してください。
▶ ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパー ブレードの長さが異なるので注意してください。

フロント ワイパーの操作

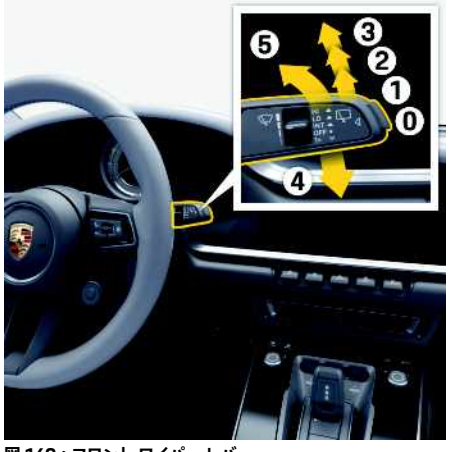


図 169 : フロント ワイパー レバー

0 **フロント ワイパー OFF**
フロント ワイパーおよびイグニッションが OFF の場合、ワイパーの端が正しい位置に調整されるように、ワイパーがレスト ポジションから少し持ち上がります。

1 **レイン センサー/間欠作動、フロント ワイパー**
▶ ワイパー レバーを最初の位置まで上方向に動かします。

2 **フロント ワイパー低速**
▶ ワイパー レバーを 2 番目の位置まで上方向に動かします。

3 **フロント ワイパー高速**
▶ ワイパー レバーを 3 番目の位置まで上方向に動かします。

4 **フロント ワイパーのワンタッチ機能**
▶ ワイパー レバーを下方向に押してください。
フロント ワイパーがワイプ サイクルを 1 回実施します。

5 **フロント ウィンドウ ワイパー / ウォッシャー システム**
▶ ワイパー レバーをステアリング ホイールに向かって引きます。
レバーを放すとウォッシャー システムが停止し、その後ワイパーが数回作動します。
ワイパーが数回作動した後、ナイト ビュー アシスト カメラが自動的に清掃されます。

インフォメーション

▶ 汚れが激しい場合はウォッシャーを繰り返し作動させてください。
▶ 頑固な汚れ (昆虫の死骸など) は定期的に清掃してください。

フロント ワイパー ブレードを万全の状態に保つことは良好な視界のために不可欠です。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

▷ 「ワイパー ブレードのお手入れ」の章（146ページ）を参照してください。

ワイパー作動間隔の調整

図 170：レイン センサー / 間欠作動の切り替えスイッチ

レイン センサー非装備車では、フロント ワイパーの作動間隔を 4 段階で調節することができます：

ワイパーの作動間隔を短くする

▶ スイッチ **A** を上方向に操作してください。
フロント ワイパーが 1 回ワイプ作動を行い、設定が切り替わったことを知らせます。

ワイパーの作動間隔を長くする

▶ スイッチ **A** を下方向に押してください。

レイン センサー作動の調節

レイン センサー装備車の場合、フロント ウィンドウに付着する水滴の量を感知して、 ワイパーの作動間隔を自動調節します。

フロント ワイパーを ON にしているときに速度が約 4 km/h 以下になると、レイン センサーが自動的に作動します。
速度が約 8 km/h を超えると、システムが設定したワイパー作動に切り替わります。

インフォメーション

– イグニッションを ON にしたとき、ワイパー レバーがすでに **1** の位置にあった場合、速度が 4 km/h を超えるまでレイン センサーは作動しません。
– イグニッションを ON にしたときに、すでにワイパー レバーが **2** または **3** の位置にある場合、フロント ワイパーはワイパー レバーを操作しなければ作動しません。

インフォメーション

ラゲッジ コンパートメント リッドを開くとワイパーが停止します。

▶ 再度ワイパーを ON にするには、フロント ワイパー操作レバーを上方向/下方向に動かしてください。

レイン センサー感度の手動調節

ワイパー速度を手動で設定することができます：

▶ スイッチ **A** を**上方向**に押してください - **センサー感度が高く**なります。
フロント ワイパーが 1 回ワイプ作動を行い、設定が切り替わったことを知らせます。
▶ スイッチ **A** を**下方向**に押してください - **センサー感度が低く**なります。

リヤ ワイパーの操作

図 171：リヤ ワイパーのスイッチ

リヤ ワイパーの間欠作動を ON にする

▶ ボタン A を押してください。

リヤ ワイパーの間欠作動を OFF にする

▶ ボタン A を押してください。

リバース機能を ON にする

フロント ワイパーが作動しているときにリバース (後退) ギヤを選択すると、リヤ ワイパーが自動的に数回作動します。 PCM でこの機能の有効/無効を切り替えることができます。

▷ 「車両設定」の章（150ページ）を参照してください。

ワイパー ブレード

知識

ワイパー アームが誤ってフロント ウィンドウに勢いをつけて戻ると、フロント ウィンドウが損傷することがあります。

- ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパー アームをしっかりと保持してください。

知識

気温が低いとワイパー ブレードが凍結することがあります。

- 走行前に凍結したワイパー ブレードを溶かしてください。

知識

適切に洗浄されない場合、ワイパー ブレードのグラファイト コーティングが損傷することがあります。

- 洗浄機のノズルをワイパー ブレードに向けないでください。
- 布やスポンジでワイパー ブレードを洗浄しないでください。
- ワイパー ブレードの洗浄は清潔な水でのみ行ってください。

ワイパー ブレードの交換

ワイパーブレードは年に 2 回 (寒い季節の前後に)、またはワイパーのパフォーマンスが落ちたり、ブレードが損傷したりした場合に交換する必要があります。

ワイパー ブレードの交換、アイスまたはサン シールドの装着のために、フロント ウィンドウ ワイパーを格納位置から出します。

⚠ 注意 正しく取り付けられていないワイパー ブレード

適切に交換しない場合、正しく取り付けられていないワイパー ブレードが走行時にゆるむ可能性があります。

- ワイパー ブレードはワイパー アームに適切に装着する必要があります。
- ワイパー ブレードが確実に取り付けられていることを確認します。

フロント ワイパー ブレードの交換

ワイパーの展開

✓ イグニッションが OFF になっている。

1. ワイパー レバーを下方向に 1 回押してください (位置 **4**)。
   フロント ワイパーが上方に約 90° 移動します。
2. メーカーの取扱説明書 (別冊) に従い、ワイパー ブレードを交換してください。 ワイパー ブレードの長さが異なるので注意してください。

ワイパーの格納

✓ イグニッションが ON になっている。

- ワイパー レバーを約 2 秒間押し下げます (位置 **4**)。
  フロント ワイパーが通常位置に戻ります。

インフォメーション

この作業は、必要であればポルシェ正規販売店にご依頼ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボイス コントロール

⚠ 警告 正常に機能しない音声認識

声はストレスの多い状況で変わることがあります。 これにより、特定の状況で電話接続の要求が認識できずに失敗したり、接続に時間を要してしまう恐れがあります。

- ▶ 緊急時はボイス コントロールを使用しないでください。
- ▶ タッチ ディスプレイを使用して緊急電話番号をダイヤルします。

ボイス コントロールによりメディア、電話、ナビゲーション機能およびエアコン設定にアクセスできます。
ボイス コントロールは話者に合わせて最初の会話から学習を開始します。
オンボードおよびオンライン音声認識機能は、[1] ボイス コントロール システムにおいて途切れることなく連携されています。
ボイスントロールはすべてのシステム言語に対応しているわけではありません。
操作に関するインフォメーション ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) :

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（236ページ）を参照してください。

ボイス コントロールの呼び出し

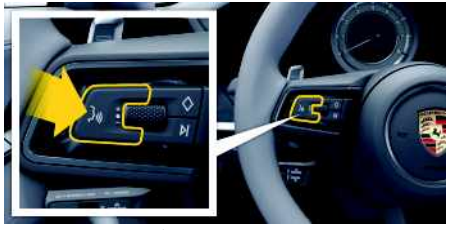


図 172 : ステアリング ホイールのボイス コントロール ボタン

ボイス コントロールの起動

✓ イグニッションが ON になっている。
✓ 通話中ではない。
✓ パーキング エイドが作動していない。

1. ステアリング ホイールの ボタンを短く押してください。
   起動音が鳴り、ボイス コントロールのマーク が PCM に表示されます。
2. ボイス コマンドを発話してください。

ボイス コントロールの終了

✓ ボイス コントロールが作動している。

- ▶ ステアリング ホイールの ボタンを押します。
  終了音が鳴ります。

インフォメーション

会話は「マイク」アイコン をタップすると一時停止し、再度タップすると再び開始します。

ボイス コントロール ボタンのその他の機能

ステアリング ホイールの ボタンを使って、アプリに応じたさまざまな機能を次のように有効にできます：

- 短く押すと、実行中の案内の次のパートにスキップします。
- 短く押すと、現在の会話を中断します。
- 長押しすると、Siri ボイス コントロール システムが起動されます。

▷ 「Siri 音声認識機能を使用して Apple CarPlay を操作する」の章（274ページ）を参照してください。

インフォメーション

- 会話中は、ナビゲーション案内および交通情報通知が中断されます。
- ボイスコントロールが起動していると、ボイスコントロール、ロータリー プッシュ ボタン、またはタッチ ディスプレイからリスト項目を選択することができます。
- 発話されたボイス コマンドを理解できない場合や意味を解釈できなかった場合、ボイスコントロールは**もう一度お願いします**と応答しますので、再度ボイス コマンドを言ってください。

ボイス コントロールを中断する

ボイス コントロールを中断して別のボイス コマンドを発話することができます。 ボイス コントロールの中断を PCM で次のように有効または無効にできます：

- ▶ **設定** ▶ **システム設定** ▶ **ボイス コントロール** ▶ **ボイス コントロールを中断**を選択します。

1. 必要条件：データ接続が確立されている。

ボイス コントロール システムで ポルシェ コネクト サービスを使用する

✔ データ接続が正常に確立されている。

▷ 「Porsche Connect」の章（278ページ）を参照してください。

– My Porsche からナビゲーション目的地を入力して、ポータル パーソナル POI やその他の施設情報カテゴリーを読み込む場合には、 オンライン検索を使用します。

ボイス コントロールを使用するコミュニケーション時の注意

ボイス コントロールを使用する際は、以下の点にご注意ください：

– 通常通りの声量で、はっきりと分かりやすく発話してください。
– 長い間を置かずに、むらなくボイス コマンドを強調してください。
– ドア、ウィンドウ、スライディング ルーフなどを閉じ、混乱の原因となる雑音を少なくしてください。
– ハンズフリー マイクはドライバー側に向いているため、ボイス コマンドを発話するのはドライバーだけにしてください。

ボイス コントロールを変更する

1. **車両** ▸ **制御** ▸ システム ▸ ボイス コントロール
2. 希望の設定を選択してください。

ボイス コマンドの発話

3 種類のボイス コマンドがあります：

– **グローバル ボイス コマンド**は、いつでも使用できます。 例えば、メイン メニュー**ナビ** が表示されていて、ボイス コマンドの**ラジオ放送局 XY** と発話すると、その放送局が呼び出されます。
– 次の**一般的で有効なボイス コマンド**は、会話中にいつでも発話可能です：
  – **新規入力**
  – **修正**：例えば、電話番号をいくつかのブロックに分けて発話した場合 (0711 911 など)、このボイス コマンドは最後に発話したブロックを取り消します。
  – **一時停止**：ボイス コントロールを一時停止します。 ボイス コントロールは、最大 5 分間一時停止できます。 この時間が経過すると、会話は自動的に終了します。
  – **ヘルプ**：使用可能なボイス コマンドの入力支援が表示されます。
  – キャンセル
– **ダイアログ関連ボイス コマンド**は、 PCM との会話が開始されるとすぐに必要になります。例：**ライン 1**、**次のページ / 前のページ**、**はい / いいえ**

ボイス コントロールでリストを操作する

リストをブラウズする

▸ PCM でリストを前 / 後にスクロールするには、**次のページ / 前のページ**と発話してください。
– または –
タッチ ディスプレイまたはロータリー プッシュボタンでリスト内を移動します。

リスト項目の発話

ダッシュボードのタッチ ディスプレイで青色の印が付いているリスト項目および行番号を発話できます。

▸ ボイス コマンドで**行 1** と発話します。
– または –
青色の印が付いているリスト項目を発話します。

ラジオのグローバル ボイス コマンド

希望する操作	その操作方法は?	情報
受信範囲を切り替える	**(設定 / ON にする) チューナー** (例：FM)	
放送局を選択	**放送局を選択**	現在受信可能な放送局のみを発話できます。
現在受信可能な放送局を選局する	**(ON にする) 放送局** (例：放送局 XY)	現在受信可能な放送局のみを発話できます。
周波数を入力	**(選局) 周波数** (例：91.1 FM)	周波数を直接選択すると、受信範囲が変更する可能性があります。

メディアのグローバル ボイス コマンド

希望する操作	その操作方法は?	情報
メディア ソースを変更する	**再生** (例 : SD カード /USB/Bluetooth®/iPod)	
アーティスト / アルバム / トラック / ジャンルを選択する	**再生 (アーティスト)** (例 : アラン テーラー) **再生 (アルバム)** (例 : Songs For The Road) **再生 (トラック)** (例 : Let the Music Flow) **再生 (ジャンル)** (例 : ロック)	有効なメディア ソース内にあるアーティスト / アルバム / トラック / ジャンルのみを発話できます。
現在のトラックと類似の音楽を再生する	**類似の音楽を再生**	

電話用のグローバル ボイス コマンド

✔ 電話が PCM に接続されている。

▹ 「電話」の章（ 190ページ）を参照してください。

希望する操作	その操作方法	情報
リダイヤル機能を開く	**リダイヤル**	
電話番号を入力する	**ダイヤルする** / **番号**0711 911 12345 などを選択します	次のステップでは、システムが電話番号を尋ねます。/ 入力した番号に発信します。
ボイスメールを呼び出す	**ボイスメールを呼び出す**	
連絡先に発信する	**連絡先にダイヤル** / **電話帳を表示**	次のステップでシステムが連絡先の名前を尋ねます。
保存されている連絡先に電話する	**電話する**スミス**(プライベート / 職場 / 一般)**など	連絡先が 1 つ以上の場合、このコマンドにより会話が開始します。 名、姓、またはその両方を発話します。 特定の電話番号を選択することも可能です。
通話履歴を呼び出す	**通話リスト** / **不在着信** / **着信** / **発信番号**	ボイス コマンドは、項目を選択したり、項目に電話をかけたりできるグローバル通話履歴を表示します。
E メール / テキスト メッセージを読み上げる	**E メール** / **テキスト メッセージ**を読み上げる	✔ 接続されている携帯電話が機能に対応している。

ナビゲーションのグローバル ボイス コマンド

希望する操作	その操作方法は?	情報
新しい目的地を入力する	**ルート案内** (例 : 東京都千代田区霞が関 1-3-2/**住所を入力** / **新しい目的地を入力**)	「**ルート案内**」と一文で、または順次言うことでナビゲーションを使用することができます。
ポルシェ コンシェルジュを開始する	**ポルシェ コンシェルジュ**	
目的地履歴を選択してください	**前回の目的地** / **保存した目的地**	
経由地を入力	**経由地を入力**	
目的地として自宅 / 職場を選択する	**自宅へ帰る** / **職場へ行く**	保存されている住所へのナビゲーションを開始します。
保存されている連絡先の住所へのナビゲーション	**ルート案内** (例 : 山田太郎)	次のステップでシステムが連絡先の名前を尋ねます。
目的地または施設情報を検索する	**検索 (施設情報)** (例 : ポルシェ サービス) **検索** (例 : **近くの** / **ルートの途中の** / **経由地の** / **目的地の**イタリアン レストラン)	ブランド名や施設情報のカテゴリーを発話することができます (例: 検索 施設情報 空港)。
目的地をオンライン検索する	**オンライン検索** / **インターネット検索** (例 : パン屋)	サービスは、言語およびマーケットによっては利用できない場合があります。 ▷ 「Porsche Connect」の章（278ページ）を参照してください。
都道府県 / 市区町村を選択する	**都道府県 / 市区町村を入力**	
レストラン / 休憩所 / トイレ / ガソリン スタンドを検索する	**次のレストラン** / **休憩所** / **トイレ** / **ガソリン スタンド**	付近のそれぞれの検索基準を表示します。
ルート案内を開始 / 停止する	**ルート案内を開始 / 停止する**	
燃料残量の決定	**走行可能距離** / **残りの距離** / **タンク情報**	

希望する操作	その操作方法は?	情報
交通情報を呼び出す	**交通情報**	✓ ルート案内を開始している。
到着時間を要求する	**予定到着時刻 / 到着時刻**	✓ ルート案内を開始している。

エアコンのグローバル ボイス コマンド

希望する操作	その操作方法は?	情報
エアコンを ON にする	**エアコンを ON にする**	
温度設定	**エアコンを** (例 : 19 度) に設定	
温度を上げる / 下げる	**温度を** (例 : 2 度) 上げる	
シート ヒーター	**シート ヒーターを ON にする** **シート ヒーターを** (例 : レベル 1) に設定	
シート ベンチレーター	**シート ベンチレーターを ON/OFF** にする **シート ベンチレーターを** (例 : レベル 1) に設定する	
デフロスト モードを ON にする	**デフロスト モードを ON/OFF** にする	
エコ モードを ON にする	**エコ モードを ON/OFF** にする	
内気循環を ON にする	**内気循環を ON/OFF** にする	
イオナイザーを ON にする	**イオナイザーを ON/OFF** にする	
エアコン同期を ON にする	**エアコン同期を ON/OFF** にする	

ポルシェ アクティ ブセーフ (警告およびブレーキ アシスト)[1]

一般的な安全に関する指示

⚠ 警告 システムが使用できないか、使用が制限されています

システムはその制限内でドライバーをサポートしますが、すべての状況下で事故を防ぐことはできません。

事故を回避するために適切な運転を心がけるのは、常にドライバーの責任です。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ システムが利用できない、または期待どおりに機能しない場合、ドライバーは常に車両を制御できるよう備えていなければなりません。

システム制限

システムの制限内で、システムは差し迫った正面衝突を警告し、適切なブレーキ操作を開始できます。[2] すべての通行人および危険な状況を正確に素早く認識できるわけではありません。

車両の横および後方は監視されていません。

複雑な走行状況では、システムが不適切な警告を発したり、不必要なブレーキをかけたりする可能性があります。

システムは歩行速度以上で利用可能で、85 km/h の速度まで歩行者に反応できます。 速度が 250 km/h までの車両に反応できます。

システムは、動物、交差車両、対向車、およびバー、フェンス、列車などの障害物には反応しません。

機能は使用できません

- 後退時。
- ブレーキ ライトが故障している場合。
- PSM が作動不良で OFF になっている場合。
- エアバッグ コントロール ユニットが作動不良の場合。

機能が制限されるか、使用できない可能性があります

- イグニッションを ON にしてから、10 秒後まで。
- シート ベルトが着用されていない場合。
- 急カーブ。
- ガードレールやトンネルの入り口などの反射物。
- 豪雨、降雪、霧、氷。
- フロント ウィンドウに損傷を受けた場合。
- フロント ウィンドウが汚れている場合。

作動原理

特定の危険な状況では、ポルシェ アクティブ セーフ (PAS - 警告およびブレーキ アシスト) は、乗員および他の通行者を保護するための措置を開始できます。

ポルシェ アクティブ セーフには、次の機能が搭載されています[2]:

- 距離警告 (装備仕様により異なる)。
- 警告およびブレーキ機能。
- 予防的乗員保護機能 (装備仕様により異なる)。

フロント ウィンドウの手前にあるカメラは、車両前方の状況を検出します。 通行者との差し迫った前面衝突を検知できます。 システムはドライバーに、視覚、音響、そして必要な場合にブレーキ振動により警告します。 状況によっては、衝突速度を低減するか衝突を回避するため、必要に応じてシステムはドライバーのブレーキ操作をサポートしたり、部分的または完全な減速を開始したりします。

ポルシェ アクティブ セーフの ON/OFF 切り替え

知識

- ▶ ポルシェ アクティブ セーフは、次の状況では OFF にします。
  - けん引する場合。
  - 公道以外を走行する場合。
  - 積載車、鉄道、船舶などで輸送する場合。

▶ **アシスト** ▶ **ポルシェ アクティブ セーフ**

ポルシェ アクティブ セーフが OFF または使用不可の場合、インストルメント クラスターにディスプレイが表示されます。

▷ 「インストルメント クラスター」の章（49ページ）を参照してください。

ポルシェ アクティブ セーフは、イグニッションが ON になると自動的に作動します。

距離警告

ポルシェ アクティブ セーフが前方車両との車間距離が近すぎるために危険を検知した場合、インストルメントクラスターの シンボルによりドライバーに警告します。[2].

車両の速度が約 65～250 km/h の場合に危険を検知できます。

距離警告の設定

▶ **アシスト** ▶ ▶ **アシスタンス システムの設定** ▶ **Porsche Active Safe** ▶ **距離警告**

1. 利用可否は国によって異なります
2. すべての国別仕様で使用可能ではありません。

警告およびブレーキ機能[1]

警告およびブレーキ機能は次の 3 段階で作動します。
– 衝突警告 (表示および警告音)。
– 緊急警告 (ブレーキ圧力)。
– 自動ブレーキおよびブレーキ アシスタンス。

衝突警告

図 173 : インストルメント パネルの衝突警告

衝突警告は、警告音とインストルメント パネルのシンボルによりドライバーに警告します。

衝突警告の設定

衝突警告は OFF/ON 切り替えることができます。 警告時間も設定できます。

▸ **アシスト** ▸ ▸ **アシスタンス システムの設定** ▸ **Porsche Active Safe** ▸ **衝突警告**

緊急警告

ドライバーが衝突警告に対応しない場合、警告音およびインストルメント パネルのシンボルに加えて、ブレーキ振動を与えます。
ブレーキ振動によりドライバーの注意を喚起し、衝突の危険が高まっていることを知らせます。
この警告が出された場合、ドライバーが歩行者を避けたり急ブレーキをかけたりすることで衝突を防げる可能性があります。

自動ブレーキおよびブレーキ アシスタンス

ドライバーが緊急警告に反応しない、またはブレーキが十分ではない場合、警告およびブレーキ アシストは徐々にブレーキを強めていき、ドライバーのブレーキングをサポートしたり車両が停止するまで車両にブレーキをかけたりします。
加えて、警告音が鳴り、インストルメント パネルにシンボル マークが表示されます。
車両を減速させることにより、事故の被害を軽減することができます。

インフォメーション

自動ブレーキ介入は以下の措置により中止できます。
▸ ブレーキ ペダルを踏んでください。
▸ アクセル ペダルをいっぱいまで踏み込みます。
▸ ステアリングを操作します。

インフォメーション

車両が停止しても、それ以降、ブレーキがそのままずっとかけられるわけではありません。
▸ 必要であれば、ブレーキを踏み、車両のコントロールを再開してください。

予防的乗員保護機能

シート ベルト システム最適化

ドライブ開始から、フロントのシート ベルトが徐々に締まり、乗員にとって最適な位置になるように調整されます。 ドライブ スピードが約 30 km/h に達するか、シート ベルトを再度締めるとこの機能が作動します。

シート ベルトおよび車内のプレコンディショニング

事故につながりそうな状況が検知されると、警告およびブレーキ アシストは衝突が起きる前に、予防的保護機能の効果を上げるためいろいろな措置を開始できます。 そのため、状況に合わせてフロントのシート ベルトの可逆的な張力調整が行われたり、ウィンドウを開いて (装置によっては) サンルーフが閉じられたり、フロント シートの両側のボルスターが膨らまされたりします。
乗員の予防的保護措置は、システムの制限内で、運転速度約 30 km/h 以上でドライバーが緊急ブレーキをかけた場合、または車両の自動ブレーキ機能が作動したときに発動します。 衝突の危険がなくなり、運転の状況が安定すると、プレコンディショニング措置は終了し、シート ベルト張力は再び解除されます。

システム制限

繰り返し作動により (安全運転トレーニングなどにおいて)、ベルト張力は徐々に強くなっていき、ベルト張力を正しく解除できなくなることがあります。 この場合、シート ベルトを外して再度着用するかポルシェ アクティブ セーフを無効にします。
事故後、シート ベルト プリテンショナーは損傷している可能性があります。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッ

1. すべての国別仕様で使用可能ではありません。

フが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
PSM の機能が制限されたり OFF になったりしていると、警告およびブレーキ アシストの予防的乗員保護機能も解除されます。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)

概要説明 – PCM

この概要説明は、本項に記載された情報に代わるものではありません。

操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

図 174 : ボリューム スイッチおよび ロータリー プッシュ ボタン

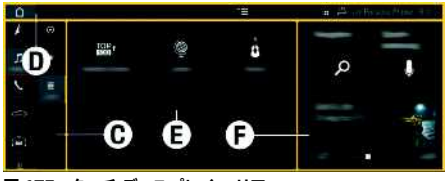


図 175 : タッチ ディスプレイ エリア

希望する操作	操作方法	操作場所
PCM を ON にする	▶ イグニッションを ON にするか、ボリューム スイッチ **A** を押してください。	–
PCM を OFF にする	▶ イグニッションを OFF にするか、ボリューム スイッチ **A** を押し続けてください。	–
音量を調節する	▶ ボリューム スイッチ **A** を回してください。 ミュート : ボリューム スイッチ **A** を短く押してください。	–
ポルシェ　コミュニケーション　マネージメントを操作する	▶ ロータリー プッシュ ボタン **B** で PCM を操作します。	▷ p. 239
メイン メニューおよびサブメニューの内容を使用する	▶ メニュー エリア **C** およびインタラクション エリア **E** を使用します。	▷ p. 238
コンテキスト依存検索機能およびオプション、ディスプレイ接続、ステータス シンボル、戻る機能を使用する	▶ ステータス エリア **D** を使用します。	▷ p. 239
ホーム画面を開く	▶ ステータス エリア **D** ⌂ を選択します。	▷ p. 241

希望する操作	操作方法	操作場所
Info Widget を開いて使用する	▶ 全てのメニュー中の Info Widget F を開いて使用します。	▷ p. 241
ホーム画面 / Info Widget を設定する	▶ ▶ オプション ▶ **ホームを設定/インフォウィジェットを設定する**	▷ p. 241
セット アップ ウィザードを呼び出す	初めて PCM を起動する場合、**セットアップ ウィザード**が表示され、PCM 設定の重要なステップを案内します。 ▶ **設定** ▶ **セットアップ ウィザード**	–
システムおよび車両設定を変更する	▶ **車両** ▶ **制御**	▷ p. 150

ダッシュボードのタッチ ディスプレイ

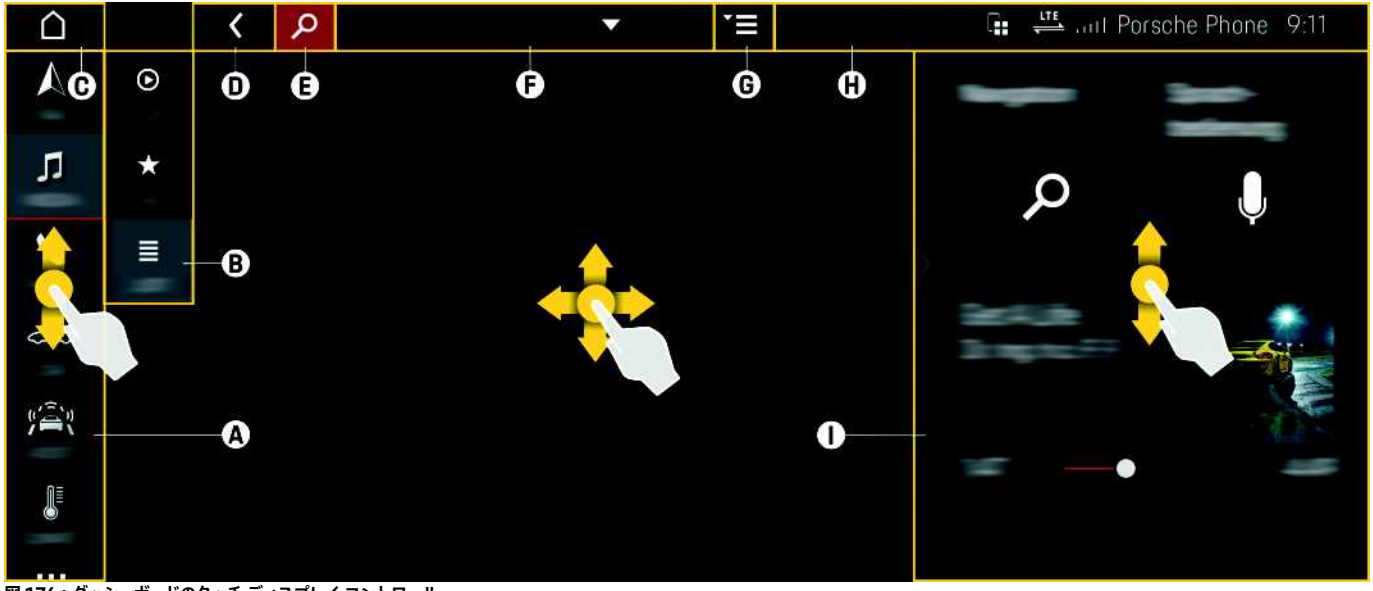


図 176 : ダッシュボードのタッチ ディスプレイ コントロール

A - メイン メニュー

▷ 「メニューを開く」の章（240ページ）を参照してください。

B - サブメニュー

設定によっては、サブメニューは非表示になっており、操作者の手がタッチ ディスプレイに近づくと、メイン メニューが表示されます。

▷ 「車両設定」の章（150ページ）を参照してください。

C - ホーム画面

新車出荷時に設定された機能および個別に設定された機能が表示されます。

さまざまなカテゴリーのコンテンツを個別にタイルにグループ分けすることができます。 タイルによって、該当するメニューに直接ジャンプしたり、機能に直接アクセスしたりすることができます。

さまざまなレイアウトを設定できます。 241ページの 「ホーム画面および Info Widget」の章を参照してください。

D - 戻る

E - コンテキスト依存検索

F - クイック選択付きのヘッダー

例えば、選択したメディア ソースを表示します。 クイック選択をタップして開いてください。

G - オプションおよび各メニュー項目の最も重要な設定

H - 接続およびステータス シンボル

各種の機能および温度や時間などが表示されます。 クイック選択をタップして開いてください。

I - Info Widget

を開くと、新車出荷時に設定された機能および個別に設定された機能が表示されます。 上下にスワイプすると、Info Widget が変わります。
さまざまなカテゴリーのコンテンツを個別にタイルにグループ分けすることができます。 タイルによって、該当するメニューに直接ジャンプしたり、機能に直接アクセスしたりすることができます。
さまざまなレイアウトを設定できます。 241ページの「ホーム画面および Info Widget」の章を参照してください。

操作に関する重要なインフォメーション

マルチファンクション ステアリング ホイールの ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) は、センター コントロール ユニットです。 バッテリーを保護するため、PCM はイグニッションを OFF にしてから数分経過すると自動的に OFF になります。
安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

⚠ 警告 運転中のアプリの設定変更および操作

マルチファンクション ステアリング ホイールやインフォテインメント システムなどの設定と操作は、交通状況に対する注意が逸らされる危険があります。 車両のコントロールを失う恐れがあります。

- 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合にのみコンポーネントを操作してください。
- 安全を確保できない場合は、車列を離れ車両を停車してから詳細な操作や設定を行ってください。

タッチ ディスプレイの操作

図 177 : タッチ ディスプレイの操作

A - タッチ (選択)

タッチス ディスプレイを指で素早くタップします。
例 : 機能を選択する、またはボックスをチェックする / チェックを外します。

B - 長押し

タッチ ディスプレイを指で長くタッチします。 例 : メディア メイン メニューでお気に入りとして放送局を保存します。

C - 左右にスワイプ

タッチスクリーンを指で左右にスワイプします。 例 : お気に入りを左右にスクロールします。

D - 上下にスワイプ (スクロールとスイッチ)

タッチスクリーンを 1 本の指で上下にスワイプします。 例 : リスト内を手動でスクロールするか、Info Widget を変更します。

E - 上下にスワイプ (スイッチ)

タッチスクリーンを 2 本の指を使って上下にスワイプするとナビゲーション メイン メニューの地図が傾きます。

F - ズーム

2 本の指をディスプレイに触れたまま指を広げる、または指を狭めます。 タッチ ディスプレイを 2 回タップすると、そのセクションが拡大表示されます。

ロータリー プッシュ ボタンとボタンで PCM を操作する

図 178 : ロータリー プッシュ ボタンの操作

- 希望の機能がハイライト表示されるまで、ロータリー プッシュ ボタン **A** を回します。
- ロータリー プッシュ ボタン **A** を押して、ハイライト表示された機能を有効にします。
- ボタン ↩ **B** で 1 つ前のメニューへ移動します。
- 各メニュー項目の最も重要な設定を開くには、ボタン **OPT C** を使用する

メニューを開く

メイン メニューを開く

- タッチ ディスプレイでメニューを選択します (例 : NAV)。

サブメニューの呼び出し

- タッチ ディスプレイでメニュー項目を選択します (例 : マップ)。

各メニュー項目の設定を開く

✓ 希望のメニューが選択されました。

- オプション を選択します。
  該当するメニューの設定および他の機能が表示されます。

時刻または温度ディスプレイの設定

- ヘッドラインの時間 9:11 または温度を選択して、表示を設定します。

PCM および画面の明るさの設定方法 :

▷ 「車両設定」の章（150ページ）を参照してください。

テキストおよび文字の入力

ナビゲーション目的地や検索用語の入力など、テキストや文字を入力する必要がある場合はすぐに、入力フィールドが表示されます。
PCM では、キーボード言語を設定できます。

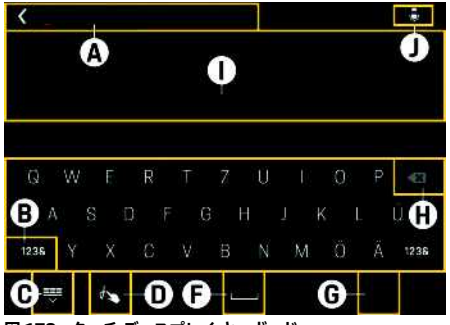


図 179 : タッチ ディスプレイ キーボード

A 現在のカーソル位置
B 文字、数字、および特殊文字の入力切り替え
C キーボードの表示 / 非表示
D 手書き入力 (タッチ ディスプレイを使用してアルファベットや文字を入力する)
F スペースの挿入
G 入力の確定
H 入力データの削除
I 結果リスト
J 音声入力 (国別仕様による)

テキストや文字の入力には様々なオプションがあります :

キーボードによる入力

1. 希望の入力フィールドを選択してください。
   タッチ ディスプレイ キーボードが表示されます。
2. 希望のテキストまたは文字を入力してください。

ロータリー プッシュ ボタンによる入力

1. 希望のアルファベットや文字がハイライト表示されるまで、ロータリー プッシュ ボタン （図 178）を回してください。
2. ロータリー プッシュ ボタンを押し、ハイライトされたアルファベットまたは文字を決定してください。
3. ボタン を使用して、文字入力フィールドから結果リストへとジャンプします。
4. ボタン を使用し、文字入力フィールドから結果リストへとジャンプします。

手書き入力による入力

手書き入力による入力

手書き入力では、手書き文字認識機能により指でテキストや文字を書くことができます。

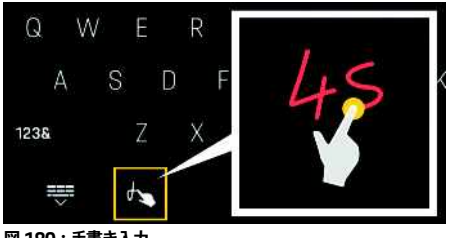


図 180 : 手書き入力

1. を選択して手書き入力を開きます。
2. 指で入力したい文字を書いてください。
3. スペースを入力するには、左から右に指でスワイプします。
4. エントリーを削除するには、右から左に指でスワイプします。

音声入力による入力

ボイス コントロールを使用して、テキストや数字を入力することも可能です (例 : 電話番号をダイヤルするときや、ナビゲーション目的地を入力するときなど)。

▷ 「ボイス コントロール」の章（228ページ）を参照してください。

ホーム画面および Info Widget

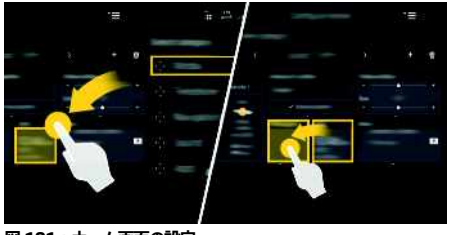


図 181：ホーム画面の設定

ホーム画面の設定

1. ▸ オプション ▸ **ホームを設定**
2. 希望するカテゴリーを選択し、ドラッグ アンド ドロップで、左側にあるレイアウト上の任意のタイルを選択したまま、ドラッグしてください。
3. タイルをスワイプして、希望の表示内容を選択してください。
4. 左側のレイアウトからタイルを取り除くには、ドラッグ アンド ドロップで削除したいタイルを上方向にドラッグするか、別のタイルと入れ替えてください。

ホーム画面のレイアウトを設定するには、**レイアウトを切り替える**を選択します。

インフォメーション

タイルは、他の任意のタイルにドラッグ アンド ドロップで移動させることもできます。

ホーム画面からのタイルの削除

▸ ▸ オプション ▸ **削除モードを有効にする**

Info Widget の設定

1. ▸ オプション ▸ **インフォ ウィジェットを設定する**
2. 希望するカテゴリーを選択し、ドラッグ アンド ドロップで、左側にあるレイアウト上の任意のタイルを選択したまま、ドラッグしてください。
3. タイルをスワイプして、希望の表示内容を選択してください。
4. 左側のレイアウトからタイルを取り除くには、ドラッグ アンド ドロップで削除したいタイルを上方向にドラッグするか、別のタイルと入れ替えてください。

Info Widget のレイアウトを設定するには、**レイアウトを切り替える**を選択します。

インフォメーション

タイルは、他の任意のタイルにドラッグ アンド ドロップで移動させることもできます。

Info Widget からのタイルの削除

▸ ▸ オプション ▸ **インフォ ウィジェットを設定する** ▸ オプション ▸ **削除モードを有効にする**

PCM でマニュアルを開く

✓ 車両は停止している。

▸ **車両** ▸ **コントロール** ▸ **取扱説明書**

インターフェイスおよび外部接続機器に関する注意事項

– 記憶媒体にファイル、フォルダーまたはプレイリストが多数格納されている場合、媒体のトラックを最初に読み込むのに時間がかかる場合があります。
– オーディオ ファイルの再生時は、記録された追加情報 (アーティスト、タイトル、アルバム カバーなど) が自動的に表示されます。 該当する情報が媒体に記録されていない場合は、利用可能なインターネットのデータベースが利用されます。 それでも特定の追加情報が表示されない場合があります。
– USB 延長ケーブルやアダプターを使用しないでください。 性能が損なわれる原因になります。
– USB ハブには対応していません。
– ポルシェ社は、ファイルやメディアの損傷や紛失に対していかなる責任も負いかねます。

対応するメディアおよびファイル形式に関するテクニカル データ:

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（236ページ）を参照してください。

インターフェイス

アームレスト内のインターフェイスの使用

図 182 : アームレスト内のインターフェース

A　SIM カード リーダー
B　SD カード リーダー
C　USB インターフェース (タイプ A)

SD カードを挿入する

知識

SD カードを正しく使用しない場合、 ポルシェ　コミュニケーション　マネージメント を損傷する恐れがあります。

SD カード アダプターを使用すると、振動により SD カードがアダプターから外れて各カードが SD カード リーダーに詰まる恐れがあります。

- SD カード アダプターは使用しないでください。

1. SD カードのラベル面を上にして、SD カード リーダー **B** にしっかりはまるまで押し込みます。
2. **メディア** ▸ **再生** ▸ (ヘッダー部) から希望のメディア ソースを選択します。

SD カードを取り出す

- 挿入されている SD カードを押して、SD カードを取り出します。

USB を介して外部機器を接続する

1. アームレストを開きます。
2. 外部機器 (iPod、USB 記憶メディアなど) を USB インターフェース (タイプ A) **C** に接続します。
3. **メディア** ▸ **再生** ▸ (ヘッダー部) から希望のメディア ソースを選択します。
4. 外部機器および PCM の音量を必要に応じて調節します。

ミラー

ドア ミラーの使用

⚠ 警告 ドア ミラーに周囲がゆがんで映るため、交通状況を正しく評価できないことがあります

凸面のミラーには車両や物体が実際より小さく、また実際より遠くにあるように映ります。 走行状況および事故を正しく評価できない場合があります。

- 後方の車両との距離を推測する際や駐車する際、ミラーにはゆがんで映るということを考慮に入れてください。
- 距離を判断する際にはルーム ミラーも使用してください。

⚠ 注意 電解液の流出

破損したミラーからは電解液が流出する可能性があります。 この液体は皮膚や目の炎症を引き起こします。

- 電解液が皮膚や目にかかった場合、清潔な水で直ちに洗い流してください。
- 必要に応じて、医師の診察を受けてください。

知識

塗装、レザー、プラスチック、布を損傷する恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

知識

自動洗車機で洗車する際にドア ミラーを損傷する危険があります。

- ドア ミラーを格納してから自動洗車機を使用してください。

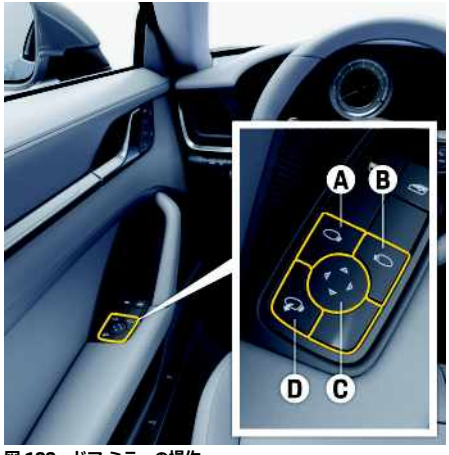


図 183 : ドア ミラーの操作

A 左側のドア ミラーの選択
B 右側のドア ミラーの選択
C ドア ミラーの調節
D ドア ミラーの格納および復帰 (装備により異なる)

ドア ミラーの調節

図 184 : ドア ミラーの調節

✓ イグニッションが ON になっている。
– または –
OFF にして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態 (最大 10 分以内)。

1. 左ドア ミラーはボタン **A**、右ドア ミラーはボタン **B** を押します。
   選択したボタンの シンボルが赤色に点灯している間は、該当するドア ミラー ガラスを調節できます。
2. 調節ボタン **C** を押して、ドア ミラーの角度を正しい位置に調節します。

電動機能が故障した場合

- ミラーの表面を押してミラーを調節します。

ドア ミラーの格納および復帰

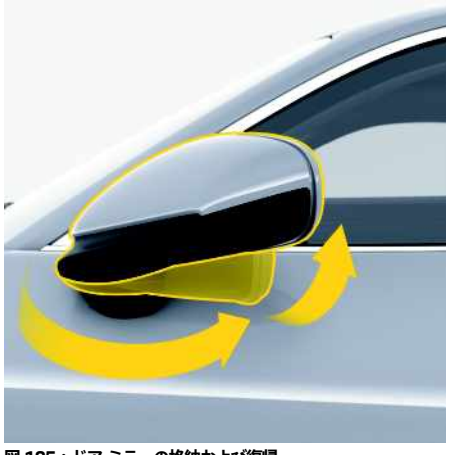


図 185 : ドア ミラーの格納および復帰

ドア ミラーの手動格納

- ミラー ハウジングを手でいっぱいまで上方に回転させてください。

ドア ミラーの手動復帰

- ミラー ハウジングを手でいっぱいまで下方に回転させてください。

ドア ミラーの電動格納および復帰 (装備により異なる)

✓ 約 50 km/h (30 mph) の最高速度。
- ボタン **D**（図 183）を押してください。
  両方のドア ミラーが格納または復帰します。

電動格納機能が故障した場合

- ドア ミラーを手で格納または復帰してください。

車外からのドア ミラーの格納および復帰

車両がロックされるときに、ドア ミラーを格納することが可能です。

- キーの 🔒 ボタンを 1 秒以上押し続けてください。
  コンフォート アクセス 装備車両の場合 : 運転席側のドア ハンドルの近接センサーに 1 秒以上触れてください。
  ドア ミラーが格納します。

ドア ミラーの自動復帰

- イグニッションを ON にします。
  ドア ミラーが自動的に復帰します。

ドア ミラーの自動格納および復帰 (装備により異なる)

ドア ミラーのドア ミラーの自動格納および復帰機能は PCM で調節可能です。

機能を作動させる

- **車両** ▸ **制御** ▸ **車両** ▸ **ロック** ▸ **格納ミラー**

ドア ミラーの自動格納

✓ 機能が作動しています。
- 車両をロックしてください。
  ドア ミラーが自動的に格納します。

ドア ミラーの自動復帰

✓ 機能が作動しています。
- イグニッションを ON にします。
  ドア ミラーが自動的に復帰します。

インフォメーション

ボタン **D**（図 183）を押して手動でドア ミラーを格納した場合、イグニッションを ON にしてもドア ミラーは自動的には開きません。

ドア ミラー設定の保存

メモリー パッケージ装備車では、個々のドア ミラーの設定を、そのとき使用しているキーや運転席ドアのメモリー ボタンに保存することができます。

▷ 「パーソナル設定」の章（213ページ）を参照してください。

ドア ミラーの自動防眩機能の ON/OFF

ルーム ミラーの自動防眩機能の切り替えに合わせて、ドア ミラーの防眩機能が作動します。

▷ 「ルーム ミラーの自動防眩機能の ON / OFF」の章（246ページ）を参照してください。

駐車時の助手席ドア ミラー下向き自動切り替え

メモリー パッケージ装備車では、リバース (後退) ギヤを選択すると、**助手席側**ドア ミラーが自動的に少し下向きになり、助手席側の車両後方下部にある障害物を視認しやすくなります。

図 186 : 駐車時の助手席ドア ミラー下向き自動切り替え

ドア ミラーを自動で下向きにする

助手席側のミラー ガラスの下向きの角度は、PCM で調節することができます。

機能を作動させる

▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **車両設定** ▸ **ライトと視界** ▸ **リバース** ▸ **ミラーの降下**

✔ イグニッションが ON になっている。
✔ リバース (後退) ギヤに入っている
✔ 機能が作動しています。

ドア ミラーを手動で下向きにする

メモリー パッケージ装備車では、助手席側ドア ミラーを下向きにすることができます。

1. ギヤをリバース (後退) に入れてください。
   のシンボルは、助手席側ドア ミラーの点灯を調節するためです。
2. 右側のドア ミラーを調節するには、ボタン B を押します。(右ハンドル車ではボタン A)。
   助手席のドア ミラーが下向きになります。

ドア ミラーの下向き角度の個別調整:

▸ 調節ボタン C を操作して、ドア ミラーの角度を希望の位置に調節してください。

メモリー パッケージ装備車では、この設定をそのとき使用しているキーや運転席ドアのメモリー ボタンに保存することができます。

車両設定の取り出しおよび保存に関するインフォメーション:

▹ 「パーソナル設定」の章（213ページ）を参照してください。

ドア ミラーを通常位置に戻す

次の場合、ドア ミラーが通常の位置に戻ります:

– リバース (後退) 以外のギヤを選択してから一定時間が経過した後、または
– 速度が 15km/h 以上になったとき

手動操作で助手席のドア ミラーを通常位置に戻す:

▸ 運転席ドア ミラーのボタン A を押してください。

ルーム ミラーの手動防眩

図 187 : ルーム ミラーの手動防眩

ミラーを調節するときは、防眩機能のレバー A を車内側に向けてください。

▸ 基本設定 - レバーを車内側に向けてください。
▸ ロー ビーム位置 - レバーをフロント ウィンドウ側に回してください。

ルーム ミラーの自動防眩機能の ON / OFF

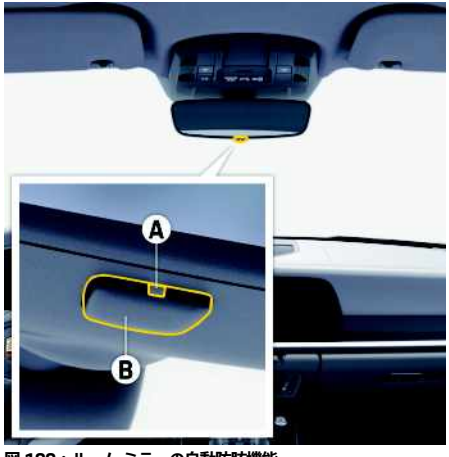


図 188 : ルーム ミラーの自動防眩機能

自動防眩機能を ON にする

- ボタン **B** を押してください。
  インジケータ ライト **A** が点灯します。
  光の強さに応じて防眩機能が自動的に作動し、ルーム ミラーが暗くなったり、明るくなったりします。

インフォメーション

リバース ギヤに入れた場合、**または**インテリア ライトが点灯している場合は、ルーム ミラーの自動防眩機能は作動しません。

自動防眩機能を OFF にする

- ボタン **B** を押してください。
  インジケーター　ライト **A** が消灯します。

注意 電解液の流出

破損したミラーからは電解液が流出する可能性があります。 この液体は皮膚や目の炎症を引き起こします。

- 電解液が皮膚や目にかかった場合、清潔な水で直ちに洗い流してください。
- 必要に応じて、医師の診察を受けてください。

知識

塗装、レザー、プラスチック、布を損傷する恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

メディア

概要説明 - メディア

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。 操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

以下の操作に関するインフォメーション： ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM):

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（236ページ）を参照してください。

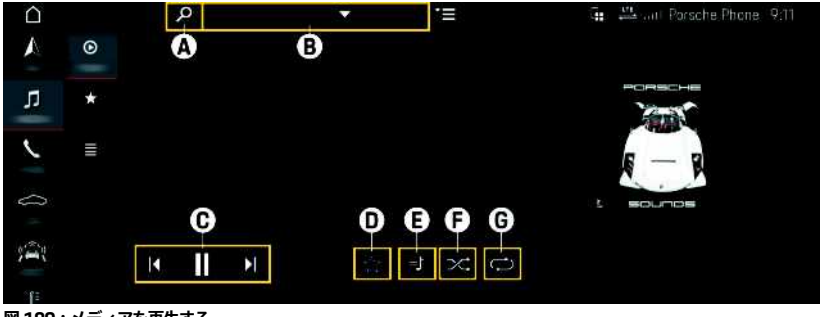


図 189：メディアを再生する

希望する操作	操作方法	操作場所
メディア ソースを読み込む	– SD カードを挿入してください。 – USB を介して外部機器を接続します。	▷ p. 242
	– Bluetooth® を介して外部機器を接続します。	▷ p. 183
放送局 / トラック / アルバムを検索する (検索結果は現在選択されているメディア ソースに関連したものです)	▸ **メディア** ▸ メディア ソースを呼び出してください (A を参照) ▸ 希望の放送局 / トラックを入力してください。	–
メディア ソース / 受信範囲を選択する	▸ **メディア** ▸ **再生** ▸ メディア ソースを呼び出してください (B を参照) ▸ メディア ソースを選択してください (例：**FM**)。	–
音楽を再生 / 一時停止する	▸ **メディア** ▸ **再生** ▸ または を選択します (**C** を参照)。	–
次 / 前の放送局 / トラックを再生する	▸ **メディア** ▸ **再生** ▸ または を選択します。	–

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

希望する操作	操作方法	操作場所
放送局 / トラック / アルバムをお気に入りとして保存する	▸ **メディア** ▸ (D を参照)	▷ p. 248
放送局 / トラックのリストを表示する	▸ **メディア** ▸ **リスト** 選択したメディア ソースに応じて、**プレイリスト**、**アーティスト** などのサブフォルダーを利用できます。	–
周波数帯または番号を入力して選局する	▸ **メディア** ▸ **選局** ▸ または を選択します。	–

メディアを再生する

利用できるラジオおよびメディア ソース

ラジオは FM および AM (国による) 周波数帯をサポートしています。
装備によっては、次のメディア ソースが利用できます。SD カード、USB または Bluetooth® 経由の外部機器、オンライン メディア サービス。
対応するメディアおよびファイル形式に関するテクニカル データ:
▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（312ページ）を参照してください。

メディア再生中の他の機能

✓ **メディア** ▸ **再生** が選択されています。
概要説明の機能に加え、以下の機能が利用可能です（図 189）：
– 現在の再生リストを表示する：(E を参照)
– ランダム再生を有効にする：(F を参照)
– トラックをリピート：(G を参照)
– 類似の音楽を提案する：**類似の音楽を再生**

お気に入りの保存および編集

お気に入りの保存

1. **メディア** ▸ **お気に入り**
2. 希望する放送局 / 曲を**最近再生したもの**エリアから選択して、**お気に入り**エリアにドラッグ & ドロップで移動させます。

お気に入りの整理

1. **メディア** ▸ **お気に入り**
2. 希望する放送局 / 曲を押して、希望する場所に移動させます (ドラッグ & ドロップ)。

お気に入りの削除

1. **メディア** ▸ **お気に入り**
2. 希望する放送局 / 曲を選択して、ドラッグ & ドロップで**お気に入り**表示エリアから上に移動させます。
   – または –
   利用可能な場合、アイコン をメディア ▸ **再生** /**リスト** で選択して**お気に入り**エリアから以前保存したお気に入りを削除します。

メディア設定の変更

▸ **メディア** ▸ オプション ▸ 必要な設定を選択します。

ライト

ライトの概要説明

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。 操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

図 190 : ライト コントロール パネル

希望する操作	操作方法	操作場所
オートマチック ヘッドライトを ON にする	▶ AUTO ボタンを押してください。 AUTO ボタンが赤色に点灯します。 オートマチック ヘッドライトおよび ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) が ON になっている。	▷ p. 250
パーキング ライトを ON にする	▶ ボタン を押してください。 ライセンス ライト、インストルメント ライト、およびサイド ライトが ON になります。	–
ロー ビームを ON にする	✓ イグニッションが ON になっている。 ▶ ボタン を押してください。 ロー ビームが ON になります。 オートマチック ヘッドライト、デイタイム ドライビング ライトおよび ポ	–

希望する操作	操作方法	操作場所
	ルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) が OFF になっている。	
リヤ フォグ ライトを ON にする	▸ ボタン を押してください。	–
エクステリア ライトを完全に OFF にする	▸ ボタン を約 2 秒押してください。 **AUTO** ボタンが消灯します。 すべてのエクステリア ライトは、10 km/h 以下または 100 m 以下の走行のときには消灯したままです。	▹ p. 250

オートマチック ヘッドライト / エクステリア ライトの ON/OFF の切り替え

⚠ 警告 ライトが点灯していない状態での走行

ライトが点灯していない状態で走行すると、視界が大幅に悪くなり、他の通行者からも車両が見えていない恐れがあります。

- ▸ オートマチック ヘッドライトを慎重に監視し、必要に応じてロー ビーム ヘッドライトを手動で ON にします。
- ▸ 特定の国では、ロー ビーム ヘッドライトを使用した走行に関する法律を遵守してください。

オートマチック ヘッドライトを ON にする

- ▸ **AUTO** ボタンを押してください。
  AUTO ボタンが赤色に点灯します。

次のような状況では、ロー ビームは自動的に ON になります：

– 夕暮れ時
– 夜間
– トンネル内走行時
– 雨天時

ロー ビームが ON になると、インストルメント パネルのインジケーター ライト が点灯します。

インフォメーション

オートマチック ヘッドライトは、霧を感知しません。

- ▸ 霧の場合には、前照灯と後部フォグライトのスイッチを手動で入れてください。

エクステリア ライトを完全に OFF にする

- ▸ ボタン を約 2 秒押してください。
  AUTO ボタンが消灯します。

次のような状況では、自動ライトは再度 ON になります (国によって異なります)：

– 10 km/h 以上の速度
– エクステリア ライトを OFF にした後 100 m 以上走行した場合

インフォメーション

気温と湿度により、車両のエクステリア ライトが曇ることがあります。十分な距離を走行することで、この曇りは取れます。

オートマチック カミング ホーム ライトの調整

✓ オートマチック ヘッドライトが ON になっている。

車両に乗降するときの足元を明るく照らすため、以下のライトが一定時間 ON になることがあります：

車両の最後のドアが閉じられる、または車両のロック解除後、以下のライトが ON になります：

– デイタイム ドライビング ライト
– ロー ビーム カーテシー (PDLS Plus)
– 開いた状態の格納式ドア ミラーのドア カーテシー ライト
– フロントおよびリヤの車幅灯
– ライセンス ライト

イグニッションが ON、またはオートマチック ヘッドライト が OFF になると、再度 OFF になります。

遅延消灯の時間は設定できます。

- ▸ **車両** ▸ **制御** ▸ **車両** ▸ **ライトと視界** ▸ **エクステリア ライト** ▸ **フェードアウト**

LED ヘッドライト装備のポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus)

✓ オートマチック ヘッドライトが ON になっている。

ダイナミック コーナリング ライト

約 5 km/h 以上の速度で走行している場合、そのときの速度やステアリグ ホイールの切れ角によって、コーナーの先に向けてロー ビームまたはハイ ビーム ヘッドライトが向きを変え、進行方向の路面を照らします。

状況に応じた配光分布

国別仕様によっては、状況に応じたライト制御によりロー ビームおよびハイビーム ヘッドライトの配光を市街地、郊外道路または高速道路の走行に適応します。

悪天候のライト

速度が約 60 km/h 未満でリヤ フォグ ライトが点灯している場合、ロー ビームの配光特性が変化します。 このときドライビング ライトは、眩しさを抑えるように照射され、より広範囲が見えるように照射エリアが広がります。

ハイ ビーム アシスト

図 191 : フロント ウィンドウ カメラ

ルーム ミラー付近に取り付けられたカメラ **A** により光源や他の通行者を検出することができます。 他の車両の位置、スピード、および他の環境や交通状況に応じて、ロー ビームからハイ ビームに切り替わり、再び戻ります。

ハイ ビーム ヘッドライトは約 30 km/h から約 60 km/h の間で利用可能です。 カメラが街路灯を検出した場合、ハイ ビームからロー ビームに切り替わります。

⚠ 警告 ハイ ビーム アシストを作動させて走行している際の集中力の低下

ハイ ビーム アシストを使用している場合でも、運転中にライトの状態、視界および交通状況などに応じて手動でハイ ビームを調整することはドライバーの責務です。 このシステムはあくまでも補助的な機能のため、運転時には細心の注意を払ってください。 以下の状況では、手動の操作が必要となります。

- 雨、霧、雪、氷、多量の水しぶきなどの悪天候時。
- 自動車専用道路など、対向車が一部確認しづらい道路。
- 自転車など、暗い照明の通行者がいる場合。
- 狭いカーブ、急な傾斜路の頂上や山道。
- 照明の暗い市街地。
- 標識などの強い反射が発生する場合。
- カメラ部分のフロント ウインドウが曇っている、汚れている、氷で覆われている、あるいはステッカーで塞がれている場合。

▸ 十分注意して運転してください。
▸ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
▸ 必要に応じて、ハイ ビームを照明、視界、交通状況に手動で合わせてください。

インフォメーション

検出挙動を妨害しないようにすること：

▸ ルーム ミラーのカメラの視界をステッカーなどで遮らないでください。
▸ カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などが付着していない状態を保ってください。

ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) を組み込んだ LED マトリックス ヘッドライト

✓ オートマチック ヘッドライトが ON になっている。

PDLS Plus LED マトリックス ヘッドライト (PDLS Plus 機能付)。

▷ 「LED ヘッドライト装備のポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus)」の章（251 ページ）を参照してください。

ダイナミック ハイ ビーム

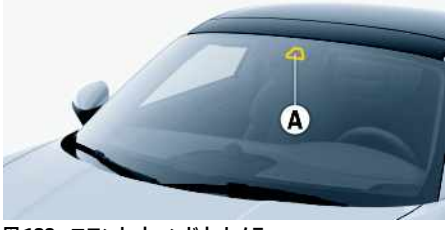


図 192 : フロント ウィンドウ カメラ

ルーム ミラー付近に取り付けられたカメラ **A** により光源や他の通行者を検出することができます。 他の車両の位置、スピードおよび他の環境や交通状況に応じて、ハイ ビーム ヘッドライトの各 LED セグメントを有効または無効にすることができます。 車両の前方周囲のビームは低く、残りは高いままです。 これにより

他の通行者が眩惑することなく、確実に最も効果的な方法で環境を照らすことができます。
ダイナミック ハイ ビームは、ナビゲーション データに応じて車速 30 km/h~60 km/h で ON または OFF になります。 カメラが街灯を検出した場合、ハイ ビームからロー ビームに切り替わります。

⚠ 警告 ダイナミック ハイ ビームを作動させて運転している際の集中力低下

ダイナミック ハイ ビームを使用している場合でも、運転中にライトの状態、視界および交通状況などに応じて手動でハイ ビームを調整することはドライバーの責務です。 このシステムはあくまでも補助的な機能のため、運転時には細心の注意を払ってください。 以下の状況では、手動の操作が必要となります。

- 雨、霧、雪、氷、多量の水しぶきなどの悪天候時。
- 自動車専用道路など、対向車が一部確認しづらい道路。
- 自転車など、暗い照明の通行者がいる場合。
- 狭いカーブ、急な傾斜路の頂上や山道。
- 照明の暗い市街地。
- 標識などの強い反射が発生する場合。
- カメラ部分のフロント ウインドウが曇っている、汚れている、氷で覆われている、あるいはステッカーで塞がれている場合。

▸ 十分注意して運転してください。
▸ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
▸ 必要に応じて、ハイ ビームを照明、視界、交通状況に手動で合わせてください。

i インフォメーション

検出挙動を妨害しないようにすること：
▸ ルーム ミラーのカメラの視界をステッカーなどで遮らないでください。
▸ カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などが付着していない状態を保ってください。

パッシング ライト

✓ 対向車なし。
✓ 前走車。
▸ 運転中に追い越す場合、方向指示灯を作動させてください。
前方走行車両の隣の領域が明るく照らされます。これにより、前方の道路が見やすくなります。
ターン シグナルが OFF になった場合または対向車が検出された場合、パッシング ライトは自動的に再び OFF になります。

検知ライト

✓ 前走車なし。
✓ ヘッドライトを点灯した対向車の検出。
走行中のレーンが明るく照らされるように、配光特性が素早く変わります。 こうすることで、視線が走行中のレーンに向くようにします。 対向車によるドライバーの眩惑を軽減します。

標識の眩しさの軽減

✓ ダイナミック ハイ ビームが ON になっている。
反射式の交通標識や他の標識の眩しさによって (特にハイ ビームを使用して運転する際) ドライバーが眩惑する場合があります。
標識の眩しさ軽減機能は、素早く車両のローまたはハイ ビーム ヘッドライトの各 LED セグメントを適切に調整します。 反射式の交通標識や他の標識による、ドライバーの眩惑を軽減します。

オートマチック ヘッドライト較正

✓ 車両の直ぐ近くに障害物はありません。
✓ 壁など照射対象表面の前方に、可能な限り真っ直ぐな位置に車両を置きます (距離 > 5 m)。
✓ 基準走行中の停止時にロー ビームは作動します。
状況が適切だと、自動ヘッドライト較正は自動的に開始します (アンビエント ライト、照射対象の表面が適切)。 ヘッドライトの LED セグメントは較正中、右から左へ繰り返し自動的に作動および停止し、カメラ A により検出されます。
較正はヘッドライト アライメントを確認するために使用され、ヘッドライトの手動調整に代わるものではありません。

方向指示器 / ハイ ビーム レバーの操作

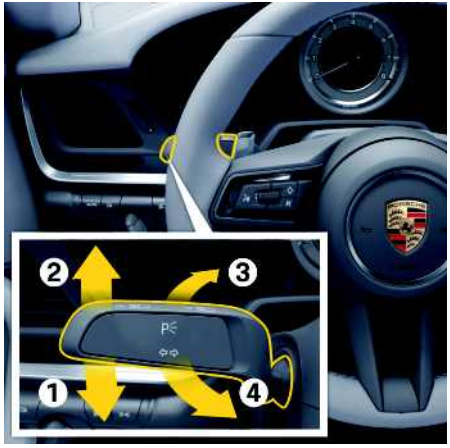


図 193 : 方向指示器、ハイ ビーム、およびヘッドライト パッシングの操作

1 方向指示器 / 左側パーキング ライト
2 方向指示器 / 右側パーキング ライト
3 ハイ ビーム / ダイナミック ハイ ビーム
4 ヘッドライト パッシング

方向指示器の操作

- 操作レバーを抵抗を感じる位置 **1** または **2** まで動かします。 方向指示器は、操作レバーを手動で初期位置に戻すか、ステアリング ホイールを回したときに自動的に初期位置に戻るまで、作動したままになります。

コンフォート方向指示

- 抵抗を感じる位置 **1** または **2** まで操作レバーを 1 度動かします。

  方向指示器が 3 回点滅します。
- コンフォート方向指示を中断するには、反対方向に操作レバーを押します。

ハイ ビームの ON および OFF の切り替え

✓ PDLS Plus 非装備 PDLS Plus
– または –
ハイ ビーム アシスト / ダイナミック ハイ ビームが停止している。

ON にする

- 抵抗を感じる位置 **3** まで 1 度操作レバーを動かします。

  インジケーター ライト が点灯します。

OFF にする

- 抵抗を感じる位置 **4** まで 1 度操作レバーを動かします。

  インジケーター ライト が消灯します。

ハイ ビーム アシストの作動および停止

✓ ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (-PDLS Plus) を組み込んだ LED ヘッドライト
✓ オートマチック ヘッドライトが ON になっている。
✓ ハイ ビーム アシストが作動している。
  ▹ 「車両設定」の章（ 150ページ）を参照してください。

作動

- 抵抗を感じる位置 **3** まで 1 度操作レバーを動かします。

  インジケーター ライト が点灯します。 他の車両の位置、スピードなどの様々な要因に応じて、ロー ビーム ヘッドライトがハイ ビーム ヘッドライトに切り替わったり戻ったりします。 ハイ ビームが作動すると、インジケーター ライト が点灯します。

解除

- 抵抗を感じる位置 **4** まで 1 度操作レバーを動かします。

  インジケーター ライト が ON になっているときのみ、ハイ ビーム アシストを停止することができます。

ハイ ビーム アシストの作動条件が満たされない場合、手動でハイ ビームの点灯 / 消灯を切り替えることができます。

手動で ON にする

- 抵抗を感じる位置 **3** まで 2 度操作レバーを動かします。

  インジケーター ライト が点灯します。

手動で OFF にする

- 抵抗を感じる位置 **4** まで 1 度操作レバーを動かします。

  インジケーター ライト が消灯します。

ダイナミック ハイ ビームの作動 / 停止

✓ ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (-PDLS Plus) を組み込んだ LED マトリックス ヘッドライト
✓ オートマチック ヘッドライトが ON になっている。
✓ ダイナミック ハイ ビームが作動している。
  ▹ 「車両設定」の章（ 150ページ）を参照してください。

作動

- 抵抗を感じる位置 **3** まで 1 度操作レバーを動かします。

  インジケーター ライト が点灯します。 他の車両の位置、スピードなどの様々な要因に応じて、ハイ ビーム ヘッドライトの各 LED セグメントが点灯したり消灯したりします。 ハイ ビームの部分的な点灯時または完全な点灯時には、インジケーター ライト が点灯します。

解除

- 抵抗を感じる位置 **4** まで 1 度操作レバーを動かします。

  インジケーター ライト が ON になっているときのみ、ダイナミック ハイ ビームを無効にすることができます。

ダイナミック ハイ ビームを停止した場合、または作動条件が満たされなかった場合、手動でハイ ビームの点灯 / 消灯を切り替えることができます。

手動で ON にする

- 抵抗を感じる位置 **3** まで 2 度操作レバーを動かします。

  インジケーター ライト が点灯します。

手動で OFF にする

- 抵抗を感じる位置 **4** まで 1 度操作レバーを動かします。

  インジケーター ライト が消灯します。

ヘッドライト パッシングを操作する

- 抵抗を感じる位置 **4** まで 1 度操作レバーを素早く押します。

  インジケーター ライト が短時間点灯します。

パーキング ライトの ON/OFF の切り替え

✓ イグニッションが OFF になっている。

- 抵抗を感じる位置 **2** または **1** まで操作レバーを押すと右または左側のパーキング ライトが点灯します。

  パーキング ライトが点灯している場合は、イグニッションを OFF にしてドアを開くとインストルメント クラスターにメッセージが表示されます。

ハザード ライトの ON/OFF

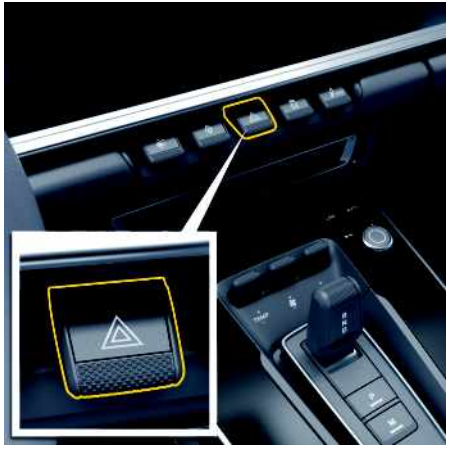


図 194 : ハザード ライトの ON/OFF

ハザード ライトの ON/OFF

- スイッチ パネルのボタンを押します。
  すべての方向指示器とボタンが点滅します。

緊急ブレーキ後のハザード ライトの解除

約 70 km/h 以上の速度で走行中、停車するために急ブレーキをかけるとハザード ライトが自動的に作動します。 ブレーキ中にブレーキ ライトが点滅します。

- センター コンソールのハザード ライト ボタンを押して、ハザード ライトを消灯してください。 車両が動き出すと、ハザード ライトは自動的に消灯します。

事故後のハザード ライト

エアバッグが作動する事故が起きた場合、ハザード ライトが自動的に作動します。

海外モードの作動

車両通行帯 (右側通行または左側通行) が異なる国で走行する場合は、ヘッドライトの配光を調整する必要があります。 これによりロー ビームの照射方向が左右対称に切り替わり、対向車のドライバーの幻惑を防ぐことができます。

配光の適応は、通常、ナビゲーションデータに基づいて自動的に行われます。

変更後は、イグニッションを ON にするたびにインストルメント パネルにメッセージが表示されます。

自動的に変更が行われない場合 :

- **車両 ▸ 制御 ▸ 車両設定 ▸ ライトと視界 ▸ 外部ライト ▸ 反転**

- 帰国したときは、ヘッドライトを元に戻すことを忘れないでください。

バルブの交換

車両のライトおよびインテリア ライトにはロングライフ LED が装備されています。 LED は個別に交換できません。

ランプの取り外しおよび取り付けには、大きな努力が求められます。

- 壊れたバルブとランプの交換または修理は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

知識

摩耗と過剰な温度により、ヘッドライトが損傷する可能性があります。

- ヘッドライト エリアにカバー (ストーン ガードやフィルムなど) を装着しないでください。

ラゲッジ コンパートメント

荷物の積載

⚠ 警告 車両に荷物が載っている時の車両操縦性の変化

車両に載せた荷物に応じて、車両操縦性は変化します。

- ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。

⚠ 警告 固定されていない、あるいは固定方法や固定位置が正しくない荷物

固定していなかったり不適切な位置に載せられた荷物は、ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に、滑り出して乗員がケガをする恐れがあります。

- 固定していない荷物を輸送しないでください (事故、ブレーキ、コーナリング)。
- 荷物は常にラゲッジ コンパートメントで輸送して、車内 (座席の上または前など) には絶対に入れないでください。
- 収納コンパートメントのカバーが開いた状態で重量物を運搬しないでください。
- 走行中はロック可能な小物入れカバーを必ず閉じます。

⚠ 警告 不適切なタイヤ空気圧

不適切なタイヤ空気圧は、走行安全性に悪影響を与える恐れがあります。

- 荷重に合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
- タイヤ空気圧を変更した場合、タイヤ空気圧モニタリングの設定を更新してください。

ラゲッジ コンパートメントの開閉

▷ 「ラゲッジ コンパートメント リッド」の章（258 ページ）を参照してください。

停止表示板の取り外し

停止表示板 A はラゲッジ コンパートメントの裏側に収納されています (国別仕様により異なります)。

応急処置セットの固定および取り外し

応急処置セット B は、ラゲッジ コンパートメント内のカーペットにマジック テープで固定することができます (国別仕様により異なります)。

タイヤ シーラント (タイヤ モビリティ システム - TMS) および工具セットの取り外しと収納

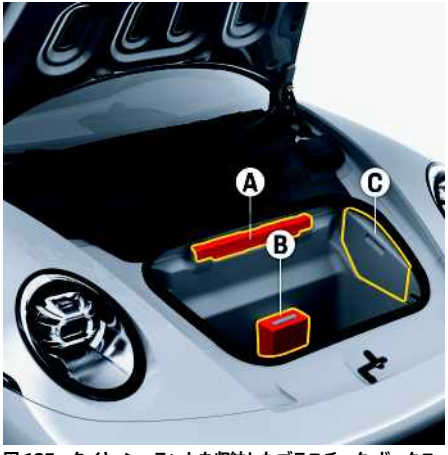


図 195 : タイヤ シーラントを収納したプラスチック ボックス C

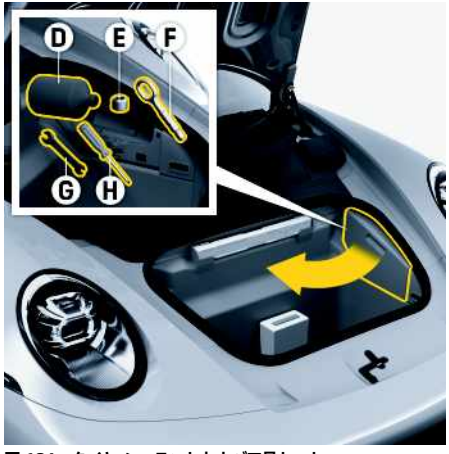


図 196 : タイヤ シーラントおよび工具セット

D タイヤ シーラント (タイヤ モビリティ システム - TMS)
E アダプター
F けん引フック
G 両口スパナ
H ドライバー

タイヤ シーラント (タイヤ モビリティ システム - TMS) および工具セットの取り外し

- ハンドルの取っ手部分のプラスチック カバーを取り外してください。

タイヤ シーラント (タイヤ モビリティ システム - TMS) および工具セットの収納

1. ラグは下部に挿入してください。
2. プラスチック カバーは上部にはめ込んでください。

タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納

タイヤ充填コンプレッサーの取り外し

図 197 : プラスチック カバーの取り外し

1. プラスチック カバーの取っ手 (**矢印**) を持って持ち上げ、ラッチを外してください (外れる音が聞こえます)。
2. プラスチック カバーを少し前方に引き、前部を持ち上げてください。

図 198 : プラスチック カバーの取り付け

3. プラスチック カバー下側の固定ストラップを外し、ラゲッジ コンパートメント リッドに取り付けてください。

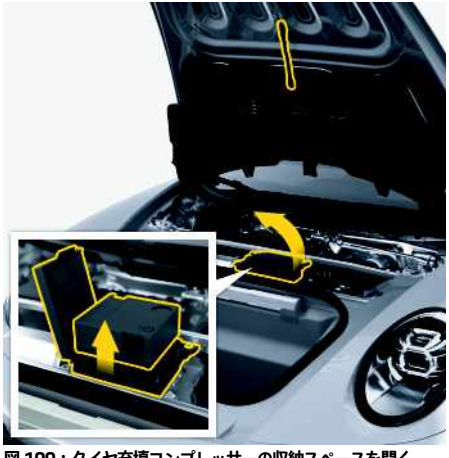


図 199 : タイヤ充填コンプレッサーの収納スペースを開く

4. タイヤ充填コンプレッサーの収納スペースを開いてください。
5. タイヤ充填コンプレッサーを収納スペースから取り出してください。

タイヤ充填コンプレッサーの収納

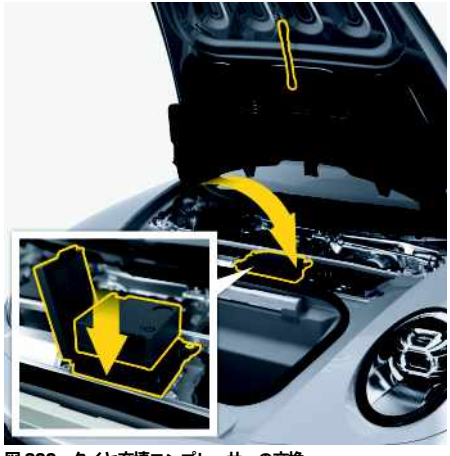


図 200 : タイヤ充填コンプレッサーの交換

1. タイヤ充填コンプレッサーを収納スペースに入れてください。
2. 収納スペースのカバーを閉じてください。

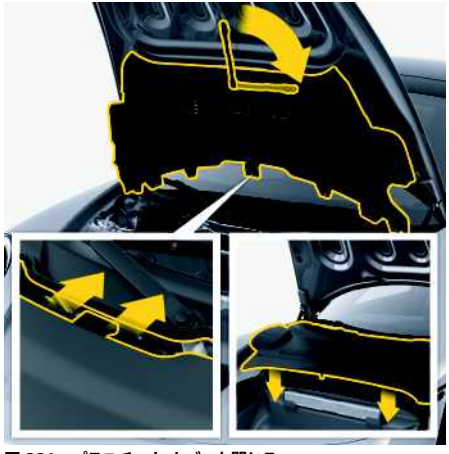


図 201 : プラスチック カバーを閉じる

3. 固定ストラップを外し、プラスチック カバーに取り付けてください。
4. プラスチック カバーの後端部をガイドに差し込み、ホルダー上に置いてください。 プラスチック カバーの前部を下げてください。
5. カバー下側のセンタリング ピンが各ガイドにはまっていることを確認してください。
ラッチのはまる音が聞こえるまで、カバーの取っ手部分を下に押してください。

ラゲッジ コンパートメント リッド

ラゲッジ コンパートメント リッドの開閉

車内のボタンでラゲッジ コンパートメント リッドを開く

知識

ラゲッジ コンパートメント リッドまたはフロント ワイパーを損傷する恐れがあります。

- ▶ ラゲッジ コンパートメント リッドを開くときは、ワイパーが起きていないことを確認してください。
- ▶ ラゲッジ コンパートメント リッドを開く前に、必ずフロント ワイパーを OFF (ワイパー レバーを 0 の位置) にしてください。

▷ 「フロント ワイパー」の章（224ページ）を参照してください。

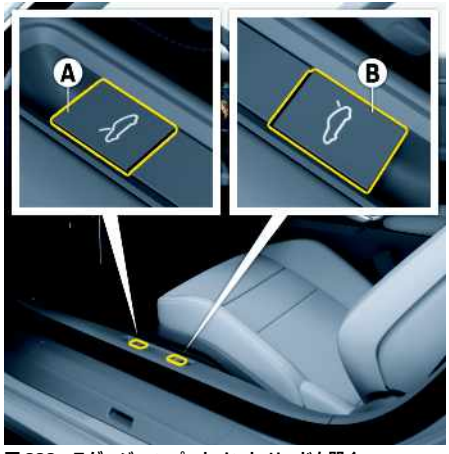


図 202 : ラゲッジ コンパートメント リッドを開く

A　ラゲッジ コンパートメント リッド ボタン
B　エンジン コンパートメント リッド ボタン

1. ボタン A を引いてください。
   リッドのロックが解除されます。

図 203 : ラゲッジ コンパートメント リッドのロックの解除

2. リッドを少し持ち上げ、セーフティー ラッチ (矢印) を解除してください。
3. リッドを完全に開いてください。
   リッドを開くと、ラゲッジ コンパートメント内のライトが点灯します。

キーでラゲッジ コンパートメント リッドを開く

図 204：キーでラゲッジ コンパートメント リッドを開く

1. ボタン を押してください。
2. リッドを少し持ち上げ、セーフティー ラッチを解除してください。
3. リッドを完全に開いてください。
   リッドを開くと、ラゲッジ コンパートメント内のライトが点灯します。

インフォメーション

キーを使用してラゲッジ コンパートメント リッドのロックを解除すると、車両ドアのロックも解除されます。

コンフォート アクセス (キーレス) でラゲッジ コンパートメント リッドを開く

図 205：コンフォート アクセスでラゲッジ コンパートメント リッドを開く

✓ コンフォート アクセス搭載車両
✓ キーを車両の前部に持っていきます。

1. Porsche クレストとナンバー プレートの間に手を置いてください。 手を前後に動かしたり、スワイプしたりしてください。
   リッドのロックが解除されます。
2. リッドを少し持ち上げ、セーフティー ラッチを解除してください。
3. リッドを完全に開いてください。
   リッドを開くと、ラゲッジ コンパートメント内のライトが点灯します。

ラゲッジ コンパートメント リッドを閉じる

注意 重いラゲッジ コンパートメント リッド

半分開いた状態のラゲッジ コンパートメント リッドを閉じるとき、それ自体の重さが原因でロックされます。

▸ 可動部品 (ヒンジ) 付近やラゲッジ コンパートメント リッドの下に物を置いたり、指を挟んだりしないように注意してください。

1. リッドが閉じる直前まで手で引き下げ、そこで手を放してリッドをロックしてください。 ロック部分の真上付近を手のひらで押して、リッドを確実にロックしてください。
2. リッドが確実にロックされていることを確認してください。
   リッドが正しく閉じていない場合、車両が動いている間インストルメント パネルにメッセージが表示されます。

ラゲッジ コンパートメント リッドの緊急解除

バッテリー上がりの場合、ラゲッジ コンパートメント リッドを開くには外部バッテリーを使用する必要があります。

▷ 「ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動」の章（ 122ページ）を参照してください。

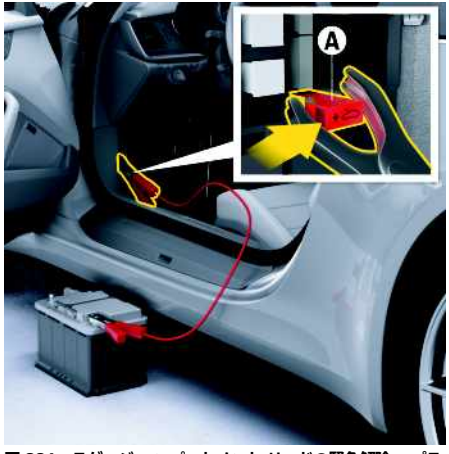


図 206 : ラゲッジ コンパートメント リッドの緊急解除 – プラス端子の接続

1. エマージェンシー キーを使用して、ドア ロックを解除してください。
2. 左側ヒューズ ボックスのプラスチック カバーを取り外してください。
3. ヒューズ ボックスのプラス端子 **A** (赤色) を引き出してください。
4. 赤いブースター ケーブルを使用して、外部バッテリーのプラス端子とヒューズ ボックスのプラス端子 **A** を接続します。

インフォメーション

車両がロックされていた場合、マイナス端子を接続したときに警報システムのホーンが鳴ります。

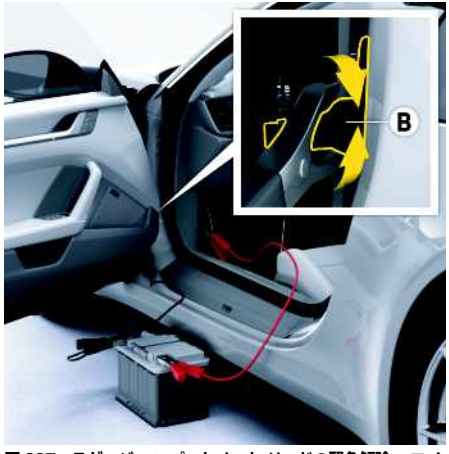


図 207 : ラゲッジ コンパートメント リッドの緊急解除 – マイナス端子の接続

5. 黒色のブースター ケーブルを使用して、外部バッテリーのマイナス端子とドア パーキング ブレーキのジョイント **B** を接続してください。
6. キーの ボタンを約 2 秒間押し続けてください。 ラゲッジ コンパートメント リッドのロックが解除され、警報システムが OFF になります。
7. マイナス ケーブルを先に外し、次にプラス ケーブルを外してください。
8. プラス端子 **A** をヒューズ ボックスに押し込み、ヒューズ ボックスのプラスチック カバーを取り付けてください。

リヤ クロス トラフィック アラート

一般的な安全に関する指示

⚠ 警告 不注意な操作または発進

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。 発進の際に注意したり、障害物の有無を確認したりする責任は、依然としてドライバーにあります。 このシステムはドライバーの集中力の代わりになるものではありません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

その他のアシスタンス システムに関する情報：

▷ 「パークアシスト」の章（209ページ）を参照してください。
▷ 「アクティブ パーキング サポート」の章（31ページ）を参照してください。

システム制限

次のような状況では、タイミングよく車両を検知できない場合があります。

– 車両が後方に突き出ている車両の隣に駐車している。
– ルートを横切る他の道路利用者が非常に速く接近している。
– リヤ バンパーが汚れている。

機能

リヤ クロス トラフィック アラートは、車両の後方を監視し、車両の発進中に車両の後ろを横切る通行者 (乗用車、オートバイ、自転車、歩行者など) についてドライバーに警告します。

図 208：リヤ クロス トラフィック アラート ディスプレイ

このシステムは以下の条件で利用できます。

✔ リヤ クロス トラフィック アラートが ON になっている。
✔ ポルシェ スタビリティ マネジメント (PSM) が ON になっている。
✔ トランスミッション レンジ **R** が選択されている。
✔ 車両速度が約 15 km/h 未満。

リバース ギヤに入っている場合、PCM に矢印が表示され、車両の経路を横切る他の道路利用者が近づいていることをドライバーに知らせます。 危険な状況が発生する可能性があることを視覚と音により警告します。 ドライバーが警告に反応しない場合、差し迫った衝突リスクについてドライバーに警告するために、システムが短い振動による警告を実行します。

リヤ クロス トラフィック アラートの ON/OFF の切り替え

▶ **アシスト** ▶ **後退車両検知警報**

車両の電源を OFF にした後、システム ステータスが選択したアカウントに保存され、使用しているキーと関連付けられます。

▷ 「パーソナル設定」の章（213ページ）を参照してください。

ルーフ トランスポート システム

ルーフに物を載せて運ぶ場合

警告 固定されていない、または不適切に固定したルーフ トランスポート システムまたは積載器具

固定されていない、または不適切に固定したルーフ トランスポート システムは、走行中に車両から外れ、重大事故を起こす恐れがあります。

- スキー / スノーボード ホルダーやルーフ ボックスなどの積載機器は、サポートに対してできる限り中央になるように取り付けてください。
- 毎回走行を開始する前に、ルーフ トランスポート システムや積載機器が正しく確実に固定されていることを必ず確認してください。長距離走行時は、途中で定期的に確認してください。
- すべてのファスニング スクリューを再度締め付けます。

警告 車両操縦性の変化

ルーフ トランスポート システムを装着して荷物を載せると、車両操縦性が変化します。

- 走行スタイルを積荷に合わせてください。
- ルーフ トランスポート システムに荷物を積載しているときは、130 km/h を超える速度で走行しないでください。
- 荷物を積載せずにルーフ トランスポート システムを装着するときは、180 km/h 以上の速度で走行しないでください。

警告 荷物が固定されていない、または固定方法が正しくない場合

荷物が固定されていない、または固定方法が正しくないと、走行中に荷物がルーフ トランスポート システムから外れ、重大な事故につながる恐れがあります。

- 荷物は走行中に動かないように適切な方法で固定してください。
- ルーフ トランスポート システムに荷物を積む際には、荷物がシステムから横にはみ出さないようにしてください。 荷物の幅が絶対に車両の幅を超えないようにしてください。
- ゴムのテンショナーは使用しないでください。
- ルーフ トランスポート システム上では、荷物の重心ができる限り低い位置になるようにし、荷重が積載エリア全体に均等に分散されるようにしてください。

知識

ルーフ トランスポート システムを装着したまま自動洗車機を使用したり、車高に注意を払わなかったり、許容最大荷重を超過すると、車両やルーフ トランスポート システムを損傷する恐れがあります。

- 自動洗車機を使用する前に、ルーフ トランスポート システムを完全に取り外してください。
- 立体駐車場など、高さが限られた場所に進入する前に、ルーフ トランスポート システムを含めた車両の全高を確認してください。
- 最大ルーフ積載荷重、最大総車両重量および最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。

インフォメーション

- ルーフ トランスポート システムを装着すると、燃料消費や騒音が増えるため、未使用時には車両から取り外してください。

荷物を安全に確実に運ぶには、ルーフ トランスポート システムや積載機器 (スキー / スノーボード ホルダー、ルーフ ボックス、バイク ラックなど) を使用してください。

- ポルシェが試験および認定したルーフ トランスポート システムのみを使用してください。 従来のルーフ ラック システムは車両に搭載できません。

ルーフ トランスポート システムの詳細情報については、

- ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ルーフ トランスポート システムの取り付け

図 209 : ルーフ トランスポート システムの構成部品

A フロント キャリア バー (ロング)
B リヤ キャリア バー (ショート)
C カバー トリム
D トルク レンチ
E キー

初めて取り付ける場合 :

- フロントおよびリヤ キャリアを車両幅に合わせて調節します。

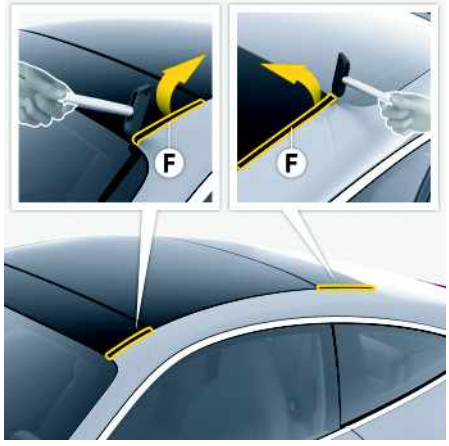


図 210 : ルーフ レールからシールを取り外す

1. トルク レンチのフックを使用して、ルーフ レールのシール F を持ち上げ、引き出します。

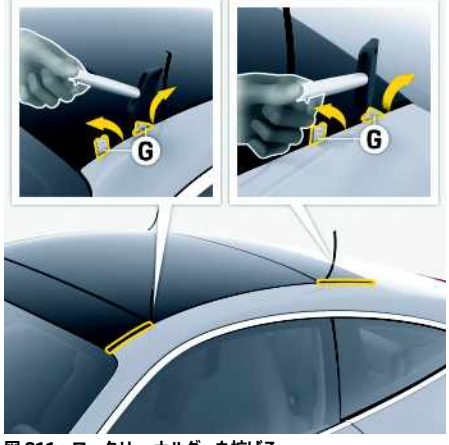


図 211 : ロータリー ホルダーを拡げる

2. トルク レンチのフックを使用して 8 個すべてのロータリー ホルダー G を拡げます。

図 212 : カバー フラップのロック解除および持ち上げ

3. キーを使用してカバー フラップ H のロックを解除し、できるだけ上に折り上げます。

図 213 : キャリア下側のスクリューをゆるめます。

4. **初めて取り付ける場合** :
   a. トルク レンチからハンドルを取り外します。トルク レンチの短い方を使用して、キャリア下側のスクリューをゆるめます。

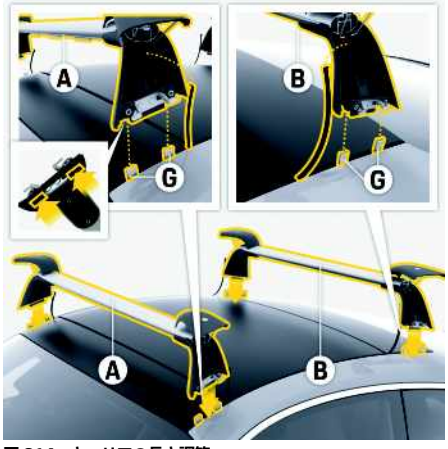


図 214 : キャリアの長さ調節

   b. 長いキャリア A をフロント側、短いキャリア B をリヤ側のロータリー ホルダー G に配置し、可動式キャリア サポートで車両の幅に合わせます。

      キャリア下側に貼ってあるステッカーに合わせて、キャリアが配置されているか確認します。

   c. キャリア下側のスクリューをゆるく締め付けます。

図 215 : キャリア下側のスクリューの締め付け

   d. キャリアを取り外し、トルク レンチの短い方を使用して、キャリア下側のスクリューを手で締め付けます。
   e. トルク レンチのハンドルを取り付けます。
5. キャリアをロータリー ホルダー G （図 214）に配置します。

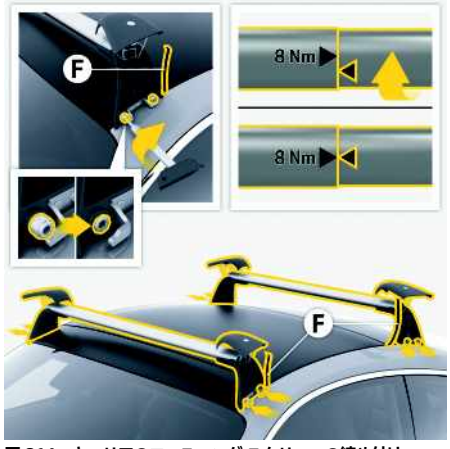


図 216 : キャリアのファスニング スクリューの締め付け

知識

シールがルーフとサポートの間に挟まれて損傷する恐れがあります。

- シール F をサポート底部に挿入します。

6. トルク レンチを使用して、キャリアのファスニング スクリュー 8 個すべてを表面が面一になるまでねじ込みます。 次に、トルク レンチの矢印マークが完全に揃うまで、8 個すべてのスクリューを締め付けます。

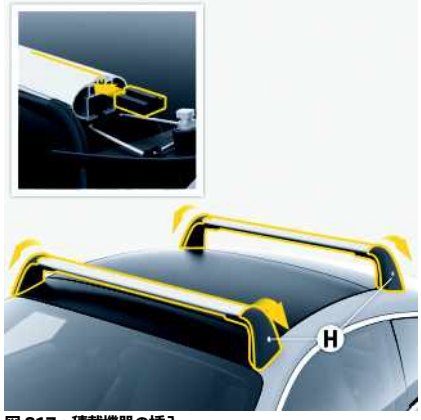


図 217 : 積載機器の挿入

7. キャリアのカバー フラップ H を完全に下方に下げて、ご希望の積載機器 (ルーフ ボックス、バイク ラックなど) をキャリアに押し込みます。

図 218 : カバー トリムをサイズに合わせて切り、取り付ける

8. カバー トリム C をサイズに合わせて切り、横方向からスライドさせるか上から押してキャリアにはめ込みます。カバー トリムは湿気やほこりからキャリアを保護すると同時に、風切り音を防ぎます。
9. カバー フラップを閉じ、キーでロックします。

インフォメーション

50 km (30 mls) 走行後、キャリアおよび積載機器のすべてのスクリューを再度締め付けます。

レーン キープ アシスト[1]

図 219 : フロント ウィンドウ カメラ

レーン キープ アシストは正面のカメラ **A** を使用して、システムの性能範囲内で車線区分線に基づき前方のコースを検出します。 車両が検出された車線区分線に接近して、走行車線を逸脱する危険があるときには、システムはステアリング介入による補正を開始し、車両が走行車線に留まれるようにします。 トライバーに対し、ステータス ディスプレイにステアリング介入を示す視覚的な表示が行われます。 ドライバーはいつでもステアリング介入を無効にすることができます。

車両が方向指示を出さずに車線区分線を超えると、システムはドライバーに対して音によって注意を喚起します。 そのためには、**アシスト** メニューで PCM の警告音設定が有効になっている必要があります。

このシステムは高速道路やよく整備された郊外道路での運転向けに設計されており、約 40 mph (65 km/h) ～156 mph (250 km/h) の速度範囲で作動します。 システムが有効な場合でも、車線変更前に方向指示灯が作動していれば、ドライバーへの警告や補正ステアリングはなされません。 これらの状況では、システムは車線変更が意図的なものであると解釈します。

✔ レーン チェンジ アシスト装備車：

車両がレーン チェンジ アシストを装備している場合、危険な状況の可能性がある車線変更を行おうとすると、ステアリング介入による補正を通してドライバーに元の車線に戻るように警告が行われます。 これは、該当する方向への方向指示器が作動している場合でも同様です。 ステアリング介入と同時に、該当する側がステータス ディスプレイに赤色で表示され、車線区分線を超えると警告音 (有効な場合) が鳴ります。

⚠ 警告 集中力の低下

ドライバーは走行中、レーン キープ アシストが有効な場合であっても、走行車線内に留まるようにするなど、常に安全運転に努めてください。 このシステムはあくまでも補助的な機能のため、運転時には細心の注意を払ってください。

- システムは車両を走行車線に留めるよう、システムの性能範囲内でドライバーをサポートしますが、代わりに運転するわけではありません。 常にステアリング ホイールを保持し、いつでもハンドルを切れる状態でいてください。 インストルメント クラスターに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人がただちに車両のコントロールを行ってください。
- 具体例を挙げると、急ブレーキの時には補正的なステアリング介入が作動しない場合があります。
- ドライバーが積極的にハンドル操作を行っている場合は、ステアリング介入による補正が発動しない、または発動が制限されることがあります。
- 車線区分線が一部検出されないこともありえます。 ステアリング介入は、車線区分線が検出された側に対してのみ発動します。
- 道路構造物や路上の物体などが、車線区分線と誤って認識される場合があります。 これにより、ステアリング介入や警告音が予期せぬ形で発動、または発動しない場合があります。
- 路上のわだち、カーブ、坂道を走行している場合や横風が生じた場合など、ステアリング介入による補正だけでは走行車線を守って走行できなくなることがあります。 このような状況では、ドライバーが積極的にステアリングを行わなければなりません。

▶ 以下の状況では、レーン キープ アシストを決して使用しないでください。
  - 通常よりもドライバーの注意が必要とされる場合。
  - スポーツ走行中。
  - 悪天候 (霧、雪、または豪雨など)。
  - 道路状況 (悪路、道路のくぼみ、汚れている路面を含む) が悪い場合での走行。
  - 道路工事区間。
  - 起伏の激しい路面や坂道に近づいている場合。
  - 市街地での走行。
  - カーブの多い道および細い郊外の道での走行。

▶ 十分注意して運転してください。

▶ 交通状況と車両周囲には常に注意を払ってください。

▶ 道路状況と天候に応じて適したスピードで運転してください。

▶ ステアリング ホイールには物を取り付けないでください。

⚠ 警告 車線検出用カメラの故障

カメラの視界は、雨水、雪、氷、多量の水しぶき、対向車のヘッドライト、損傷などさまざまな要因によって低下します。 一定の条件下では、カメラが車線区分線を検出できない、または正しく検出できない場合があります。 この場合、ステアリング介入が行われなかったり、予期しないステアリング介入が行われたり

1. 利用可否は国によって異なります

することがあります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 常に進行方向に気を配り、車線から目を離さないでください。
- ▶ カメラ レンズは定期的に洗浄し、雪や氷が付着したときは取り除いてください。
- ▶ カメラ レンズを覆わないでください。
- ▶ カメラ レンズ前面のフロント ウィンドウに損傷がないかを定期的に確認してください。

インフォメーション

- ▶ システムの故障またはレーン キープ アシストの機能不全がこの章の記載どおりに発生する場合、レーン キープ アシストを使用しないでください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警告 ステアリング介入による補正なし

急カーブでレーン キープ アシストが作動している場合、ステアリング介入機能による補正だけでは車線を維持できません。 カーブの前または途中でレーン キープ アシストが自動的に停止して、ステアリング介入が行われないということも起こり得ます。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ステアリング ホイールは必ず両手で保持してください。

インフォメーション

レーン キープ アシストが有効になっている間、ドライバーのステアリング操作は監視されています。 ステアリング操作が行われていないことが検知され、車両が車線から何度かそれかけた場合には、インストルメント クラスターから音と視覚による警告が行われ、ドライバーにステアリング操作を行うよう促します。

ドライバーがこれに反応しない場合、レーン キープ アシストは停止モードに切り替わります (ステータス ディスプレイを参照)。 ドライバーがステアリング操作を行えば、レーン キープ アシストは再度有効になります。

レーン キープ アシストによる介入が長時間必要になった場合には、インストルメント クラスターから音と視覚による警告が行われ、ドライバーに車両を車線の中央の位置に合わせるように促します。

レーン キープ アシストの ON および OFF の切り替え

レーンキープアシストの ON/OFF は PCM 内で切り替えることができます。

- ▶ **アシスト** ▶ **レーンアシスト**

警告音の設定

警告音は個別に ON および OFF に切り替えることができます。 警告シグナル音量も 3 段階から選択することができます。

- ▶ **アシスト** ▶ ▶ **アシスタンス システムの設定** ▶ **レーンアシスト**

レーン キープ アシストの呼び出しおよび読み取り

図 220 : 速度 & アシスト機能ディスプレイ

A レーン キープ アシストの表示
B 車線区分線の表示
C ステータス表示

アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) 装備車

アシスト メイン メニューの「速度 & アシスト機能」ディスプレイには、車線区分線 B とステータス ディスプレイ C が表示されます。

アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) 非装備車

車線区分線はステータス ディスプレイ C にのみ表示されます。

システム ステータスの読み方

表はレーン キープ アシストのシステム ステータスおよびインストルメント パネルにおけるその表示を示します。

レーン キープ アシストの表示	ステータス表示	意味
表示なし	表示なし	レーン キープ アシストは OFF。
		レーンキープアシストは ON だが停止モード。
		レーン キープ アシストは両側とも ON で有効。
		車線区分線は片側でも検出されます。
		レーン キープ アシストは、ステアリング介入による補正を実施します (右の例を参照)。

インフォメーション

システムが ON であっても停止モードである場合、下記のような原因が考えられます。

- 車両がシステム動作速度である約 65 km/h 未満の速度で走行しています。
- 現在走行中の車線に車線区分線が検出されません。 (雪、泥、路面の濡れ、対向車のヘッドライトまたは前走車が近いなどの場合)。
- 車線区分線の状態が良好ではないために、レーン キープ アシストが起動できません。
- カーブの半径が小さすぎます。
- 一番近い車線区分線までの距離が遠すぎます。
- 車線区分線が車両に近すぎます。
- 稼働中、一時的に極めて激しい運転が行われています。
- 方向指示灯が作動中です。
- システムにより、ドライバーがステアリング ホイールを握っていないことが検出されました。

警告メッセージへの対応

故障発生時の作動停止：
システム エラーが発生した場合、レーン キープ アシストは自動的にスイッチ OFF になります。 インジケーター ライトが消灯し、メッセージが表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（92ページ）を参照してください。

レーン チェンジ アシスト (LCA)[1]

レーン チェンジ アシストは、後方から接近する車両や死角にある車両をドライバーに警告します。 これは、他車を追い越すときや追い越されるときにも作動します。 危険な状況や車線変更が不可避な状況を検出すると、両側のドア ミラーの一体化されている警告インジケーター A が直ちに点灯します。

脇道に入る状況でレーン チェンジ アシスト作動範囲を下回る速度で走行している場合、追加のリヤ ターン アシストも車両の後方を監視することでドライバーをサポートします。 リヤ ターン アシストは常に自動でレーン チェンジ アシストと一緒にスタンバイ状態に切り替わります。

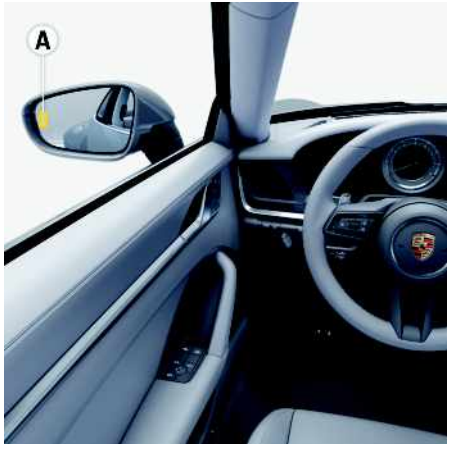


図 221：ドア ミラーの警告インジケーター A

1. 利用可否は国によって異なります

レーン チェンジ アシストの ON/OFF の切り替え

レーン チェンジ アシストの ON/OFF は PCM 内で切り替えることができます。

▸ **アシスト** ▸ **レーン チェンジ アシスト**

レーン チェンジ アシストが有効な場合、イグニッションを ON にするとドア ミラーのインジケーターが短く点灯します。

⚠ 警告 集中力の低下

レーン チェンジ アシストおよびリヤ ターン アシストが装備されていても、走行中は周囲の状況に注意し、責任ある運転を心がけてください。 車線変更の際は、特に注意を払ってください。

- ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

⚠ 警告 レーダー センサーの視界の妨げ

レーダー センサーの視界は、急カーブ、頂上手前、および悪天候時 (雨、雪、氷、多量の水しぶき) では低下する場合があります。 車両を正しく検出できなかったり、全く検出できなかったりすることがあります。

- ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

⚠ 警告 車両が検出されない

次のような状況では、タイミングよく車両を検知できない場合があります。

– 車両が後方から高速で接近する場合や車両が後ろに遠ざかる場合、車両の動きを検知できません。
– レーン チェンジ アシストは、急カーブでは車両を検出できません。
– レーン チェンジ アシストは約 15 km/h (9 mph) 以上の速度で走行しているときにのみ、接近車両や死角エリアの車両をドライバーに警告します。
– リヤ ターン アシストでは、車両と動いている物体、あるいは車両と静止している物体との間の速度差が小さい場合、据え付けられている物体 (例：金属柱) が警告を作動させたり、速度の遅い車両が検出されなかったりすることがあります。
– リヤ ターン アシストは発進時に作動します。 そのため、既に動いている車両や発進している車両が検出されなかったり、遅れて検出されたりする可能性があります。 すぐ真横の車両も、センサーの検出エリア外にあるために検出されないことがあります。
– リヤ衝突警告は、交差車両、投影面積が小さな車両、幅の狭い車両、および車両として認識されない物体には反応しません。
– 脇道に入ろうとする場合など、車両が走行レーンの方向を向いておらず、走行レーンに対して斜めまたは直角になっている場合、接近する車両をセンサーで検出することはできません。

- ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

一般情報

- システムは車速が約 15 km/h を超えるとアシスタンスを提供します。
- 15 km/h 以下の速度で、リヤ ターン アシストがドライバーをサポートします。ただし、方向指示器が作動している車両の側に対して発進時にのみ作動します。
- 約 20 km/h までリヤ ターン アシストは有効になります。
- レーダー センサーが覆われていることをシステムが検出した場合には、レーン チェンジ アシストとリヤ ターン アシストは利用できません。
- レーダー センサーは、車両以外の他の障害物 (高いまたは隆起した中央分離帯など) を検出する場合があります。
- このディスプレイはドライバーがドア ミラーを一目見ただけで気づくよう設計されています。

インフォメーション

例えば、レーダー センサーの位置が事故後に変わった場合などは、レーン チェンジ アシストの機能が損なわれる可能性があります。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インフォメーション

レーン チェンジ アシストが適切に作動するために:

- リヤ バンパーのレーダー センサー部をステッカーなどで覆わないでください。 この周囲から汚れや雪、氷も取り除いてください。
- ドア ミラーの警告インジケーターを (ステッカーまたは接着式の死角ミラーなどで) 覆わないでください。
- バンパーを塗装すると、塗料の厚い層でセンサー レンジが低減する場合があります。 承認された塗料とは電気特性も異なる場合があります。

図 222 : リヤ バンパーのレーダー センサー

作動原理

レーン チェンジ アシストは、リヤ バンパー内に組み込まれたレーダー センサーを使用して、自車と検出した車両との距離および速度差を測定します。 レーダー センサーは後方 70 m までの範囲および死角を監視しています。

レーン チェンジ アシストがその速度差および距離から車線変更が危険と判断した場合、該当するドア ミラーに表示されます。 車両の右側および左側は個別に表示されます。 例えば、左ドア ミラーの警告インジケーターはドライバーが左車線に車線変更する際に役立ちます。

ドライバーが方向指示灯を操作した際、危険とみなす車両を検出すると、該当するドア ミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。

他車をゆっくり (速度差約 15 km/h 未満) と追い越す場合、他車が死角エリアに入ったことをレーン チェンジ アシストが検出すると、直ちに警告インジケーターが点灯します。 速度差がそれ以上の場合、ドア ミラーには表示されません。

発進直後は、レーン チェンジ アシストの速度範囲には達しません。 速度範囲に達するまで、ドライバーはリヤ ターン アシストによりサポートされます。

方向指示器の作動時にリヤ ターン アシストは車両の横および後ろの物体を検出しますが、インジケーターが作動している側に対してのみ作動します。 危険の可能性を検知すると、ドア ミラーの各警告インジケーターが点灯します。 自分自身の計算された運転経路がインジケーターが作動した車両側で検出された車両の経路を横切る場合、ドア ミラーの各警告インジケーターが数回明るく短く点滅します。

インフォメーション

レーダー センサーは左右隣の車線を監視します。 他の車線は、レーダー センサーにより監視 **されません**。

情報および警告ステージ

方向指示器が設定されたかに応じて、レーン チェンジ アシストには適切に作動する 2 つのインジケーター レベルがあります。

インフォメーション ステージ

方向指示器が設定されていない場合、レーン チェンジ アシストは車線変更によって危険となる検出車両についての情報を提供します。 レーン チェンジ アシストが検出された車両の速度差および距離から車線変更が危険と判断した場合、該当するミラーに**弱い**ライトが表示されます。

警告ステージ

方向指示器が ON で、レーン チェンジ アシストが危険とみなされる側で車両を検出した場合、検出した側のドア ミラーの警告インジケーターが**明るく**点滅を開始します。 警告ステージが数回明るく短く点滅する場合、ドア ミラーを見るかまたは肩越しに確認するなど、再度周囲の交通状況を確認するよう促しています。

レーン チェンジ アシストの画面の明るさの設定

警告インジケーター (インフォメーションおよび警告) の明るさは、周囲の明るさによって自動的に調整されます。 ドア ミラーの警告インジケーターの基本的な明るさも調節可能です。

▸ アシスト ▸ ▸ アシスタンス システムの設定 ▸ レーン チェンジ アシスト

インフォメーション

- 車両の接近が高速であるほど、ドア ミラーの警告インジケーターは早いタイミングで点灯します。 レーン チェンジ アシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。
- ドア ミラーの警告インジケーターがまだ作動していなくても、高速で接近する車両がある場合、車線変更は危険と考えられます。
- その他のアシスタンス システム装備車で、インジケーター が ON でない場合でもドア ミラーの警告インジケーターが数回短く点滅することは可能です。 車両が走行している車線から隣の車線へそれているのをレーン キープ アシストが検出する場合、レーン チェンジ アシストは短く明るく数回点滅することにより危険な状況が発生する可能性があることを知らせます。

運転状況

起こりうるケースとそれに関連するレーン チェンジ アシストおよびリヤ ターン アシストの警告インジケーターを、運転状況に応じて以下に説明します。

車両が急速に接近する

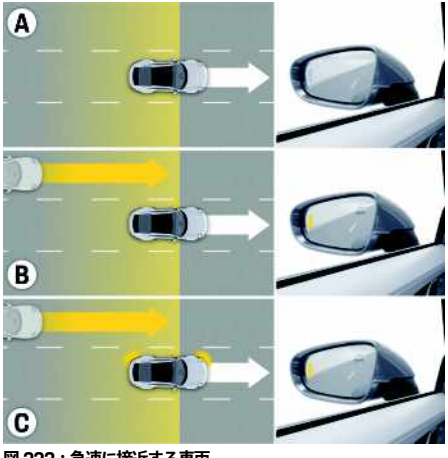


図 223 : 急速に接近する車両

A – ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しない
センサーは車両を検出していません。 ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しません。

B – 警告インジケーターはインフォメーション ステージを点灯する
センサーが高速で接近する車両を検出しました (図の例は左車線を示しています)。 車両との距離はまだ離れていますが、著しい速度差があるため、この車両はすでに車速変更を行うには危険と判断されます。 ドア ミラーの警告インジケーターが点灯します。

C – 警告インジケーターは警告ステージで点滅する
運転状況 Bでドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア ミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。 レーン チェンジ アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

車両がゆっくりと接近する

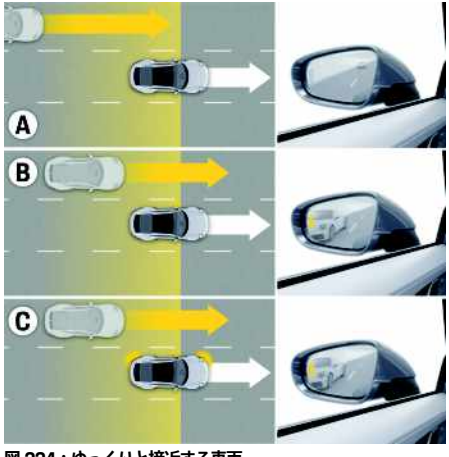


図 224 : ゆっくりと接近する車両

A – ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しない
センサーがゆっくりと接近する車両を検出しました (図の例は左車線を示す)。 速度差が小さくて車間距離が大きいため、ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しません。

B – 警告インジケーターはインフォメーション ステージを点灯する
車両がゆっくりと接近してきています。 ドア ミラーの警告インジケーターが点灯します。 レーン チェンジ アシストがその速度差および距離から車線変更は危険と判断する場合のみ、ドア ミラーの警告インジケーターが点灯します。 レーン チェンジ アシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。

C – 警告インジケーターは警告ステージで点滅する
運転状況 Bでドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア ミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。 レーン チェンジ アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

車両がゆっくりと後ろに遠ざかる

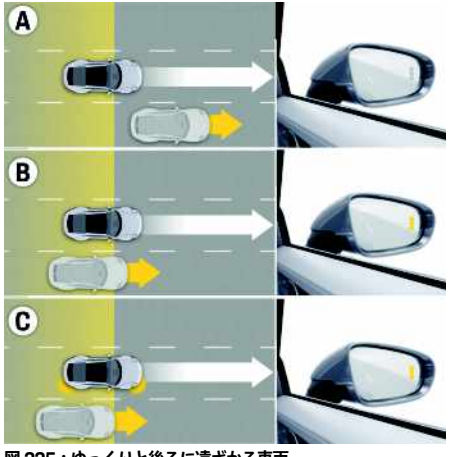


図 225 : ゆっくりと後ろに遠ざかる車両

A – ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しない
レーン チェンジ アシストは追い越される車両をまだ検出していません。 ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しません。

B – 警告インジケーターはインフォメーション ステージを点灯する
ゆっくりと遠ざかる車両 (速度差約 15 km/h 未満、例では右側車線) は、レーン チェンジ アシストにより検出されます。 ドア ミラーの警告インジケーターが点灯します。

C – 警告インジケーターは警告ステージで点滅する
運転状況 Bでドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア ミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。 レーン チェンジ アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

車両が急速に後ろに遠ざかる

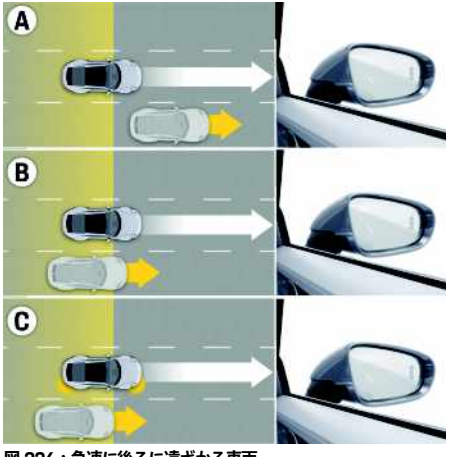


図 226 : 急速に後ろに遠ざかる車両

A – ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しない
レーン チェンジ アシストは追い越される車両をまだ検出していません。 ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しません。

B – ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しない
この例では、レーン チェンジ アシストは急速に後ろに遠ざかる (速度差約 15 km/h 以上) 車両を右側車線で検出しますが、急速に後ろに遠ざかっているため車線変更を行う際の危険とはみなされません。 ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しません。

C – ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しない
運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作しても、ドア ミラーの警告インジケーターは作動しません。

車両が脇道へ走行する

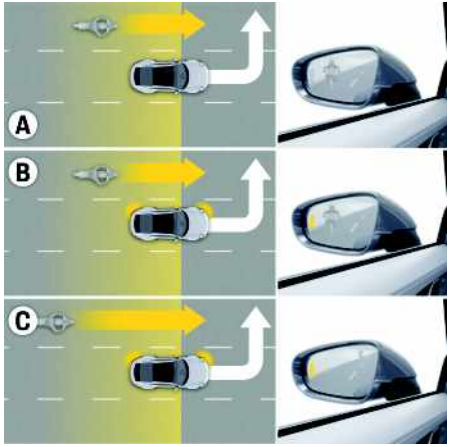


図 227 : 車両が脇道へ走行する

A – ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しない
方向指示器灯は作動していません。 車両発進後、リヤターン アシストは無効であり、死角にいるバイクは検出されません。 高速で接近する車両も検出できない可能性があります。 ドア ミラーの警告インジケーターが点灯しません。

B – 警告インジケーターはインフォメーション ステージを点灯する
運転状況 A で該当する方向指示灯のスイッチを ON にした場合、ドア ミラーの警告インジケーターは点灯します。 ターン アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

C – 警告インジケーターは警告ステージで点滅する
運転状況 B の場合、ドライバーは該当する側へステアリング操作を行うことにより、検出された車両の計算された運転経路を横切ることになり、ドア ミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅し、点灯します。 これにより、見落とされた可能性のある車両との衝突の可能性をドライバーに警告します。

カーブの走行

カーブを走行する場合、レーン チェンジ アシストは 1 つ離れたレーンを走行する車両に反応し、ドア ミラーの警告インジケーターを点灯することがあります。
レーン チェンジ アシストは急カーブでは車両を検出できません。

- レーンの幅が異なるカーブを走行する時は十分に注意してください。

車線幅

標準的な幅の車線の場合、ドライバーが車線の中央部と端のどちらを走行していても、レーン チェンジ アシスト検出エリアには隣接した 2 車線 (左および右) が含まれます。
狭い車線を走行する場合、検出エリアにはより多くの車線が含まれます (特に車線の端を走行している場合)。 このような状況では 2 つ離れたレーンを走行する車両が検出されることがあり、レーン チェンジ アシストがインフォメーションまたは警告ステージに切り替わる可能性があります。
同様に、とても幅広い車線を走行している場合、隣接車線の車両が検出エリア外にあるために検出されないことがあります。

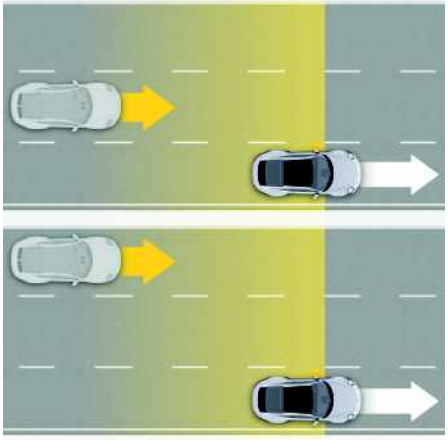


図 228 : 車線幅および検出エリア

Apple CarPlay

以下を使用して Apple CarPlay を開く： PCM

図 229 : アームレスト内の USB ポート

✓ iPhone 7 以降、iOS® 12.2 以降。
✓ 使用する iPhone の設定で Siri および Apple CarPlay が有効になっている。
✓ USB アダプターなしの、損傷のない Apple 純正ケーブルを使用している。トラブルなく使用するためです。

1. iPhone をアームレスト内の USB インターフェース (タイプ A) **A** に接続します。
2. Apple CarPlay が使用されていることを確認します。 利用可能なアプリが表示されます。
   Apple CarPlay が開きます。

▸ 他のメニュー項目から Apple CarPlay に切り替えるには、**Apple CarPlay** を選択します。

インフォメーション

– 最新バージョンの iOS® をインストールすることをお勧めします。
– Apple CarPlay に対応している iPhone のアプリのみを表示することができます。 対応アプリに関するインフォメーション： www.apple.com/ios/carplay を参照してください。
– Apple CarPlay 機能の表示コンテンツおよび機能は、接続している iPhone からのみ提供されます。
– Apple CarPlay の使用中は、有効な Bluetooth® 接続 (テレフォニー、メディア再生またはニュースのためのものなど) はすべて自動的に解除されます。
– 一部のアプリは、有効なデータ接続を必要とします。 ご契約になっている携帯電話の料金体系によっては、追加費用が発生する場合があります。 定額データ プランのご利用をお勧めします。

以下の操作に関するインフォメーション： ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM):
▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（236ページ）を参照してください。

次のもので Apple CarPlay を操作する： PCM

利用可能なすべてのアプリは、次のタッチ ディスプレイ、ロータリー プッシュ ボタンおよびバック ボタンで操作できます： PCM.

▸ **Apple CarPlay** でメイン メニューを開くには、次のタッチ ディスプレイでホーム ボタンを押します： PCM.

▸ PCMのメイン機能に変更するには、**Apple CarPlay** ▸ **Porsche** を選択します。
– または –
任意の機能 (例 : **メディア**) を選択します。

Siri 音声認識機能を使用して Apple CarPlay を操作する

Siri の起動

✓ Siri がお使いの iPhone の設定で有効になっています。
✓ イグニッションおよび PCM がオンになっています。
✓ 通話中ではありません。
✓ パークアシストが無効です。
✓ PCM ボイス コントロールは無効です。

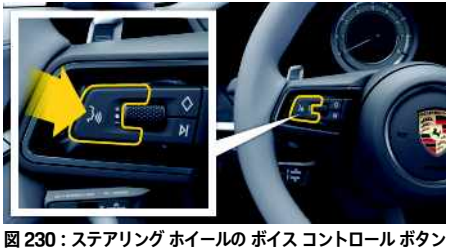


図 230 : ステアリング ホイールの ボイス コントロール ボタン

1. ステアリング ホイールの ボタンを長押しします。
2. 希望のボイス コマンドを発話します。

Siri の終了

✓ Siri が有効で、ボイス コマンドを待機しています。

▸ ステアリング ホイールの ボタンを押します。
終了音が鳴ります。

ボイス コントロールに関する情報：
▷ 「ボイス コントロール」の章（228ページ）を参照してください。

Apple CarPlay と iPhone の iPod としての使用の切り替え

接続している iPhone を iPod として接続すると、Apple CarPlay が利用できません。 デバイス マネージャーを使用して、iPhone を iPod として使用するか、または Apple CarPlay を使用するかを切り替えることができます。

1. デバイス マネージャーを呼び出すには、ヘッダーの または (接続状況に応じて) を選択します。
2. 使用している iPhone の **リンク** を選択します。

HOLD 機能

HOLD 機能は、上り坂での停車時や発進時に、ドライバーの運転操作を支援します。
この機能により、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。 HOLD 機能が作動すると、インストルメント クラスターのインジケーター ライト HOLD が点灯します。
HOLD 機能の作動中にドライバーのシート ベルトが外され、運転席ドアが開いた場合、車両は動き出さないように自動的に固定されます。

⚠ 警告 車両コントロールの喪失

HOLD 機能に関わらず、勾配での停止および始動の責任はドライバーにあります。 滑りやすい路面 (凍結している、またはぬかるんだ路面など) での停止および始動時には、HOLD 機能によるアシストは保証されません。 車両が不意に動き出す恐れがあります。

- ▶ 常に走行スタイルを路面状態および車両荷重に合わせて調整してください。必要な場合はフット ブレーキを使用します。
  HOLD 機能が作動しないと、ドライバーは坂道発進アシストを受けられません。
- ▶ フット ブレーキで車両の停車状態を維持します。

マニュアル トランスミッション装備車の HOLD

✓ エンジンが作動している。

1. 坂道では、フットブレーキをかけて停車してください。
2. クラッチ ペダルをしっかりと踏み込んでください。
3. 坂道を登るために適切なギヤに締結してください (1 速またはリバース ギヤ)。
4. クラッチ ペダルを踏んだまま、フットブレーキから足を放してください。
   車両は坂道での停車状態を維持し、後退を防いで発進を容易にします。
5. 通常の操作で車両を発進させてください。

インフォメーション

マニュアル トランスミッション装備車の HOLD 機能は、以下の条件では**作動しません**。

- クラッチを踏んでいない。
- 作動モードが **N**。
- 停車していない。
- エンジンを手動で OFF にした場合。
- 坂道の勾配が 5% 未満の場合。
- 運転席ドアが開いており、運転席シート ベルトを着用していない場合。

PDK 装備車の HOLD

車両が停止状態にある時に HOLD 機能が作動します。
この機能により、ブレーキ ペダルを踏んでいないときでも、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。
アダプティブ クルーズ コントロールが正常に機能している場合、HOLD 機能は自動ブレーキ後に車両を停車状態に維持します。
車両が HOLD 機能により保持されている場合は、通常の運転操作で発進できます。

インフォメーション

PDK 装備車の HOLD 機能は以下の条件では作動**しません**。

- 作動モードが **P** および **N** の場合。
- 車両が停止していない場合。
- エンジンが手動で OFF にされた場合。
- 坂道の勾配率が 5% 未満の場合。
- 運転席ドアが開いており、運転席シート ベルトが着用されていない場合。

インフォメーション

車両が停止している間に素早くブレーキ ペダルを踏み込むと、勾配に関係なく HOLD 機能が作動します。 この機能により、ブレーキ ペダルを踏んでいないときでも、車両が動き出すことを防ぎます。 この場合、セレクター レバーを操作しても、HOLD 機能は解除されません。

⚠ 警告 上り坂での僅かな後退

ドライバーがブレーキ ペダルを作動させずに急な勾配で車両が停止すると、HOLD 機能が止めるまで車両が後退することがあります。 この場合、ブレーキ ペダルを踏むことで後退を少なくすることができます。

- ▶ ブレーキ ペダルの操作でブレーキ力を大きくすることにより、車両の保持をアシストします。

インフォメーション

HOLD機能が作動したときは、ブレーキ ペダルの感触が変化したり、ブレーキ システムの油圧作動音が聞こえることがあります。
これはシステムの正常な作動であり、 故障ではありません。

Porsche Active Suspension Management (PASM)

Porsche Active Suspension Management (PASM) システムはショック アブソーバーをアクティブに調整します。 アジャスタブル ダンパー システムは、走行状態や条件に応じて各タイヤの適切なダンパー レベルを選択します。 走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。

ボタンの操作で、2 種類のシャーシ設定を選択できます:

– 「ノーマル シャーシ」
– 「スポーツ シャーシ」

ノーマル モードでは、車両はスポーティーで快適な設定となります。

スポーツ モードでは、ショック アブソーバーの調整が非常にスポーティーなものになります (例 : レース サーキットでの走行などに最適な設定)。

走行状況に合わせて、マニュアル モードに加えて、PASM もショック アブソーバーを調整し、スポーティーまたは快適な走行を可能にします。

PASM モードの選択

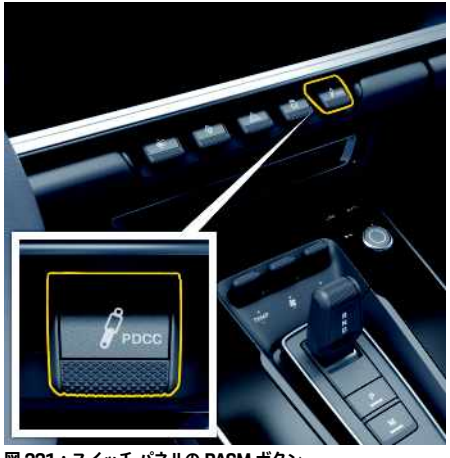


図 231 : スイッチ パネルの PASM ボタン

1. イグニッションを ON にします。
2. ボタンを (繰り返し) 押します。

– ボタンは**赤色に点灯しません** : 「ノーマル シャーシ」が選択されています (初期設定)。
– ボタンは**赤色に点灯します** : 「スポーツ シャーシ」が選択されています。

インフォメーション

イグニッションをOFFにすると、そのとき選択しているシャーシ設定がメモリーに保存されます。

警告メッセージへの対応

PASM 故障はインストルメント パネルに表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章 (92ページ) を参照してください。

Porsche Connect

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、いろいろなオプションが利用できます。 ここに説明されている機能は、すべてのモデル、国別仕様および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。

国によって、内蔵 SIM カード、外部 SIM カード、または外部 WiFi ホットスポット経由でデータ接続を確立することができます。 現在有効なデータ接続は、PCM のステータス ラインおよびデバイス マネージャーに表示されます。

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（236ページ）を参照してください。

▷ 「デバイス マネージャー」の章（183ページ）を参照してください。

内蔵 SIM カード経由でデータ接続を確立する (国別仕様による)

✓ SIM カード リーダーが空の状態である。

✓ PCM 電話が ON になっている (**設定** ⚙ ▸ **ポルシェ コネクト** ▸ **電話機能を ON にする**)。

データ接続は、イグニッションを ON にするとすぐに確立されます。

インフォメーション

データ接続を確立できない場合は、以下を点検してください：

– PCM 電話が ON です。

– 車両が十分ネットワーク受信が可能な場所にある (遮蔽された場所でない)。

▸ 必要であれば、 PCM を再起動します。

データ パッケージを表示する

▸ **アプリ** ▸ **データパッケージ**

マーケットによっては、契約済みのデータ パッケージに関する情報が表示されます。

外付け SIM カード経由でデータ接続を確立する

知識

SIM カード アダプターを使用すると、振動により SIM カードがアダプターから外れて、カードの構成部品がドライブに詰まる恐れがあります。

▸ SIM カード アダプターは使用しないでください。

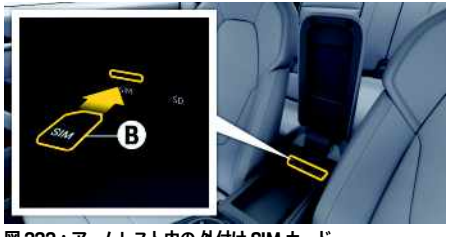


図 232 : アームレスト内の 外付け SIM カード

✓ PCM 電話を ON にします (**設定** ⚙ ▸ **ポルシェ コネクト** ▸ **電話機能を ON にする**)。

1. SIM カード **B** を挿入します (ミニ SIM、寸法 : 25 x 15 mm)。 切り欠き部分を前方左側にして、チップ面を下にしてください。
   データ接続が確立されます。
2. SIM カードを取り出すには、挿入されているカードを押し込んで抜き出します。

インフォメーション

データ接続を確立できない場合は、以下を点検してください：

– PCM 電話が ON です。

– SIM カードのデータ容量が十分ある、および正しく挿入されている

– SIM カードが損傷していない、および適切に作動している

– APN 設定 (インターネット アクセス) が正常である APN 設定はネットワーク オペレーターに連絡して点検してください。

– 車両が十分ネットワーク受信が可能な場所にある (遮蔽された場所でない)。

▸ 必要に応じて PCM を再起動してください。

外部 WiFi ホットスポットを使用してデータ接続を確立する (国別仕様による)

✓ SIM カード リーダーが空の状態である。

✓ 内蔵 SIM カード装備車 (国別仕様による) : PCM 電話が OFF になっている (**設定** ⚙ ▸ **ポルシェ コネクト** ▸ **電話機能を OFF にする**)。

1. ヘッダーの ⊘ または ▮▮▮ を選択する (接続ステータスによって異なる) ▸ オプション ☰ ▸ **WiFi** ▸ **WiFi ホットスポットを検出する**
2. WiFi ホットスポット (公衆ホットスポットまたは携帯電話の個人ホットスポットなど) を選択し、WiFi アクセス データを入力します PCM. データ入力時は、大文字 / 小文字に注意してください。
   外部 WiFi ホットスポットへの接続が確立します。

PCM WiFi ホットスポット (ワイヤレス インターネット アクセス) の起動

車両ホットスポットに接続できる WiFi デバイスは最大 8 台です。

✓ 内蔵 SIM カードまたは外部 SIM カードにより、データ接続が正常に確立されました。

✓ 内蔵 SIM カード経由のデータ接続 (国別仕様による) : 関連するデータ プランが契約されました。

1. ヘッダーで または (接続状況により異なる) ▸ オプション ▸ **車両ホットスポット**を選択してください。
   PCM の WiFi アクセス データ (機器名および WiFi パスワード) が表示されます。
2. デバイスの WiFi 設定に PCM の WiFi アクセス データを入力します。
   PCMのワイヤレス インターネット アクセスへの接続が確立されます。

Porsche Connect の利用

ポルシェ コネクト サービスを使用するためにデータ接続が必要です。

▷ 「Porsche Connect」の章（278ページ）を参照してください。

インフォメーション

ポルシェ コネクトに関する詳細 (ヘルプ ビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ) は、 www.porsche.com/connectをご覧ください。

ポルシェ コネクト サービスの起動

ポルシェ コネクト サービスを初めてご利用になる場合、まず起動させる必要があります。

▸ ポルシェ コネクト サービスは、下記から起動してください www.porsche.com/connect .

ナビゲーション システムおよびボイスコントロール システムのサービスを使用する

– ナビゲーション目的地を入力するときや、ポータル POI などの施設情報カテゴリーを My Porsche から読み込むときに使用するオンライン検索機能です。
– 追加の地図画面。
– リアルタイムの交通情報 では、インターネット経由で、事故、道路工事、渋滞情報やその他の事象に関する情報を配信します。
– オンライン音声検索と、メッセージの音声入力に対応します。

「アプリ」メニューのサービスを利用する

▸ **アプリ** を選択します。
利用可能なサービスが表示されます。

ポルシェ コネクト ユーザー (ポルシェ ID) PCM にログイン中

ポルシェ ID はペアリング コードを使用して PCM とリンクされています。 My Porsche からパーソナル設定を取得するために、一部のコネクト サービスを使用するために これが必要となります.

1. **アプリ** ▸ オプション ▸ **ポルシェ ID 設定** ▸ **新しいポルシェ ID をリンクする**
2. My Porsche からサービスを正常に起動した後に表示されるペアリング コードを 入力します.
   ユーザーはログインし、シンボル がヘッダーに表示されます。

ポルシェ コネクト ユーザー (ポルシェ ID) を PCM で管理する

✓ A ポルシェ コネクト ユーザーが作成され登録されています。

▸ **アプリ** ▸ オプション ▸ **ポルシェ ID 設定** ▸ ご希望のアクションを選択してください :

– **リンク ID**
– **削除**
– **設定**
– **ポルシェ ID を切断する** : 現在ログイン中のユーザーはログアウトしました。

サービス概要を表示

▸ **アプリ** ▸ オプション ▸ **サービス インフォメーション**
購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。

ポルシェ アプリの使用

▷ 「アプリ」の章（48ページ）を参照してください。

インフォメーション

- ポルシェ コネクト サービス (カー コネクト サービスを含む、セーフティおよびセキュリティ サービスを除く) はサービス パッケージおよび国により期間は異なりますが、3 カ月以上の無料利用期間を提供しております。 無料利用期間についての詳細なインフォメーション、およびそれ以降の費用とお住まいの国で利用可能な各サービスについてのインフォメーションは **www.porsche.com/connect** またはポルシェ正規販売店から入手できます。
- 国により、ポルシェ コネクト サービスは内蔵 SIM、またはデータ対応の外部 SIM カードによりご利用になれます。 外部 SIM カードは、携帯電話プロバイダーとの料金ベースの個別契約が必要です。
- お使いの携帯電話の料金体系によっては (また海外で使用する場合は)、インターネットからデータ パッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。 定額データ プランのご利用をお勧めします。
- サービスの利用可否、範囲およびプロバイダーは国、年式、機器および使用料金によって異なる場合があります。

ポルシェ コネクトの設定変更

▸ **設定** ⚙ ▸ **ポルシェ コネクト** ▸ ご希望の設定を選択します。

Porsche Stability Management (PSM)

Porsche Stability Management (PSM) は、過酷な走行条件下で車体を安定させるためのアクティブ コントロール システムです。 エンジンが始動すると自動的に有効になります。PSM は、アンチロック ブレーキ システム (ABS) とエンジン ドラッグ トルク コントロール システム (MSR) の機能と同様にオートマチック ブレーキ ディファレンシャル (ABD) とアンチスリップ コントロール (ASR) システムの両方を利用します。

⚠ 警告 車両コントロールの喪失

PSM は、不適切な走行速度による事故の危険性を減少させるものではありません。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。 PSM が装備されていても、物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- PSM の利点にかかわらず、ドライバーには路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

以下のことで PSM コントロールの作動を知ることができます。

- インストルメント パネルの PSM 警告灯 が点滅します。
- 油圧作動音が聞こえることがあります。
- 車両の減速とステアリング ホイール力が PSM のブレーキ コントロールに伴って変化します。
- エンジン出力が減少します。
- ブレーキ ペダルが振動し、ペダルの位置が変化します。 最大の制動力を得るため、ブレーキ ペダルに振動を感じたら更に強く踏み込んでください。

オートマチック ブレーキ ディファレンシャル (ABD)

駆動中のアクスルの一方のホイールがスピンし始めると、そのホイールにブレーキがかかり、同一アクスルのもう一方のホイールが駆動できるようになります。

アンチスリップ コントロール (ASR)

アンチスリップ コントロール システムは、エンジン出力を調整することでホイールのスピンを防止し、確実なレーン維持性および走行安定性を実現します。

エンジン ドラッグ トルク コントロール (MSR)

オーバーラン時、ホイールのスリップが激しい場合、エンジン ドラッグ トルク コントロールが駆動輪のロックアップを防ぎます。 滑りやすい路面でシフトダウンした場合も同様です。

ステアリング トルク パルス

ステアリング トルク パルスは摩擦値が異なる路面でブレーキをかけた場合に運転者のステアリング アシストを行います。
カウンター ステアリング中も操舵力を追加して運転者を支援します。

PSM スポーツの作動

✓ スポーツ クロノ パッケージ装備車

PSM スポーツの作動中、システムが特定のスポーツ モードに切り替わります。

⚠ 警告 PSM サポート制限

PSM スポーツ モードの場合、ABS 制御範囲外の過酷な走行状況では PSM サポートが制限されます。

- 「通常」走行では常に PSM スポーツを OFF にすることをお勧めします。

- ボタンを短く押してください。

インストルメント パネルの PSM OFF 警告灯 が点灯します。 ボタン が赤色に点灯します。
インストルメント パネルに PSM スポーツが作動していることを示すメッセージが表示されます。

PSM を OFF にする

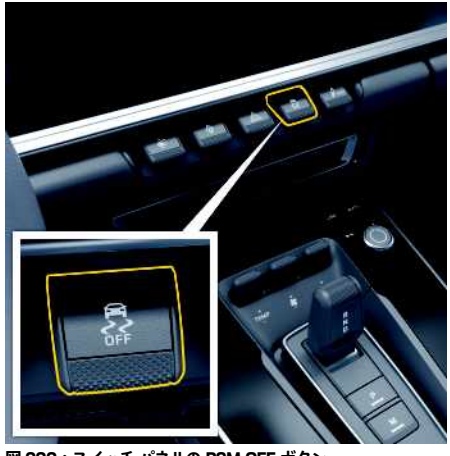


図 233 : スイッチ パネルの PSM OFF ボタン

⚠ 警告 PSM サポートなし

PSM を OFF にすると、ABS 制御範囲外の過酷な走行状況で PSM サポートが行われません。

- 「通常」走行では常に PSM を OFF にすることをお勧めします。

- ボタンを短く押してください (スポーツ クロノ パッケージ装備車 : ボタンを 2 秒以上押してください)。
  ボタンを押してから実際に PSM が OFF になるまでには、若干の遅れがあります。

インストルメント パネルの PSM OFF 警告灯 が点灯します。 ボタン が赤色に点灯します。
インストルメントクラスターに PSM が OFF であることを示す警告メッセージが表示されます。

インフォメーション

ABS コントロール範囲内でブレーキをかけた場合、PSM が OFF の状態でも車両は安定性を維持します。 片方の駆動輪が空転すると、PSM を OFF にしていても空転を抑制します。

ただし次の場合は、例外として一時的に PSM を OFF にすることが有効です:
– 柔らかい路面や深い雪道を走行する場合。
– 「ぬかるみなどからの脱出」時。

スライディング/チルティング ルーフが開いていて、PSM が OFF の場合、速度が約 160 km/h を超えると PSM が再度 ON になります。

インフォメーション

PSM スポーツ モードが作動しているときは、PSM を事前に ON にしていた場合のみ PSM OFF モードへの切り替えが可能です。

PSM を再度 ON にする

▶ ボタン を押してください。
直ちに PSM が復帰します。
インストルメント パネルの PSM OFF 警告灯 および ボタンの赤色ライトが消灯します。
インストルメント パネルに PSM が ON であることを示すメッセージが表示されます。

ABS ブレーキ システム (アンチロック ブレーキ システム)

警告 車両コントロールの喪失

アンチロック ブレーキ システムは、不適切な速度による事故のリスクを軽減することはできません。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。 アンチロック ブレーキ システムが装備されていても、物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

▶ アンチロック ブレーキ システムの有無にかかわらず、ドライバーには路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

ABS により以下のことが可能になります。
– ステアリングの操作性の確保: 車両のステアリング操作性が維持されます。
– 優れた走行安定性：ホイールのブロックによるスリップを回避します。
– 制動距離の短縮：ほとんどの状況で、ブレーキをかけた時の制動距離が短くなります。
– ホイール ロックの回避: タイヤのフラット スポットを回避できます。

ポジション

ABS の重要な利点は、走行安定性および危険な状況での車両操作性の維持です。

ABS は、フル ブレーキをかけた際に、実質的にあらゆる路面において車両が停止する直前までホイールがロックすることを防ぎます。

ホイールが 1 本でもロックしそうな場合は、ABS が適切に制御し始めます。

このブレーキ コントロールは、非常に小刻みなポンピング ブレーキをかけるのと似た状態です。

ブレーキ ペダルの脈動やノイズは、ドライバーが道路状況に対してスピードを調整する警告の役目をします。

フル ブレーキをかける必要があります。

▶ ブレーキをかける際、ブレーキ ペダルが小刻みに動いても、ブレーキ ペダルをいっぱいに踏み込みます。 ブレーキ圧力が低下しないようにしてください。

警告メッセージへの対応

ABS 警告灯 に関するインフォメーション：
▷ 「警告およびインフォメーション メッセージ」の章（92ページ）を参照してください。

マルチコリジョン ブレーキング

事故の際、マルチコリジョン ブレーキングにより自動的にブレーキが作動し、ドライバーは横滑りや二次衝突の危険性を低減させることができます。

必要条件

マルチコリジョン ブレーキングが作動するのは、以下の場合のみです。
– 車両の前方、横方向および後ろからの衝突時
– エアバッグ コントロール ユニットが事故の際に該当する作動しきい値を検出したとき
– 車速約 10 km/h (6 mph) 以上で走行しているときに事故に遭った場合。

インフォメーション

事故後に PSM や電気系統に損傷がなく、作動可能な場合、PSM が自動的に油圧ブレーキを作動させます。

例外的な状況

事故時の自動ブレーキは、以下の場合に抑制されます：
– ドライバーがアクセル ペダルをはっきりと踏んだ場合。

– ドライバーがブレーキ ペダルを踏み込んだ際のブレーキ圧力がシステムによって加えられるブレーキ圧力よりも強い場合。

Targa ルーフ システム

知識

Targa ルーフおよびルーフ駆動機構を損傷する恐れがあります。

- Targa ルーフを操作しないでください:
  - 温度が 0 ℃ 以下のとき。
  - 車両の片側が縁石、リフト、ジャッキなどで持ち上がっているとき。
  - ルーフの作動する範囲に荷物などがあるとき。
- バッテリーの消耗が早くなるため、エンジン停止時にルーフの操作を繰り返し行うことは避けてください。
- 走行するときは、Targa ルーフを必ず完全に開いた状態または完全に閉じた状態にしてください。
- 染みや擦り切れを防ぐため、Targa ルーフは乾いた清潔な状態のときにのみ開いてください。
- 日光を長時間浴びると布地やラバーが傷んだり塗装が色褪せたりするため、可能であれば車両は日陰に駐車してください。

▷ 「車両のお手入れ」の章（ 144ページ）を参照してください。

Targa ルーフ の開閉

⚠ 警告 タルガ ルーフの開閉

Targa ルーフを開閉するときは、ルーフ機構、コンバーチブル トップ エレメントまたはリヤ ウィンドウと車両の固定部品との間に身体の一部が挟まれないように十分に注意してください。

- Targa ルーフを開閉するときは、Targa ルーフ、コンバーチブル トップ エレメントまたはリヤ ウィンドウによって、誰もケガをしないように注意してください
- 車両が見えない状況では、キーによる Targa ルーフの操作は行わないでください。
- 万一、危険な状況になった場合は、直ちに車両のスイッチもしくはキーのボタンから手を放し、ルーフの操作を中止してください。
- Targa ルーフを閉じるときは、サンバイザーのバニティー ミラーのカバーを閉じておいてください。

知識

Targa ルーフが開く際には、ガラス リヤ ウィンドウが車両のボディから突出します。 ガラス リヤ ウィンドウを損傷する恐れがあります。

- 開閉するときは、車両後方に人がいないことを確認してください。 車両の上方や後方に十分なスペースがあることを確認してください (ガレージ内など)。

センター コンソールのスイッチまたはエンジン コンパートメント リッド ボタンを使用して Targa ルーフまたはリヤ ガラス ウィンドウを開閉する場合、リヤ パークアシストが同時に作動します[1]。
センサー障害物を検出した時点で障害物までの距離が約 50 cm 以下だと、開閉が停止します。 インストルメント パネルにメッセージが表示されます。 車両付近に障害物がなければ、
手動で作業を続行できます。

- 約 10 秒以内にスイッチを 2 回引きます。

約 10 秒の間にルーフの開閉が 2 回停止されると、3 回目のタルガ ルーフの開閉時にリヤ パークアシストが停止します。

Targa ルーフが完全に開閉されるか、経過時間が 10 秒を超えると、その直後の開閉中にパークアシストが自動的に再作動します。
Targa ルーフの開閉中に、ルーフが停止位置に到達してもなおルーフの作動が続いていると、サイド ウィンドウが僅かに開いて再び閉まる作動が自動的に起こります。

車室内のスイッチを使用した Targa ルーフの開閉

図 234 : スイッチでタルガ ルーフを開く

1. アクティブ パーキング サポートを使用している間は作動しません。

図 235 : スイッチでタルガ ルーフを閉じる

✔ イグニッションが ON になっている。
✔ 停車している。
▸ Targa ルーフが停止位置に達するまで、またはウィンドウが希望の位置になるまで Targa ルーフ開 / 閉スイッチを引き続けてください。
マルチファンクション ディスプレイの関連するメッセージが消えます。

危険が発生した場合、
▸ ボタンを放してください。
ルーフは作動を停止します。

キーを使用した Targa ルーフの開閉 (国により異なる)

1. ドアをロック解除します。
2. Targa ルーフが終端位置になるか、ウィンドウが希望の位置になるまで、キーのボタンを押し続けてください。

危険が発生した場合、
▸ ボタンを放してください。
ルーフは作動を停止します。

3. 必要に応じてドアをロックしてください。

エア デフレクターの展開 / 格納

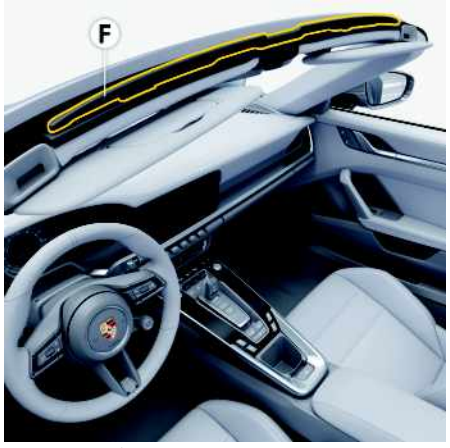


図 236 : エア デフレクターの展開 / 格納

エア デフレクターの展開

▸ Targa ルーフが開いているときに、エア デフレクターの F を押してください。

エア デフレクターの格納

▸ Targa ルーフが開いているときに、エア デフレクターの F で示されている部分をウィンドウのフレームにはまるまで押し込んでください。

インフォメーション

車両の速度によって「こもり」音が発生することがあります (市街地の走行時など) 。 このような場合は、エア デフレクターを展開してください。 高速走行をしているとき (郊外の走行時など) に、風切り音が発生することがあります。 高速走行時には、エア デフレクターを格納してください。 エア デフレクターは、車内に入る風の量を減少させることはできません。

Targa ルーフの緊急操作

警告 緊急操作中のルーフ システム部品の作動。

▸ 緊急操作を行うときは十分に注意してください。
▸ 緊急作動中はタルガ ルーフを操作しないでください。

知識

タルガ ルーフおよびルーフ駆動機構を損傷する恐れがあります。

▸ 緊急作動中はタルガ ルーフを操作しないでください。
▸ ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ルーフ システムの点検

緊急操作を行う前に以下を点検してください。
– タルガ ルーフをスイッチで操作するとき、イグニッションを ON にしましたか?
▸ イグニッションを OFF にして、Targa ルーフが誤って作動することがないようにします。

リヤ ウォール ライニングの取り外し

図 237 : リヤ ウォール ライニングの取り外し

1. フロント シート バックレストを前方に倒してください。
2. リヤ シート バックレストを前方に倒してください。
3. リヤ ウォール ライニング A を慎重に前方向に引いて固定ポイントから外し、上方向に引いて取り外します。
4. リヤ ウォール ライニング A の裏側から緊急操作キーを取り外してください。

ルーフ駆動機構のテンションの解除

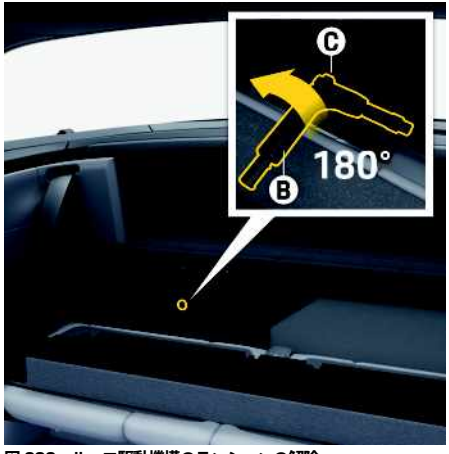


図 238 : ルーフ駆動機構のテンションの解除

1. 緊急操作キー B の六角部を使用して、エマージェンシー ハンド スクリュー C を約 180° 反時計回りに回してください。

知識

- エマージェンシー ハンド スクリュー C はゆるめるのみで、完全には取り外さないでください。

2. 緊急操作キーを取り外してください。

ガラス リヤ リッドのロック解除

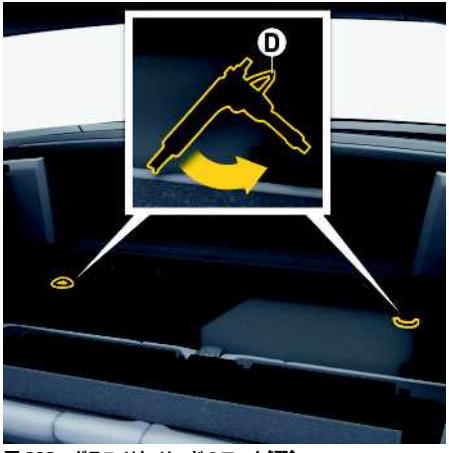


図 239 : ガラス リヤ リッドのロック解除

- 緊急操作キーを使用して、2 個のロック解除ループ D を 1 つずつ前方向に約 10 cm 引き出してください。

ガラス リヤ リッドを開く

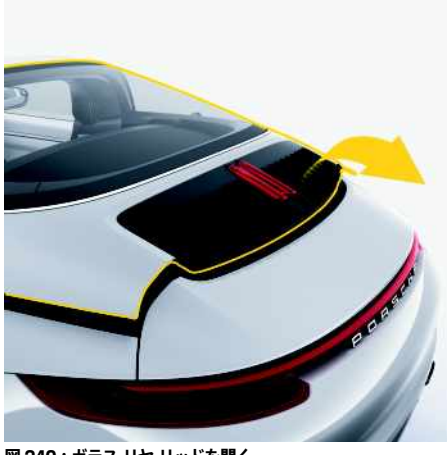


図 240 : ガラス リヤ リッドを開く

- エア グリルの下端に手を入れて、ガラス リヤ リッドを両手で上からつかんでください。
  まずリッドを持ち上げ、次に終端位置に到達するまで後方へ引いてください。

カバーの取り外し

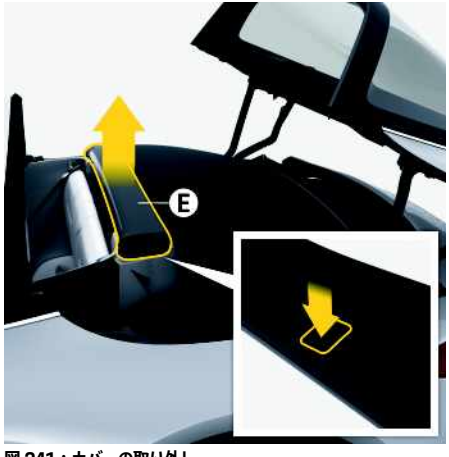


図 241 : カバーの取り外し

- カバー E の下部を外し、上方向に取り外してください。

エア デフレクターの固定

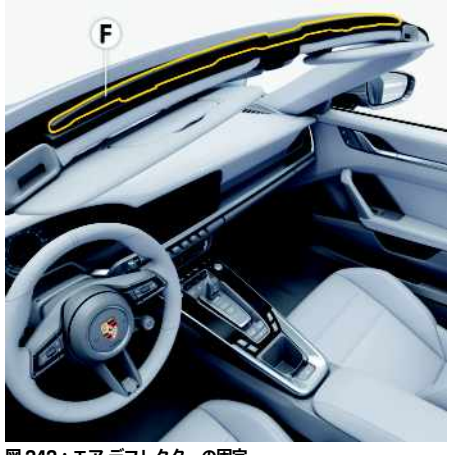


図 242 : エア デフレクターの固定

知識

エア デフレクターを損傷する恐れがあります。

- タルガ ルーフを閉じる前に、エア デフレクターを固定してください。

- エア デフレクター F が展開している場合、エア デフレクターをフロント ウィンドウのフレームにはまるまで下方向に押してください。

コンバーチブル トップ エレメントを閉じる

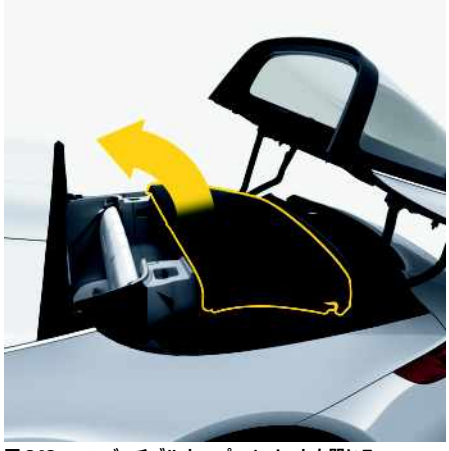


図 243 : コンバーチブル トップ エレメントを閉じる

1. フロント シートの背後に回り、車両後方を向いてください。
2. コンバーチブル トップ エレメントの前端を握って、Targa バー上方で垂直な位置になるまで前方に動かしてください。
   コンバーチブル トップ エレメントをタルガ バーよりも前に動かさないでください (ルーフライナーを損傷する恐れがあります)。
3. コンバーチブル トップ エレメントをこの位置で保持してください。

コンバーチブル トップ エレメントのロック

図 244 : ルーフ キャッチ緊急操作用アクセス ポイントからのプラグの取り外し

1. ルーフ キャッチ緊急操作用アクセス ポイントからプラグ O を取り外してください。

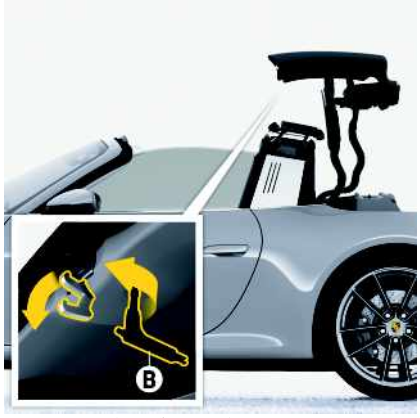


図 245 : コンバーチブル トップ ラッチ フックの展開

2. 緊急操作キー B をルーフ キャッチの緊急操作用アクセス ポイントに挿入し、左右に回してマウントにはめ込んでください。
3. プラスチック アタッチメント B を反時計回りに回してラッチ フックを完全に開きます (抵抗を感じる)。

図 246 : コンバーチブル トップ エレメントを前方に引く

4. コンバーチブル トップ エレメントをフロント ウィンドウのフレームに引き寄せてください。

図 247 : コンバーチブル トップ エレメントのロック

5. コンバーチブル トップ エレメントを完全に閉じるためには、緊急操作用キー B を時計回りに抵抗を感じるまで回し、ラッチ フックを完全にはめてください。

カバーの取り付け

図 248 : カバーの取り付け

1. カバーを車両右側に差し込んでください。
2. 車両左側のカバーを押し下げ、ロックしてください。

ガラス リヤ リッドを閉じる

図 249 : ガラス リヤ リッドを閉じる

⚠ 警告 ガラス リヤ リッドを閉じる

ガラス リヤ リッドを閉じるときは、ガラス リヤ リッドと車両の固定部品との間に手が挟まれないように十分に注意してください。

▸ 閉じるときにガラス リヤ リッドの後端部を持たないでください。

1. ガラス リヤ リッドをエア グリルの上部から手を伸ばしてつかんでください。 ガラス リヤ リッドを前方向に押して、ゆっくりと閉じてください。
2. エマージェンシー ハンド スクリュー C を緊急操作キーで時計回りに回してください (抵抗を感じます)。
3. リヤ ウォール ライニングを取り付けてください。

緊急電話システム

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、様々な緊急電話システムが使用される場合があります。 緊急状況または危険な状況で、緊急電話システムを介してヘルプを要求することができます。

プライベート モードを作動していても、故障時または緊急電話をかけたとき、または盗難に遭遇したときなどに車両の位置情報が送信可能になります。

故障発信

故障または事故の場合、故障発信を介してヘルプを求めることができます。

✓ 携帯電話ネットワークを利用できる。

✓ 故障発信システムの作動準備が整っている (イグニッション ON から約 20 秒経過している)。

✓ プライベート モードが無効になっている。

▷ 「Porsche Connect」の章（278ページ）を参照してください。

インフォメーション

故障発信システムは、自らの携帯電話モジュールを持つため、車内で登録した携帯電話を必要と**しません**。

ポルシェが制御できる範囲を超える技術的または組織的な制限 (ローミングまたは有効なデータ接続がないなど) により、ポルシェ アシスタンスに故障時電話を確立することができない場合があります。

データ通信

故障時電話中、必要な措置を特定するためのデータが利用可能な場合には、ポルシェ アシスタンスに送られます。 これには以下が含まれる場合があります。

– 現在の車両位置
– 車両識別番号
– 車両タイプ
– 故障個所を特定するための故障コードとその他のデータ

故障時電話の作動

✓ **電話** ▸ **キーパッド** が選択されています。

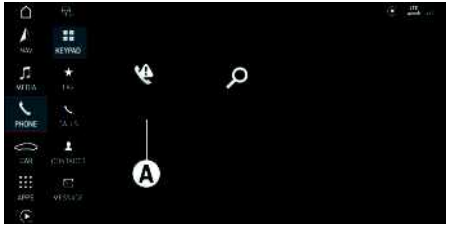


図 250 : 故障発信ボタン

1. 故障発信 A を選択します。
   テスト緊急電話を終了するには、フッターまたは電話メニューで を選択します。
2. 状況が許す場合は、コール センターへの接続が確立されるまで、車内でお待ちください。

自動制御 2 ゾーン エアコン

概要説明

この概要説明は後述の「自動制御 2 ゾーン エアコン」の広範囲な情報に代わるものではありません。 操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

エアコン システムは、PCM およびセンター コンソールのボタンで調整することができます。

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」の章（236ページ）を参照してください。

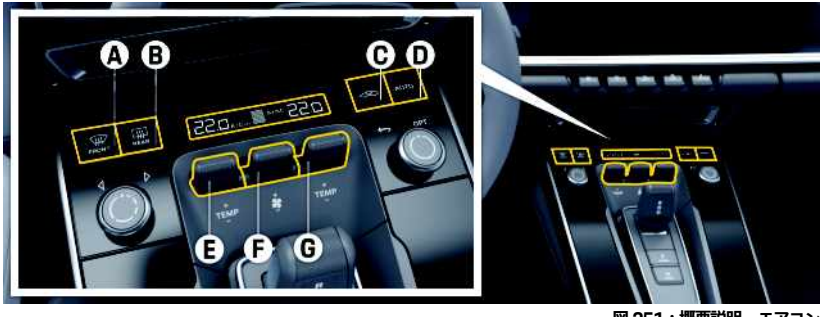


図 251 : 概要説明 - エアコン

希望する操作	操作方法	操作場所
フロント ウィンドウ デフロスター	▸ ボタン **A** を押してください。	▷ p. 296
リヤ ウィンドウ ヒーターおよびドア ミラー ヒーターを ON にする	▸ ボタン **B** を押してください。	▷ p. 296
手動で内気循環モードを ON にする	**国によっては、**内気循環モードはセンター コンソールのボタンまたは PCM タッチ ディスプレイを使用して切り替えることができます。 ▸ ボタン **C** を押してください。 – または – ▸ エアコン ▸ エア ▸	▷ p. 295
A/C MAX モード (最大空調) を ON にする	**国によっては、**A/C MAX モードはセンター コンソールのボタンまたは PCM タッチ ディスプレイを使用して切り替えることができます。 ▸ ボタン **C** を押してください。 – または – ▸ エアコン ▸ エア ▸ A/C MAX	▷ p. 293

希望する操作	操作方法	操作場所
オート モードを ON にする	▶ ボタン D を押してください。	▷ p. 293
温度の設定	▶ 左側はボタン E、右側はボタン G を、上 (温度を上げる) または下 (温度を下げる) に押してください。	▷ p. 293
送風量を手動で設定する	▶ ボタン F を上 (多くする) または下 (少なくする) に押してください。	▷ p. 294
オート モードで風量を設定する	▶ **エアコン** ▶ **エア** ▶ **スタイル**	▷ p. 295
送風口を手動で切り替える	▶ **エアコン** ▶ **エア** ▶ **送風**	▷ p. 294
足元の温度の設定	▶ **エアコン** ▶ **エア** ▶ **フットウェル**	▷ p. 295
アッパー ベンチレーション パネルの調節	▶ **エアコン** ▶ **エア** ▶ **センター**	▷ p. 294

オート モードでは、様々な環境条件 (車室内の温度、日射量、空気の状態など) に応じて室内の設定温度を維持するように、エアコン システムが送風温度、送風量、送風口を全自動で制御します。
エアコン システムの設定を手動で調整すると、オート モードが直ちに解除されます。 ただし手動操作で変更しなかった機能については、自動制御を継続します。
エアコン システムは、センター コンソールのボタンおよび PCM タッチ ディスプレイを使用して操作することができます。
エアコン システムは、ウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。
車内に熱がこもっている場合：
▶ ウィンドウを開けて短時間換気してください。

外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。 これはシステムにより異なり、故障ではありません。
バッテリー電圧が低すぎると、最初エアコン機能が制限され、その後 OFF になります。
エンジンの負荷が大きくなると冷房機能が一時的に OFF になり、エンジンの過熱を回避します。 外気温度が約 2 ℃ を下回ると自動的に OFF になり、このときは手動操作でも ON にできません。
温度を一時的に低くまたは高く設定しても、車内が設定温度まで下がる、または上がる時間が短くなるわけではありません。

2 ゾーン エアコン

温度は、**左**と**右**のゾーンで個別に設定できます。 送風口、エアコンの種類、および足元の温度は、車室内全体に対して設定できます。

エアコンの ON/OFF の切り替え

エアコンは、車内全体に対して ON/OFF の切り替えができます。

▶ **エアコン** ▶ **エア** ▶ **換気**
フロント センター コンソールのエアコン ディスプレイに **A/C OFF** という表示がされ、外気導入による送風が停止して、エアコン システムが OFF になります。

オート モードを ON にする

各ゾーンはオート モードに切り替えることができます。

- エアコン コントロール パネルのボタン **AUTO** を押してください。
  ボタンの **AUTO** シンボルが点灯します。 温度、送風量および送風口が自動的に制御されます。

必要であれば、他の機能ボタンによりオート モードの制御を手動調節できます。 適切な機能ボタンが再び押されるか、ボタン **AUTO** が押されるまで、手動設定は保持されます。

冷房機能のON/OFF

冷房機能は空気を冷やしたり除湿します。

オート モードでは、冷房機能が常にONになります。冷房出力は自動的に制御されます。

- **エアコン** ▸ **エア** ▸ **A/C**
  冷房機能は ON または OFF に切り替えることができます。

最大冷房出力を ON/OFF にする、A/C MAX モード

A/C MAX モードでは、最大出力で車内が冷却されます。

一部の地域では、A/C MAX モードの ON/OFF をセンター コンソールのボタンおよび PCM タッチ ディスプレイを使用して切り替えることができます。

図 252 : 最大冷房出力

- エアコン コントロール パネルのボタン A/C MAX を押してください。
  ボタン A/C が赤色に点灯するか、消灯します。
  A/C MAX モードは ON または OFF に切り替えることができます。
  – または –

- **エアコン** ▸ **エア** ▸ **A/C MAX**
  A/C MAX モードは ON または OFF に切り替えることができます。

温度の設定

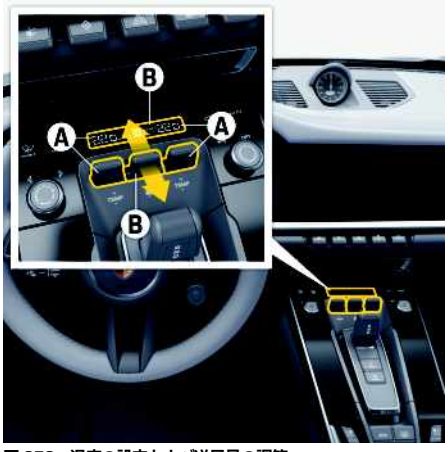


図 253 : 温度の設定および送風量の調節

A エアコン ディスプレイで該当するエアコン ゾーンのインジケーターの温度を調節する
B エアコン ディスプレイで風量およびインジケーターを設定する

各空調エリアの温度は 16.5 °C～29 °C の範囲で個別に調整できます。
推奨 : 冷房機能 (**A/C**) が ON 状態で 22 °C
設定した温度が、センター コンソールのエアコン ディスプレイに表示されます。

温度を上げる / 下げる

- 該当する空調エリアのボタン **A TEMP** を上方向または下方向に押してください。

センター コンソールのエアコン ディスプレイに **LO** または **HI** が表示された場合は、エアコンの作動は最大の冷房または暖房になっています。 ボタン **AUTO** は点灯したままで、ファンが制御されます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

▷ 「車内全体のエアコン設定の使用 - SYNC モード」の章（295ページ）を参照してください。

風量の設定

設定した風量が、センター コンソールのエアコン ディスプレイのボタン の上部にバー ディスプレイで表示されます。 バーの数が多くなるほど、車内の風量が多いことを示します。

風量を上げる / 下げる

▶ ボタン を上方向または下方向に押してください。

ボタン **AUTO** を押すと、オート モードに戻ります。

送風量を最小にすると、エアコン ディスプレイに **OFF** と表示され、外気導入による送風が停止し、エアコン システムが OFF になります。

⚠ 警告 送風設定 OFF による視界の低下

風量を **OFF** にした状態では、ウィンドウが曇りやすくなります。

▶ 風量を強くしたい場合、ボタン を上方向に押すか、またはオート モードを再度 ON にします。

エア ベントの調整

図 254 : エア ベントの調整

知識 エア ベントを損傷する恐れがあります。

▶ 携帯電話のクレードルやプラグイン式のエア フレッシュナーなど、エア ベントには何も挟まないでください。

エア ベントの開閉

▶ エア ベントのロータリー ノブを上方向または下方向に回してください。

風向の変更

▶ 任意の方向に、ベントのベーンを回転させてください。

送風口の調節

フロントの送風口の調節

1. エアコン ▸ エア
2. 送風口の選択 :

フロント ウィンドウおよびサイド ウィンドウへの送風を開始します。

センター エア ベントおよびサイド ベントからの送風を開始します。

フットウェルへの送風を開始します。

アッパー換気パネルの調節

図 255 : アッパー換気パネルの調節

ダッシュボード上にある換気パネルは、個別に ON/OFF を切り替えることができます。 送風方向は手動で水平方向に調節できます。 エアコン システムは送風量を自動的に調整します。

送風 OFF/ON の切り替え

1. エアコン ▸ エア
2. 換気パネル OFF の選択。

風向の変更

▸ 任意の方向に、ベントのベーンを回転させてください。

エアコンの種類の設定

オート モードでは、車室内全体に対して 3 段階で風量を調節できます。

1. エアコン ▸ エア ▸ スタイル
2. ご希望のエアコンの種類を選択してください。

足元の温度の設定

足元の温度は車室内全体の温度よりも低く設定できます。

1. エアコン ▸ エア ▸ フットウェル
2. 足元の設定温度を選択します。

自動内気循環を ON/OFF にする

自動内気循環モードでは、空気の状態に応じて外気導入が自動的に制御されます。 外気温度が約 5 °C を下回ると、ウィンドウの曇りを防止するため、内気循環モードが自動的に停止します。

▸ エアコン ▸ エア ▸ 自動内気循環

内気循環モードの ON/OFF を手動で操作する

⚠ 警告 手動内気循環モードでの視界の低下

手動内気循環モードを長時間 ON にすると、ウィンドウが曇る恐れがあります。 新鮮な空気が供給されないため、ドライバーが疲労を感じて注意力が低下する可能性があります。

▸ 手動内気循環モードは長時間 ON にしないでください。

一 部の国では、内気循環モードの ON/OFF はセンター コンソールのボタンまたは PCM タッチ ディスプレイを使用して切り替えることができます。

手動で内気循環モードを ON にする

図 256 : 内気循環モードを ON/OFF にする

▸ ボタン を押してください。

空気再循環モードを ON にすると、ボタン が赤く点灯します。
– または –

▸ エアコン ▸ エア ▸

手動で内気循環モードを OFF にする

▸ ボタン を押してください。
– または –
ボタン AUTO を押してください。
– または –

▸ エアコン ▸ エア ▸

イオナイザーの ON / OFF の切り替え

✓ イオナイザー装備車 (装備仕様により異なる)。

イオン発生機は、大都市などエア クオリティが悪い地域で車内の空気の状態を向上させることができます。イオン発生機は無臭です。

▸ センター ベントを開けます。

▸ エアコン ▸ 空気品質 ▸ イオナイザー

車内全体のエアコン設定の使用 - SYNC モード

▸ エアコン ▸ エア ▸ SYNC
SYNC モードを ON または OFF にします。 SYNC モードが作動すると、助手席側の表示値が**運転席の値**に変わります。

ドライバーが一人で乗車する場合の推奨エアコン設定

▸ 車室内の快適性を最大にするために、PCM の SYNC モードを ON にします。

エアコン設定の保存

選択したエアコン設定は、該当するドライバー プロフィールにより自動的にキーに保存されます。

▷ 「パーソナル設定」の章（213ページ）を参照してください。

フロント ウィンドウ デフロスター

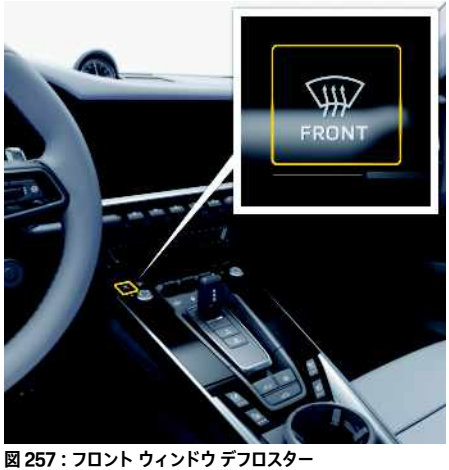


図 257 : フロント ウィンドウ デフロスター

デフロスト モードを ON にする

▶ ボタン を押してください。
ボタンがオレンジ色に点灯します。
フロント ウィンドウおよびフロント サイド ウィンドウへの送風を開始します。
なるべく早くフロント ウィンドウの曇りまたは霜を取ります。

デフロスト モードを OFF にする

▶ ボタン を押してください。
ボタンのオレンジ色ライトが消灯します。

リヤ ウィンドウ ヒーターおよびドア ミラー ヒーターの ON / OFF 切り替え

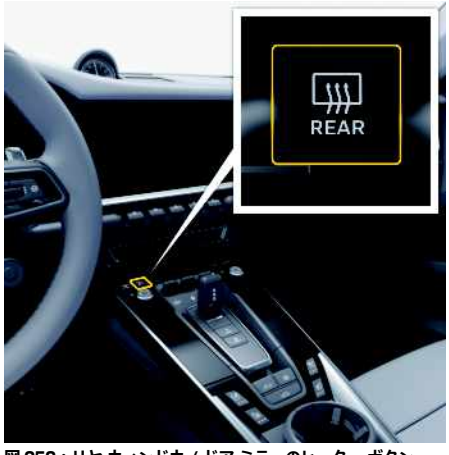


図 258 : リヤ ウィンドウ / ドア ミラーのヒーター ボタン

リヤ ウィンドウ ヒーターおよびドア ミラー ヒーターを ON にする

✓ エンジンを作動状態にする。

▶ ボタン を押してください。
ボタンがオレンジ色に点灯します。

外気温度によって、約 5 ～ 20 分後にリヤ ウィンドウ ヒーター / ドア ミラー ヒーターのスイッチが自動的に OFF になります。

リヤ ウィンドウ ヒーターおよびドア ミラー ヒーターを OFF にする

▶ ボタン を押してください。
ボタンのオレンジ色ライトが消灯します。

インフォメーション

カブリオレのみ：コンバーチブルトップが開いた状態でリヤ ウィンドウおよびドア ミラー ヒーターを繰り返し ON にすると、ラバー シールを損傷する恐れがあります。

▶ ヒーター機能が自動的に OFF になった場合、5～20 分の間はリヤ ウィンドウおよびドア ミラー ヒーターを繰り返し ON にしないでください。

走行プログラム

装備によっては、全体的によりスポーティーに設定された走行用プログラムや、全体的に濡れて滑りやすい路面での走行用に設定された WET 走行プログラムが提供されています。

走行プログラムの車両設定に関するインフォメーション：

▷ 「選択した走行プログラムの車両設定の概要」の章（298ページ）を参照してください。

走行プログラムの選択

インフォメーション

走行プログラムを作動させていない場合、車両は自動的にノーマル走行プログラムになります。

イグニッションを OFF にした後に、選択された走行プログラムは自動的にノーマル走行プログラムに戻ります。

走行プログラムの PCM での選択

1. **車両** ▸ **ドライブ** を選択します。
2. 希望する走行プログラムを PCM で選択します。

スイッチ パネルでの走行プログラムの選択

✓ スポーツ クロノ パッケージ非装備車

図 259：走行プログラム (SPORT など) のボタン

▸ 希望する走行プログラムのボタンを押します。
該当するボタンが赤色に点灯します。 インストルメント クラスターに選択した走行プログラムが表示されます。

モード スイッチでの走行プログラムの選択

✓ スポーツ クロノ パッケージ装備車

図 260：ステアリング ホイールの走行プログラム

▸ モード スイッチを左または右に回して、希望する走行プログラムを選択します。
インストルメント クラスターに選択した走行プログラム (WET、NORMAL、SPORT、SPORT PLUS または INDIVIDUAL) が表示されます。

ポルシェ WET モード

ポルシェ WET モードは著しく濡れた路面を検出することができ、走行システムをより安定した操作特性に設定します。

十分な湿気が検出された場合、システムは自動的にシャーシ システムをシステム制御内で制御します。 外気温度に応じて WET シンボル または がインストルメント クラスターに表示され、同時にドライバーに WET 走行プログラムを ON にするように促すメッセージが表示されます。 ドライバーが WET 走行プログラムを作動させる場合、シャーシ システムはよりしっかり制御され、ドライブ、スポイラー位置およびクーリング エア フラップ位置もシステム制御内で制御されます。

WET 走行プログラムが作動している場合、SPORT Response モードおよびスポーツ サスペンション設定は使用できません。 PSM は ON で、無効にできません。 アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) の設定距離が以前は短かった場合、アダプティブ クルーズ コントロールの設定距離が中程度の設定 (「走行速度の半分の距離」) に変更されます。

▷ 「前走車との車間距離を表示する」の章（45ページ）を参照してください。

システム制限

雪が原因で、ホイール アーチ内の湿気センサーが遮断されている場合、システム機能は制限されます。

インストルメント クラスターのオート コントロールおよび警告メッセージは 250 km/h (156 mph) の速度まで使用可能です。

十分な濡れ路面の検出は、走行速度と路面により異なります。

ポルシェ WET モードはハイドロプレーニングを検出することも、回避することもできません。

システムは雨天候を示す表示を行ったり、ワイパーを作動させたりすることはありません。

検出した濡れに関するメッセージを無効にすることができます。

▸ **アシスト** ▸ **オプション** ▸ **アシスタンス システムの設定** ▸ **湿気検知**

INDIVIDUAL 走行モードの設定

✓ スポーツ クロノ パッケージ装備車

INDIVIDUAL 走行プログラムでは、シャーシ、車両レベル、スポーツ排気システム、リヤ スポイラーおよびオート スタート / ストップ機能を、NORMAL、SPORT、SPORT PLUS 走行プログラムに基づいて組み合わせることができます。 保存した組み合わせは、モード スイッチを INDIVIDUAL 切り替えるか PCM を介して再び呼び出すことが可能です。

INDIVIDUAL での設定の選択と保存

1. 車両 ▸ ドライブ を選択します。
2. 希望する設定を PCM で選択します。
3. 設定を保存するには、ヘッダーの を選択します。

SPORT Response モードの使用

✓ スポーツ クロノ パッケージ装備車

図 261 : SPORT Response ディスプレイ タイマー

SPORT Response モードでは、エンジンおよびトランスミッションがタイマー コントロールで最大レスポンスに設定されます。

SPORT Response モードの作動

図 262 : ステアリング ホイールの SPORT Response ボタン

▸ モード スイッチの **SPORT Response** ボタンを再度押してください。
インストルメント クラスターの車両 & 情報ディスプレイ内のタイマーは、この機能が有効な残り時間を示しています。 その後、以前選択した走行プログラムが再度有効になります。

SPORT Response モードの作動停止

✓ SPORT Response モードが作動していること

▸ モード スイッチの **SPORT Response** ボタンを再度押してください。
以前選択した走行プログラムが再度有効になります。

選択した走行プログラムの車両設定の概要

以下の表は、関連する走行プログラムで利用可能な走行設定の一部のみを示しています。

▸ 個々の車両機能に関して詳しくは、該当するセクションを参照してください。

走行プログラム	WET	NORMAL	SPORT	SPORT PLUS
アイドル回転数上昇	無効	無効	作動	作動
シフトダウン時の中間スロットルの適用	作動	無効	作動	作動
車内のエンジン サウンド最適化	無効	無効	作動	作動
バックファイアー	無効	無効	作動	無効

走行プログラム	WET	NORMAL	SPORT	SPORT PLUS
ローンチ コントロール	作動できない	作動できない	作動できない	有効化可能
オート スタート / ストップ	作動	作動	無効	無効
SPORT Response	作動できない	有効化可能	有効化可能	有効化可能
スポーツ エキゾースト システム	作動できる	作動できる	作動	作動

WET
濡れて滑りやすい路面にコントロール システムが最適化されます。

NORMAL
日常での走行中、コントロール システムは快適さと燃費のバランスを取りながら機能します。

SPORT
日常での走行中、コントロール システムは情動性およびダイナミズムを重視して調整されます。

SPORT PLUS
レース サーキットのような運転で最高のパフォーマンスを発揮します。

スポーツ エキゾースト システムの ON/OFF の切り替え

スポーツ エキゾースト システムは排気音最適化モードに切り替えることができます。

スイッチ パネルでのスポーツ エキゾースト システムの選択

図 263 : スポーツ エキゾースト システムのボタン

- スポーツ エキゾースト システムのボタンを押してください。

スポーツ エキゾースト システムが ON になると、ボタンが赤色に点灯します。

PCM を介したスポーツ エキゾースト システムの ON / OFF の切り替え

1. **車両** ▸ **ドライブ** を選択します。
2. 排気システムを選択します。

転倒保護 (カブリオレ)

ポジション

転倒保護システムがリヤ シート後方に装備されており、横転する危険のある事故が起きた際には瞬時に展開します。
作動時に大きな音を伴います。 必要な場合は、フロント シート用シートベルト テンショナーが作動します。

▷ 「シート ベルト」の章（118ページ）を参照してください。

転倒保護システムは 2 本の格納式アッセンブリーで構成され、万一車両が転倒しても、フロント ウィンドウのフレームとともにすべての乗員の頭部を保護できるスペースを確保するシステムです。

⚠ 危険 転倒保護の改造による不具合

変更を加えたり、作動が妨げられたりすると、転倒保護システムに不具合が生じ、重傷または致命傷を負う危険があります。 変更を加えた転倒保護システムは保護効果を十分に発揮できません。 転倒保護システムが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。

- 転倒保護システムの配線や構成部品を改造しないでください。
- 身体の各部や物が格納式アッセンブリーの作動範囲に入らないようにしてください。
- 格納式アッセンブリーのカバーを開かないでください。
- 車両を清掃する場合は、転倒保護システムに水または洗剤が入らないように注意してください。

知識

コンバーチブル トップを開閉する際に、コンバーチブル トップおよび転倒保護を損傷する恐れがあります。
展開した転倒保護はコンバーチブル トップの作動を妨げます。

- 転倒保護が展開した状態でコンバーチブル トップの開閉操作を行わないでください。

i インフォメーション

コンバーチブル トップを閉じているときに転倒保護システムが作動すると、リヤ ウィンドウが破損します。

警告灯への対応

ロールオーバー プロテクション システムに故障がある場合、インストルメント クラスター内の赤色の**エアバッグ警告灯** で示されます。 ロールオーバー プロテクション機能が保証されなくなります。

- 早急に故障を修理してください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

作動済みロールオーバー プロテクション システム

- 格納式アッセンブリーを元の位置に押し戻さないでください。 格納式アッセンブリーは格納位置にとどまらず、跳ね返ります。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。 ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

補給

一般情報

⚠ 警告 給油時の火災の危険

燃料は非常に引火性が高く、激しく燃えたり、爆発を起こしたりする可能性があります。

- ▶ 燃料を取り扱う際、火炎、裸火、喫煙は禁止されています。

⚠ 警告 燃料蒸発ガスの吸引および燃料の皮膚への付着

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。

ℹ インフォメーション

燃料によって硫黄含有量が高いものがあります。 そのため、特定の運転状況下において、エンジン内の燃焼が不快な匂い (いわゆる「腐った卵の匂い」) を引き起こすことがあります。 この特性に関してポルシェ社は責任を負いかねます。また、これは車両の不具合ではありません。

イグニッションを ON にすると、インストルメント クラスターに燃料の残量が表示されます。
燃料の残量が機種ごとに設定された一定量の燃料残量を下回る場合、インストルメント クラスターに警告メッセージが表示されます。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。
- ▷ 「テクニカル データ」の章（305ページ）を参照してください。

適切な燃料の選択

知識

不適切な燃料を使用するとエンジン、燃料系統、およびエキゾースト システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 下記で要求されている燃料のみを使用してください。
- ▶ エタノール含有燃料を**使用しないでください**。

ℹ インフォメーション

通常、燃料の品質（オクタン価など）に関する情報は、ガソリン スタンドの給油機に掲載されています。ガソリン スタンドのスタッフからも情報が得られます。

エンジンは**金属系添加物を含まない無鉛ガソリン**の使用を前提に設計されています。

モデル	推奨燃料	代替燃料
	最低オクタン価:	
全車両	98 RON/ 88 MON	95 RON/ 85 MON

この車両のエンジンは、エタノール含有量 10 %以下の燃料の使用に適しています。 エタノール含有燃料を使用すると、燃費が悪くなることがあります。

E5

E10

燃料品質についての情報は、通常フューエル ポンプに表示されています。 ガソリンスタンドの従業員も情報を提供することができます。

ℹ インフォメーション

推奨燃料が入手困難な場合は、緊急措置としてオクタン価 **91 RON/82.5 MON** の**金属系添加物を含まない無鉛ガソリン**を使用することができます。 ただし、この場合はエンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。

- ▶ オクタン価が **91 RON/82.5 MON** 以上の**金属系添加物を含まない無鉛ガソリン**を使用してください。
- ▶ オクタン価が 91 RON/82.5 MON の無鉛ガソリンを使用した場合は、フル スロットルで走行**しない**でください。

より品質の低い燃料に添加剤を使用する

知識

ポルシェ社が承認していない添加剤を使用した場合、エンジン、燃料系統、エグゾースト システムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ ポルシェが承認した添加剤のみを使用してください。
- ▶ 給油前に添加剤を投入してください。

地域によっては、燃料品質がポルシェ社の基準を満たしていないことがあります。 ポルシェ社の基準を満たす燃料を入手できない場合は、推奨する添加剤を混ぜ合わせてください。詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
ポルシェ部品番号 000 043 209 02。

- ▶ 容器に記載された指示や混合比を読み、それに従ってください。
- ▶ 常に定期点検時期およびオイル交換時期に従ってください。

燃料の給油

知識

燃料が付着すると、デコラティブ フィルムが損傷する恐れがあります。

▸ デコラティブ フィルムに燃料が付着したときは、直ちに拭き取ってください。

図 264 : フィラー フラップを開く

図 265 : タンクのキャップを開く

✓ エンジンが停止している。
✓ イグニッションが OFF になっている。
✓ 車両のロックが解除されている。

1. フィラー フラップの後部を押すと、フラップが開きます。 この車両に使用できる燃料の種類については、フィラー フラップの裏のステッカーに明示されています。
2. タンクのキャップをゆっくり開いて取り外してください。
3. 取り外したキャップをホルダーにかけてください。
4. 給油ノズルは確実にフィラーの奥まで差し込み、注入時はノズルを下に向けて給油してください。
5. 給油ノズルを操作して車両に給油してください。給油ノズルの自動停止後は、燃料の継ぎ足しは行わないでください。 燃料が吹きこぼれ、周囲が高温の場合は火災が発生する恐れがあります。
   ▹ 「テクニカル データ」の章（305ページ）を参照してください。
6. 給油後はすぐにタンクのキャップを元の位置に戻し、カチッと閉まる音が聞こえ手ごたえがあるまで締めつけます。
7. フィラー フラップを閉じてフィラー フラップの後部を押し、しっかりと閉じてください。

インフォメーション

燃料タンクのタンク キャップを紛失したときは、必ずポルシェ純正部品を使用してください。

フィラー フラップの緊急解除

図 266 : 緊急時のフィラー フラップの操作

フィラー フラップの電動ロック解除機構が故障したときは、手動でフィラー フラップを開くことができます。

1. 助手席ドアを開いてください。
2. 助手席ドアおよびフェンダーの間のドア開口部に手を伸ばします。 抵抗を感じる位置までノブを上に引いててください。
   フィラー フラップのロックが機械的に解除されます。
3. フィラー フラップの後部を押すと、フラップが開きます。
4. フラップが開かない場合、ステップ 2 と 3 を繰り返します。
5. 緊急解除を行った場合は、ノブを指定されたキャッチに固定します。 要整備。

テクニカル・データ

以下のページでは、お使いの車両の技術データ (メーカー参考値) を表示します。

テクニカル データ

この取扱説明書に含まれる情報は、装備品または国別で車両固有データと異なる場合があります。 個別に指定されている場合を除き、すべてのボディの種類に適用されます。 車両固有データに関しては、車両の公式登録書類およびインフォメーション プレートを参照してください。
車両の公式登録書類の情報は常にこのマニュアルの情報よりも優先されます。

車体番号

図 267 : 車体番号の記載箇所

車体番号は、フロント ウィンドウの左下とエンジン コンパートメント (スポイラー) 内のカバー下の右側にあります。

- スペア パーツを注文する場合、必ず車体番号を記載してください。

タイヤ空気圧プレート

図 268 : タイヤ空気圧プレート固定ポイント

タイヤ空気圧プレートは、運転席ドアのドア シル部に取り付けられています。

データ バンク

車両の大切な情報が記載されているデータ バンクは、「整備手帳」の中に添付されています。 データ バンクは紛失したり、破損したりしても再注文することはできません。

車両寸法

全長 (装備仕様により異なる)	4,519 mm ~ 4,535 mm
全幅 (装備仕様により異なる)	1,852 mm ~ 1,900 mm
ドア ミラーを含む全幅	2,024 mm
DIN 規定の空車重量での車高 シャーシ バージョンによる	1,288 mm ~ 1,303 mm
DIN 規定空車重量時の地上高 シャーシ バージョンによる	113 mm ~ 126 mm

充填容量

ウォッシャー液	約 2.5 リットル (ナイト ビュー アシスト装備車 : 約 3.5 リットル)
燃料タンク	**後輪駆動車 :** 約 64 L (オプション : 約 90 L、国によって異なる)、予備用の約 8 L を含む (PDK 装備車) **4 輪駆動車 :** 約 67 L、予備用の約 8 L を含む (PDK 装備車)

消費量および CO_2 排出量

CO_2 排出量は消費量に直接影響されます。 安全運転や定期点検によって、CO_2 排出量を最小限に抑制できます。

インフォメーション

国により、車両の燃費と排出値が納車時に提供された書類に記載されている場合があります (例:「適合証明」)。 そこに記載されている値は、規定の測定方法 (現行バージョンの Euro 6: 基準 (EU) 715/2007; 現行バージョンの Euro 5: ECE-R 101 と ECE-R 83) に基づいて測定したものです。

重量

- 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。 追加アクセサリーが取り付けられている場合、最大許容荷重が小さくなります。
- ルーフ トランスポート システムは、ポルシェ テクイップメントの製品ラインのもの、またはポルシェが試験および認定したもののみ使用してください。
- ルーフ トランスポート システムに荷物を載せている場合、130 km/h を超える速度で走行しないでください。
- 「ルーフ トランスポート システム」の章（ 262ページ）を参照してください。

	911 Carrera Porsche Doppelkupplung (PDK)	911 Carrera カブリオレ Porsche Doppelkupplung (PDK)
空車重量 (装備仕様により異なる)		
DIN 70020 規格	1,505 kg ~ 1,660 kg	1,575 kg ~ 1,715 kg
EC 規格 1230 / 2012 に基づく	1,580 kg ~ 1,735 kg	1,650 kg ~ 1,790 kg
最大軸荷重、フロント	835 kg	835 kg
最大軸荷重、リヤ	1,240 kg	1,280 kg
最大総重量	1,960 kg	2,015 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg	–

	911 Carrera S Porsche Doppelkupplung (PDK)	911 Carrera S カブリオレ Porsche Doppelkupplung (PDK)
空車重量 (装備仕様により異なる)		
DIN 70020 規格	1,515 kg ~ 1,685 kg	1,585 kg ~ 1,740 kg
EC 規格 1230 / 2012 に基づく	1,590 kg ~ 1,760 kg	1,660 kg ~ 1,815 kg
最大軸荷重、フロント	860 kg	860 kg
最大軸荷重、リヤ	1,265 kg	1,305 kg
最大総重量	1,985 kg	2,040 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg	–

	911 Carrera 4 Porsche Doppelkupplung (PDK)	911 Carrera 4 カブリオレ Porsche Doppelkupplung (PDK)
空車重量 (装備仕様により異なる)		
DIN 70020 規格	1,555 kg ~ 1,685 kg	1,625 kg ~ 1,740 kg
EC 規格 1230 / 2012 に基づく	1,630 kg ~ 1,760 kg	1,700 kg ~ 1,815 kg
最大軸荷重、フロント	855 kg	855 kg
最大軸荷重、リヤ	1,250 kg	1,290 kg
最大総重量	1,985 kg	2,040 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg	–

	911 Carrera 4S : Porsche Doppelkupplung (PDK)	911 Carrera 4S カブリオレ Porsche Doppelkupplung (PDK)
空車重量 (装備仕様により異なる)		
DIN 70020 規格	1,565 kg ~ 1,710 kg	1,635 kg ~ 1,765 kg
EC 規格 1230 / 2012 に基づく	1,640 kg ~ 1,785 kg	1,710 kg ~ 1,840 kg
最大軸荷重、フロント	875 kg	875 kg
最大軸荷重、リヤ	1,270 kg	1,310 kg
最大総重量	2,010 kg	2,065 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg	–

	911 Targa 4 Porsche Doppelkupplung (PDK)	911 Targa 4S Porsche Doppelkupplung (PDK)
空車重量 (装備仕様により異なる)		
DIN 70020 規格	1,665 kg ～ 1,760 kg	1,675 kg ～ 1,785 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,740 kg ～ 1,835 kg	1,750 kg ～ 1,860 kg
最大軸荷重、フロント	855 kg	875 kg
最大軸荷重、リヤ	1,310 kg	1,330 kg
最大総重量	2,060 kg	2,085 kg

	911 Turbo PDK	911 Turbo カブリオレ PDK
空車重量 (装備仕様により異なる)		
DIN 70020 規格	1,640 kg～1,740 kg	1,710 kg～1,800 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,715 kg～1,815 kg	1,785 kg～1,875 kg
最大軸荷重、フロント	845 kg	845 kg
最大軸荷重、リヤ	1,300 kg	1,340 kg
最大総重量	2 シーター : 1,940 kg 4 シーター : 2,040 kg	2,100 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg	—

	911 Turbo S Porsche Doppelkupplung (PDK)	911 Turbo S カブリオレ Porsche Doppelkupplung (PDK)
空車重量 (装備仕様により異なる)		
DIN 70020 規格	1,640 kg ～ 1,720 kg	1,710 kg ～ 1,780 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,715 kg ～ 1,795 kg	1,785 kg ～ 1,855 kg
最大軸荷重、フロント	845 kg	845 kg
最大軸荷重、リヤ	1,300 kg	1,340 kg
最大総重量	2 シーター : 1,920 kg 4 シーター : 2,020 kg	2,080 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg	—

ホイールおよびタイヤ

タイヤ / ホイール サイズ

ポルシェ社が承認したタイヤにより、この車両に最適な走行性能が得られます。 記載されている荷重指数 (例 : 「105」) と速度記号 (例 : 「Y」) 以上の性能のタイヤを使用してください。 新しいタイヤを装着するとき、またはタイヤの交換を行う場合 :

▷ 「タイヤおよびホイール」の章（ 154ページ）を参照してください。

- スノー チェーンは、適切なマークが付いたホイールおよびタイヤ サイズにのみ装着します。 スノー チェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。 ポルシェが承認したスノー チェーンのみ使用します。
- 別のタイヤおよびホイールと交換する前には、公式車両登録書類 (国によっては「適合証明書」など) を参照して、保有車両に適したホイール / タイヤの組み合わせかどうか確認してください。 詳しい情報はポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

タイヤ種類	タイヤ サイズ	ホイール サイズ	スノー チェーンの装着
911 Carrera、911 Carrera 4、911 Targa 4、 911 Carrera S、911 Carrera 4S、911 Targa 4S			
サマー タイヤ	FA : 235/40 ZR 19 (92Y)[1]	FA : 8.5J x 19、RO 52[1]	不可

1. ポルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB) 装備車を除く。

タイヤ種類	タイヤ サイズ	ホイール サイズ	スノー チェーンの装着
	RA : 295/35 ZR 20 (101Y)[2]	RA : 11.5J x 20、RO 67[2]	
	FA: 245/35 ZR 20 (91Y) RA: 305/30 ZR 21 (100Y)	FA : 8.5J x 20、RO 53 または FA : 8.5J x 20、RO 50 RA : 11.5J x 21、RO 67	不可
ウインター タイヤ	FA: : 235/40 R 19 92V M+S[2 4] RA : 295/35 R 20 101V M+S[2 4]	FA : 8.5J x 19、RO 52[2 4] RA : 11J x 20、RO 66[2 4]	リヤ アクスルのみ
	FA: 245/35 R 20 91V M+S RA : 295/30 R 21 98V M+S	FA : 8.5J x 20、RO 53 RA : 11J x 21、RO 66	リヤ アクスルのみ
911 Turbo、911 Turbo S			
サマー タイヤ	FA : 255/35 ZR 20 (97Y) XL RA : 315/30 ZR 21 (105Y) XL	FA : 9J x 20、RO 41 RA : 11.5J x 21、RO 67	不可
	FA : 255/35 ZR 20 (97Y) XL RA : 315/30 ZR 21 (105Y) XL	FA : 9.5J x 20、RO 44 RA : 12J x 21、RO 70	不可
ウィンター タイヤ	FA : 245/35 R 20 91V M+S RA : 305/30 R 21 100V M+S	FA : 8.5J x 20、RO 40 RA : 11J x 21、RO 66	可

FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル、RO = リム オフセット

タイヤ空気圧

タイヤ空気圧はいずれも、ポルシェが認定したメーカーおよび仕様のタイヤの冷間時 (20 °C) にのみ適用されるものです。
工場取り付けタイヤの正しいタイヤ空気圧は、タイヤ空気圧プレートで確認できます。 選択できるその他すべてのタイヤの指定タイヤ空気圧は、PCM のタイヤ空気圧モニタリング (TPM) ディスプレイで確認できます。

- タイヤ空気圧モニタリング (TPM) でタイヤの種類、タイヤのサイズおよび車両の積載状況を設定し、「標準タイヤ空気圧」または「コンフォート タイヤ空気圧」のいずれか (国または装備に応じて) を選択します。

2. ポルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB) 装備車を除く。
4. **オーストラリア、韓国、ベトナム** : ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) スポーツ シャーシ (-10 mm) 装備車を除く。

▹ 「タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」の章（ 154ページ）を参照してください。

▸ タイヤ空気圧プレートと、PCM のタイヤ空気圧モニタリング (TPM) ディスプレイを参照してください。

– **車両** ▸ **コントロール** ▸ **車両** ▸ **タイヤ空気圧監視システム** ▸ **空気圧偏差**

▸ タイヤ空気圧を仕様に合わせます。

⚠ 警告 タイヤ空気圧が低い

「コンフォート プレッシャー」オプションは国によって異なるため、すべての国別仕様に適用されるわけではありません。
高速走行時にタイヤ空気圧が低いと、タイヤが破損します。

▸ コンフォート プレッシャーは「コンフォート プレッシャー」機能を備えた車両のタイヤのみに設定してください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)

テクニカル データ：オーディオおよびビデオ ファイル	
対応するメディア	**SD カード** 128 GB まで **ポータブル プレーヤー** MTP プレーヤー、「USB デバイス サブクラス 1 および 6」の USB 2.0 デバイス (USB スティック、特別なドライバー ソフトウェアを含まない USB MP3 プレーヤー、外部 USB フラッシュ メモリー、およびハードディスクなど)
ファイル システム	**SD/SDHC/SDXC/MMC** メモリーカード **USB マス ストレージ** exFAT、FAT または FAT32、NTFS ファイルシステム (最大 4 パーティション)
フォーマット	MPEG 1/2 Layer 3、Windows Media Audio 9 および 10、MPEG 2/4、FLAC、MPEG 1/2、ISO-MPEG4、DivX 3、4、5、Xvid、ISO-MPEG4 H.264 (MPEG4 AVC)、Windows Media Video 9
ファイル拡張子	.mp3、.wma、.asf、.m4a、.m4b、.aac、.flac、.mpg、.mpeg、.avi、.mp4、.m4v、.mov、.wmv
再生リスト	.M3U、.PLS、.WPL、.M3U8、.ASX
特性	最大 320 kbit/s および 48 kHz サンプリング周波数、最大 2,000 kbit/s および 720x576 ピクセル (最大 25 fps)
ファイル数	**USB マス ストレージ**および**メモリー カード** 1 メディアにつき最大 10,000 ファイル、1 ディレクトリ / 1 再生リストにつき最大1,000 ファイル
メタデータ	アルバム ジャケット最大 800 x 800 ピクセル。GIF、JPG、および PNG フォーマット、または Gracenote データベース経由

テクニカル データ：接続	
モバイル ネットワーク	GSM/GPRS/EDGE：デュアル バンド、900 MHz/1,800 MHz UMTS/HSPA+：トライ バンド、900 MHz (バンド VIII)/1800 MHz (バンド III)/2100 MHz (バンド I) LTE：クワッド バンド、800 MHz (バンド 20)/900 MHz (バンド 8)/1800 MHz (バンド 3)/2600 MHz (バンド 7)
WiFi	IEEE 802.11a/b/g/n (2.4 GHz)
Bluetooth®	Bluetooth® 2.1、IEEE 802.15.1、クラス 2、到達範囲約 10 m
SIM カード	ミニ SIM、寸法：25 x 15 mm
テクニカル データ：ラジオ	
周波数範囲 / 規格	UKW (FM)：87.5 ～ 108 MHz (100 kHz 単位の手動調節) MW (AM)：537 ～ 1602 kHz (国別仕様による、9 kHz 単位の手動調節)
放送局の自動検索による選局グリッド	UKW (FM)：100 kHz MW (AM)：9 kHz (国別仕様による)
ライセンス通知	
Bluetooth®	Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アイシン エィ ダブリュ (株) はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレード ネームは、それぞれの所有者に帰属します。
Dolby Digital	ドルビー ラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビー ラボラトリーズの商標です。
DTS Digital Surround	DTS 特許については、http://patents.dts.com を参照してください。 DTS Licensing Limited のライセンスの下で製作。DTS、シンボル、および DTS とシンボルの組み合わせは登録商標として登録されています。DTS Digital Surround は DTS, Inc. の登録商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved.
Gracenote	Gracenote および Gracenote ロゴとロゴ タイプは、米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

エンド ユーザー使用許諾契約書

Gracenote®

Gracenote® エンド ユーザー使用許諾契約書

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンライン サーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。 お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。 お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。 Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。+B19 無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。 Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。 Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© 2000 to present Gracenote, Inc.

Bluetooth® 認証 (抜粋)

Albania – Andorra – Angola – Aruba – Australia – Austria – Bahamas – Bahrain – Barbados – Belarus – Belgium – Belize – Bolivia – Bonaire – Bosnia and Herzegovina – Brazil – Brunei – Bulgaria – Burkina Faso – Canada – Chile – China – Colombia – Costa Rica – Croatia – Curacao – Cyprus – Czech Republic – Denmark – Dominican Republic – Ecuador – Egypt – El Salvador – Estonia – Ethiopia – Finland – France – French Guyana – French Polynesia – Gabon – Germany – Ghana – Gibraltar – Guadeloupe – Guatemala – Greece – Greenland –

Hong Kong – Hungary – Iceland – India – Indonesia – Ireland – Iraq – Israel – Italy – Ivory Coast – Jamaica – Japan – Jordan – Kenya – Kosovo – Kuwait – Latvia – Lebanon – Lesotho – Liberia – Libya – Liechtenstein – Lithuania – Luxembourg – Macau – Macedonia – Madagascar – Malaysia – Malta – Martinique – Mauritius – Mexico – Monaco – Mongolia – Morocco – Mozambique – Netherlands – New Caledonia – New Zealand – Nigeria – Norway – Oman – Pakistan – Panama – Peru – Poland – Portugal – Puerto Rico – Qatar – Réunion – Romania – Russia – San Marino – Saudi Arabia – Senegal – Serbia – Singapore – Slovakia – South Africa – Spain – St. Lucia – Sweden – Switzerland – Tahiti – Taiwan – Thailand – United Arab Emirates – United Kingdom – Uruguay – USA – Venezuela – Vietnam – Yemen – Zimbabwe

リサイクル

耐用年数経過後の車両の返却

欧州連合加盟国の車両のみ：

耐用年数に達したポルシェ車両は、Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG が、無料で、環境負荷の小さい方法で廃棄します。 使用済みの車両を返却して関連する解体証明書を取得するには：

- ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

エアバッグおよびシート ベルト テンショナー ユニット

非点火ガス発生装置またはエアバッグおよびシートベルト テンショナー ユニット装備車両の全体もしくは一部分を、「通常の」解体品または廃棄物として処分したり、他の形態の廃棄物の中に混ぜて処分したりしないでください。

適切な処分の詳細については、

- ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

電気 / 電子機器および古いバッテリー

ゴミ箱に x 印のマークが付いた電気 / 電子機器および古いバッテリーは、決して家庭ゴミと一緒に捨てないでください。必ず適切に廃棄処分してください。

- 廃棄処分する際は、国ごとの法規を遵守してください。
- 古いバッテリーおよび電気 / 電子機器は、回収場所に持ち込んでください。
- 12 V リチウム バッテリーは危険物です。 このバッテリーに手を加えたり、決してご自身で廃棄しないでください。

適切な廃棄処分の詳細については、

- ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

EU 化学物質規制 REACh に準拠した情報

ポルシェは EU 化学物質規制 REACh (化学物質の登録、評価、認可、および制限) に従い、車両に含まれている可能性のある高懸念物資 (SVHC) に関する情報を提供します。

この情報はインターネットで入手できます。

▷ https://www.porsche.com/international/reach-regulation/

無線装置 (EU の地域外)

検査マークおよび適合宣言

Albania, Bahrain, Bosnia and Herzegovina, French Guyana, Georgia, Gibraltar, Guadeloupe, Iceland, Israel, Ivory Coast, Kuwait, Macedonia, Martinique, Monaco, Montenegro, New Caledonia, Norway, Reunion, Sri Lanka, St. Lucia, Switzerland, Trinidad & Tobago, Turkey.

CE

Argentina

CNC COMISIÓN NACIONAL DE COMUNICACIONES

CNC ID: H-21037
CNC ID: C-18053

Australia

ACN/ARBN 004 528 778/
58004528778

Belarus

TP BY

Brazil

ANATEL

Modelo BCMevo5: 02393–19–05364
Modelo PK3: 00971–18–02930
2294-15-3616
0716-15-03745
05031-16-06324
05674-16-06830
04921-20-12817

"Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário."

Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados. Este produto está homologado pela ANATEL, de acordo com os procedimentos regulamentados pela Resolução 242/2000, e atende aos requisitos requisitos técnicos aplicados.

Para maiores informações, consulte o site da ANATEL www.anatel.gov.br

Brunei

DTA-002281

Canada

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may Not cause harmful interference, and
2. This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

Cet appareil est conforme à la Partie 15 des règlementations de la FCC et avec la norme RSS-210 de l'Industrie Canadienne. Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes:

1. Cet appareil ne doit pas causer d'interférences nuisibles et
2. Cet appareil doit accepter toute interférence reçue, y compris les interférences pouvant entraîner un fonctionnement.

Customs Union (including Armenia, Belarus, Kazakhstan, Russia)

EAC

Модель: LTE-MBC-EU
Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH
Сделано в Германии
Электропитаие : 12 V=, 400 mA
Декларация о соответствии ТР ТС 020/2011 ЕАЭС № RU Д-DE.ЭМ03.В.00148 от 05.03.2018,
действительна по 04.03.2023,
зарегистрирована органом по сертификации продукции ФГУП Ордена Трудового Красного Знамени научно-исследовательский институт радио «Испытательный центр «Омега»

Модель: LTE-MBC-EU2
Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH
Сделано в Германии
Электропитаие : 12 V=, 400 mA
Декларация о соответствии ТР ТС 020/2011 ЕАЭС № RU Д-DE.ЭМ03.В.00148 от 05.03.2018,

действительна по 04.03.2023, зарегистрирована органом по сертификации продукции ФГУП Ордена Трудового Красного Знамени научно-исследовательский институт радио «Испытательный центр «Омега»

Ghana

NCA APPROVED: 1R3-1M-7E0-14B
NCA APPROVED: 6X6-4H-7E0-0F3
NCA APPROVED: ZR0-M8-7E3-12B

Hong Kong

HKCA 1035: Automotive radar: radio equipment exempted from licensing.

Indonesia

55538/SDPPI/2018
2208

53856/SDPPI/2017
47817/SDPPI/2016
PLG ID: 6094
67638/SDPPI/2020
10325

63118/SDPPI/2019
2692

Israel

Model Name: TSSRE4Dg
Manufacturer: Huf Electronics Bretten
Model Name: LRR4
Manufacturer: Bosch

Japan

204-560001
202-LSC054
202-JN0638
TRANSCVRP01:This device is granted pursuant to the Japanese Radio Law. This device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid).

Japanese Radio Law Compliance. This device is granted pursuant to the Japanese Radio Law. This device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid).

Jamaica

This product has been Type Approved by Jamaica: SMA - PK3.
This product has been Type Approved by Jamaica: SMA - BCMevo5.

Jordan

TRC/LPD/2014/212
TRC/LPD/2016/584
TRC/LPD/2017/615

Malaysia

CIDF15000490
CIDF17000143
CIDF19000029

Mexico

IFETEL: RLVPOPK17-1947
IFETEL: RLVBOLR14-1873
IFETEL: IFT-008–2015
IFETEL: RCPAPR318-2005
La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones

1. Es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
2. Este equipo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

Moldova

024

1024

8526

MD OC TIP 024 A6116-18

Mongolia

APPROVED
IN MONGOLIA
ID: A18000286

APPROVED
IN MONGOLIA
ID: A17000167

Morocco

Numéro d´agrément :
MR 17800 ANRT 2018
Date d´agrément : 24/10/2018
AGREE PAR L'ANRT MAROC
Numéro d´agrément :
MR 15019 ANRT 2017
Date d´agrément : 26/10/2017
Numéro d´agrément :
MR 9668 ANRT 2014
Date d´agrément : 30/09/2014
Numéro d´agrément :
MR 12623 ANRT 2016
Date d´agrément : 11/10/2016
Numéro d'agrément: MR 19520 ANRT 2019
Date d'agrément: 13/04/2019
Numéro d'agrément: MR 15845 ANRT 2018
Date d'agrément: 19/02/2018

Nigeria

Model R3TR - Connection and use of this communications equipment is permitted by the Nigerian Communications Commission.
Model TRANSCVRP01 - Connection and use of this communications equipment is permitted by the Nigerian Communications Commission.

Oman

オマーン - TRA/TA-R/4813/17
D100428
オマーン - TRA
D172249
TA056891
オマーン - TRA/TA-R/2609/15
D080134
オマーン - TRA/TA-R/2160/14
オマーン - TRA-R/3848/17
D080134
オマーン - TRA
TA044715
D100428
オマーン - TRA
R/3621/16
D080134
オマーン - TRA
R/5196/18
D100428

Pakistan

Paraguay

CONATEL

NR: 2017-12-I-0000410

Down
UA RF: 1BOSC0003
CONATEL 2014-10-I-000305

Philippines

NTC
Type Approval No:
ESD-1612188C

NTC
Type Approval No:
ESD-1409770C

Qatar

Approval Ref.: CRA/SA/2015/R-4714
Approval Ref.: CRA/SA/2014/R-4315

Russia

Модель: LTE-MBC-EU
Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH
Сделано в Германии
Электропитаие: 12 V=, 400 mA
TRANSCVRP01: RU д-DE.ЭМ03.В.00133

Serbia

34540-1020/17-3
34540-1313/16-3

Singapore

Complies with IDMA Standard DA 103787.
Complies with IDMA Standards DB 106879.
Registration Number N3078-18
Complies with IDMA Standards N2853–18.
Complies with IDMA Standards DB107205.

South Africa

TA-2014/2597
APPROVED

TA-2014/1784
APPROVED

TA-2016/2759
APPROVED

TA-2017/2491
APPROVED

TA-2019/5116
APPROVED

TA-2016/2568
APPROVED

TA-2017/3465
APPROVED

South Korea

R-C-MQU-PK3
MSIP-REM-HEB-TSSSG4G5
MSIP-CRM-HEB-TSSRE4DG
BO-LRR4
R-CRM-DDG-R3TR
송신기 주파수 21.85 kHz
B급 기기 (가정용 방송통신기자재)
이 기기는 가정용(B급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.
해당 무선 설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없음
송신기 주파수 433.92 MHz
B급 기기 (가정용 방송통신기자재)
이 기기는 가정용(B급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.
해당 무선 설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없음
인증 받은 자의 상호 Molex CVS Dabendorf GmbH /
제조자/제조국가 Germany /
기자재의 명칭/ 모델명 LTE-MBC-CN /
기자재의 명칭/ 모델명 MSIP-RMM-N7V-LTE-MBC-CN

Taiwan

CCAK15LP0801T1
CCAE15LP0190T0
CCAF16LP2450T2

1. 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

2. 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。 前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

低功率電波輻射性電機管理辦法
第十二條: 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原 設計之特性及功能。
第十四條: 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干 擾時方得繼續使用。
前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電信。
低功率射頻電機需忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。
低功率電波輻射性電機管理辦法
第十二條經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。
第十四條低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。
本器材須經專業工程人員安裝及設定，始得設置使用，且不得直接販售給一般消費者
電磁波警語標示：「減少電磁波影響，請妥適使用
輸入電源需使用所附的5A保險絲於產品前端做保護
TRANSCVRP01:
低功率電波輻射性電機管理辦法：
▪第十二條
經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。
▪第十四條
低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。
前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

Thailand

เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์นี้ มีความสอดคล้องตามมาตรฐานหรือข้อกำหนดทางเทคนิคของ กสทช. เครื่องวิทยุคมนาคมนี้มีระดับการแผ่คลื่นแม่เหล็กไฟฟ้าสอดคล้องตามมาตรฐานความปลอดภัยต่อสุขภาพของมนุษย์จากการใช้เครื่องวิทยุคมนาคมที่คณะกรรมการกิจการโทรคมนาคมแห่งชาติประกาศกำหนด.

HomeLink®：この通信装置は NTC の技術要件に準拠しています。

Ukraine

Your vehicle features a variety of radio equipment. The manufacturers of this radio equipment declare that it complies with the specifications for its use pursuant to the Technical Regulation on Radio Equipment of Ukraine (Decree 355/2017). This information contains details of the manufacturers and the transmission characteristics of the radio equipment from April 2019. The full text of the relevant Declarations of Conformity is available at the following website:

https://porsche.ua/accessoriesandservice/porscheservice/

United Arab Emirates

TRA REGISTERED No: ER66073/18,
DEALER No: 0018994/09
TRA REGISTERED No: ER58762/17,
DEALER No: 0018994/09
TRA REGISTERED No: ER38964/15,
DEALER: HUF ELECTRONICS GmbH
TRA REGISTERED No: ER36213/14,
DEALER No: DA36785/14
TRA REGISTERED No: ER497919/16,
DEALER No: DA0062437/11
TRA REGISTERED No: ER71148/19
DEALER No: DA0043253/10
TRA REGISTERED No: ER61595/18
DEALER No: DA65993/17

United States of America

NOTICE:

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and
(2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Changes or modifications made to this equipment not expressly approved by the manufacturer may void the FCC authorization to operate this equipment.

Radiofrequency radiation exposure Information:
The radiated output power of the device is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the device shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized.

Vietnam

MARQUARDT GMBH
C019527117AF04A2
ICT

MARQUARDT GMBH
C028813218AF04A2
ICT

ソフトウェア ライセンス

インストルメント クラスターに関するオープン ソース ソフトウェアの宣言 - OSS コンポーネントのリスト

インストルメント クラスターにはオープン ソース ソフトウェアとしてライセンスを受けたコンポーネントが含まれます。 該当するコンポーネントおよび関連するライセンス条件は下記のとおりです。 使用権者は著作権保有者からオープン ソース ソフトウェアに対して関連する有効なライセンス条件に備える条件の下で使用上の非独占的権利を受けます。 オープン ソース ライセンスの保証提供は該当する著作権保有者に関連してのみ有効です。 このオープン ソース プログラム コードのリストは、リスト作成の時点でサービスに組み込まれていた第三者ソフトウェアに関連して編集されました。

1. C11 Emulation Library

Boost Software License 1.0

Boost Software License – Version 1.0

August 17th, 2003

Permission is hereby granted, free of charge, to any person or organization obtaining a copy of the software and accompanying documentation covered by this license (the "Software") to use, reproduce, display, distribute, execute, and transmit the Software, and to prepare derivative works of the Software, and to permit third-parties to whom the Software is furnished to do so, all subject to the following: The copyright notices in the Software and this entire statement, including the above license grant, this restriction and the following disclaimer, must be included in all copies of the Software, in whole or in part, and all derivative works of the Software, unless such copies or derivative works are solely in the form of machine-executable object code generated by a source language processor. THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

2. DRM CRTC

MIT Style License

* Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its * documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that * the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright * notice and this permission notice appear in supporting documentation, and * that the name of the copyright holders not be used in advertising or * publicity pertaining to distribution of the software without specific, * written prior permission. The copyright holders make no representations * about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as * is" without express or implied warranty. * * THE COPYRIGHT HOLDERS DISCLAIM ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, * INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO * EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR * CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, * DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER * TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE * OF THIS SOFTWARE.

3. EGLEXT Chromium

BSD 3-clause License

Copyright (c) 年、オーナー

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the ORGANIZATION nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT

LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

4. Expat XML Parser-libexpat

Expat License

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper

Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

5. FASTCRC32

License of Stephan Brumme/Zlib style License

Unless otherwise noted in a file's first 5 lines, all source code published on http://create.stephan-brumme.com and its sub-pages is licensed similar to the zlib license: This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the author be held liable for any damages arising from the use of this software. Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions: The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

6. Free Type

Freetype Project License

The FreeType Project LICENSE

————————————————————————————————————

2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by
David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction

==========

The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

We don't promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. (`as is' distribution)

You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. (`royalty-free' usage)

You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. (`credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products. We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

"Portions of this software are copyright © 1996-2002, 2006 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved."

Legal Terms

==========

Definitions

————————————————

Throughout this license, the terms `package', `-FreeType Project', and `FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the `FreeType Project', be they named as alpha, beta or final release.

`You' refers to the licensee, or person using the project, where `using' is a generic term including

compiling the project's source code as well as linking it to form a `program' or `executable'. This program is referred to as `a program using the FreeType engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive. If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000, 2006 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

No Warranty

———————————————

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED `AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

Redistribution

————————————————————

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

Redistribution of source code must retain this license file (`FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.

Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

Advertising

———————————————

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: `FreeType Project', `FreeType Engine', `-FreeType library', or `FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it. Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

Contacts

————————————

There are two mailing lists related to FreeType:

freetype@nongnu.org

Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution. If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.

devel@nongnu.org

Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at

http://www.freetype.org

— end of FTL.TXT —

7. Freetype_BDF

The MIT License

Copyright (c) year copyright holders

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

8. FreeType_PCF

The MIT License

▹ 「7. Freetype_BDF」の章（325ページ）を参照してください。

9. HarfBuzz

The MIT License

▹ 「7. Freetype_BDF」の章（325ページ）を参照してください。

10. Intel DVO i915

MIT Style License

▹ 「2. DRM CRTC」の章（323ページ）を参照してください。

11. Khronos EGL Headers

The MIT License

▹ 「7. Freetype_BDF」の章（325ページ）を参照してください。

12. Khronos Group-OpenGL ES

SGI Free Software License B v2.0

SGI FREE SOFTWARE LICENSE B (Version 2.0, Sept. 18, 2008)

Copyright (C) [dates of first publication] Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice including the dates of first publication and either this permission notice or a reference to http://oss.sgi.com/projects/FreeB/ shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SILICON GRAPHICS, INC. BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Silicon Graphics, Inc. shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from Silicon Graphics, Inc.

13. libdrm

The MIT License

▹ 「7. Freetype_BDF」の章（325ページ）を参照してください。

14. libunibreak

zlib License

The zlib/libpng License

Copyright (c) year copyright holders

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

15. Libva

The MIT License

▹ 「7. Freetype_BDF」の章（325ページ）を参照してください。

16. Intel の Linus Graphics Drivers – Kernel DRM-bsd

The MIT License

▹ 「7. Freetype_BDF」の章（325ページ）を参照してください。

17. lua

The MIT License

▹ 「7. Freetype_BDF」の章（325ページ）を参照してください。

18. lz4 Compression algorithm

BSD 2-clause "Simplified" License

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (-INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

19. Mesa3D – MesaLib

The MIT License

▷ 「7. Freetype_BDF」の章（325ページ）を参照してください。

20. NetBSD

BSD-4-Clause (University of California-Specific)

BSD-4-Clause (University of California-Specific)

Copyright [various years] The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

BSD 3-clause

▷ 「3. EGLEXT Chromium」の章（323ページ）を参照してください。

HPND Like License

Portions Copyright (c) 1993 by Digital Equipment Corporation.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies, and that the name of Digital Equipment Corporation not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the document or software without specific, written prior permission.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND DIGITAL EQUIPMENT CORP. DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL DIGITAL EQUIPMENT CORPORATION BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

21. PCFUtil

Open Group License

Copyright 1996, 1998 The Open Group

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation.

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE OPEN GROUP BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN

ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of The Open Group shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from The Open Group.

22. static_drm_mode

The MIT License

▷ 「7. Freetype_BDF」の章（325ページ）を参照してください。

23. Video Accelarator

BSD Style License

Redistribution. Redistribution and use in binary form, without modification, are * permitted provided that the following conditions are met: * Redistributions must reproduce the above copyright notice and the following * disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the * distribution. * Neither the name of Intel Corporation nor the names of its suppliers may be used * to endorse or promote products derived from this software without specific prior * written permission. * No reverse engineering, decompilation, or disassembly of this software is permitted. * Limited patent license. Intel Corporation grants a world-wide, royalty-free, * nonexclusive license under patents it now or hereafter owns or controls to make, have made, * use, import, offer to sell and sell (.Utilize.) this software, but solely to the extent that any * such patent is necessary to Utilize the software alone. The patent license shall not apply * to any combinations which include this software. No hardware per se is licensed here under. * DISCLAIMER. THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT * HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED * WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED * WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR * PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER * OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, * SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT * NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; * LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER * CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, * STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) * ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF * ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

24. zlib

Zlib license

▷ 「14. libunibreak」の章（326ページ）を参照してください。

索引

記号

◊ ボタンの設定 150
4WD
4 輪駆動ディスプレイ 53
トルク配分の表示 53
ガソリン
オクタン価 301
品質 301
補給 301
ガラス リヤ ウィンドウ
サービス ポジション 66
ギヤ シフト
マニュアル トランスミッション 188
ギヤのシフト
ポルシェ ドッペルクップルング (PDK) 185
グローブ ボックス
ETC (道路通行料自動収受システム) 201
収納スペース 152
ジャッキ
車両のリフトアップ 121
ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動 122
外部電源 (鉛蓄電池) 122
ジャンパー ケーブルによる始動 123
外部電源 (リチウム バッテリー) 123
ダイナミック コーナリング ライト 251
ダイナミック ハイ ビーム 251
ダッシュボードのタッチ ディスプレイ 238
Info Widget 241
ホーム画面 241
データ バンク 305
データ接続
デバイス マネージャー 183
確立 (内蔵 SIM カード) 278
確立する (外付け SIM カード) 278
確立する (外部 WiFi ホットスポット) 278
車両 WiFi ホットスポットの使用 279
ディスプレイ
お手入れの諸注意 149
車両 & 情報 49
速度 & アシスト 49
デコラティブ フィルム 147
お手入れの諸注意 147
デジタル スピードメーター 49
デバイス マネージャー 183
ドア
ウィンドウ (カブリオレ) 59
キーによるロック 139
コンフォート アクセスによるロック 140
コンフォート アクセスによる車両のロック 140
開操作 140
緊急ロック 141
緊急ロック解除 141
車内からの開閉操作とロック 140
ドア ミラー
パーキング エイドの調節 244
格納 / 復帰 244
設定の保存 (メモリー) 244
調整 243
ドア ミラー ヒーターの ON/OFF を切り替える 296
ドアの緊急ロック 141
ドアの緊急ロック解除 141
ドライバー プロファイル 213
ドライビング データの表示（トリップ情報） 184
ドリンクホルダー 71
パーキング
アクティブ パーキング サポート 31
リモート パーキング 33
パーキング エイド
ドア ミラー下向き切り替え 244
パーキング ブレーキ
ブレーキ テスト スタンドでの測定 182
解除する 218
作動させる 218
自動解除 218
手動解除 218
パークアシスト 209
アクティブ パーキング サポート 31
サラウンド ビュー (RTV) 211
リバース カメラ 211
リモート パーキング 33
リヤ クロス トラフィック アラート 261
パーソナル設定の呼び出し 213
パッシング ライト 252
バッテリー
お手入れ (リチウム バッテリー) 204
お手入れ (鉛蓄電池) 202
ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動 (リチウム バッテリー) 123
ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動 (鉛蓄電池) 122
バッテリーに関する警告 (リチウム バッテリー) 204
バッテリー上の警告 (鉛蓄電池) 202
リチウム バッテリー 204
鉛蓄電池 202
交換 (リチウム バッテリー) 204
交換 (鉛蓄電池) 202
車両エレクトリカル システムの警告 (リチウム バッテリー) 204
車両エレクトリカル システムの警告 (鉛蓄電池) 202
取り付け位置 (リチウム バッテリー) 204
取り付け位置 (鉛蓄電池) 202
取扱説明書 (リチウム バッテリー) 204
取扱説明書 (鉛蓄電池) 202
充電 (リチウム バッテリー) 204
充電 (鉛蓄電池) 202
接続後の作業 (リチウム バッテリー) 204
接続後の作業 (鉛蓄電池) 202
バニティー ミラー 113
バルブ
タイヤ 158
パワー ウィンドウ
ウィンドウの開閉 58
キーによるウィンドウの開閉 (リモート コントロール) 59
ドア ハンドルの近接センサーでウィンドウを閉じる (コンフォート アクセス装備車) 59
停止位置の保存 59
パワー ウィンドウ停止位置の保存 59
ビデオ
対応するデータ形式 312
プラグ ソケット (12 V) 143
ブレーキ
テスト スタンド 182
フットブレーキ 219
ブレーキ パッドの警告メッセージ 219
ポルシェ サーフェス コーテッド ブレーキ ディスク (PSCB) 220
ポルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB) 219
マルチコリジョン ブレーキング 282
ブレーキ パッド
警告メッセージ、ブレーキ 219
ブレーキ フルード 221
ブレーキ液量の点検 221
プレイリストを開く 247
ベビー キャリア 178
ベビー シート 178
助手席エアバッグの ON/OFF 178
ベルト
お手入れの諸注意 149
シート ベルト バックルを解除してシート ベルトを外す 119
シート ベルト プリテンショナー 118
タコメーターの警告灯 118

警告メッセージ . . . 118
着用 . . . 119
注意 . . . 118
ボイス コントロール . . . 228
Siri . . . 274
エアコンのボイス コマンド . . . 232
コマンドの発話 . . . 229
ナビゲーションのボイス コマンド . . . 231
メディアのボイス コントロール . . . 230
ラジオのボイス コマンド . . . 229
呼び出し . . . 228
設定 . . . 150
電話のボイス コマンド . . . 230
変更する . . . 229
ボイスメールを聞く . . . 190
ポルシェ WET モード . . . 297
ポルシェ アクティブ セーフ
ON/OFF の切り替え . . . 233
一般的な安全に関する指示 . . . 233
距離警告の設定 . . . 233
警告およびブレーキ アシスト . . . 233
作動原理 . . . 233
衝突の警告のタイミングの設定 . . . 234
衝突警告の OFF/ON の切り替え . . . 234
予防的乗員保護機能 . . . 234
ポルシェ コネクト
サービスの利用 . . . 279
データ接続の確立 . . . 278
ユーザー (ポルシェ ID) の管理 . . . 279
ユーザー (ポルシェ ID) をログイン中 . . . 279
設定 . . . 280
ポルシェ コネクト アプリ . . . 48
PCM に WiFi 経由で接続中 . . . 48
ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)
ダッシュボードのタッチ ディスプレイ . . . 238
車内でマニュアルを開く . . . 241
操作 . . . 236
ポルシェ サーフェス コーテッド ブレーキ ディスク (PSCB) . . . 220
ポルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB) . . . 219
ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) . . . 251
ポルシェ ドッペルクップルング
作動モード . . . 185
ポルシェ ドッペルクップルング (PDK)
ステアリング ホイールでのギヤシフト . . . 186
ボンネット . . . 66
運転席
オドメーター (積算距離計) . . . 53
クーラント温度計 . . . 50
タコメーター (回転計) . . . 49
トリップ メーター . . . 53
ライト調節 . . . 57
警告灯およびインジケーター ライト . . . 50
車両 & 情報ディスプレイ . . . 49
速度 & アシスト ディスプレイ . . . 49
燃料計 . . . 49
運転席メモリー パッケージ . . . 213
応急処置セット . . . 255
横方向の加速度
表示 . . . 53
音楽
USB を介して外部機器を接続する . . . 242
アームレスト内のインターフェイス . . . 242
お気に入りの保存 / 編集 . . . 248
再生 . . . 247
対応するデータ形式 . . . 312
荷物
ルーフに載せて運ぶ場合 . . . 262
海外モード
ライト . . . 254
灰皿
開操作 . . . 132
空にする . . . 132
開閉操作
ウィンドウ . . . 58
コンバーチブル トップ . . . 83
開閉操作とロック
スライディング / チルティング ルーフ . . . 133
パーソナル設定の保存と呼び出し . . . 213
ロールアップ式サンブラインド . . . 134
外付け SIM カード
データ接続を確立する . . . 278
格納式スポイラー
作動原理 . . . 127
格納式リヤ スポイラー
展開 / 格納 . . . 127
革製品
お手入れの諸注意 . . . 148
緊急ブレーキ機能 . . . 218
緊急解除
ラゲッジ コンパートメント リッド . . . 259
緊急操作
ウィンド デフレクターの . . . 84
コンバーチブル トップの . . . 84
タルガ ルーフ . . . 285
フィラー フラップ . . . 302
緊急電話 . . . 290
故障発信 . . . 290
空気圧
速度警告 . . . 154
携帯電話
Bluetooth® 経由で接続する (Windows® および iOS® オペレーティング システム) . . . 192
Bluetooth® 経由で接続する (既知の携帯電話) . . . 192
Bluetooth® 経由で接続する (新しい携帯電話) . . . 192
Bluetooth® 経由で接続する (別の携帯電話) . . . 192
携帯電話を接続する . . . 192
収納 . . . 194
携帯電話の収納 . . . 194
経由地を入力する (ナビゲーション) . . . 199
計器照明
遅延消灯の設定 . . . 57
警告およびインフォメーション メッセージ . . . 92
PCM . . . 111
エンジン . . . 96
ドライビング システム . . . 103
安全 . . . 92
車両 . . . 100
警告およびブレーキ アシスト
ポルシェ アクティブ セーフ (PAS) . . . 233
一般的な安全に関する指示 . . . 233
作動原理 . . . 233
警告灯 . . . 50
警報システム
ON/OFF の切り替え . . . 112
機能説明 . . . 112
機能表示 . . . 112
室内モニタリング システムおよび傾斜センサーを OFF にする . . . 112
軽修理
パンクしたとき . . . 207
車両が動き出さないように車両を固定する . . . 207
車両のけん引 . . . 80
検知ライト . . . 252
言語
設定 . . . 150
個別モード . . . 297
故障
ウィンド デフレクター . . . 84
ウィンドウ停止位置の保存 . . . 59
コンバーチブル トップ . . . 84
サンブラインド停止位置の保存 . . . 135
スライディング / チルティング ルーフ . . . 135
スライディング / チルティング ルーフの停止位置の保存 . . . 135
タルガ ルーフ . . . 285
パワー ウィンドウ . . . 59

フィラー フラップの緊急操作 302
故障発信 290
車両キーの電池 74
故障時電話
データ通信 290
作動 290
故障診断用ソケット 7
工具 255
工具セット
取り外しと収納 255
工場設定
車両設定のリセット 150
高圧洗浄機
取扱説明書 144
高速道路ライト 251
合金製ホイール
お手入れの諸注意 147
作動モード インジケーター 185
始動
エンジン 67
自動内気循環モードの設定
エアコン システム 295
自動防眩機能の ON/OFF 246
識別番号 305
湿気検知 297
車体番号 305
車内で取扱説明書を開く 241
車幅灯 249
車両
キーによるロック 139
キーによるロック解除 138
コンフォート アクセスによるロック 140
コンフォート アクセスによるロック解除 138
緊急ロック 141
緊急ロック解除 141
車内からのロック 140
車両キーの電池が消耗
車両の始動 74
車両ジャッキ モード 150
車両ドア
コンフォート アクセスによるロック 140
開操作 140
車内からのロック解除 139
車内からの開閉操作とロック 140
車両のお手入れ 144
Alcantara® 149
Race-Tex 149
アンダーコーティング 146
ウィンドウ 146
エアバッグ 148
シート ベルト 149
シール 148
デコラティブ フィルム 147
ファブリック ライニング 149
プラスチック部品 147
ヘッドライト 147
ホイール ボルト 160
革製品 148
警告 144
高圧洗浄機の使用 144
合金製ホイール 147
車両の保管 149
生地 149
洗車 144
塗装 146
保護フィルム 147
車両の保管 149
車両ホットスポット 279
車両寸法 306
車両設定
PCM 表示の調整 150
インストルメント パネル ディスプレイの調整 150
シート ヒーター、シート ベンチレーターおよびシート位置の調節 150
タイヤの種類とサイズの設定 156
タイヤ空気圧モニタリング (TPM) 156
ドア ロック オプションの設定 150
パーソナル ボタンへの保存 213
ボイス コントロール システムの設定 150
マルチファンクション ステアリング ホイールのボタンの割り当て変更 150
空気圧偏差を表示する 156
警告シグナルおよびパークアシストの音量の調整 150
言語の設定 150
工場設定にリセット 150
車両ジャッキ モードの設定 150
設定 150
単位の設定 150
日付と時刻の設定 150
収納オプション 152
フロント アームレストの小物入れ 153
充填容量 306
ウォッシャー液 306
エンジン オイル 306
渋滞アップデート (ナビゲーション) 200
縦方向の加速度
表示 53
助手席エアバッグ OFF/ON インジケーター 62
助手席ミラー
パーキング エイドの調節 244
格納 / 復帰 244
調整 243
小物入れ
フロント アームレストの開口部 153
収納オプション 152
消火器 13
消費量 306
接続
データ接続の確立 278
ポルシェ コネクト サービスの利用 279
接続ステータス 193
接続ステータス 193
接続する
ポルシェ コネクト 278
接続マネージャー 183
設定
パーソナル設定の保存と呼び出し 213
車両 150
洗車 144
全積載時
設定 156
走行プログラム 297
送風
調整 294
足元の温度
調整 295
惰性走行モード 187
地図 (ナビゲーション)
呼び出し 197
設定 200
遅延消灯
設定 250
着信に応答する / 拒否する 190
駐車
PDK 185
サラウンド ビュー (RTV) 211
パークアシスト 209
リバース カメラ 211
通行料デバイス 201
停止
エンジン 67
エンジンの自動停止 (オート スタート / ストップ機能) (PDK 装備車) 68
エンジンの自動停止 (オート スタート / ストップ機能) (マニュアル トランスミッション装備車) 68
停止表示板 255

締め付けトルク
ホイール ボルト 160
展開式フロントおよびリヤ スポイラー
展開 / 格納 127
転倒保護 (カブリオレ) 300
電池の交換
キー 74
電話 190
Bluetooth® 経由で接続する 192
Bluetooth® 経由で接続する (Windows® および iOS® オペレーティング システム) 192
Bluetooth® 経由で接続する (既知の携帯電話) 192
Bluetooth® 経由で接続する (新しい携帯電話) 192
Bluetooth® 経由で接続する (別の携帯電話) 192
SIM カードでの PCM の使用 (データ接続) 192
インストルメント パネルでの電話設定 193
お気に入りの保存 / 編集 193
コンシェルジュ サービス 190
デバイス マネージャー 183
緊急電話 290
故障発信 290
収納 194
接続ステータス 193
設定方法 194
通話中の各種機能 193
番号をダイヤルする 190
連絡先の管理 194
電話機能を ON にする 278
塗装 146
お手入れ 146
お手入れの諸注意 146
つや出し (研磨) 146
マークを取り除く 146
傷の補修 146
保護 146
盗難防止機能 112
道路交通案内 200
内気循環ボタン 295
内気循環モード
ON/OFF の切り替え 295
内蔵 SIM カード
データ接続の確立 278
日付と時刻
設定 150
燃料
オクタン価 301
タンク容量 306
燃料計 49
燃料残量警告 50
品質 301
補給 301
燃料インジケーター 49
燃料計 49
発進
ローンチ コントロール 187
標識の眩しさの軽減 252
標準プレッシャー
選択 157
不凍液
ウォッシャー液の割合 60
クーラント内 75
部分積載
設定 156
保護フィルム 147
お手入れの諸注意 147
保存中
パーソナル設定 213
補給 301
フィラー フラップ位置の表示 50
放送局を選局 / 保存 247
方向指示器 253
レバー 253
目的地の入力 / 検索 197
輸送 (鉄道、船舶など)
車両の固定 82
連絡先 (電話) 190

A

A/C MAX ボタン
エアコン システム 293
ABS (アンチロック ブレーキ システム)
機能説明 282
ACC
OFF にする 44
ON にする 44
アダプティブ クルーズ コントロールの作動原理 43
クルーズ コントロールおよび車間距離制御の中断と再開 46
ディスプレイの要素 43
レーダー センサー 41
各操作部 43
警告メッセージ 47
作動 44
作動モード 44
制御を無効にする 46
目標車間距離の設定 45
目標速度の変更 45
例外的な状況 47
Alcantara®
お手入れの諸注意 149
Apple CarPlay 274
Siri 274
Apple CarPlay™
iPod と Apple CarPlay の切り替え 275
AUTO (ライト スイッチ)
オートマチック ヘッドライト 249

B

Bluetooth®
デバイス マネージャー 183
携帯電話を接続する 192

C

CO_2 排出量 306

E

E メールの表示および編集 194
ETC (道路通行料自動収受システム)
ETC (道路通行料自動収受システム) の使用 201

F

FM
周波数帯の設定 247

G

G-Force ディスプレイ 53

H

HOLD 機能 276
PDK 装備 276
マニュアル トランスミッション装備 276

I

Info Widget 241
ISOFIX システム 175
ISOFIX システム付きチャイルド シートの取り付け 179
トップ テザー 180

L

LCA
- レーン チェンジ アシスト . . . 269

P

PAS
- 一般的な安全に関する指示 . . . 233
- 警告およびブレーキ アシスト . . . 233
- 作動原理 . . . 233

PASM (Porsche Active Suspension Management)
- シャーシ設定の選択 . . . 277

PCM
- Apple CarPlay . . . 274
- Info Widget . . . 241
- Info Widget の設定 . . . 241
- PCM WiFi ホットスポットの使用 . . . 279
- PCM 電話を ON にする . . . 278
- お手入れの諸注意 . . . 149
- キーボード . . . 240
- ダッシュボードのタッチ ディスプレイ . . . 238
- テキストおよび文字の入力 . . . 240
- ホーム画面 . . . 241
- ホーム画面の設定 . . . 241
- メニューを開く . . . 240
- 時刻または温度ディスプレイの設定 . . . 240
- 手書き入力 . . . 240
- 電話機能を ON にする . . . 278
- 表示の調整 . . . 150

PCM の操作
- (タッチ ディスプレイ) . . . 239
- (ロータリー プッシュ ボタンとボタン) . . . 239

PCM ホットスポット . . . 279

PCM*
- ドライビング データの表示（トリップ情報） . . . 184

PDK . . . 185
- ステアリング ホイールでのギヤシフト . . . 186

PDLS Plus . . . 251

Porsche Active Suspension Management (PASM)
- 機能説明 . . . 277

Porsche Doppelkupplung (PDK)
- 惰性走行モード . . . 187

Porsche Road Trip アプリ . . . 48

Porsche Stability Management (PSM)
- OFF にする . . . 281
- 機能説明 . . . 281

Porsche Track Precision App . . . 48

PSM (ポルシェ スタビリティ マネージメント)
- OFF にする . . . 281
- 機能説明 . . . 281

PSM スポーツ . . . 281
- ON にする . . . 281

R

Race-Tex
- お手入れの諸注意 . . . 149

S

SD カード リーダー . . . 242

SIM カード
- データ接続を確立する . . . 278
- 挿入および取り出し . . . 192

SIM カード リーダー . . . 242

Siri . . . 274

T

TPM (タイヤ空気圧モニタリング) . . . 154

U

USB を介して外部機器を接続する . . . 242

USB 接続 . . . 242

V

VICS/ITS スポット交通情報 . . . 200

W

WET モード . . . 297

WiFi
- PCM WiFi ホットスポットの使用 . . . 279
- デバイス マネージャー . . . 183
- 外部 WiFi ホットスポット経由でデータ接続を確立する . . . 278

あ

アイス/サン シールドの装着 . . . 227

アームレスト内のインターフェイス
- SD カード リーダー . . . 242
- SIM カード リーダー . . . 242
- USB . . . 242

アームレスト内のポート . . . 242

アクティブ パーキング サポート . . . 31

アクティブ レーン キープ . . . 37
- ON/OFF の切り替え . . . 39
- システム制限 . . . 37
- ディスプレイの要素 . . . 38

アダプティブ クルーズ コントロール (ACC)
- OFF にする . . . 44
- ON にする . . . 44
- クルーズ コントロールおよび車間距離制御の中断と再開 . . . 46
- ディスプレイの要素 . . . 43
- レーダー センサー . . . 41
- 各操作部 . . . 43
- 警告メッセージ . . . 47
- 作動 . . . 44
- 作動モード . . . 44
- 作動原理 . . . 43
- 制御を無効にする . . . 46
- 目標車間距離の設定 . . . 45
- 目標速度の変更 . . . 45
- 例外的な状況 . . . 47

アッパー換気パネル . . . 294

アプリ
- Porsche Road Trip アプリ . . . 48
- ポルシェ コネクト アプリ . . . 48
- ポルシェ トラック プレシジョン アプリ . . . 48

アルミニウム リム
- お手入れの諸注意 . . . 147

アンダーコーティング . . . 146
- お手入れの諸注意 . . . 146

アンチロック ブレーキ システム (ABS)
- 機能説明 . . . 282

アンビエント ライト . . . 57
- 調節 . . . 57

い

イオナイザー
- ON/OFF の切り替え . . . 295

イグニッション ロック
- 機能説明 . . . 67

イモビライザー . . . 112

インジケーター ライト . . . 50

インストルメント クラスター
- オドメーター (積算距離計) . . . 53
- スポーツ クロノ ストップウォッチ . . . 129
- タイヤ空気圧モニタリング . . . 154
- ドライビング データの表示（トリップ情報） . . . 184
- トリップ メーター . . . 53
- パーソナル設定の保存と呼び出し . . . 213
- メニュー概要 . . . 53

インストルメント パネル . . . 50
- オプションの選択および機能の有効化 . . . 51
- クーラント温度計 . . . 50
- サービス インターバルの表示 . . . 55

タコメーター (回転計) 49
ライト調節. 57
概要. 49
警告灯およびインジケーター ライト. 50
車両 & 情報ディスプレイ 49
制限速度の設定. 55
操作. 51
速度 & アシスト ディスプレイ. 49
速度警告の設定. 55
燃料計. 49
表示の調整. 150
インストルメント パネルの速度警告の設定 55
インストルメント パネルの速度制限の設定 55
インストルメント照明
明るさの調節. 57
インターネット
データ接続の確立. 278
インテリア ライト
アンビエント ライト. 57
調節. 57

う

ウインター タイヤ
一般情報 159
ウィンド デフレクター
緊急操作 84
上昇 / 下降 84
ウィンドウ
お手入れの諸注意. 146
キーによる開閉 (リモート コントロール) 59
フロント ウィンドウ デフロスター 296
リヤ ウィンドウ ヒーターの ON/OFF を切り替える. 296
開閉操作 58
停止位置の保存. 59
ウォッシャー液
充填容量 306
追加. 60
不凍液 60

え

エア デフレクターの清掃. 135
エア デフレクターの展開 / 格納. 285
エアコン システム
A/C MAX モードを ON/OFF にする 293
アッパー換気パネル 294
イオナイザーの ON / OFF の切り替え 295
エアコンの種類の設定 295
オート エアコン コントロールを ON にする. 293
パーソナル設定の保存と呼び出し 213
フロント ウィンドウ デフロスター 296
最大冷房出力を ON/OFF にする 293
自動内気循環モードの設定. 295
送風口の調節. 294-295
足元の温度の設定. 295
点灯/消灯 293
内気循環モードを ON/OFF にする 295
エアコンの種類
調整. 295
エアバッグ
お手入れの諸注意. 148
警告灯 61
助手席エアバッグの ON/OFF. 178
エマージェンシー キーを押します. 73
エミッション コントロール (チェック エンジン). 50
エミッション コントロール警告灯. 50
エレクトリック パーキング ブレーキ
ブレーキ テスト スタンドでの測定 182
解除する 218
緊急ブレーキ機能. 218
警告灯 218
作動させる. 218
発進時のパーキング ブレーキ自動解除. 218
エンジン
オイルの補充. 63-64
始動. 67
自動停止 (オート スタート / ストップ機能) (PDK 装備車) 68
自動停止 (オート スタート / ストップ機能) (マニュアル トランスミッション装備車). 68
停止. 67
冷却システム. 50
エンジン オイル 63
フィラー キャップ. 65
一般情報 64
追加. 63-64
エンジン コンパートメント リッド. 66

お

オイル. 63
フィラー キャップ. 65
一般情報 64
追加. 63-64
オート スタート / ストップ機能
エンジンの自動始動 (PDK 装備車). 69
エンジンの自動始動 (マニュアル トランスミッション装備車) 68
エンジンの自動停止 (PDK 装備車). 68
エンジンの自動停止 (マニュアル トランスミッション装備車) 68
作動原理 68
必要条件 68
例外. 69
オートマチック カミング ホーム ライト. 250
オートマチック トランスミッション. 185
オクタン価
ガソリン 301
オドメーター (積算距離計) の表示とリセット 53
オンボード コンピューター
タイヤ空気圧モニタリング. 154
ドライビング データの表示（トリップ情報） 184
メニュー概要. 53
オンライン サービス
データ接続の確立. 278
オンライン ナビゲーション. 197
お気に入りの保存 / 編集
メディア 248
電話. 193
お手入れの諸注意. 144
Alcantara®. 149
PCM. 149
Race-Tex 149
アンダーコーティング 146
ウィンドウ. 146
エアバッグ. 148
カーペット. 148
シート ベルト 149
シール 148
スクリーン. 149
タッチ ディスプレイ. 149
ディスプレイ. 149
デコラティブ フィルム. 147
ファブリック ライニング 149
フロア マット 148
ホイール ボルト 160
革製品. 148
合金製ホイール. 147
車両の保管. 149
生地. 149
洗車. 144
塗装. 146
保護フィルム. 147

か

カーペット 148
お手入れの諸注意. 148
カップホルダー. 71

カブリオレ
ウィンド デフレクター 84
コンバーチブル トップ 145
コンバーチブル トップの開閉 83
転倒保護 300
カブリオレ : サイド ウィンドウ 59
カメラの清掃
カメラ清掃システムの作動 196

き

キー 73
エマージェンシー キーを取り出す 73
コンバーチブル トップの開閉 84
スライディング / チルティング ルーフの開閉 134
タルガ ルーフの開 / 閉 285
パーソナル設定の保存と呼び出し 213
車両のロック 139
車両のロック解除 138
電池の交換 74
キー (リモート コントロール)
ウィンドウの開閉 (コンフォート アクセス非装備車) 59
コンバーチブル トップの開閉 84
スライディング / チルティング ルーフの上げ下げ 134
タルガ ルーフの開 / 閉 285
キーボード 240

く

クーラント (冷却水) 75
クーラント レベルの点検 75
クーラントの補充 75
クラッチ
マニュアル トランスミッション 188
クルーズ コントロール
ON にする 77
クルーズ コントロール 77
ディスプレイの要素 77
機能説明 77
作動 78
速度の変更 78
速度の保存 78
中断操作 78

け

けん引
けん引フック 82
けん引ロープまたはけん引バーの使用 81
一般情報 80
けん引フック
工具セット内 255

こ

コーナリング ライト
ダイナミック コーナリング ライト 251
コンシェルジュ サービス
コンシェルジュ サービスの開始 199
コンパーチブル トップ
ウィンド デフレクターの上昇 / 下降 84
キーによる開閉 (リモート コントロール) 84
開閉 83
緊急操作 84
車両のお手入れ 145
コンパーチブル トップ コンパートメント リッド
サービス ポジション 66
コンフォート アクセス
作動原理 137
車両のロック 140
車両のロック解除 138
コンフォート プレッシャー
選択 157
速度警告 154
コンフォート メモリー パッケージ 213

さ

サービス インターバルをインストルメント パネルに表示する 55
サービス ポジション 227
サービス履歴
表示 150
サマー タイヤ
収納スペース 159
サン ブラインド
停止位置の保存 135
サンバイザー 113
サンブラインド停止位置の保存 135

し

シート
シートのバックレストを前方または後方へ倒す 115
シート位置の調節 114
シート位置の保存と呼び出し 213
フロント シートの調節 114
ベビー キャリア 178
リヤ シートのバックレストを前方または後方へ倒す 117
シート ヒーターを ON/OFF にする 116
シート ベルト
お手入れの諸注意 149
シート ベルト バックルを解除してシート ベルトを外す 119
シート ベルト プリテンショナー 118
タコメーターの警告灯 118
警告メッセージ 118
着用 119
注意 118
シート ベルト プリテンショナー 118
シート ベンチレーターを ON/OFF にする 116
シート メモリー 213
シートのバックレストを前方または後方へ倒す 115
シート位置の調節 114
シーラント / シール セット
損傷したタイヤ用 207
シール
お手入れの諸注意 148
シャーシ設定
選択 277
シャーシ番号 305

す

スクリーン
お手入れの諸注意 149
スタート / ストップ機能 68
ステアリング コラム ロック 112
ステアリング ホイール
◇ ボタンの設定 150
ステアリング ロック 67
ヒーターの ON/OFF を切り替える 125
調整 125
ステアリング ホイール ヒーターを ON/OFF にする 125
ステアリング ホイールのロック解除およびロック 112
ストップウォッチ 129
スノーチェーン
一般情報 159
スポイラー
作動原理 127
スポーツ エキゾースト システム 299
スポーツ クロノ ストップウォッチ 129
スポーツ クロノ モード スイッチ 297
スポーツ プラス モード 297
スポーツ モード 297
スマートフォン
Bluetooth® 経由で接続する 192
収納 194
スモーカーズ パッケージ 132
スライディング / チルティング ルーフ
エア デフレクターの清掃 135

キーによるスライディング / チルティング ルーフの開閉 . . . 134
ルーフ ドライブ メカニズムが故障しているときの閉操作 . . . 135
機能説明 . . . 133
緊急操作 . . . 135
停止位置の保存 . . . 135
スライディング / チルティング ルーフの停止位置の保存 . . . 135

せ

セーフロック . . . 139
キーによる解除 . . . 139
ドア ハンドルの近接センサーによる解除 . . . 140
センター アームレスト
フロント小物入れ . . . 153
センター コンソール
フロント小物入れ . . . 152-153
センター ボルトの緊急締め付けの実施 . . . 169
セントラル ロック
キーによる車両のロック . . . 139
キーによる車両のロック解除 . . . 138
コンフォート アクセスによる車両のロック . . . 140
コンフォート アクセスによる車両のロック解除 . . . 138
パーソナル設定の保存と呼び出し . . . 213
車内からの開閉操作とロック . . . 140

そ

ソース (メディア) の選択 . . . 247

た

タイヤ . . . 154
ウインター タイヤ (一般情報) . . . 159
コンフォートまたは標準プレッシャーの選択 . . . 157
シーラント . . . 207
スノーチェーン (一般情報) . . . 159
タイヤ モビリティ システム - TMS . . . 207
タイヤの種類とサイズの設定 . . . 156
タイヤ空気圧の点検 . . . 154
タイヤ空気圧プレート . . . 305
タイヤ交換 (一般的なインフォメーション) . . . 158
タイヤ表記 . . . 157
トレッドの深さ . . . 159
バルブ . . . 158
パンク修理 . . . 207
空気圧偏差を表示する . . . 156
収納スペース . . . 159
新しいタイヤをタイヤ空気圧モニタリング (TPM) に登録する . . . 157
全負荷または部分積載の設定 . . . 156
タイヤ / ホイール サイズ . . . 310
タイヤ シーラント
取り外しと収納 . . . 255
タイヤ シーラント / シール セット
損傷したタイヤ用 . . . 207
タイヤ モビリティ システム - TMS . . . 207
タイヤ空気圧
インストルメント クラスターの表示 . . . 154
システムは登録中です . . . 157
速度警告 . . . 154
点検 . . . 154
タイヤ空気圧プレート . . . 305
タイヤ空気圧モニタリング (TPM) . . . 154
登録 . . . 157
表示 . . . 156
タイヤ空気圧警告灯 . . . 50
タイヤ空気圧表 . . . 310
タイヤ充填コンプレッサー
荷物 . . . 257
取り外し . . . 256
タコメーター (回転計) . . . 49
タッチ ディスプレイ
お手入れの諸注意 . . . 149
操作 . . . 239
表示の調整 . . . 150
タルガ
エア デフレクターの展開 / 格納 . . . 285
コンバーチブル トップ エレメントのお手入れ . . . 145
タルガ ルーフ
キーによる開閉 (リモート コントロール) . . . 285
開閉 . . . 284
緊急操作 . . . 285
タルガ ルーフ システム . . . 284

ち

チェック エンジン (エミッション コントロール) . . . 50
チャイルド シート . . . 179
ISOFIX チャイルド シートの取り付け . . . 179
トップ テザー . . . 180
取り付け . . . 177
助手席エアバッグの ON/OFF . . . 178
正しい取り付け位置の徹底 . . . 175
正しく使用する . . . 172
適切な体重およびサイズ グループの使用 . . . 173

つ

ツアーを計画する (ナビゲーション) . . . 199

て

テキスト メッセージの表示および編集 . . . 194
テクニカル データ
CO_2 排出量 . . . 306
タイヤ / ホイール サイズ . . . 310
タイヤ空気圧表 . . . 310
充填容量 . . . 306
消費量 . . . 306
テスト スタンド
ブレーキ テスト . . . 182

と

トップ テザー
ISOFIX テザー付きチャイルド シートの取り付け . . . 180
トップ テザー付きチャイルド シートの取り付け . . . 180
トランスミッション
ポルシェ ドッペルクップルング (PDK) . . . 185
マニュアル トランスミッション . . . 188
トリップ メーターの表示とリセット . . . 53
トルク
ホイール ボルトの締め付けトルク . . . 160
トレイ (電話) . . . 194
トレッドの深さ
タイヤ . . . 159

な

ナイト ビュー アシスト . . . 195
ON/OFF の切り替え . . . 196
清掃 . . . 196
ナビゲーション . . . 197
ETC (道路通行料自動収受システム) . . . 201
GPS 座標の入力 . . . 197
VICS/ITS スポット交通情報 . . . 200
インストルメント パネルのマップ ビューおよびナビゲーション情報 . . . 200
ツアーを計画する . . . 199
経由地を入力する . . . 199
交通渋滞の回避 . . . 200
設定 . . . 200
地図コンテンツの設定 . . . 200
地図画面の表示 / 設定 . . . 200
目的地の入力 / 検索 . . . 197

は

ハイ ビーム
ダイナミック ハイ ビーム . . . 251
ハイ ビーム アシスト . . . 251
ハイ ビーム操作レバー . . . 253

ハイ ビーム アシスト 251
ハザード ライト 254

ひ

ヒューズ 215
　ヒューズ ボックス 215
　ヒューズの割り当て 215
　ヒューズの交換 215

ふ

ファブリック ライニング (お手入れ) 149
フィラー フラップ
　位置の表示 50
　緊急操作 302
フットブレーキ
　安全に関する指示 219
フルードおよび燃料 306
　ウォッシャー液 306
　エンジン オイル 306
　燃料 306
フロア マット
　お手入れの諸注意 148
フロント アクスル リフト システム
　機能説明 222
　自動リフト機能 222
フロント アクスル車高リフト システム
　故障 222
フロント ウィンドウ
　デフロスター 296
フロント ウィンドウ ウォッシャー システム
　ウォッシャー液の追加 60
　充填容量 306
　不凍液 60
フロント ウィンドウ ワイパー
　フロント ウィンドウのワイパー機能とウォッシャー システム 225
フロント シート
　シートのバックレストを前方または後方へ倒す 115
　調整 114
フロント ワイパー
　お手入れの諸注意 146
　リヤ ワイパー 226
　レイン センサーを ON にする 225
　ワイパー ブレード 227
　ワイパー ブレードの交換 227
　ワンタッチ機能 225

へ

ヘッドライト
　お手入れの諸注意 147
　バルブの交換 254
　マトリックス ビーム 251
　海外モード 254
　調整 254
ヘッドライトの調整 254
ヘッドライト較正、オートマチック 252

ほ

ホイール 154
　ウインター タイヤ (一般情報) 159
　サーキットでの走行 (センター ホイール ロック付きホイール) 170
　スノーチェーン (一般情報) 159
　センター ボルトの緊急締め付けの実施 169
　タイヤ シーラント 207
　タイヤ モビリティ システム - TMS 207
　タイヤ空気圧プレート 305
　タイヤ交換 (一般的なインフォメーション) 158
　タイヤ表記 157
　バルブ 158
　パンク修理 207
　ホイール ボルト (お手入れ) 160
　交換 (セントラル ホイール ロック付き) 162
　交換 (セントラル ロック非装備) 160
　収納スペース 159
　締め付けトルク 160
　盗難防止ホイール ボルト (ソケット レンチ) 161
ホイール ボルト 160
ホイールのお手入れ 147
ホーム画面 241
ホットスポット
　PCM WiFi ホットスポットの使用 279
　外部 WiFi ホットスポット経由でデータ接続を確立する 278

ま

マトリックス ビーム 251
マニュアル トランスミッション
　シフトアップ インジケーター 189
マニュアルを開く PCM 241
マルチコリジョン ブレーキング
　機能説明 282
マルチファンクション ステアリング ホイール
　◇ ボタンの設定 150
　ボタン 51
マルチファンクション ステアリング ホイールのファンクション ボタン 51
マルチファンクション ステアリング ホイールのボタン 51
マルチファンクション ステアリング ホイールのボタンの割り当て変更 150

み

ミラー
　ドア ミラー ヒーター 296
　ドア ミラーの格納 / 復帰 244
　ドア ミラーの調節 243
　ドア ミラー設定の保存 (メモリー) 244
　パーキング エイド使用時のドア ミラーの調節 244
　バニティー ミラー 113
　自動防眩機能の ON/OFF 246

め

メッセージ (テキスト メッセージ / E メール) の表示および編集 194
メディア 247
　USB を介して外部機器を接続する 242
　アームレスト内のインターフェイス 242
　お気に入りの保存 / 編集 248
　ソースの選択 247
　閲覧 247
　再生 247
　設定方法 248
　対応するメディアおよびデータ形式 312
　放送局を選局 / 保存 247
メモリー パッケージ 213
メンテナンス
　エンジン オイルの補充 64
メンテナンス作業
　ウォッシャー液の追加 60

も

モード スイッチ 297
モバイル データ (接続性) 278

ら

ライト
　OFF にする 250
　アンビエント ライト 57
　インテリア ライト 57
　インテリア ライトの遅延消灯の設定 57
　エクステリア ライト 249
　エントリー機能 / イグジット機能 250
　オートマチック カミング ホーム ライト 250

オートマチック ヘッドライト 249
オートマチック ヘッドライト較正 252
お手入れの諸注意 147
ターン ライト 251
ダイナミック ハイ ビーム 251
ハイ ビーム 253
ハイ ビーム アシスト 251
ハザード ライト 254
パッシング ライト 252
バルブの交換 254
ボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) 251
マトリックス ビーム 251
リヤ フォグ ライト 249
ロー ビーム 249
悪天候のライト 251
海外モード 254
検知ライト 252
高速道路走行時の作動 251
車幅灯 249
状況に応じた配光分布 251
遅延消灯の設定 250
標識の眩しさの軽減 252
方向指示器 253
霧機能 251
ライト バルブ 254
ラゲッジ コンパートメント 255
開く 258
緊急解除 259
閉じる 259
ラゲッジ コンパートメント リッド
開く 258
緊急解除 259
閉じる 259
ラジオ 247
お気に入りの保存 / 編集 248
周波数帯の設定 247
放送局を選局 / 保存 247

り

リバース カメラ 211
リモート コントロール 73
コンバーチブル トップの開閉 84
スライディング / チルティング ルーフの開閉 134
タルガ ルーフの開 / 閉 285
車両のロック 139
車両のロック解除 138
リモート パーキング 33
リヤ ウィンドウ
ヒーターの ON/OFF を切り替える 296
リヤ クロス トラフィック アラート 261
リヤ シートのバックレストを前方に倒す 117
リヤ シート収納スペース 117
リヤ スポイラー 127
作動原理 127
リヤ ターン アシスト 269
リヤ フォグ ライト
ON/OFF の切り替え 249
配光の適応 251
リヤ ワイパー 226
リバース機能 226

る

ルーフ トランスポート システム
ベーシック キャリアの取り付け 263
ルーフに荷物を載せて運ぶ場合 262
警告 262
ルーム ミラー
自動防眩機能の ON/OFF 246
調整 245
防眩 245

れ

レーダー センサー
アダプティブ クルーズ コントロール 41
レーン キープ ON
作動原理 38
レーン キープ アシスト 266
ON/OFF の切り替え 267
レーン チェンジ アシスト
運転状況 271
画面の明るさの設定 271
作動原理 270
レーン チェンジ アシスト (LCA)
ON/OFF の切り替え 269
リヤ ターン アシスト 269

ろ

ロー ビーム 249
ロータリー プッシュ ボタンとボタンの操作 239
ロールアップ式サンブラインド
開閉操作 134
ローンチ コントロール 187
ロック
キーによる車両のロック 138-139
コンフォート アクセスによる車両のロック 140
セーフロック 139
車内からの車両のロック 140
車両の緊急ロック 141
ロック オプション
設定 150
ロック解除
キーによる車両のロック解除 138
コンフォート アクセスによる車両のロック解除 138
ラゲッジ コンパートメント リッドのロックを解除してリッドを開く 258
車内からの車両のロック解除 139
車両の緊急ロック解除 141

わ

ワイパー ブレード
交換 227
ワイヤレス インターネット アクセス 279

- 車両の仕様およびオプションの変更により、この取扱説明書の内容の一部が車両と一致しない場合があります。
- 説明図は一部日本仕様と異なる点があります。
- この取扱説明書に関してのお問い合わせは下記までお願い致します。

ポルシェ・カスタマーケアセンター

フリーダイヤル：0120-846-911

車両受領証
（販売店で保管）

VIN：車両識別ナンバー

エンジンナンバー

上記車両については、取扱説明書および整備手帳に記載されている車両の取扱い、および保証内容、並びに納車点検内容の説明を受け了承の上、車両およびツールキットを完全な状態で受領しました。

販売店スタンプ

日時　　お客様の署名